P3PC-2432-05Z0

オペレーターガイド

はじめに

このたびは、カラーイメージスキャナ ScanSnap（スキャンスナップ） S1500、S1500M（以下、ScanSnap と呼びます。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、ScanSnap の取り扱い方および基本的な操作方法について説明しています。
ご使用の際には、本書およびスタートアップガイドをよくお読みになり、ScanSnap を正しくご使用くださるよう、お願いいたします。
本書が、ScanSnap を活用していただくために、皆様のお役に立つことを願っております。

お使いのオペレーティングシステムが Microsoft® Windows® の場合、本書を表示 / 印刷するには、アドビ システムズ社の Adobe® Acrobat® 7.0 以降または Adobe® Reader® 7.0 以降が必要です。

2011 年　11 月　5 版

商標および登録商標

Microsoft、Windows、Windows Vista、Microsoft Excel、PowerPoint、Outlook、SharePoint、および Entourage は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
Word は、米国 Microsoft Corporation の製品です。

Apple、Apple ロゴ、Mac、Mac OS、および iPhoto は、Apple Inc. の商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、および Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Intel、Pentium、および Intel Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標または商標です。
PowerPC は、IBM Corporation の登録商標または商標です。

ABBYY™ FineReader™ Engine ©2011 ABBYY. OCR by ABBYY

ABBYY および FineReader は、ABBYY の商標です。

Evernote は、Evernote Corporation の登録商標または商標です。

Google および Google ドキュメントは、Google Inc. の登録商標または商標です。

Salesforce、Salesforce ロゴ、Salesforce CRM は米国その他の国における米セールスフォース・ドットコム（salesforce.com,inc.）の登録商標または商標です。

ScanSnap、ScanSnap ロゴ、CardMinder 、および楽^{2}ライブラリは、株式会社 PFU の日本における登録商標または商標です。
その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

開発・販売元

株式会社 PFU

〒 212-8563　神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地（ソリッドスクエア東館）

TEL：044-540-4538

免責事項

●イメージデータの原稿再現性について

ScanSnap によって原稿を読み取って作られるイメージデータが、お客様の必要とする精度・品質を満たしていること（例えば、寸法精度、情報量、忠実度、色調などにおける原稿の再現性）をご確認ください。

●読み取った原稿の破棄について

ScanSnap を使用して読み取った原稿を破棄する際は、必ず、原稿を読み取って作られたイメージデータの受け渡しをしたアプリケーション上で、イメージデータに異常・欠落のないことを確認してから行ってください。

ScanSnap を使用して読み取った原稿の破棄や、イメージデータの保管・管理については、お客様の責任で行ってください。

マニュアルの種類

ScanSnap をご使用の際には、以下のマニュアルを必要に応じてお読みください。

マニュアル	説明	参照方法
安全上のご注意	ScanSnap を安全に正しくお使いいただくための重要な情報を記載していますので、ご使用になる前に必ずお読みください。	梱包箱に入っています。
ScanSnap S1500/ S1500M スタートアップガイド	ScanSnap の梱包品一覧、ソフトウェアのインストール方法、接続方法、および読み取り動作の確認方法について説明しています。	
ScanSnap S1500/ S1500M オペレーターガイド（本書）	ScanSnap の基本的な操作、ソフトウェアのインストール方法、読み取り方法、設定方法、および ScanSnap の取り扱い方について説明しています。	Windows 「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「ScanSnap Manager」→「オペレーターガイド」を選択します。 Mac OS Finder のサイドバーから、「アプリケーション」→「ScanSnap」→「Manual」→「オペレーターガイド」をダブルクリックします。
困ったときには（インストール編）	ソフトウェアのインストールに失敗したときや、インストールは完了したが ScanSnap が正常に動作しなかったときにお読みください。対処方法について説明しています。	Windows ● Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットしてから表示される「ScanSnap Setup」画面から、［取扱説明書］ボタン→［困ったときには（インストール編）］ボタンをクリックします。 ● 「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「ScanSnap Manager」→「困ったときには（インストール編）」を選択します。 Mac OS ● Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットしてから表示される「ScanSnap」画面から、「困ったときには（インストール編）」アイコンをダブルクリックします。 ● Finder のサイドバーから、「アプリケーション」→「ScanSnap」→「Manual」→「困ったときには（インストール編）」をダブルクリックします。
ScanSnap Connect Application ユーザーズガイド（iOS 編）	モバイル機器とコンピュータの接続方法、ファイルの受信方法、操作方法、および設定方法について説明しています。	モバイル機器用の ScanSnap Connect Application で、「ファイル一覧」画面の［ i ］ボタンをタップして表示される「情報」画面から、［使用方法］ボタンをタップします。

マニュアル	説明	参照方法
Windows ScanSnap Organizer ユーザーズガイド	各製品を初めて使うときや、概要、特長、画面、動作環境、機能について知りたいときにお読みください。	Windows 「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「ScanSnap Organizer」→「ユーザーズガイド」を選択します。
Windows 名刺ファイリング ＯＣＲ ユーザーズガイド		Windows 「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「名刺ファイリング ＯＣＲ」→「ユーザーズガイド」を選択します。
Mac OS CardMinder ユーザーズガイド		Mac OS Finder から、「アプリケーション」→「CardMinder」→「Manual」→「ユーザーズガイド .pdf」をダブルクリックします。
Windows ABBYY FineReader for ScanSnap のユーザーズガイド		Windows 「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「ABBYY FineReader for ScanSnap（TM）4.1」→「ユーザーズガイド」を選択します。
Windows Scan to Microsoft SharePoint のユーザーズガイド		Windows 「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「KnowledgeLake」→「Scan to Microsoft SharePoint のユーザーズガイド」を選択します。
Windows ScanSnap S1500/S1500M オペレーターガイド タイムスタンプ補足説明		Windows 以下のホームページから、「S1500/S1500M オペレーターガイド（タイムスタンプ補足説明）」を選択します。 http://scansnap.fujitsu.com/jp/brochures/

マニュアル	説明	参照方法
ScanSnap Manager ヘルプ	ScanSnap を操作（項目を入力するときなど）していてわからないことがあったときにお読みください。 すべての操作手順、画面説明、操作中のトラブルと対処方法、およびメッセージについて説明しています。	以下のどれかの方法で参照してください。 Windows ● タスク バーの ScanSnap Manager のアイコン を右クリックして表示されるメニューから、「ヘルプ」→「ヘルプの表示」を選択します。 Windows 7 の場合は、タスク バーの をクリックして表示されるメニューに、ScanSnap Manager のアイコン が表示されます。 ● ScanSnap Manager のヘルプボタン（ ）をクリックします。 ● 画面表示中にキーボードの「F1」キーを押します。 ● 各画面の［ヘルプ］ボタンをクリックします。 Mac OS ● キーボードの「control」キーを押しながら、Dock の ScanSnap Manager のアイコン をクリックして表示されるメニューから、「ヘルプ」→「ヘルプの表示」を選択します。 ● ScanSnap Manager のヘルプボタン（?）をクリックします。 ● メニューバーの「ヘルプ」→「ScanSnap Manager ヘルプ」を選択します。
Windows ScanSnap Organizer ヘルプ	各製品を操作（項目を入力するときなど）していてわからないことがあったときにお読みください。 すべての操作手順、画面説明、メッセージについて説明しています。	ヘルプの起動方法については、各製品のユーザーズガイドを参照してください。
Windows 名刺ファイリング ＯＣＲ ヘルプ		
Mac OS CardMinder ヘルプ		
Adobe Acrobat のヘルプ		メニューバーの「ヘルプ」→「Adobe Acrobat ヘルプ」を参照してください。

■ 本書の読み方

本書の構成

本書は、以下のような構成になっています。

ScanSnap をお使いになる前に

ScanSnap の特長、各部の名称とその働き、動作環境、および基本的な操作について説明しています。

ソフトウェアのインストール

ScanSnap に添付されているソフトウェアの概要およびインストール方法について説明しています。

ScanSnap の使用方法＜ Windows 編＞ / ScanSnap の使用方法＜ Mac OS 編＞

原稿の読み取り方法、読み取り条件の設定方法、読み取り設定の追加 / 変更 / 削除方法、各種機能、およびいろいろな使い方について説明しています。

困ったときには

原稿づまりなどの、トラブルの対処方法の参照先を記載しています。

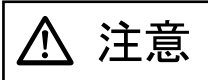
清掃方法

清掃用品および ScanSnap 本体の清掃方法について説明しています。

消耗品

パッドユニット、ピックローラユニットの交換方法、および購入方法について説明しています。

付録

ScanSnap Manager のアップデート方法、ソフトウェアのアンインストール方法、原稿の読み取り方法による設定項目の違い、A3 キャリアシートの購入 / 清掃方法、ScanAid の購入方法、および ScanSnap の設置条件について説明しています。

修理・お問い合わせ

ScanSnap の故障の際にご利用いただけるスポットサービス、お問い合わせ窓口、および消耗品 / 清掃用品の購入先の情報を記載しています。

ScanSnap の操作を理解いただくためには、「ScanSnap をお使いになる前に」から「ScanSnap の使用方法」までを順にお読みください。

本書で使用している記号

本書では、使用者および周囲の方の身体や財産に損害を与えないために、警告表示を使用しています。警告表示は、警告レベルの記号と警告文で構成しています。以下に、警告レベルの記号とその意味について説明します。

警告表示	説明
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

本書では、警告表示とは別に、説明文中に以下の記号を使用しています。

記号	説明
	特に注意が必要な事項を記載しています。 必ずお読みください。
	操作に関するワンポイントアドバイスを記載しています。
Windows	Windows 固有の説明を示しています。
Mac OS	Mac OS 固有の説明を示しています。

連続する操作の表記

本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記載しています。
例 :「スタート」メニュー→「コンピュータ」を選択します。

本書に掲載している画面

● Windows の画面

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

本書では、Windows Vista の画面を例として説明します。

お使いのオペレーティングシステムによって、表示される画面および操作が異なる場合があります。

● Mac OS の画面

本書では、Mac OS X v10.6 の画面を例に説明しています。

お使いの Mac OS によって、表示される画面および操作が異なる場合があります。

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。
表示された画面が、本書に掲載されている画面と異なる場合は、実際の画面に従って操作してください。

本書での略記

本書では、以下の用語について省略して記載しています。

略記	正式名称
Windows 7	Windows® 7 Starter operating system 日本語版 Windows® 7 Home Premium operating system 日本語版 Windows® 7 Professional operating system 日本語版 Windows® 7 Enterprise operating system 日本語版 Windows® 7 Ultimate operating system 日本語版
Windows Vista	Windows Vista® Home Basic operating system 日本語版 Windows Vista® Home Premium operating system 日本語版 Windows Vista® Business operating system 日本語版 Windows Vista® Enterprise operating system 日本語版 Windows Vista® Ultimate operating system 日本語版
Windows XP	Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Windows® XP Professional operating system 日本語版
Windows 2000	Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows	Windows 7、Windows Vista、Windows XP、および Windows 2000
Microsoft Office	Microsoft® Office
Word	Microsoft® Word 2010 Microsoft® Office Word 2007 Microsoft® Office Word 2003 Microsoft® Office Word 2002
Excel	Microsoft Excel® 2010 Microsoft® Office Excel 2007 Microsoft® Office Excel 2003 Microsoft® Office Excel 2002
PowerPoint	Microsoft® PowerPoint® 2010 Microsoft® Office PowerPoint® 2007 Microsoft® Office PowerPoint® 2003 Microsoft® Office PowerPoint® 2002
SharePoint	Microsoft® SharePoint® Server 2010 日本語版 Microsoft® Office SharePoint® Server 2007 日本語版 Microsoft® Office SharePoint® Portal Server 2003 日本語版 Microsoft® SharePoint® Foundation 2010 日本語版 Microsoft® Windows® SharePoint® Services 2.0/3.0 日本語版 Microsoft® SharePoint® Online
Office Live	Microsoft® Office Live
Internet Explorer	Windows® Internet Explorer® Microsoft® Internet Explorer®
Windows Live メール	Windows Live™ メール
Windows メール	Microsoft® Windows® メール
Outlook	Microsoft® Outlook® 2010 Microsoft® Office Outlook® 2007 Microsoft® Office Outlook® 2003

Outlook Express	: Microsoft® Outlook® Express
Outlook for Mac	: Microsoft® Outlook® for Mac
.NET Framework	: Microsoft® .NET Framework
Entourage	: Microsoft® Entourage®
Mac OS	: Mac OS X v10.7、Mac OS X v10.6、Mac OS X v10.5、および Mac OS X v10.4
Adobe Acrobat	: Adobe® Acrobat® 本書では、ScanSnap に添付されている Adobe Acrobat の使用を前提にして説明しております。特に指定がない場合は、ScanSnap に添付されている Adobe Acrobat のことを指します。 また、予告なくバージョンを変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。 本書の説明が実際の画面と異なる場合は、Adobe Acrobat のヘルプを参照してください。
Adobe Reader	: Adobe® Reader®
ABBYY FineReader for ScanSnap	: ABBYY FineReader for ScanSnap™ 本書では、ScanSnap に添付されている ABBYY FineReader for ScanSnap の使用を前提にして説明しております。特に指定がない場合は、ScanSnap に添付されている ABBYY FineReader for ScanSnap のことを指します。 また、予告なくバージョンを変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。 本書の説明が実際の画面と異なる場合は、ABBYY FineReader for ScanSnap のヘルプを参照してください。
Google ドキュメント	: Google ドキュメント ™
ScanSnap	: カラーイメージスキャナ ScanSnap S1500 カラーイメージスキャナ ScanSnap S1500M
A3 キャリアシート	: ScanSnap A3 キャリアシート

目　次

ScanSnap をお使いになる前に

ここでは、ScanSnap の特長、各部の名称とその働き、動作環境、および基本的な操作について説明します。

ScanSnap の特長

ScanSnap の主な特長は以下のとおりです。

●［Scan］ボタンを押すだけで、書類をデータ化できます！

机の上にたまっている書類を PDF ファイルや JPEG ファイルに変換すれば、コンピュータで簡単に表示・編集・管理・運用できます。

●スピーディーに読み取ります！

A4 サイズの両面カラー原稿を約 20 枚 / 分のスピードで読み取ります。

測定環境および読み取り条件は、以下のとおりです。

- 測定環境

  Windows

  Intel® Core™ 2 Duo 2.2GHz 以上のプロセッサ
  Windows 7、Windows Vista、Windows XP 環境

  Mac OS

  Intel® Core™ 2 Duo 2.4GHz 以上のプロセッサ
  Mac OS X v10.7、Mac OS X v10.6、Mac OS X v10.5、Mac OS X v10.4 環境

- 読み取り条件（*）

  「画質の選択：自動解像度」、「カラーモード：カラー自動判別」、「圧縮率：3」、そのほかの設定がデフォルトの場合

  * ：・白黒で読み取る場合、原稿によっては読み取りスピードが遅くなる場合があります。
  例：カラーのパンフレットを白黒として読み込んだ場合（カラーのイメージデータを白黒に変換するため）
  ・文字列の傾き補正および原稿向き補正機能が有効になっていると、読み取りスピードが遅くなる場合があります。

●クイックメニューで、初心者にもやさしく操作できます！

クイックメニューを使用すれば、初めての方でもすぐに ScanSnap を使いこなせます。［Scan］ボタンを押して原稿を読み取ると、クイックメニューが表示され、あとは、希望の動作を選択するだけです。

●原稿のカラーモードを自動的に判別します！（カラー自動判別機能）

読み取った原稿のカラーモードを判別し、カラー原稿の場合はカラー、白黒原稿の場合は白黒、写真やイラストがある白黒原稿の場合はグレーで保存します。この機能によって PDF のファイルサイズを最適化できます。

● **サイズの違う原稿をまとめて読み取れます！（サイズ自動検出機能、A3 キャリアシート混載機能）**

原稿のサイズを自動的に認識するので、原稿サイズの設定を変更する必要がありません。また、添付の A3 キャリアシートを使用すると、A4 サイズより大きい原稿、写真、および資料の切り抜きなどの原稿を読み取れます。A3 キャリアシートは、複数枚まとめて読み取ったり、一般の原稿と同時に読み取ったりできます。

● **原稿のサイズに合わせて解像度を自動的に変換します！（自動解像度モード）**

原稿を 300dpi で読み取ったあと、原稿の長さが 148mm 以下であれば、300dpi のままで保存され、それ以外は 200dpi に変換して保存されます。名刺のように、文字を認識するアプリケーションに連携する場合は、読み取り設定を変更せずに、解像度の高いイメージデータを保存できます。

● **検索可能な PDF ファイルを作成できます！**

原稿を読み取ったあとに、自動的に PDF ファイルのテキストを認識して、検索可能な PDF ファイルを作成できます。

また、白黒原稿の文字列に半透明の水性蛍光ペンで線を引き、線を引いた文字列を認識して、PDF ファイルのキーワードに設定できます。

● **書類をダイレクトに、メール添付、印刷できます！**

特定のアプリケーションを起動しなくても、直接メールに添付したり、プリンターで印刷してコピー機代わりに利用したりできます。

● **Windows と Mac OS のどちらでも使えます！**

Windows および Mac OS （*）のどちらでも使用できるため、オフィスワークの利用シーンに合わせて使い分けられます。

＊ ：Mac OS では、以下の機能は使用できません。
- e- スキャンモード
- カラー高圧縮
- 原稿を上向きにしてセットする
- PDF ファイルにパスワードを付ける

● **書類を Word/Excel/PowerPoint 文書に変換できます！** Windows

添付の「ABBYY FineReader for ScanSnap」を使えば、イメージデータを直接、Word/Excel/PowerPoint 文書に変換できます。

- **ScanSnap Organizer と連携すれば、イメージデータの整理や管理ができます！ Windows**
  - キーワードの設定（インテリジェント・インデックス機能）
    キーワードは、以下の方法で設定できます。
    – ページ内の文字列を認識（OCR 処理）してキーワードにする（ゾーン OCR）
    – 任意の文字列をキーワードにする
    – マーカー部分の文字列をキーワードにする（マーカー・インデックス）
    – キーワードリストからドラッグ＆ドロップでキーワードを設定する（キーワード付加）
    設定したキーワードは、サムネイル上にも表示できます（キーワード透かし表示機能）。
  - キーワードで振り分け（キーワード自動仕分け機能）
    ファイルに設定したキーワードを振り分け条件にして、ファイルを任意のフォルダーに振り分けて整理できます。
  - 多彩なファイル検索（サーチ・エンジン選択機能）
    ファイル名、キーワード、テキスト、または日付を検索条件として設定し、目的のファイルを素早く見つけられます。
  - マーカー切り出し（インテリジェント・クロッピング機能）
    ページ上にマーカーペンで囲まれた部分がある場合、その部分の記事を切り出して、スクラップを作成できます。

- **名刺の整理が簡単です！**
  添付の名刺管理アプリケーションを使えば、名刺を簡単にデータ化できます。また、名刺の文字を認識してデータベースを作成できるため、名刺の検索も簡単です。
  添付の名刺管理アプリケーションは以下のとおりです。
  Windows 名刺ファイリング ＯＣＲ
  Mac OS CardMinder

- **レシートを読み取るだけで、支出データを家計簿に入力できます！ Windows**
  添付の「やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap」を使えば、レシートに記載されている店舗名・品名・価格・合計金額などを自動的に家計簿に入力できます。

- **データ化した資料を、みんなで共有できます！ Windows**
  イメージデータを SharePoint および Office Live に直接保存できるので、資料を共有するのに便利です。

- **データ化した資料を、いつでもどこでも参照できます！**
  Evernote、Google ドキュメント、Salesforce Chatter、および SugarSync と連携して、読み取った資料のイメージデータを、コンピュータやスマートフォンでいつでもどこでも参照できます。

● データ化した資料を、モバイル機器に保存できます！

イメージデータを、タブレット型端末やスマートフォンなどのモバイル機器に、直接保存できます。

● 2 つのイメージデータから、見開きのページを作成できます！

2 つのイメージデータの上下または左右を結合して、1 つの見開き状態のイメージデータを作成できます。

● e- 文書法に定める画質の条件を満たすイメージデータを作成できます！

Windows

読み取り方法を e- スキャンモードに切り替えることによって、[Scan] ボタンを押すだけで、e- 文書法（*）の読み取り条件を満たすイメージデータを作成できます（89 ページ）。

* ：e- 文書法とは、民間事業者などに対してこれまで紙による原本保存が義務付けられていた公的文書や書類について、スキャナなどにより電子化したイメージデータを保存文書として容認するという法律です。正式名称は、「民間事業者等が行う書面保存等における情報通信の技術の利用に関する法律」および「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」です。各種文書の電子的保存の実施に当たっては各関連省庁の定める一定の条件に基づいて紙文書を電子化し、管理する必要があります。
これまで企業活動において発生する見積書、注文書、契約書などの帳票は、紙文書のまま保存しておく必要がありましたが、この法律の施行により、これらの紙文書を ScanSnap で読み取り、電子化することにより、保存・管理・運用などのコストを大きく低減できます（紙による原本保存が不要になります）。

- ScanSnap は、財務省令（国税関係帳簿書類の保存方法等の特例に関する法律施行規則の改正に関する）に対応して「e- スキャンモード」による読み取り条件のデフォルトを決めています（2011 年 6 月現在）。e- スキャンモードの読み取り条件のデフォルトについては、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。
  各省庁が規定する最新の読み取り条件に設定する場合は、お客様の責任において実施してください。
  例：厚生労働省ガイドラインでは解像度 300dpi での読み取りが必要
- 読み取った電子ファイルの原本再現性および画質確認（文章の判読不能のないことなど）は、お客様の責任において実施してください。
- 「e- スキャンモード」では、財務省令に対応した画像品質で読み取れます。なお、財務省令では読み取りの「画像品質」のほか「完全性」などについての要件が規定されておりますので、最新の財務省令をご確認のうえ、運用ください。

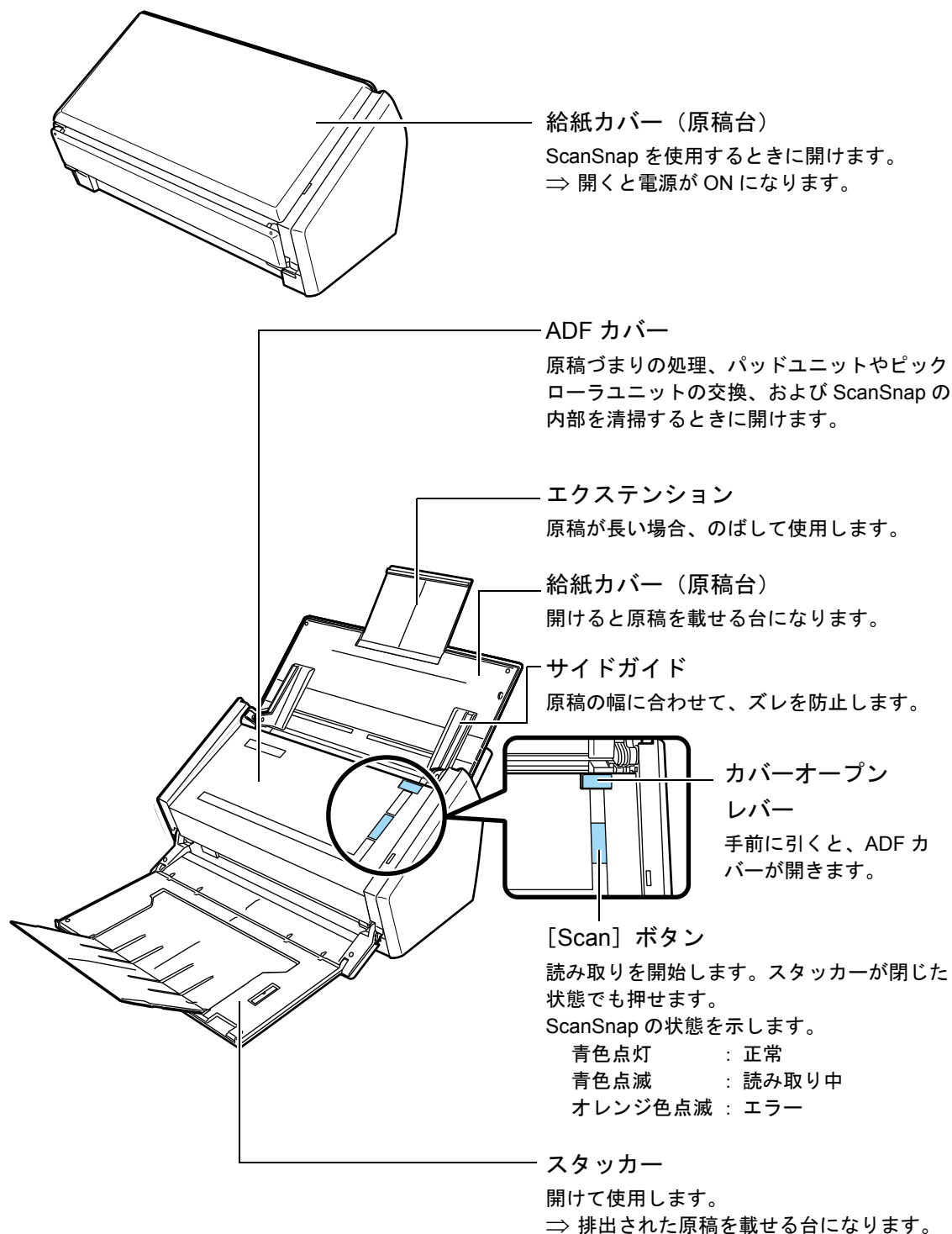
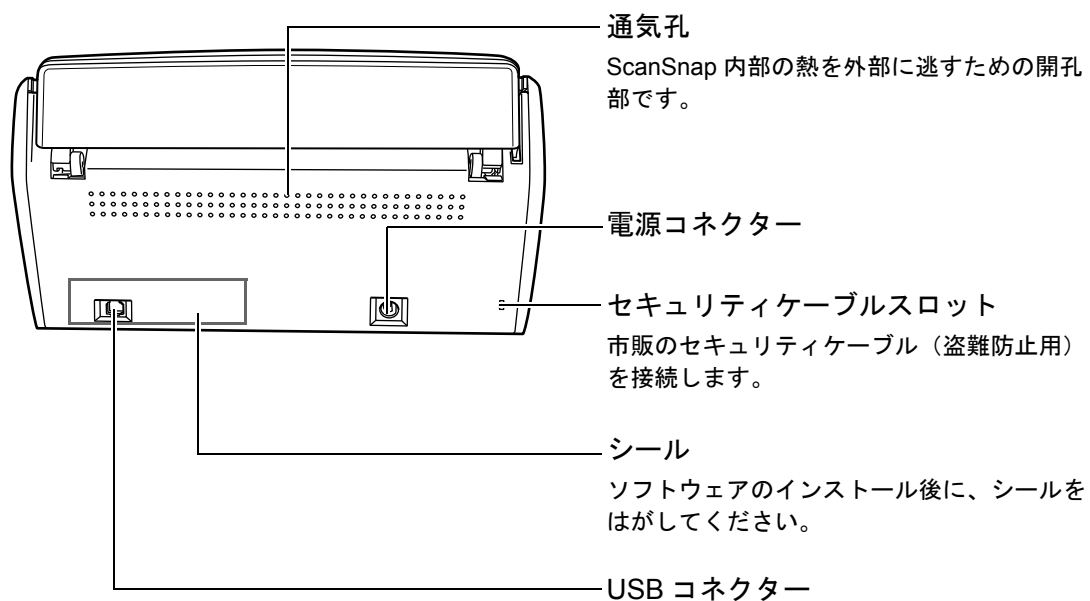
注）ScanSnap は、TWAIN・ISIS・WIA 規格に準拠していません。

各部の名称と働き

ScanSnap の各部の名称と働きについて説明します。

■ 前面

■ 背面

通気孔
ScanSnap 内部の熱を外部に逃すための開孔部です。
電源コネクター
セキュリティケーブルスロット
市販のセキュリティケーブル（盗難防止用）を接続します。
シール
ソフトウェアのインストール後に、シールをはがしてください。
USB コネクター

動作環境

ScanSnap は、以下のシステム条件で動作します。

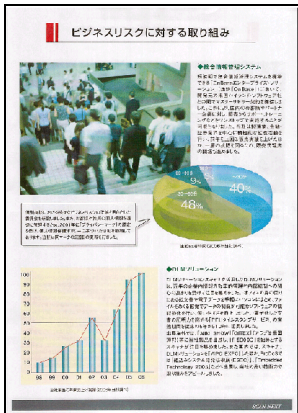
■ Windows

オペレーティングシステム(*1)	Windows 7 (32bit/64bit)	Windows Vista (32bit/64bit)	Windows XP(*2) (32bit)	Windows 2000 (*3)
CPU	Intel® Core™ 2 Duo 2.2GHz 以上推奨(最低:Intel® Pentium® 4 1.8GHz)			
メモリ容量	32bit: 1G バイト以上 64bit: 2G バイト以上	512M バイト以上(1G バイト以上推奨)		
ディスプレイ解像度	800 × 600 ピクセル以上(*4)			
ディスク容量	ScanSnap に添付のソフトウェアをインストールするのに必要なディスク容量は、以下のとおりです。 ● ScanSnap Manager:530M バイト ● ScanSnap Organizer:620M バイト ● 名刺ファイリング OCR:210M バイト ● ABBYY FineReader for ScanSnap:600M バイト ● やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap(*5):330M バイト ● Evernote for Windows:150M バイト ● Scan to Microsoft SharePoint:40M バイト ● Adobe Acrobat X Standard:1130M バイト			
USB ポート(*6)	USB2.0 / USB1.1			

*1 :日本語版のオペレーティングシステムを使用してください。
*2 :Service Pack 2 以降が適用されている必要があります。
*3 :Service Pack 4 以降が適用されている必要があります。
やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap、Evernote for Windows、および Adobe Acrobat X Standard は未サポートです。
*4 :フォント サイズが大きい場合、一部の画面が正常に表示されないことがあります。
この場合は、フォント サイズを小さくして使用してください。
*5 :ディスク容量以外の動作環境については、やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap 操作説明書の「9. スペック / 動作環境」を参照してください。
*6 :USB ポートが USB3.0 の場合は、USB2.0 で動作します。

- ScanSnap Manager、ScanSnap Organizer、または名刺ファイリング ＯＣＲ をインストールする際に、以下のアプリケーションが同時にインストールされることがあります。
  Windows Vista の場合
    - .NET Framework 3.5 SP1 （最大 500M バイトのディスク容量が必要）

  Windows XP の場合
  - Service Pack 3 以降適用済みの場合
    - .NET Framework 3.5 SP1 （最大 500M バイトのディスク容量が必要）
  - Service Pack 2 適用済みの場合
    - Windows Installer 3.1（30M バイトのディスク容量が必要）
    - .NET Framework 3.5 SP1 （最大 500M バイトのディスク容量が必要）
- やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap または Scan to Microsoft SharePoint をインストールする際に、以下のアプリケーションが同時にインストールされることがあります。
  Windows XP の場合
  - Service Pack 3 以降適用済みの場合
    - .NET Framework 2.0 （280M バイトのディスク容量が必要）
  - Service Pack 2 適用済みの場合
    - Windows Installer 3.1（30M バイトのディスク容量が必要）
    - .NET Framework 2.0（280M バイトのディスク容量が必要）

  Windows 2000 の場合
    - Windows Installer 3.1（30M バイトのディスク容量が必要）
    - .NET Framework 2.0 （280M バイトのディスク容量が必要）

- キーボードやモニタの USB ポートを使用すると、ScanSnap が動作しない場合があります。
- 市販の USB ハブを使用する場合は、電源（AC アダプター）付きのタイプを使用してください。
- 推奨値に満たない CPU やメモリ容量､および USB ポートや USB ハブのタイプが USB1.1 の場合は、原稿の読み取り速度が低下します。
- Windows システムのディスク管理によって、ソフトウェアのインストール後に増加するディスクの使用容量と、インストールに必要なディスク容量が異なる場合があります。
- 原稿の読み取り時には、保存されるファイルサイズの約 3 倍のディスク容量が必要です。
- 以下の機能の使用時に、文字が正しく表示されない場合、
  - モバイルに保存
  - Salesforce Chatter に投稿

  以下の対応を行ってください。
  - Windows XP の場合
    - 「コントロール パネル」→「地域と言語のオプション」→［言語］タブの「東アジア言語のファイルをインストールする」をチェックします。
    - Microsoft Office 2000 またはそれ以降のセットアップディスクから、ユニバーサルフォント（Arial Unicode MS）をインストールします。
  - Windows Vista または Windows 7 の場合
    Microsoft Office 2003 またはそれ以降のセットアップディスクから、ユニバーサルフォント（Arial Unicode MS）をインストールします。

カラー原稿 1 枚を片面で読み取ったときのファイルサイズの目安は、以下のとおりです。

ファイル形式	圧縮率	原稿サイズ
PDF	3	A4（一般カタログ）

イメージデータサイズの目安（K バイト）

カラーモードの選択	自動解像度	ノーマル	ファイン	スーパーファイン	エクセレント
カラー	438.4	295.1	442.4	859.3	2921.4
グレー	393.4	264.3	390.0	753.1	2500.4
白黒	175.8	112.0	183.5	352.1	1630.2
カラー高圧縮	209.8	164.2	222.5	156.8	―

■ Mac OS

オペレーティングシステム（*1）	Mac OS X v10.7	Mac OS X v10.6	Mac OS X v10.5	Mac OS X v10.4（*2）
CPU（*3）	Intel® Core™ 2 Duo 2.4GHz 以上推奨 （最低：Intel® Core™ Duo 1.83GHz、PowerPC® G5 1.6GHz）			
メモリ容量	2G バイト以上	1G バイト以上	512M バイト以上（1G バイト以上推奨）	
ディスプレイ解像度	1024 × 768 ピクセル以上			
ディスク容量	ScanSnap に添付のソフトウェアをインストールするのに必要なディスク容量は、以下のとおりです。 ● ScanSnap Manager：420M バイト ● CardMinder：60M バイト ● Evernote for Mac：55M バイト ● Adobe Acrobat 9 Pro（*4）：1540M バイト			
USB ポート（*5）	USB2.0 / USB1.1			

*1 ：Mac OS に最新のアップデートを適用することを推奨します。
*2 ：Evernote for Mac は未サポートです。Evernote for Mac は、Mac OS X v10.5.8 以降で動作します。
*3 ：CardMinder は Intel® プロセッサ搭載の Mac で動作します。
*4 ：Mac OS X v10.7 でご使用になる場合は、Mac OS X v10.7 に対応した版数の Adobe Acrobat が必要です。
Adobe Acrobat の Mac OS X v10.7 正式対応については、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）ホームページにてご確認ください。
*5 ：USB ポートが USB3.0 の場合は、USB2.0 で動作します。

- キーボードやモニタの USB ポートを使用すると、ScanSnap が動作しない場合があります。
- 市販の USB ハブを使用する場合は、電源（AC アダプター）付きのタイプを使用してください。
- 推奨値に満たない CPU やメモリ容量、および USB ポートや USB ハブのタイプが USB1.1 の場合は、原稿の読み取り速度が低下します。
- 原稿の読み取り時には、保存されるファイルサイズの約 3 倍のディスク容量が必要です。

カラー原稿 1 枚を片面で読み取ったときのファイルサイズの目安は、以下のとおりです。

ファイル形式	圧縮率	原稿サイズ
PDF	3	A4（一般カタログ）

イメージデータサイズの目安（K バイト）

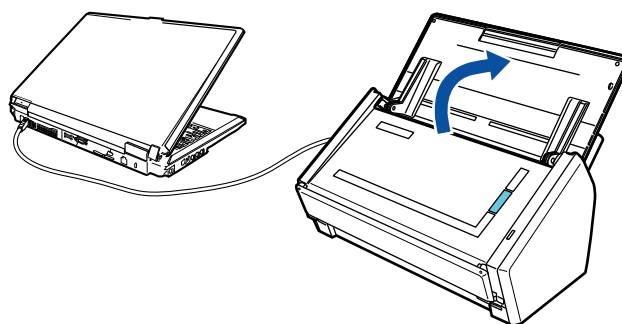
カラーモードの選択	自動解像度	ノーマル	ファイン	スーパーファイン	エクセレント
カラー	438.4	295.1	442.4	859.3	2921.4
グレー	393.4	264.3	390.0	753.1	2500.4
白黒	175.8	112.0	183.5	352.1	1630.2

電源の ON/OFF

ScanSnap の電源の ON/OFF について説明します。
ScanSnap の電源は、コンピュータの電源と連動しています。そのため、コンピュータに接続したままにしておけば、電源の ON/OFF を意識する必要はありません。

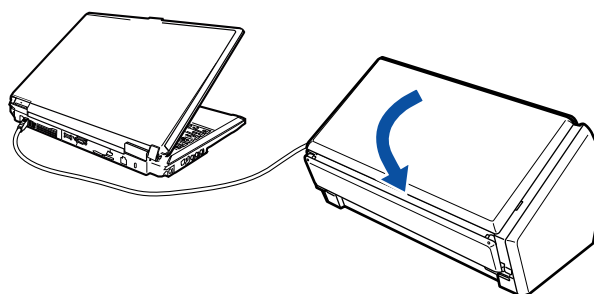
● ScanSnap の電源を ON にするには

コンピュータの電源が ON の状態で、給紙カバー（原稿台）を開けます。

ScanSnap の電源が ON になると、［Scan］ボタンが青色で点滅します。原稿の読み取りが可能になると点灯に切り替わります。

使用しているコンピュータによっては、コンピュータ起動時に、ScanSnap の初期化動作が数回行われる場合があります。

● ScanSnap の電源を OFF にするには

コンピュータの電源を OFF にする、または給紙カバー（原稿台）を閉じます。

ScanSnap の電源が OFF になると、［Scan］ボタンが消灯します。

- 給紙カバー（原稿台）を閉じる前に、エクステンションを収納してください。
- スタッカーを収納する際、スタッカーが ADF カバーに対して浮かないように注意してください。スタッカーが浮いた状態で給紙カバー（原稿台）を閉じると、電源が OFF になりません。
- 使用しているコンピュータによっては、コンピュータの電源を OFF にしてから、ScanSnap の［Scan］ボタンが消灯するまでに、2 ～ 3 分かかる場合があります。

- **ScanSnap のスリープ状態について**

ScanSnap の電源が ON の状態で、動作せずに 15 分が経過すると、スリープ状態（節電状態）になります。
スリープ状態になると、ScanSnap 内部のランプが点滅します。

読み取りできる原稿

ScanSnap で読み取りできる原稿について説明します。

■ 読み取りできる原稿の条件

ScanSnap で読み取りできる原稿の条件は、以下のとおりです。

	通常の読み取り	Windows e- スキャンモード
原稿の種類	一般的なオフィス用紙、はがき、名刺	
原稿の紙厚	52 ～ 127g/m^2（45 ～ 110kg/ 連）	
原稿のサイズ	幅　：50.8 ～ 216 mm（2 ～ 8.5 インチ） 長さ：50.8 ～ 360 mm（2 ～ 14.17 インチ） 長尺原稿の読み取り時最大（*） 216 × 863mm（8.5 × 34 インチ）	幅　：50.8 ～ 210 mm（2 ～ 8.26 インチ） 長さ：50.8 ～ 360 mm（2 ～ 14.17 インチ）

* ：ScanSnap の［Scan］ボタンを 3 秒以上押すと、読み取りが開始されます。

- 鉛筆書きの原稿を読み取る場合は、原稿に黒い跡が転写される可能性があるため、A3 キャリアシートにセットして読み取ることを推奨します。A3 キャリアシートにセットせずに直接読み取ると、ローラー類のよごれや、原稿送り不良の原因となるため、できる限り頻繁にローラーを清掃してください。
  清掃方法については、「ScanSnap 内部の清掃」（453 ページ）を参照してください。
- 以下のような原稿は、使用しないでください。
  - クリップ、ステープラーの針などが付いているもの（外してから使用してください。）
  - インクの乾いていないもの（十分乾かしてから使用してください。）
  - 幅 216mm、長さ 863mm より大きいもの
  - 布地、金属シート、OHP シート、プラスチックカードなどの紙以外のもの
- 写真付きはがきを読み取ると、写真面を傷付ける場合があります。写真付きはがきの読み取りは、お客様の責任で行ってください。
- 以下のような原稿は、直接 ScanSnap にセットして読み取ると、原稿を傷付けたり、正常に読み取れなかったりすることがあります。A3 キャリアシートにセットして読み取ることを推奨します。
  - 幅 50.8mm、長さ 50.8mm より小さいもの
  - 52g/m^2（45kg/ 連）より薄いもの
  - 紙厚の不均一なもの（封筒や切り貼りされた用紙）
  - シワやカールの大きなもの
  - 折れ、破れのあるもの
  - トレーシング紙
  - コーティングが施されているもの
  - 写真（印画紙）
  - ミシン目加工がされているもの
  - 四角形以外の異形用紙
  - 裏カーボン紙、感熱紙
  - メモ用紙や付箋などが貼り付けられたもの

- ノーカーボン紙はパッドユニットやローラー類（ピックローラユニットなど）を傷めるような化学物質を含んでいる可能性があります。ノーカーボン紙を読み取る場合は、以下のことに注意してください。
  - A3 キャリアシートにセットして読み取ることを推奨します。
  - A3 キャリアシートにセットせずに直接読み取る場合は、ScanSnap の性能を維持するために、できる限り頻繁にローラーを清掃してください。なお、ノーカーボン紙の種類によっては、一般的なオフィス用紙を読み取った場合に比べて、装置寿命が短くなる場合があります。

Windows
- e- スキャンモードで読み取る場合は、幅 210mm より大きいサイズを設定できません。

■ A3 キャリアシートを使用する場合の条件

添付の A3 キャリアシートは、原稿搬送用シートです。
A3 キャリアシートを使用すると、A4 サイズより大きい原稿または写真や切り抜きなどの原稿を読み取れます。
A3 キャリアシートを使用して読み取る原稿の条件は、以下のとおりです。

⚠ 注意

- 破損した A3 キャリアシートは使用しないでください。ScanSnap が破損または故障する可能性があります。
- A3 キャリアシートを取り扱う際には、A3 キャリアシートの縁で手を切るなどのけがをしないように注意してください。

原稿の種類	ScanSnap に直接セットして読み取りできない原稿
原稿の紙厚	127g/m^2（～ 110kg/ 連）まで 2 つ折りにして読み取る場合 63.5g/m^2（55kg/ 連）まで
原稿のサイズ	A3 キャリアシートサイズ（216 × 297mm） A3（297 × 420mm）（*） A4（210 × 297mm） A5（148 × 210mm） A6（105 × 148mm） B4（257 × 364mm）（*） B5（182 × 257mm） B6（128 × 182mm） はがき（100 × 148mm） 名刺（90 × 55mm、55 × 90mm） レター（8.5 × 11 インチ（216 × 279.4mm）） 11 × 17 インチ（279.4 × 431.8mm）（*） 写真 E 版 （83 × 117mm、117 × 83mm） 写真 L 版 （89 × 127mm、127 × 89mm） 写真 LL 版 （127 × 178mm、178 × 127mm） カスタムサイズ 幅 : 25.4 ～ 216mm（1 ～ 8.5 インチ） 長さ : 25.4 ～ 297mm（1 ～ 11.69 インチ）

* : 2 つ折りにして読み取ります。

- A3 キャリアシートの先端にある白黒のパターン部分をよごしたり、切り取ったりしないでください。A3 キャリアシートを正しく認識できなくなります。
- A3 キャリアシートの上下を逆向きにして、ScanSnap にセットしないでください。原稿づまりが発生して、A3 キャリアシートを破損するおそれがあります。
- 原稿を、A3 キャリアシートにセットしたまま長期間放置しないでください。原稿の印刷インキが A3 キャリアシートに転写する場合があります。
- A3 キャリアシートを、直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないでください。また、高温環境下で A3 キャリアシートを使用しないでください。A3 キャリアシートが変形するおそれがあります。
- A3 キャリアシートを折り曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- A3 キャリアシートは、変形を避けるため、できるだけ水平な場所で、重量のかからない状態で保管してください。

- A3 キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を複数枚並べて読み取ると、原稿づまりが発生する可能性があります。A3 キャリアシートには、1 枚ずつ原稿をセットして読み取ることを推奨します。
- 原稿づまりが頻繁に発生するときは、PPC 用紙（再生紙）を 50 枚ほど連続給紙したあとに、A3 キャリアシートの読み取りを行ってください。PPC 用紙（再生紙）は、印刷済みのものでも無地のものでもかまいません。

- A3 キャリアシートを使用して e- スキャンモードで読み取る場合は、常に 220 × 306mm のサイズで保存されます。

原稿のセット方法

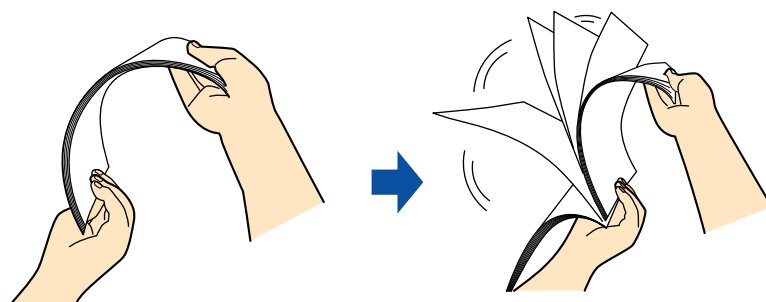
原稿を ScanSnap にセットする方法は、以下のとおりです。
セットできる原稿の条件については、「読み取りできる原稿」（30 ページ）を参照してください。

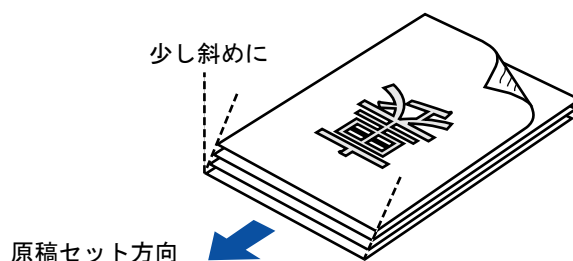
1. 原稿枚数を確認します。

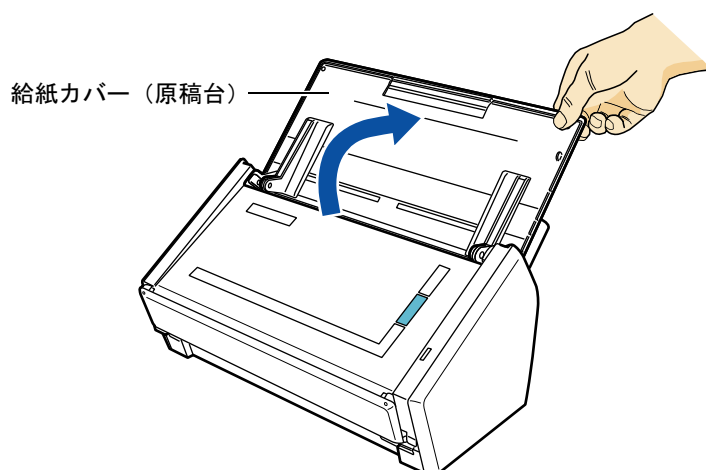
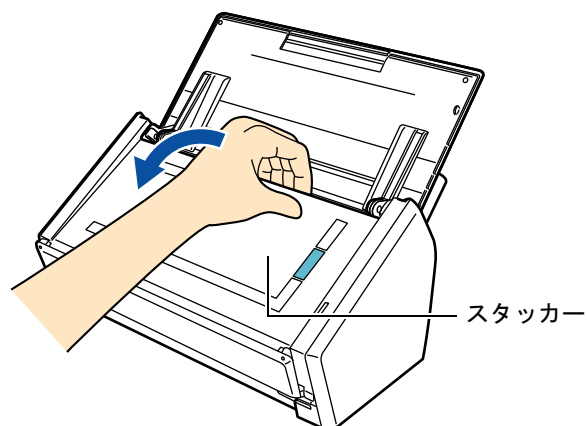
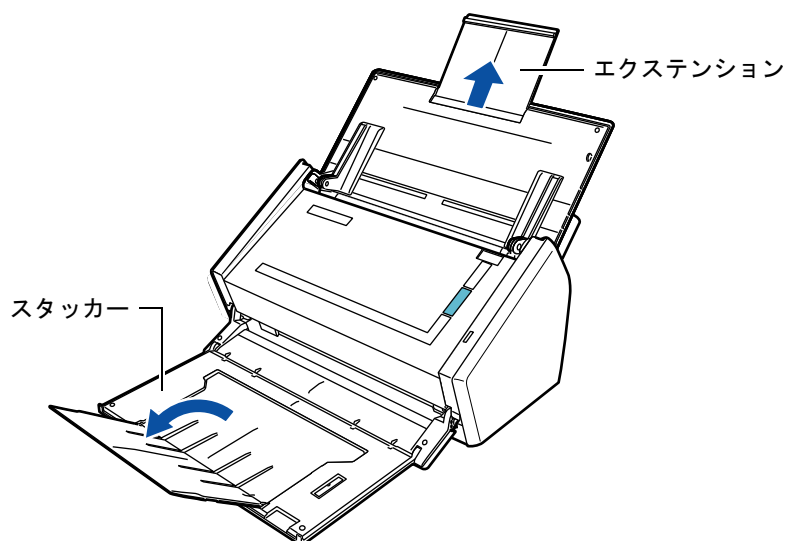
セットする原稿枚数の目安は、以下のとおりです。
A4 サイズ以下の場合、原稿の厚みが 5mm 以下になる枚数
（80g/m^2 用紙で 50 枚）

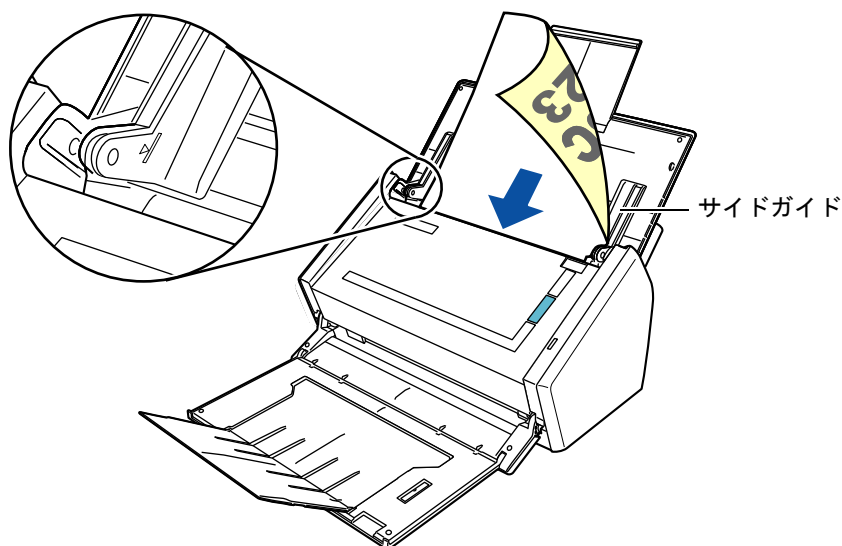
セットできる枚数より多くの原稿を読み取ると、以下のような不具合が発生する可能性があります。
- ファイルサイズが大きくなりすぎ、正常にファイルを作成できなくなることがあります。
- 読み取り中に原稿がつまることがあります。

2. 複数枚の原稿をセットする場合は、原稿をさばきます。

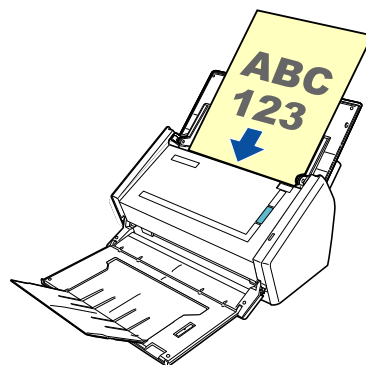
1. 両手で原稿の両端を軽くつかみ、2 ～ 3 回さばきます。

2. 原稿の向きを 90 度回転し、同じようにさばきます。

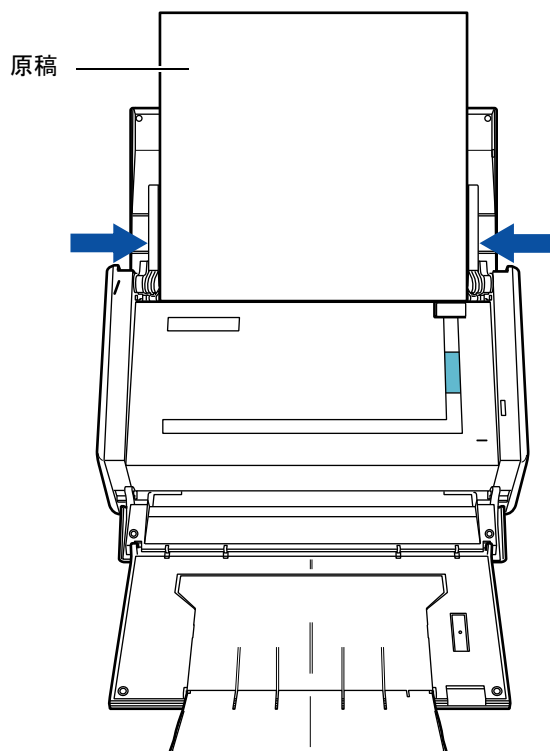
3. セットする原稿の両端をそろえて、原稿の先端を少し斜めにずらします。

原稿の両端をそろえずに読み取ると、原稿づまり、または原稿の破損の原因となります。

4. ScanSnap の給紙カバー（原稿台）を開けます。

5. ADF カバーの上に載っているスタッカーを持ち、手前に開けます。

6. 給紙カバー（原稿台）のエクステンションをのばして、スタッカーを起こします。

7. 給紙カバー（原稿台）の上に原稿をセットします。

原稿の裏面（複数枚ある場合は最終ページ）を手前、上端を下向きにしてセットします。原稿の厚みが、サイドガイド内側に刻まれた目盛りを超えないように、原稿の枚数を調節してください。

- スタッカーには、50 枚（80g/m^2 用紙）以上の原稿をためないでください。

Windows

- タスク バーにあるScanSnap Managerのアイコンを右クリック→「Scan ボタンの設定」→［詳細］ボタンをクリックし、「読み取りモード」タブ→［オプション］ボタン→「読み取りモードオプション」画面→「原稿を上向きにしてセットします」チェックボックスにチェックが付いている場合は、原稿の表面を手前側、先端を上向きにしてセットしてください。
  Windows 7 の場合は、タスク バーのをクリックして表示されるメニューに、ScanSnap Manager のアイコンが表示されます。

8. 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。

サイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。
サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が斜めに読み取られることがあります。

原稿の読み取り操作の流れ

原稿を読み取る操作の流れについて説明します。
ScanSnap には、以下の読み取り方法があります。使用目的に合わせて、使いやすい方法で使用してください。

＜通常の読み取り＞

● クイックメニューを使用する場合

ScanSnap を初めて使用する方でも、画面の表示に従って各種機能を簡単に使える読み取り方法です。
原稿を読み取ったあとに、連携するアプリケーションをクイックメニューから選択します。
読み取り方法の詳細については、以下を参照してください。

– Windows の場合（→ 79 ページ）
– Mac OS の場合（→ 294 ページ）

● クイックメニューを使用しない場合

事前に設定された読み取り条件に従って、原稿を読み取る方法です。
原稿を読み取る前に、連携するアプリケーションが設定されている読み取り設定を選択します。選択した読み取り設定の読み取り条件に従って原稿が読み取られます。
読み取り方法の詳細については、以下を参照してください。

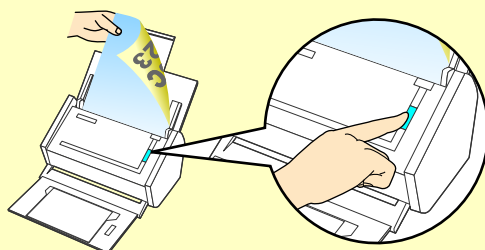
– Windows の場合（→ 85 ページ）
– Mac OS の場合（→ 299 ページ）

クイックメニューを使用するかどうかは、ScanSnap 設定画面の「クイックメニューを使用する」チェックボックスで切り替えます。
ScanSnap 設定画面の表示方法は、以下のとおりです。

Windows

タスク バーにある ScanSnap Manager のアイコン を右クリック→「Scan ボタンの設定」を選択します。
Windows 7 の場合は、タスク バーの をクリックして表示されるメニューに、ScanSnap Manager のアイコン が表示されます。

Mac OS

キーボードの「control」キーを押しながら、Dock にある ScanSnap Manager のアイコン をクリック→「設定」を選択します。

＜ e- スキャンモード＞ Windows

原稿を、e- 文書として保管する場合の読み取り方法です。

e- 文書法に基づいて読み取ります。

読み取り方法の詳細および e- 文書法については、「e- スキャンモードの場合」(89 ページ) を参照してください。

ソフトウェアのインストール

ここでは、ScanSnap に添付されているソフトウェアの概要およびインストール方法について説明します。

添付ソフトウェアの概要

各ソフトウェアの概要や機能について説明します。これらのソフトウェアを使用して、イメージデータを編集したり、管理・整理したりできます。

- **ScanSnap Manager**

  ScanSnap で原稿を読み取るために必要なスキャナドライバです。読み取った原稿のイメージデータを PDF ファイルまたは JPEG ファイルとして保存できます。
  モバイル機器に PDF ファイルおよび JPEG ファイルを保存する場合は、モバイル機器に ScanSnap Connect Application をインストールする必要があります。
  モバイル機器用の ScanSnap Connect Application は、アプリケーションマーケットからダウンロードできます。

- **ScanSnap Organizer** Windows

  イメージデータ（PDF ファイルおよび JPEG ファイル）を開かずに閲覧したり、目的別にフォルダーを作成してファイルを整理したりできます。

- **名刺ファイリング ＯＣＲ** Windows

  大量の名刺を効率よくデータ化できます。
  また、名刺の文字を認識してデータベースを作成するため、名刺データの管理や検索が簡単にできます。データベースのデータは、印刷したり、様々なアプリケーションに連携したり、インターネットに接続して会社情報 / 株価情報 / 地図情報 / 天気情報を参照したりできます。

- **CardMinder** Mac OS

  大量の名刺を効率よくデータ化できます。
  また、名刺の文字を認識してデータベースを作成するため、名刺データの管理や検索が簡単にできます。
  データベースのデータは、PIM（Personal Information Manager：個人情報管理アプリケーション）と共有できます。PIM には、アドレスブックがあります。

- **ABBYY FineReader for ScanSnap** Windows

  イメージデータをテキスト認識（Optical Character Recognition：光学式文字認識）して、編集可能な Word/Excel/PowerPoint 文書に変換できます。

- **やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap** Windows

  レシートの文字を認識して、店舗名・品名・価格・合計金額などを自動的に家計簿に入力できます。

- **Evernote for Windows** Windows **/ Evernote for Mac** Mac OS

  ScanSnap を使用して、簡単な操作で Evernote にファイルを保存できます。

- **Scan to Microsoft SharePoint** Windows

  ScanSnap を使用して、簡単な操作で SharePoint および Office Live にファイルを保存できます。

- **楽^2 ライブラリ パーソナル体験版** Windows

  実物のバインダーに紙文書をファイリングするのと同じ感覚で、電子化された紙文書（電子文書）やコンピュータで作成された電子データの統合管理ができます。

- **Adobe Acrobat X Standard** Windows **（*1）/ Adobe Acrobat 9 Pro** Mac OS **（*2）**

  PDF 形式の電子文書を作成・編集・管理・活用するための業界標準アプリケーションです。

  *1：S1500 に添付されます。
  *2：S1500M に添付されます。

なお、Setup DVD-ROM から以下のソフトウェアをダウンロードできます。

- **SugarSync Manager for Windows** Windows **/ SugarSync Manager for Mac** Mac OS

  ScanSnap を使用して、簡単な操作で SugarSync の同期フォルダーにファイルを保存できます。

Windows にインストールします

Windows で ScanSnap をお使いになる場合のインストール方法について説明します。

■ ソフトウェアをインストールするには

ソフトウェアのインストールは、Setup DVD-ROM をコンピュータの DVD-ROM ドライブにセットすると表示される「ScanSnap Setup」画面から行います。

「ScanSnap Setup」画面の各ボタンの機能は、以下のとおりです。

ボタン名	機能
お読みください	「Readme」画面が表示されます。ソフトウェアの Readme を参照できます。
インストール	「Install Products」画面が表示されます。 ● ［ScanSnap］ボタン 以下のソフトウェアのインストールが開始されます。 - ScanSnap Manager - ScanSnap Organizer - 名刺ファイリング ＯＣＲ - ABBYY FineReader for ScanSnap ● ［やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap］ボタン やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap のインストールが開始されます。 ● ［Evernote］ボタン Evernote for Windows のインストールが開始されます。 ● ［SugarSync］ボタン SugarSync Manager for Windows のダウンロードページが表示されます。 ● ［Scan to Microsoft SharePoint］ボタン Scan to Microsoft SharePoint のインストールが開始されます。

ボタン名	機能
取扱説明書	「Manuals」画面が表示されます。ソフトウェアのマニュアルおよび困ったときには（インストール編）を参照できます。
DVD の内容を見る	DVD-ROM に格納されているファイルが、エクスプローラで表示されます。
サポート	お問い合わせ窓口の情報が表示されます。
ユーザー登録	ScanSnap の「ユーザー登録」のホームページ（http://scansnap.fujitsu.com/jp/user-registration/）が表示されます。
体験版ソフトウェア	「Trial Software」画面が表示されます。体験版ソフトウェアのインストールを開始できます。

■ ScanSnap のソフトウェアをインストールします

ソフトウェアのインストールと同時にユーザー登録を行う場合は、インターネットに接続できる環境が必要です。

以下のソフトウェアをインストールします。

- ScanSnap Manager
- ScanSnap Organizer
- 名刺ファイリング ＯＣＲ
- ABBYY FineReader for ScanSnap

インストール方法は、以下のとおりです。

1. コンピュータの電源を ON にして、コンピュータの管理者（Administrators）権限を持つユーザーでログオンします。

2. Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。

⇒「ScanSnap Setup」画面が表示されます。

「ScanSnap Setup」画面が表示されない場合は、エクスプローラで、Setup DVD-ROM 内の「ScanSnap.exe」をダブルクリックしてください。

3. [インストール］ボタンをクリックします。

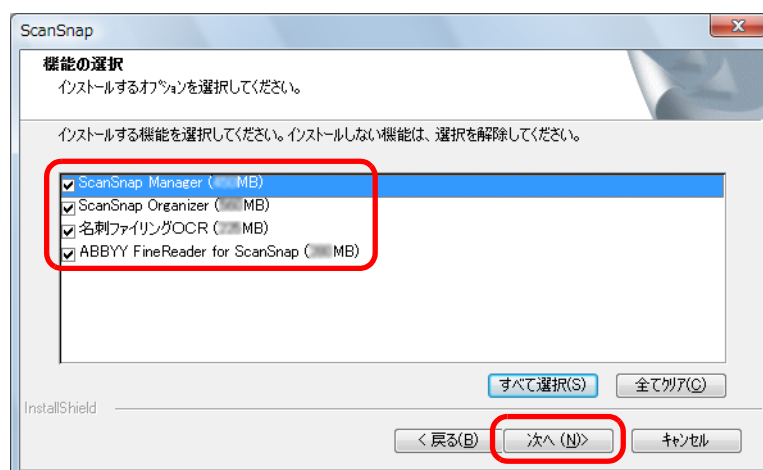
⇒「Install Products」画面が表示されます。

4. [ScanSnap] ボタンをクリックします。

⇒「ScanSnap」画面（「ScanSnap セットアップへようこそ」）が表示されます。

5. [次へ] ボタンをクリックします。

⇒「機能の選択」が表示されます。

6. インストールしたいソフトウェア名にチェックが付いていることを確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

- チェックが外れているソフトウェアはインストールされません。
- ScanSnap Manager は必ずインストールしてください。また、ScanSnap の機能を活用するために、すべてのソフトウェアをインストールすることを推奨します。

⇒「インストール先の選択」が表示されます。

7. インストール先を確認して、［次へ］ボタンをクリックします。

⇒ 使用許諾契約についての同意確認画面が表示されます。

8. 「使用許諾契約」を読み、同意する場合は「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

インストールするソフトウェアの数によって、この操作が数回必要な場合があります。

⇒「ファイル コピーの開始」が表示されます。

9. 設定内容を確認し、［次へ］ボタンをクリックします。

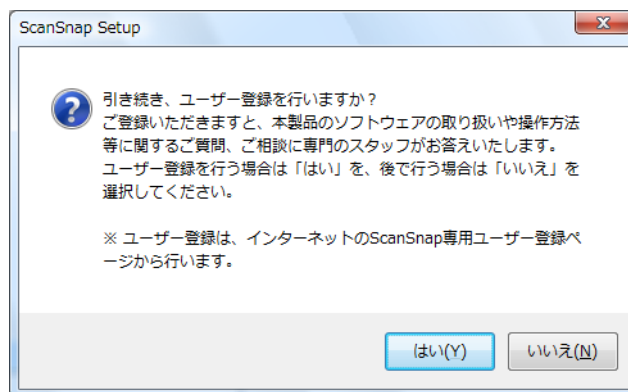
⇒ インストールが開始されます。インストールが完了すると、「InstallShield Wizard の完了」が表示されます。

10. ［完了］ボタンをクリックします。

⇒ ユーザー登録確認のメッセージが表示されます。

11. ユーザー登録するかしないかを選択します。

［はい］ボタンをクリックすると、Web ブラウザが起動され、ホームページからユーザー登録できます。すでにユーザー登録済みの場合や、あとでユーザー登録する場合は、［いいえ］ボタンをクリックしてください。

ユーザー登録するには、インターネットに接続する環境が必要です。
ソフトウェアのインストール後にユーザー登録する場合は、以下のどちらかの方法で登録してください。

- ホームページの「ユーザー登録」から登録する。
  http://scansnap.fujitsu.com/jp/
- Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットすると表示される、「ScanSnap Setup」画面の［ユーザー登録］ボタンから登録する。

12.Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブから取り出します。

インストールが正常に完了しない場合は、「ScanSnap Setup」画面から、［取扱説明書］ボタン→［困ったときには（インストール編)］ボタンをクリックして、困ったときには（インストール編）を参照してください。

■ やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap をインストールします

インストール方法は、以下のとおりです。

やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap の動作環境、インストール方法の詳細、および使い方については、やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap 操作説明書を参照してください。やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap 操作説明書は、「Manuals」画面の［やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap］ボタンをクリックすると表示されます。

1. コンピュータの電源を ON にして、コンピュータの管理者（Administrators）権限を持つユーザーでログオンします。

2. Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。

⇒「ScanSnap Setup」画面が表示されます。

「ScanSnap Setup」画面が表示されない場合は、エクスプローラで、DVD-ROM 内の「ScanSnap.exe」をダブルクリックしてください。

3. ［インストール］ボタンをクリックします。

⇒「Install Products」画面が表示されます。

4. ［やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap］ボタンをクリックします。

⇒ インストールが開始されます。

5. 画面の指示に従ってインストールします。

6. インストールの完了を通知する画面が表示されたら、［完了］ボタンをクリックします。

7. Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブから取り出します。

■ Evernote for Windows をインストールします

インストール方法は、以下のとおりです。

1. **コンピュータの電源を ON にして、コンピュータの管理者（Administrators）権限を持つユーザーでログオンします。**

2. **Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。**

⇒「ScanSnap Setup」画面が表示されます。

「ScanSnap Setup」画面が表示されない場合は、エクスプローラで、DVD-ROM 内の「ScanSnap.exe」をダブルクリックしてください。

3. **［インストール］ボタンをクリックします。**

⇒「Install Products」画面が表示されます。

4. ［Evernote］ボタンをクリックします。

⇒ インストールが開始されます。

5. 画面の指示に従ってインストールします。

6. インストールの完了を通知する画面が表示されたら、［完了］ボタンをクリックします。

7. Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブから取り出します。

■ SugarSync Manager for Windows をインストールします

SugarSync Manager for Windows をインストールするには、インターネットに接続できる環境が必要です。

インストール方法は、以下のとおりです。

1. **コンピュータの電源を ON にして、コンピュータの管理者（Administrators）権限を持つユーザーでログオンします。**

2. **Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。**

⇒「ScanSnap Setup」画面が表示されます。

「ScanSnap Setup」画面が表示されない場合は、エクスプローラで、DVD-ROM 内の「ScanSnap.exe」をダブルクリックしてください。

3. **［インストール］ボタンをクリックします。**

⇒「Install Products」画面が表示されます。

4. ［**SugarSync**］ボタンをクリックします。

⇒ Web ブラウザが起動され、SugarSync Manager for Windows のダウンロードページが表示されます。
SugarSync Manager for Windows をダウンロードし、インストールしてください。

5. **インストールが完了したら、Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブから取り出します。**

■ Scan to Microsoft SharePoint をインストールします

インストール方法は、以下のとおりです。

動作環境およびインストール時の注意事項については、Scan to Microsoft SharePoint の Readme を参照してください。Readme は、「Readme」画面の［Scan to Microsoft SharePoint］ボタンをクリックすると表示されます。

1. **コンピュータの電源を ON にして、コンピュータの管理者（Administrators）権限を持つユーザーでログオンします。**

2. **Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。**

⇒「ScanSnap Setup」画面が表示されます。

「ScanSnap Setup」画面が表示されない場合は、エクスプローラで、DVD-ROM 内の「ScanSnap.exe」をダブルクリックしてください。

3. **［インストール］ボタンをクリックします。**

⇒「Install Products」画面が表示されます。

4. ［Scan to Microsoft SharePoint］ボタンをクリックします。

⇒ インストールが開始されます。

5. 画面の指示に従ってインストールします。

6. インストールの完了を通知する画面が表示されたら、［完了］ボタンをクリックします。

7. Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブから取り出します。

Scan to Microsoft SharePoint の使い方については、ユーザーズガイドを参照してください。
ユーザーズガイドは、「Manuals」画面の［Scan to Microsoft SharePoint］ボタンをクリックすると表示されます。

■ 体験版ソフトウェアをインストールします

インストール方法は、以下のとおりです。

動作環境およびインストールに関する詳細については、体験版ソフトウェアの Readme を参照してください。Readme は、「Trial Software」画面の体験版ソフトウェア名ボタンをクリックして表示される画面で、［お読みください］ボタンをクリックすると表示されます。

1. コンピュータの電源を ON にして、コンピュータの管理者（Administrators）権限を持つユーザーでログオンします。

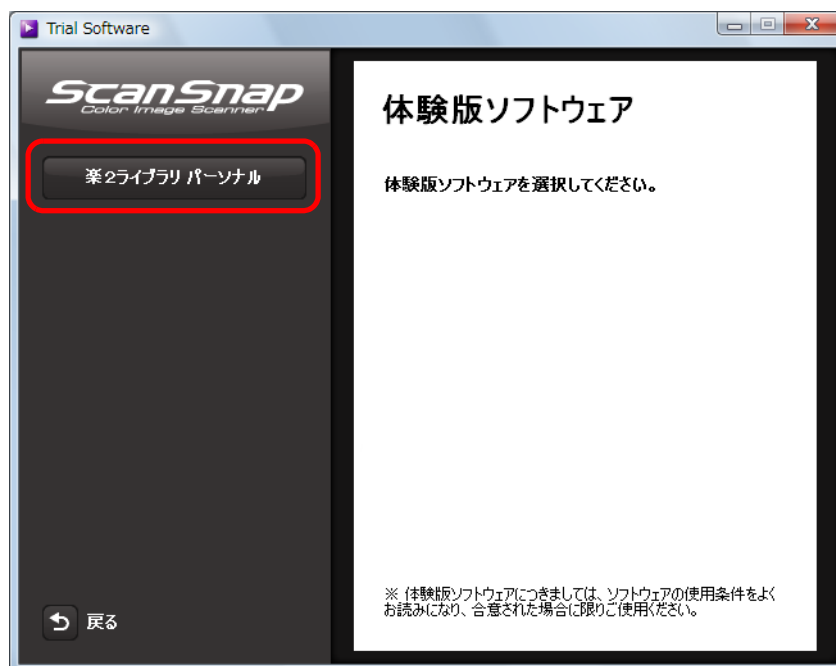
2. Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。

⇒「ScanSnap Setup」画面が表示されます。

「ScanSnap Setup」画面が表示されない場合は、エクスプローラで、DVD-ROM 内の「ScanSnap.exe」をダブルクリックしてください。

3. ［体験版ソフトウェア］ボタンをクリックします。

⇒「Trial Software」画面が表示されます。

4. インストールする体験版ソフトウェアのボタンをクリックします。

⇒「（体験版ソフトウェア名）Setup」画面が表示されます。

5. ［インストール］ボタンをクリックします。

⇒ インストールが開始されます。

6. 画面の指示に従ってインストールします。

7. インストールの完了を通知する画面が表示されたら、［完了］ボタンをクリックします。

8. Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブから取り出します。

体験版ソフトウェアの使い方については、マニュアルを参照してください。マニュアルは、「（体験版ソフトウェア名）Setup」画面の［取扱説明書］ボタンをクリックすると表示されます。

■ Adobe Acrobat をインストールします

インストール方法は、以下のとおりです。

- Windows 版の Adobe Acrobat DVD-ROM は、S1500 に添付されています。
- Adobe Acrobat は、以下のオペレーティングシステムでご使用いただけます。
  - Windows 7
  - Windows Vista（Service Pack 2 以降が適応されている必要があります）
  - Windows XP（Service Pack 3 以降が適応されている必要があります）

  さらに、以下の条件が必要です。
  - Internet Explorer 7.0 以降 / Firefox 3.5 以降
  - 1024 × 576 以上の画面解像度

Adobe Acrobat は、ScanSnap と連携してイメージデータを表示できます。お使いのコンピュータに、すでに最新版の Adobe Acrobat がインストールされている場合は、あらためてインストールする必要はありません。

1. Adobe Acrobat DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。

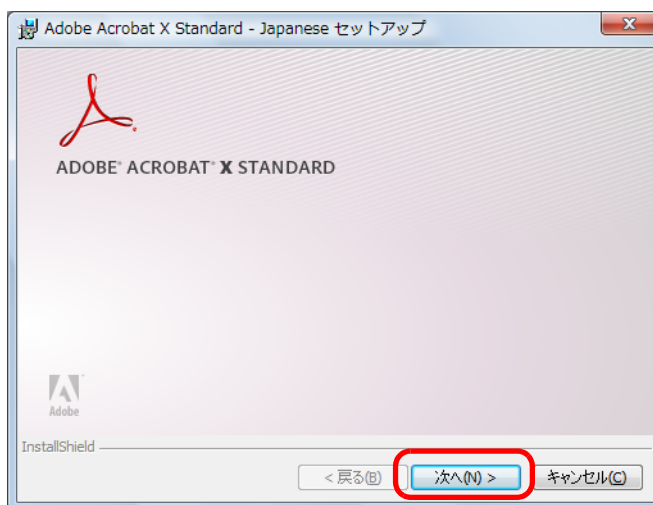
⇒「自動再生」画面が表示されます。

2.「AutoPlay.exe の実行」をクリックします。

⇒「Setup」画面が表示されます。

3.「アプリケーション言語の選択」で［日本語］ボタンをクリックします。

⇒「Adobe Acrobat X Standard- Japanese セットアップ」画面が表示されます。

4. [次へ] ボタンをクリックします。

5. 画面の指示に従ってインストールします。

- Adobe Acrobat のインストールに関する詳細については、Adobe Acrobat DVD-ROM に収録されている Readme を参照してください。
  Readme を参照するには、エクスプローラで以下のファイルを開いてください。
  DVD-ROM ドライブ :￥ReadMeJ.htm
- Adobe Acrobat の使い方については、Adobe Acrobat のヘルプを参照してください。

6. インストールが完了したら、**DVD-ROM** ドライブから **Adobe Acrobat DVD-ROM** を取り出します。

Mac OS にインストールします

Mac OS で ScanSnap をお使いになる場合のインストール方法について説明します。

■ ソフトウェアをインストールするには

ソフトウェアのインストールは、Setup DVD-ROM をコンピュータの DVD-ROM ドライブにセットすると表示される「ScanSnap」画面から行います。

「ScanSnap」画面の各アイコンの機能は、以下のとおりです。

アイコン名	機　能
ScanSnap	以下のソフトウェアのインストールが開始されます。 ● ScanSnap Manager ● CardMinder
連携ソフトウェア	「連携ソフトウェア」画面が表示されます。 ● 「Evernote」アイコン Evernote for Mac のインストールが開始されます。 ● 「SugarSync」アイコン SugarSync Manager for Mac のダウンロードページが表示されます。
お読みください	Readme が表示されます。
困ったときには（インストール編）	困ったときには（インストール編）が表示されます。
ユーザー登録	ScanSnap の「ユーザー登録」のホームページ （http://scansnap.fujitsu.com/jp/user-registration/）が表示されます。
オペレーターガイド	本書が表示されます。

■ ScanSnap のソフトウェアをインストールします

ソフトウェアのインストールと同時にユーザー登録を行う場合は、インターネットに接続できる環境が必要です。

以下のソフトウェアをインストールします。

- ScanSnap Manager
- CardMinder

インストール方法は、以下のとおりです。

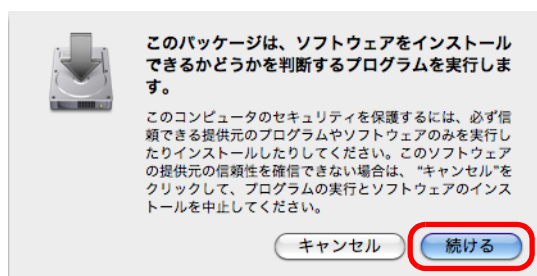
1. コンピュータの電源を ON にして、コンピュータの管理者権限を持つユーザーでログインします。

2. Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。

⇒「ScanSnap」画面が表示されます。

3.「ScanSnap」アイコンをダブルクリックします。

⇒ インストール継続確認のメッセージが表示されます。

4. ［続ける］ボタンをクリックします。

⇒「ScanSnap のインストール」画面（「ようこそ ScanSnap インストーラへ」）が表示されます。

5. ［続ける］ボタンをクリックします。

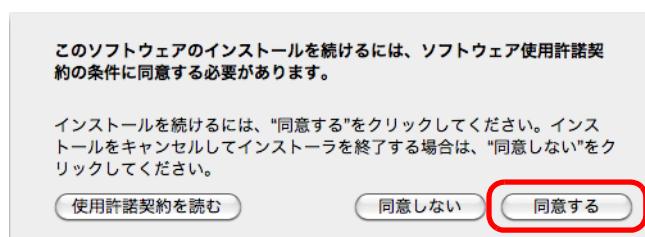
⇒「大切な情報」が表示されます。

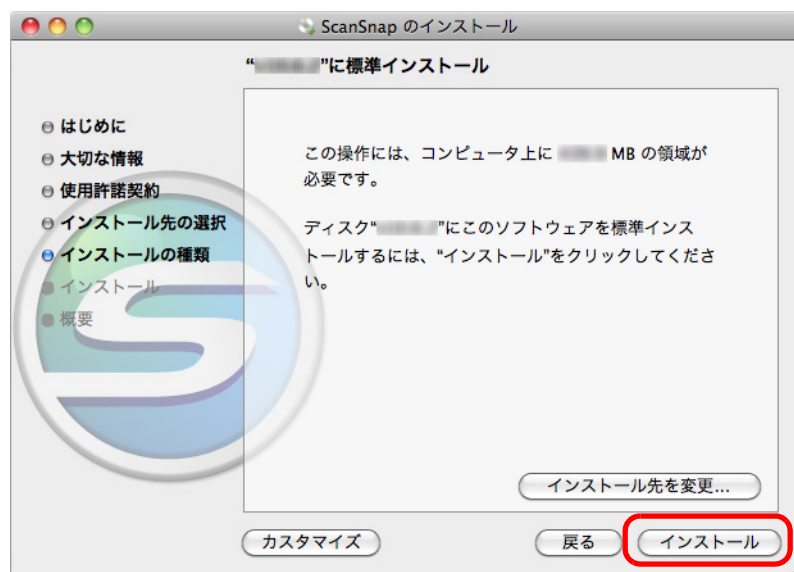
6. 「大切な情報」を読み、［続ける］ボタンをクリックします。

⇒「使用許諾契約」が表示されます。

7. 「使用許諾契約」を読み、［続ける］ボタンをクリックします。

⇒ 使用許諾契約についての同意確認のメッセージが表示されます。

8. 使用許諾契約に同意する場合は、［同意する］ボタンをクリックします。

⇒「“（ディスク名）”に標準インストール」が表示されます。

9. ［インストール］ボタンをクリックします。

- ScanSnap Manager だけをインストールする場合は、［カスタマイズ］ボタンをクリックして表示される「"（ディスク名）" にカスタムインストール」画面で、「CardMinder」のチェックを外します。
- CardMinder だけのインストールはできません。

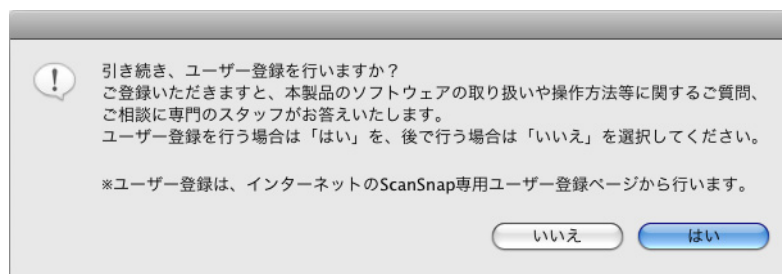
⇒ 認証画面が表示されます。

10. 管理者権限を持つユーザーのユーザ名およびパスワードを入力して、［OK］ボタンをクリックします。

⇒ ユーザー登録確認のメッセージが表示されます。

11.ユーザー登録するかしないかを選択します。

［はい］ボタンをクリックすると、Web ブラウザが起動され、ホームページからユーザー登録できます。すでにユーザー登録済みの場合や、あとでユーザー登録する場合は、［いいえ］ボタンをクリックしてください。

ユーザー登録するには、インターネットに接続する環境が必要です。
ソフトウェアのインストール後にユーザー登録する場合は、以下のどちらかの方法で登録してください。

- ホームページの「ユーザー登録」から登録する。
  http://scansnap.fujitsu.com/jp/
- Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットすると表示される、「ScanSnap」画面の「ユーザー登録」アイコンから登録する。

⇒「インストールは成功しました。」が表示されます。

12.［閉じる］ボタンをクリックします。

13.Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブから取り出します。

■ Evernote for Mac をインストールします

インストール方法は、以下のとおりです。

1. コンピュータの電源を ON にして、コンピュータの管理者権限を持つユーザーでログインします。

2. Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。

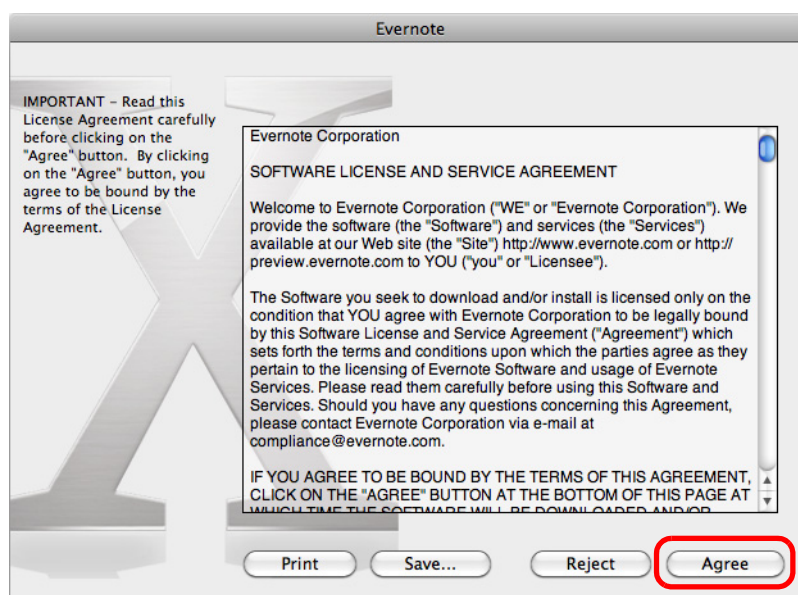
⇒「ScanSnap」画面が表示されます。

3.「連携ソフトウェア」アイコンをダブルクリックします。

⇒「連携ソフトウェア」画面が表示されます。

4.「Evernote」アイコンをダブルクリックします。

⇒ 使用許諾契約についての同意確認画面が表示されます。

5. 使用許諾契約に同意する場合は、[Agree］ボタンをクリックします。

⇒ Evernote for Mac のインストールを開始する画面が表示されます。

6.「Evernote」アイコンを、「Applications」アイコンにドラッグ＆ドロップします。

⇒ Evernote for Mac が、「アプリケーション」フォルダーにコピーされます。

7. コピーが終了したら、デスクトップに表示されている Evernote のディスクイメージをゴミ箱に入れます。

8. Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブから取り出します。

インストールが正常に完了しない場合は、「ScanSnap」画面から、［困ったときには（インストール編）］をダブルクリックして、困ったときには（インストール編）を参照してください。

9. Evernote に連携するための準備をします。

Evernote for Mac を起動して、新規ノートブックを作成してください。

■ SugarSync Manager for Mac をインストールします

SugarSync Manager for Mac をインストールするには、インターネットに接続できる環境が必要です。

インストール方法は、以下のとおりです。

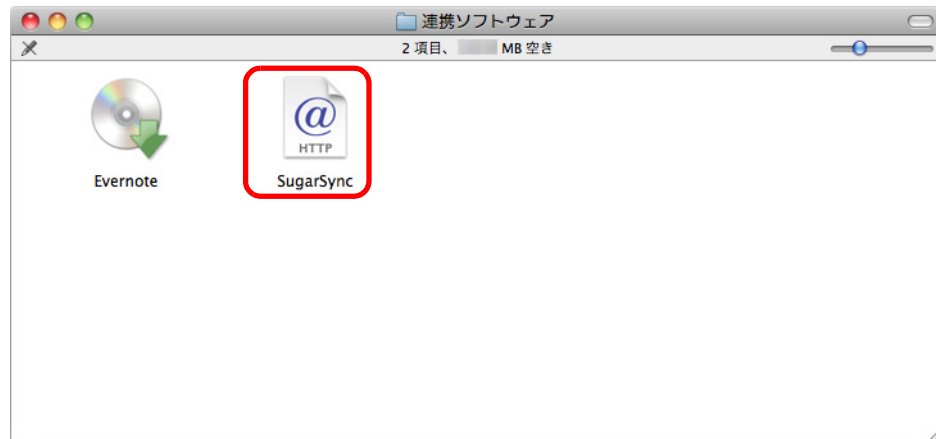
1. **コンピュータの電源を ON にして、コンピュータの管理者権限を持つユーザーでログインします。**

2. **Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。**

⇒「ScanSnap」画面が表示されます。

3. **「連携ソフトウェア」アイコンをダブルクリックします。**

⇒「連携ソフトウェア」画面が表示されます。

4.「SugarSync」アイコンをダブルクリックします。

⇒ Web ブラウザが起動され、SugarSync Manager for Mac のダウンロードページが表示されます。
SugarSync Manager for Mac をダウンロードし、インストールしてください。

5. インストールが完了したら、Setup DVD-ROM を DVD-ROM ドライブから取り出します。

■ Adobe Acrobat をインストールします

インストール方法は、以下のとおりです。

- Mac OS 版の Adobe Acrobat DVD-ROM は、S1500M に添付されています。
- Adobe Acrobat は、以下のオペレーティングシステムでご使用いただけます。
  - Mac OS X v10.6（Adobe Acrobat は 9.1 以降にアップデートする必要があります）
  - Mac OS X v10.5
  - Mac OS X v10.4.11

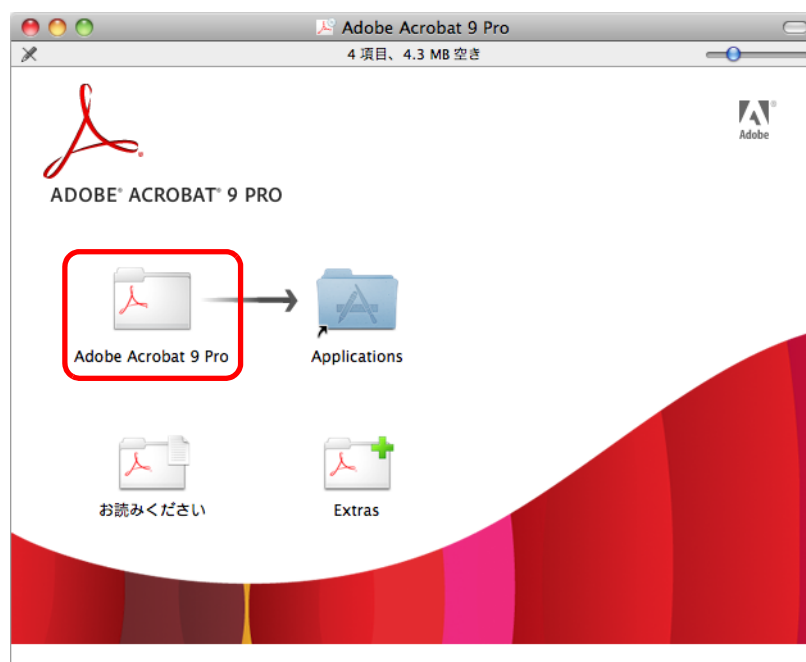
  さらに、以下の条件が必要です。
  - Safari 3.0.4 以降
  - 1024 × 768 以上の画面解像度

Adobe Acrobat は、ScanSnap と連携してイメージデータを表示できます。お使いのコンピュータに、すでに最新版の Adobe Acrobat がインストールされている場合は、あらためてインストールする必要はありません。

1. Adobe Acrobat DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットします。

⇒ DVD-ROM が自動認識され、「Adobe Acrobat 9 Pro」画面が表示されます。

- DVD-ROM を取り出す場合は、キーボード上の［⏏］ボタンまたは［F12］キーを押してください。
- Adobe Acrobat DVD-ROM を DVD ドライブにセットしても「Adobe Acrobat 9 Pro」画面が表示されない場合は、デスクトップに表示された「Adobe Acrobat 9 Pro」ディスクアイコンをダブルクリックします。

2.「Adobe Acrobat 9 Pro」アイコンを、「Applications」アイコンにドラッグ＆ドロップします。

⇒「Adobe Acrobat 9 Pro」が、「アプリケーション」フォルダーにコピーされます。

3. コピーが完了したら、以下の手順で Adobe Acrobat をインストールしてください。

1.「Applications」アイコンをダブルクリックします。
2.「アプリケーション」フォルダーの「Adobe Acrobat 9 Pro」フォルダーを開きます。
3.「Adobe Acrobat Pro」アイコンをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。

- Adobe Acrobat のインストールに関する詳細については、手順 2. の画面の「お読みください」をクリックして表示されるインストール手順の説明をお読みください。
- Adobe Acrobat の使い方については、Adobe Acrobat のヘルプを参照してください。

4. インストールが完了したら、DVD-ROM ドライブから Adobe Acrobat DVD-ROM を取り出します。

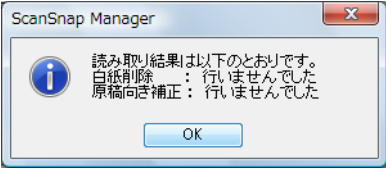
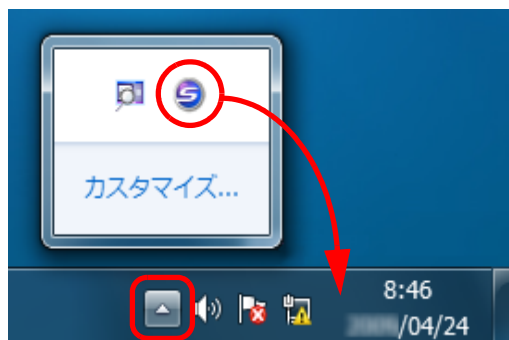
ScanSnap の使用方法＜ Windows 編＞

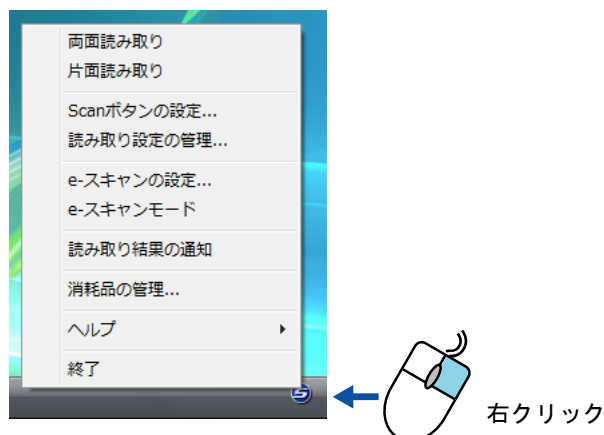
ここでは、原稿の読み取り方法、読み取り条件の設定方法、読み取り設定の追加 / 変更 / 削除方法、各種機能、およびいろいろな使い方について説明します。

ScanSnap Manager のアイコンと操作

ScanSnap の動作は、すべて ScanSnap Manager で管理されています。
ScanSnap Manager のアイコンは、Windows が起動すると自動的にタスク バーに表示されます。
ScanSnap Manager のアイコンは、ScanSnap Manager と ScanSnap の通信が正常に行われているかどうかも示しています。通信状態によって表示されるアイコンは、以下のとおりです。

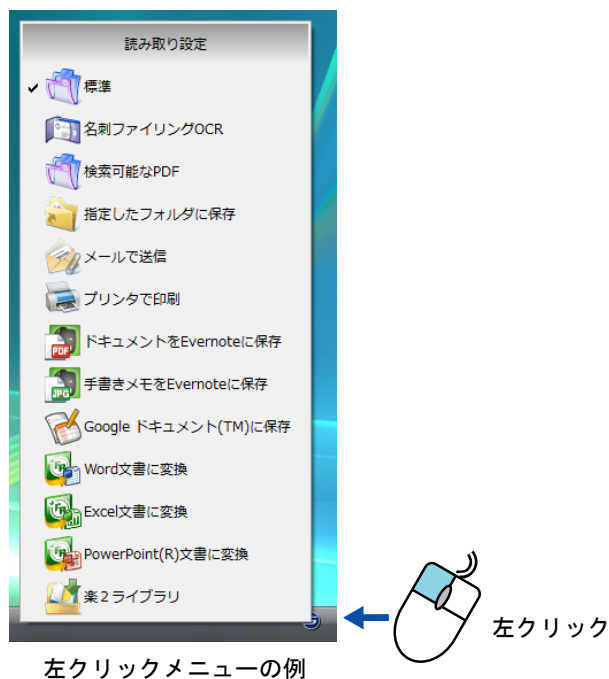
通信状態	ScanSnap Manager のアイコン
通信が行われている	
通信が行われていない	

ScanSnap Manager のアイコンをクリックするとメニューが表示されます。

Windows 7 の場合は、タスク バーの をクリックして表示されるメニューに、ScanSnap Manager のアイコン が表示されます。
タスク バーに ScanSnap Manager のアイコン を常に表示させるには、ScanSnap Manager のアイコン をタスク バーにドラッグ＆ドロップしてください。

■ 右クリックメニュー

ScanSnap Manager のアイコン を右クリックすると表示されるメニューです。

項　目　名	機　　能
両面読み取り	ScanSnap にセットした原稿の両面が読み取られます。読み取り条件は、「Scan ボタンの設定」に従います。
片面読み取り	ScanSnap にセットした原稿の片面が読み取られます。読み取り条件は、「Scan ボタンの設定」に従います。
Scan ボタンの設定	ScanSnap 設定画面が表示されます。 原稿を読み取るときの、読み取り条件を設定できます。 ⇒「読み取り条件の設定方法」（98 ページ）
読み取り設定の管理	「ScanSnap Manager - 読み取り設定の管理」画面が表示されます。 ScanSnap 設定画面の「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている場合は選択できません。 ⇒「読み取り設定の管理」（101 ページ）
e- スキャンの設定	ScanSnap 設定画面が表示されます。 e スキャンモードで原稿を読み取るときの、原稿の読み取り条件を設定します。 ⇒「読み取り条件の設定方法」（98 ページ）
e- スキャンモード	通常の読み取りと、e- スキャンモードでの読み取りを切り替えられます。 ⇒「原稿の読み取り操作の流れ」（38 ページ）
読み取り結果の通知	原稿を読み取ったあとに、白紙削除 / 原稿向き補正が行われたかどうかの通知画面が表示されます。 ScanSnap Manager 読み取り結果は以下のとおりです。 白紙削除　：行いませんでした 原稿向き補正：行いませんでした OK
消耗品の管理	「ScanSnap Manager - 消耗品の管理」画面が表示されます。 消耗品を交換した際に、消耗品のカウンターをリセットできます。 ⇒「消耗品」（458 ページ）

項　目　名	機　　能
ヘルプ	以下のメニューが表示されます。 ● ヘルプの表示 ScanSnap Manager のヘルプが表示されます。 ● 困ったときには ScanSnap Manager のヘルプの「困ったときには」が表示されます。 ● ScanSnap サポートホームページ ScanSnap の「よくあるご質問」のホームページ （http://scansnap.fujitsu.com/jp/faq/）が表示されます。 ● ScanSnap Manager について 「ScanSnap Manager - バージョン情報」画面が表示されます。 ● 環境設定 「ScanSnap Manager - 環境設定」画面が表示されます。 ● オンラインアップデート 「ScanSnap Manager - オンラインアップデート」画面が表示されます（474 ページ）。
終了	ScanSnap Manager が終了されます。 ⇒「終了します」（94 ページ）

■ 左クリックメニュー

ScanSnap Manager のアイコン を左クリックすると表示されるメニューです。
管理されている読み取り設定の一覧が表示されます。

左クリックメニューの例

原稿を読み取る前に、読み取り設定メニューで読み取り設定を選択します。選択した読み取り設定の読み取り条件に従って原稿が読み取られます。
読み取り設定の追加 / 変更 / 削除方法については、「読み取り設定の管理」（101 ページ）を参照してください。

- 左クリックメニューを表示する場合は、ScanSnap 設定画面で「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックを外してください。チェックが付いていると左クリックメニューは表示されません。
- 以下の ScanSnap を使用していたコンピュータで ScanSnap S1500、S1500M を使用する場合は、既存の読み取り設定が引き継がれます。
  - ScanSnap S1300
  - ScanSnap S1100
  - ScanSnap S510
  - ScanSnap S500
  - ScanSnap S300

原稿の読み取り方法

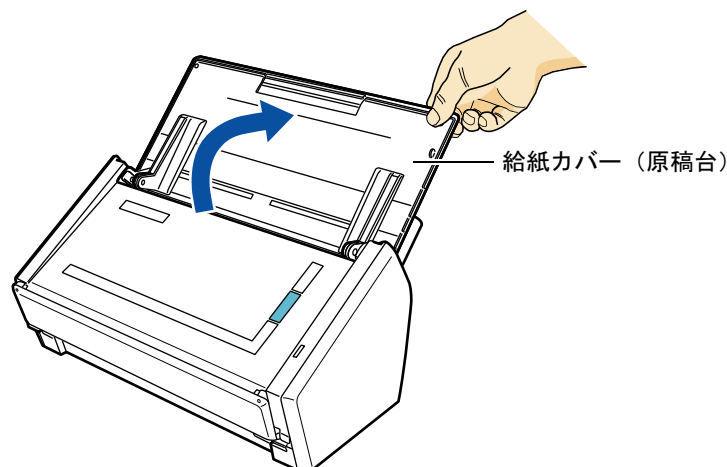
ScanSnap の読み取り方法について説明します。

■ 準備します

1. コンピュータの電源を ON にします。

⇒ Windows が起動され、タスク バーに ScanSnap Manager のアイコンが表示されます。

- ScanSnap Manager のアイコンが表示されない場合は、「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「ScanSnap Manager」→「ScanSnap Manager」を選択し、ScanSnap Manager を起動してください。通常は、インストール時に「スタートアップ」に登録されるので、Windows が起動するとタスク バーに ScanSnap Manager のアイコンが表示されます。
- 「スタートアップ」に「ScanSnap Manager」が登録されていない場合は、以下の手順で登録してください。
  1. 右クリックメニューから、「ヘルプ」→「環境設定」の順に選択します。
     ⇒「ScanSnap Manager - 環境設定」画面が表示されます。
  2. 「自動起動」タブの「コンピュータへのログオン時に ScanSnap Manager を起動します」チェックボックスにチェックを付けます。
- Windows 7 の場合は、タスク バーのをクリックして表示されるメニューに、ScanSnap Manager のアイコンが表示されます。
  タスク バーに ScanSnap Manager のアイコンを表示させるには、「ScanSnap Manager のアイコンと操作」（74 ページ）を参照してください。

2. ScanSnap の給紙カバー（原稿台）を開けて、電源を ON にします。

⇒ ScanSnap Manager のアイコンが、から に切り替わります。

コンピュータ上で多数のソフトウェアが動作しているときなど、コンピュータの負荷、性能、環境によって、ScanSnap Manager のアイコンが に切り替わるまでに時間がかかる場合があります。

原稿の読み取り方法は、クイックメニューを使用する場合、クイックメニューを使用しない場合、および e- スキャンモードの場合の 3 種類です。それぞれ以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 79 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 85 ページ）
- e- スキャンモードの場合（→ 89 ページ）

■ クイックメニューを使用する場合

クイックメニューを使用する場合の読み取り手順は、以下のとおりです。

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. 「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックを付けます。

3. 読み取り設定ボタンをクリックします。

読み取り設定ボタン

読み取り設定ボタン	説明
[おすすめ] ボタン	読み取り条件は、ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブの「画質の選択」が「自動解像度」、それ以外の設定はデフォルトです。 原稿サイズに合わせて、最適な画質で読み取りたいときに選択することを推奨します。
[コンパクト] ボタン	読み取り条件は、ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブの「画質の選択」が「ノーマル」(カラー / グレー : 150dpi、白黒 : 300dpi 相当)、それ以外の設定はデフォルトです。 ファイルサイズを小さくしたいときに選択することを推奨します。
[きれい] ボタン	読み取り条件は、ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブの「画質の選択」が「スーパーファイン」(カラー / グレー : 300dpi、白黒 : 600dpi 相当)、それ以外の設定はデフォルトです。 原稿をきれいな画質で読み取りたいときに選択することを推奨します。
[カスタマイズ] ボタン	デフォルトの読み取り条件は、[おすすめ] の設定と同じです。 目的に応じた読み取り条件に変更できます。

- デフォルトでは、[おすすめ] ボタンが選択されています。
- クイックメニュー使用時の読み取り条件のデフォルトについては、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。
- [おすすめ] ボタン、[コンパクト] ボタン、および [きれい] ボタンの読み取り条件は変更できません。読み取り条件を変更した場合は、[カスタマイズ] ボタンに自動的に切り替わります。
  読み取り条件の変更方法については、「読み取り条件の設定方法」(98 ページ) を参照してください。

4. **［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。**

5. **ScanSnap に原稿をセットします。**

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

6. **ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。**

- デフォルトでは、［Scan］ボタンの設定は「両面読み取り」に設定されています。ScanSnap Manager を使って、［Scan］ボタンの設定を片面読み取りに切り替えられます。詳細は、「片面だけを読み取ります」（249 ページ）を参照してください。
- 右クリックメニューでも、原稿の読み取りを開始できます。
  詳細については、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。

- 読み取り中は、ScanSnap およびほかの USB 機器を抜き差ししないでください。
- 読み取り中は、ScanSnap の給紙カバー（原稿台）を閉じないでください。
- 読み取り中は、ユーザーを切り替えないでください。読み取りがキャンセルされます。

⇒ 原稿の読み取り中は、ScanSnap の［Scan］ボタンが青色に点滅します。
コンピュータには、「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面が表示されます。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

7. **クイックメニューから、連携したいアプリケーションのアイコンをクリックします。**

⇒ 選択したアプリケーションに連携されます。

- アプリケーションのアイコンの表示 / 非表示および表示順を変更する場合は、「クイックメニューの設定方法」（95 ページ）を参照してください。
- 原稿を読み取る前に、連携するアプリケーションを選択する場合は、「クイックメニューを使用しない場合」（85 ページ）を参照してください。

アプリケーション名	説明
このコンピュータに保存（*1）	「ScanSnap Organizer」画面が表示されます。 イメージデータを ScanSnap Organizer で指定したフォルダーに保存できます。 ScanSnap Organizer の操作方法については、ScanSnap Organizer ユーザーズガイドを参照してください。
名刺ファイリング ＯＣＲ（*2）	「ウィンドウレイアウトの選択」画面が表示されます。 イメージデータを名刺ファイリング ＯＣＲ に登録できます。 選択後の操作方法については、「名刺の情報を名刺ファイリング ＯＣＲ に登録します」（161 ページ）を参照してください。
指定したフォルダに保存	「指定したフォルダに保存」画面が表示されます。 イメージデータの保存先を指定できます。 選択後の操作方法については、「指定したフォルダーに保存します」（120 ページ）を参照してください。
メールで送信	「メールで送信」画面が表示されます。 イメージデータをメールに添付できます。 選択後の操作方法については、「メールに添付します」（127 ページ）を参照してください。
プリンタで印刷	「プリンタで印刷」画面が表示されます。 イメージデータをプリンターで印刷できます。 選択後の操作方法については、「ScanSnap をコピー機代わりに利用します」（138 ページ）を参照してください。

アプリケーション名	説明
楽 2 ライブラリに保存（*3）	イメージデータを PDF ファイルとして、楽 2 ライブラリのバインダに保存できます。 選択後の操作方法については、「楽 2 ライブラリに保存します」（179 ページ）を参照してください。
楽 2 ライブラリ（年賀はがきデスク）に保存（*4）	「楽 2 ライブラリ（年賀はがきデスク）」画面が表示されます。 イメージデータを PDF ファイルとして、楽 2 ライブラリ（年賀はがきデスク）に保存できます。 選択後の操作方法については、「楽 2 ライブラリ（年賀はがきデスク）に保存します」（186 ページ）を参照してください。
やさしく家計簿に保存（*5）（*11）	「やさしく家計簿 エントリー」画面が表示されます。 イメージデータをやさしく家計簿 エントリー for ScanSnap に登録できます。 選択後の操作方法については、「レシートを読み取ります」（191 ページ）を参照してください。
モバイルに保存（*6）（*11）	「モバイルに保存」画面が表示されます。 イメージデータを、接続しているモバイル機器に保存できます。 選択後の操作方法については、「モバイル機器に保存します」（237 ページ）を参照してください。
ドキュメントを Evernote に保存（*7）（*11）	イメージデータを PDF ファイルとして、Evernote に保存できます。 選択後の操作方法については、「活字原稿を Evernote に保存します」（198 ページ）を参照してください。
手書きメモを Evernote に保存（*7）（*11）	イメージデータを JPEG ファイルとして、Evernote に保存できます。 選択後の操作方法については、「手書き文字を含む原稿を Evernote に保存します」（205 ページ）を参照してください。
Google ドキュメント (TM) に保存（*6）（*11）	イメージデータを PDF ファイルとして、Google ドキュメントに保存できます。 選択後の操作方法については、「Google ドキュメントに保存します」（210 ページ）を参照してください。
Salesforce Chatter に投稿（*6）（*11）	イメージデータを Salesforce Chatter に投稿できます。 選択後の操作方法については、「Salesforce Chatter に投稿します」（219 ページ）を参照してください。
SugarSync に保存（*8）（*11）	イメージデータを SugarSync の同期フォルダーに保存できます。 選択後の操作方法については、「SugarSync の同期フォルダーに保存します」（230 ページ）を参照してください。
Word 文書に変換（*9）	イメージデータを Word 文書に変換できます。 選択後の操作方法については、「Word/Excel/PowerPoint 文書に変換します」（153 ページ）を参照してください。
Excel 文書に変換（*9）	イメージデータを Excel 文書に変換できます。 選択後の操作方法については、「Word/Excel/PowerPoint 文書に変換します」（153 ページ）を参照してください。
PowerPoint(R) 文書に変換（*9）	イメージデータを PowerPoint 文書に変換できます。 選択後の操作方法については、「Word/Excel/PowerPoint 文書に変換します」（153 ページ）を参照してください。

アプリケーション名	説明
SharePoint に保存（*10）	イメージデータを SharePoint または Office Live に保存できます。 選択後の操作方法については、「SharePoint に保存します」（170 ページ）を参照してください。
ピクチャフォルダに保存	「ピクチャフォルダに保存」画面が表示されます。 イメージデータを JPEG ファイルとして、ピクチャフォルダに保存できます。 選択後の操作方法については、「ピクチャフォルダに保存します」（145 ページ）を参照してください。

*1 ：ScanSnap Organizer がインストールされている場合に表示されます。
*2 ：名刺ファイリング ＯＣＲ がインストールされている場合に表示されます。
*3 ：添付の楽^{2}ライブラリ パーソナル体験版または楽^{2}ライブラリ パーソナル（V5.0 以降推奨 / 楽^{2}ライブラリセットモデルに添付または別売）がインストールされている場合に表示されます。
*4 ：添付の楽^{2}ライブラリ パーソナル体験版または楽^{2}ライブラリ パーソナル V5.0L30 以降（楽^{2}ライブラリセットモデルに添付または別売）がインストールされている場合に表示されます。
*5 ：やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap がインストールされている場合に表示されます。
*6 ：.NET Framework 3.0 がインストールされている場合に表示されます。
.NET Framework 3.0 は、.NET Framework 3.5（SP1 以降）にも含まれています。オペレーティングシステムの最新のアップデートを行って、.NET Framework 3.5（SP1 以降）を使用することを推奨します。
.NET Framework 4 以降をインストール済みの場合でも、.NET Framework 3.0 は含まれていないため .NET Framework 3.0 を別途インストールする必要があります。
*7 ：Evernote for Windows 3.5 以降がインストールされている場合に表示されます。
*8 ：SugarSync Manager for Windows 1.9.28 以降がインストールされている場合に表示されます。
*9 ：ABBYY FineReader for ScanSnap がインストールされている場合に表示されます。
*10：Scan to Microsoft SharePoint がインストールされている場合に表示されます。
*11：Windows 2000 の場合は表示されません。

- イメージデータの倍率は、原稿サイズに対して若干変わることがあります。
- 以下のアプリケーションのどれかがアクティブ状態（タスク バー上でアプリケーションが選択され、アプリケーション画面が最前面に表示されている状態）のときに、ScanSnap の［Scan］ボタンを押して原稿を読み取ると、該当アプリケーションに自動的に連携します。
  - ScanSnap Organizer
  - 名刺ファイリング ＯＣＲ（原稿が名刺サイズのときだけ連携します）
  - 添付の楽^{2}ライブラリ パーソナル体験版
  - 楽^{2}ライブラリ パーソナル（V5.0 以降推奨 / 楽^{2}ライブラリセットモデルに添付または別売）
  - やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap
  - モバイルに保存

  自動連携については、「アプリケーションの自動連携」（111 ページ）を参照してください。

- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。クイックメニューのアイコンを選択して処理を完了するか、クイックメニューを閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

■ クイックメニューを使用しない場合

クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順は、以下のとおりです。

1. **右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。**

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. **「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックを外します。**

3. 読み取り設定を選択します。

以下のどちらかの方法で、読み取り設定を選択します。

- 「読み取り設定」ドロップダウンリストから読み取り設定を選択する

- 左クリックメニューから読み取り設定を選択する

4. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

5. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

- デフォルトでは、[Scan］ボタンの設定は「両面読み取り」に設定されています。ScanSnap Manager を使って、[Scan］ボタンの設定を片面読み取りに切り替えられます。詳細は、「片面だけを読み取ります」（249 ページ）を参照してください。
- 右クリックメニューでも、原稿の読み取りを開始できます。詳細については、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。

- 読み取り中は、ScanSnap およびほかの USB 機器を抜き差ししないでください。
- 読み取り中は、ScanSnap の給紙カバー（原稿台）を閉じないでください。
- 読み取り中は、ユーザーを切り替えないでください。読み取りがキャンセルされます。

⇒ 原稿の読み取り中は、ScanSnap の［Scan］ボタンが青色に点滅します。
コンピュータには、「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面が表示されます。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、選択した読み取り設定の読み取り条件に設定されているアプリケーションに連携されます。

- 原稿を読み取ったあとに、クイックメニューから連携するアプリケーションを選択する場合は、「クイックメニューを使用する場合」（79 ページ）を参照してください。
- ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「マーカー部分の文字列を PDF のキーワードにします」チェックボックスまたは「検索可能な PDF にします」チェックボックスにチェックが付いている場合は、イメージデータのテキスト認識が行われてから、アプリケーションに連携されます。
テキスト認識中は、処理状況を示す画面が表示されます。
- デフォルトの読み取り設定では、「画質の選択 : 自動解像度」、「カラーモードの選択 : カラー自動判別」で読み取られます。
読み取り条件の変更方法については、「読み取り条件の設定方法」（98 ページ）を参照してください。
- 読み取ったあとに起動されるアプリケーションは、ScanSnap 設定画面の「アプリ選択」タブの設定によって異なります。詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。
- イメージデータの倍率は、原稿サイズに対して若干変わることがあります。
- 以下のアプリケーションのどれかがアクティブ状態（タスク バー上でアプリケーションが選択され、アプリケーション画面が最前面に表示されている状態）のときに、ScanSnap の［Scan］ボタンを押して原稿を読み取ると、該当アプリケーションに自動的に連携します。
  - ScanSnap Organizer
  - 名刺ファイリング ＯＣＲ（原稿が名刺サイズのときだけ連携します）
  - 添付の楽 2 ライブラリ パーソナル体験版
  - 楽 2 ライブラリ パーソナル（V5.0 以降推奨 / 楽 2 ライブラリセットモデルに添付または別売）
  - やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap
  - モバイルに保存

  自動連携については、「アプリケーションの自動連携」（111 ページ）を参照してください。

■ e- スキャンモードの場合

ScanSnap には、e- 文書法（通称）に基づき、イメージデータを e- 文書として利用できる形にして保存する機能があります。
e- 文書法とは、紙での原本保存が義務化されていた文書や帳票について、一部例外を除き、原則として電子化したイメージデータを原本として認め、保存を容認する法律です。
（正式名称は、「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律案」および「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」です。）
この法律が施行されると、紙による原本保存の必要がなくなるため、紙文書は ScanSnap で読み取り、PDF ファイルまたは JPEG ファイルとして保存し、電子ファイルとして管理・運営、不要な紙文書を廃却するという運用ができます。

ScanSnap では、以下の電子文書要件に対応したイメージデータの保存を前提にして、
e- スキャンモードを設定しております。

- 財務省令の国税庁告示に定められた要件
  解像度：200dpi（8 ドット /mm）以上
  カラー：24bit カラー（RGB 各色 256 階調）以上
  「読み取りモード：ファイン（200dpi 相当）、カラー（24bit）」で対応
- 厚生労働省の省令に定められた要件
  解像度：300dpi（12 ドット /mm）以上
  「読み取りモード：スーパーファイン（300dpi 相当）、カラー（24bit）」で対応

ここでは、e- スキャンモードでの読み取り方法について説明します。

- e- スキャンモードの読み取り条件は、財務省令に対応してデフォルトを決めています（2011 年 6 月現在）。
  各省庁が規定する最新の読み取り条件に設定する場合は、お客様の責任において行ってください。
- 読み取った電子ファイルの原本再現性および画質確認（文章が解読できることなど）はお客様の責任において行ってください。
- ScanSnap は、各省令に合った読み取りを行う機能を持っていますが、それだけでは、イメージデータを e- 文書として使用できません。各省庁より出される省令、およびガイドラインに従い、場合によっては、電子署名・タイムスタンプをイメージデータに付与し、管理・運用していく必要があります。これらの部分につきましては、お客様側で対応していただく必要がありますのでご了承ください。
- 原稿サイズを「サイズ自動検出」にして、e- スキャンモードで読み取る場合、原稿の端を検出して、原稿と同じサイズでイメージデータが保存されます。
  ただし以下のような原稿は、原稿の端をうまく検出できずに、イメージデータの幅方向が最大サイズで保存される場合があります。
  - 正方形または長方形以外の原稿
  - 薄い色が付いた原稿
  - 厚さが薄い原稿
  - 光沢の入った原稿
  - 極端に傾いて読み取られた原稿

- 原稿サイズを指定して、e- スキャンモードで読み取る場合、イメージデータの欠落が起こらないようにするために、指定した原稿サイズよりも、一回り大きいサイズで読み取ります。そのため、原稿の周りに枠（背景部）が付いた状態で保存されます。

通常の読み取り結果
⇒ 指定した原稿サイズのまま読み取られます。

e- スキャンモード読み取り結果
⇒ 指定した原稿サイズより一回り大きいサイズで読み取られます。

- A3 キャリアシートを使用して、e- スキャンモードで読み取る場合は、A3 キャリアシートの黒横線の下 5mm 部分から読み取りを開始し、常に 220 × 306mm のサイズで保存されます。
- 読み取り中に、ユーザー切り替えを行わないでください。読み取りがキャンセルされます。

1. 右クリックメニューから、「e- スキャンモード」を選択します。

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

- ScanSnap 設定画面の「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている場合でも、e- スキャンモードに切り替わります。
- 右クリックメニューの「e- スキャンモード」の横にチェックが付いている状態で、「e- スキャンモード」を選択すると、通常の読み取りに戻ります。

2. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「読み取りできる原稿」（30 ページ）を参照してください。

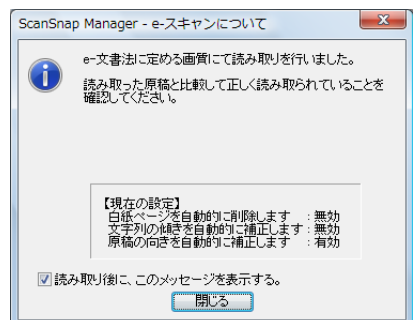
3. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

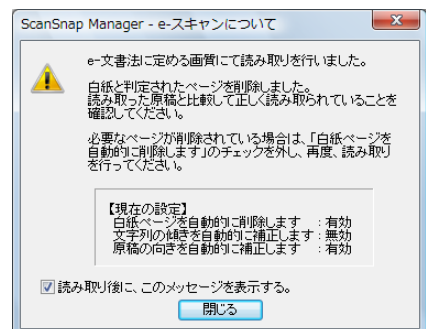
- デフォルトでは、［Scan］ボタンの設定は「両面読み取り」に設定されています。ScanSnap Manager を使って、［Scan］ボタンの設定を片面読み取りに切り替えられます。詳細は、「片面だけを読み取ります」（249 ページ）を参照してください。
- 右クリックメニューでも、原稿の読み取りを開始できます。詳細については、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。

- 読み取り中は、ScanSnap およびほかの USB 機器を抜き差ししないでください。
- 読み取り中は、ScanSnap の給紙カバー（原稿台）を閉じないでください。
- 読み取り中は、ユーザー切り替えを行わないでください。読み取りがキャンセルされます。
- 電源を ON にした直後や、ADF カバーの開閉直後に e- スキャンモードで原稿を読み取る場合、「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面に「読み取り準備中です。しばらくお待ちください。」というメッセージが表示されることがあります。準備が完了すると自動的に読み取りを開始します。しばらくお待ちください。

⇒ 原稿の読み取り中は、ScanSnap の［Scan］ボタンが青色に点滅します。
コンピュータには、「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面が表示されます。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、読み取り完了画面（画面 1）が表示され、添付のアプリケーション（ScanSnap Organizer など）が起動されて、イメージデータが表示されます。

「読み取り後に、このメッセージを表示する。」チェックボックスのチェックを外すと、次回から画面 1 は表示されなくなります（ただし、画面 2 は表示されます）。

画面 1

⇒「白紙ページを自動的に削除します」チェックボックスにチェックが付いている場合、白紙が削除されると、画面 2 が表示されます。

「読み取り後に、このメッセージを表示する。」チェックボックスのチェックを外すと、次回から画面 1、2 は、どちらも表示されなくなります。

画面 2

イメージデータのファイルを廃棄される場合は、誤って削除されたページがないかどうかを必ずご確認ください。

4. **［OK］ボタンをクリックし、イメージデータの抜けや欠け、または不鮮明な箇所がないか、イメージデータを確認します。**

イメージデータ上の文字がつぶれて文章として読み取れないような場合は、「画質の選択」を、「スーパーファイン」（300dpi 相当［12 ドット /mm］）に切り替えて、再度読み取ってください。
読み取り条件の変更方法については、「読み取り条件の設定方法」（98 ページ）を参照してください。

- デフォルトでは、以下の読み取り条件で読み取られます。
  - 読み取り面の選択：両面読み取り
  - 画質の選択：ファイン（200dpi 相当［8 ドット /mm］）

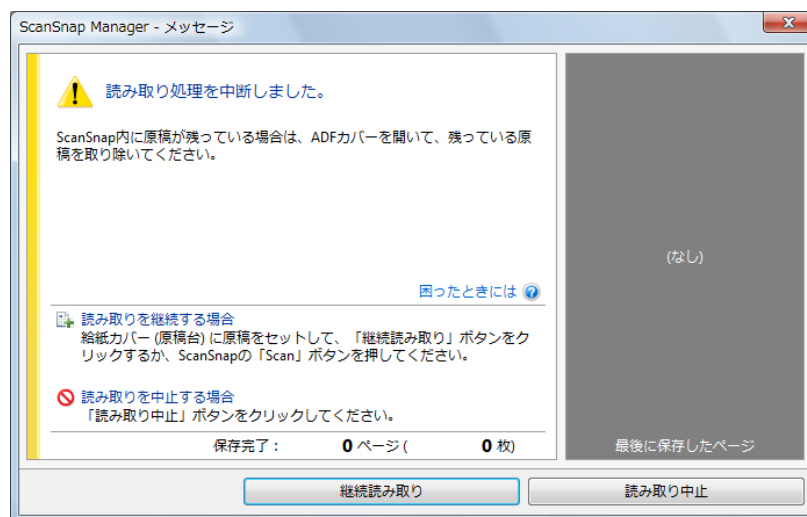
  厚生労働省令に定められた要件に従う場合は、「画質の選択」を「スーパーファイン」（300dpi 相当［12 ドット /mm］）に切り替えてください。
  読み取り条件の変更方法については、「読み取り条件の設定方法」（98 ページ）を参照してください。
  なお、以下の読み取り条件は変更することができません。
  - カラーモードの選択：カラー
  - ファイルサイズ
    圧縮率：2（「画質の選択：」が「ファイン」の場合）
    　　　　3（「画質の選択：」が「スーパーファイン」の場合）
- 次回から、e- スキャンモードでの読み取り後に読み取り完了画面を表示させない場合は、「読み取り後に、このメッセージを表示する。」チェックボックスのチェックを外してください。（手順 3. 参照）
  なお、再度読み取り完了画面を表示させる場合は、タスク バーにある ScanSnap Manager のアイコンから、［ヘルプ］→［ScanSnap Manager について］→［e- スキャン］をクリックして「e- スキャン読み取り後に、確認メッセージを表示する。」チェックボックスにチェックを付けてください。

■ 原稿の読み取りを中止する場合

読み取る原稿や原稿の読み取り面などを間違えた場合に、原稿の読み取り動作中に読み取りを中止できます。
中止方法は、以下のとおりです。

1. **原稿の読み取り中に表示される「ScanSnap Manager － イメージ読み取りとファイル保存」画面の［中止］ボタンをクリックします。**

読み取り動作が停止したら、ScanSnap 内に残っている原稿を取り除いてください。原稿を取り除く方法については、ScanSnap Manager のヘルプの「困ったときには」を参照してください。

⇒ 原稿の読み取りが停止すると、以下のエラーメッセージが表示されます。

2. **［読み取り中止］ボタンをクリックします。**

続けて原稿を読み取る場合は、原稿を ScanSnap にセットしてから［継続読み取り］ボタンをクリックするか、ScanSnap の［Scan］ボタンを押してください。

■ 終了します

＜ ScanSnap Manager を終了するには＞

右クリックメニューから、「終了」を選択します。
通常は、終了する必要はありません。

「ScanSnap Manager」を終了すると、ScanSnap は使用できなくなります。
ScanSnap を使用する場合は、「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「ScanSnap Manager」→「ScanSnap Manager」を選択して、ScanSnap Manager を起動してください。

＜ ScanSnap を取り外すには＞

1. ScanSnap の給紙カバー（原稿台）を閉じて、電源を OFF にします。

⇒ タスク バーにある ScanSnap Manager のアイコンが、から に切り替わります。

2. USB ケーブルをコンピュータから取り外します

3. ScanSnap の電源ケーブルを、コンセントから取り外します。

ScanSnap には、電源スイッチがありません。電源は、コンピュータの ON/OFF に連動します。また、給紙カバー（原稿台）の開閉に応じて、自動的に ON/OFF します。

ScanSnap Manager の設定

クイックメニューの設定方法、読み取り条件の設定方法、読み取り設定の追加 / 変更 / 削除方法、アプリケーションの自動連携、ScanSnap の通信状態の通知、および原稿読み取り中の画面表示について説明します。

■ クイックメニューの設定方法

クイックメニューに表示される、アプリケーションのアイコンの表示や非表示を設定したり、表示順を変更したりできます。
変更方法は、以下のとおりです。

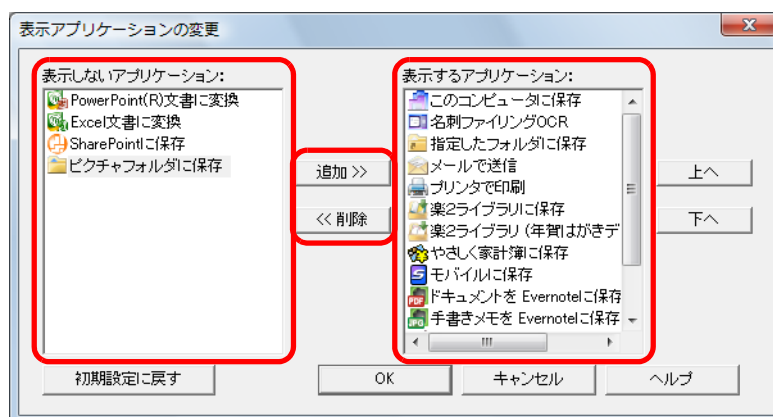
1. クイックメニューから、「表示アプリケーションの変更」をクリックします。

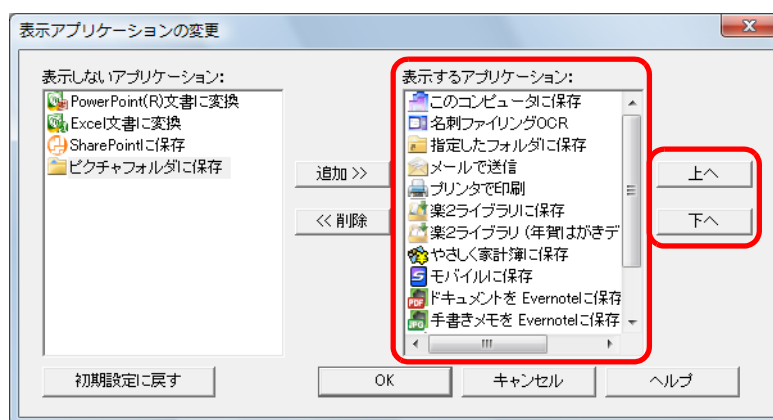
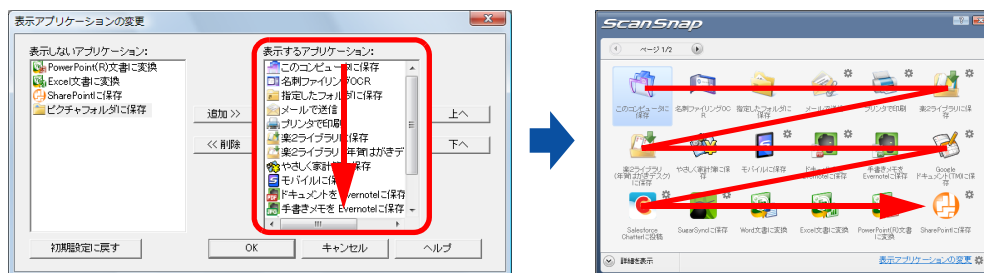
クイックメニューの表示方法については、「クイックメニューを使用する場合」（79 ページ）を参照してください。

⇒「表示アプリケーションの変更」画面が表示されます。

2. クイックメニューに表示されるアプリケーションのアイコンを設定します。

● アプリケーションのアイコンの表示と非表示

「表示するアプリケーション」に表示されているアプリケーションが、クイックメニューにアイコンとして表示されます。
「表示するアプリケーション」でアプリケーションを選択してから［削除］ボタンをクリックすると、「表示しないアプリケーション」に移動します。また、「表示しないアプリケーション」でアプリケーションを選択してから［追加］ボタンをクリックすると、「表示するアプリケーション」に移動します。
すべてのアプリケーションのアイコンをクイックメニューに表示する場合は、［初期設定に戻す］ボタンをクリックします。

● アプリケーションのアイコンの表示順

「表示するアプリケーション」に表示されているアプリケーションの表示順で、クイックメニューにアプリケーションのアイコンが表示されます。
表示順を変更したいアプリケーションを「表示するアプリケーション」で選択してから、［上へ］ボタン /［下へ］ボタンをクリックして、アプリケーションの表示位置を変更します。
クイックメニューに表示される、アプリケーションのアイコンの表示順をデフォルトに戻す場合は、［初期設定に戻す］ボタンをクリックします。

クイックメニューおよび「表示アプリケーションの変更」画面の「表示するアプリケーション」に表示されるアプリケーションの表示順は、以下のように対応します。

3. **［OK］ボタンをクリックして、「表示アプリケーションの変更」画面を閉じます。**

⇒ クイックメニューに表示されるアプリケーションのアイコンおよび表示順が変更されます。

■ 読み取り条件の設定方法

ScanSnap は、使用目的に合わせて読み取り条件を設定できます。読み取り条件の設定は、ScanSnap 設定画面で行います。
読み取り条件を設定する方法は、以下のとおりです。

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」または「e- スキャンモードの設定」を選択します。

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。

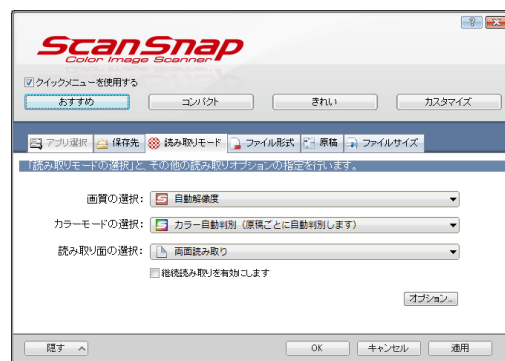
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

ScanSnap 設定画面は、以下の方法でも表示できます。

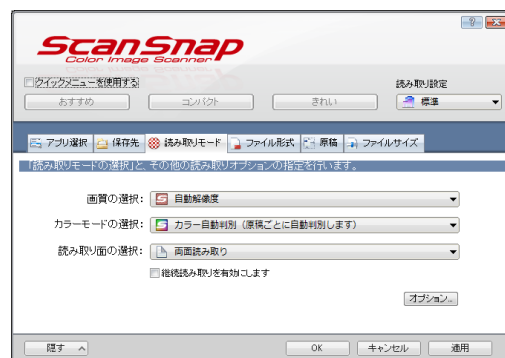
- ScanSnap Manager のアイコン をダブルクリックする
- キーボードの「Ctrl」＋「Shift」＋「Space」キーを同時に押す

2. ［詳細］ボタンをクリックして、詳細表示に切り替えます。

●通常の読み取り

- クイックメニューを使用する場合

概要表示

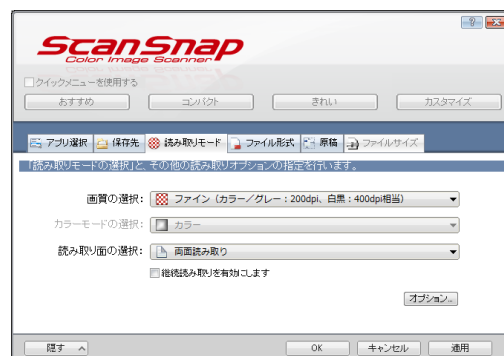
詳細表示

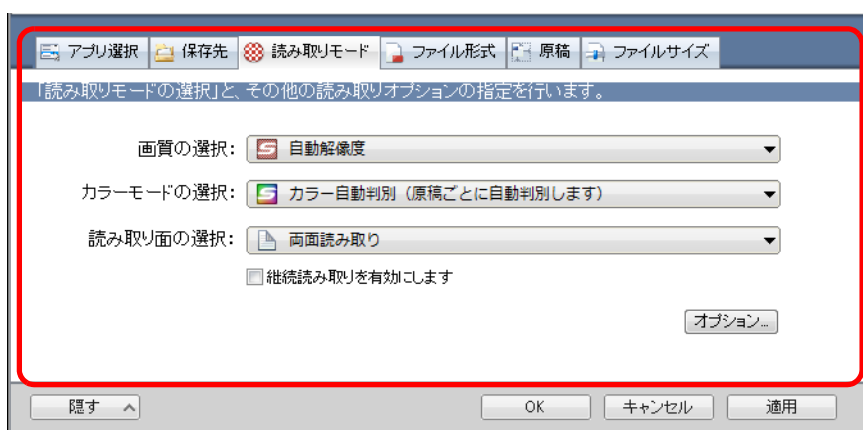
- クイックメニューを使用しない場合

概要表示

詳細表示

● e- スキャンモード

概要表示

詳細表示

ScanSnap 設定画面は、前回開いていたときの表示状態を保持しています。例えば、詳細表示のまま閉じると、次回は詳細表示で開きます。

3. 各タブで読み取り条件を設定します。

各タブで以下の項目を変更できます。

詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

- 「アプリ選択」タブ
  - ScanSnap と連携するアプリケーション
- 「保存先」タブ
  - イメージデータを保存するフォルダー
  - イメージデータを保存するファイル名
- 「読み取りモード」タブ
  - 読み取りモード

    （どんな画質で読み取るか、カラーで読み取るか、グレーで読み取るか、白黒で読み取るか、片面で読み取るか、両面で読み取るか、文字をくっきり読み取るか、白紙ページを自動的に削除するか、文字列の傾き / 原稿の向きを補正するか、原稿をセットする向きを変えるか、読み取りを継続するか）

- 「ファイル形式」タブ
  - イメージデータのファイル形式（*.pdf、*.jpg）
  - イメージデータのマーカー部分の文字列をテキスト認識して PDF ファイルのキーワードに追加するか
    （先頭マーカー部分の文字列だけをキーワードにするか、すべてのマーカー部分の文字列をキーワードにするか、どの言語でテキスト認識するか）
  - イメージデータ上の文字列をテキスト認識して、検索可能な PDF ファイルに変換するか
    （先頭ページだけを変換するか、すべてのページを変換するか、どの言語でテキスト認識するか）
  - PDF ファイルをページ分割するか
    （イメージデータを 1 つの PDF ファイルにするか、設定したページごとに分割して PDF ファイルを作成するか）
  - PDF ファイルにパスワードを付けるか
    （すべての PDF ファイルに同じパスワードを設定するか、読み取りごとに異なるパスワードを設定するか）
- 「原稿」タブ
  - 読み取る原稿のサイズ（原稿サイズの選択、A3 キャリアシートの設定）
  - マルチフィードを検出するか
- 「ファイルサイズ」タブ
  - イメージデータのファイルサイズ（圧縮率）

読み取り条件は、読み取り方法によって、設定できる項目が異なります。
設定できる項目の違いについては、「原稿の読み取り方法による設定項目の違い」（485 ページ）を参照してください。

4. ［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。

⇒ クイックメニューを使用する場合は、［カスタマイズ］ボタンの読み取り条件が変更されます。

⇒ クイックメニューを使用しない場合は、現在選択されている読み取り設定の読み取り条件が変更されます。

⇒ e- スキャンモードの場合は、現在設定されている読み取り条件に変更されます。

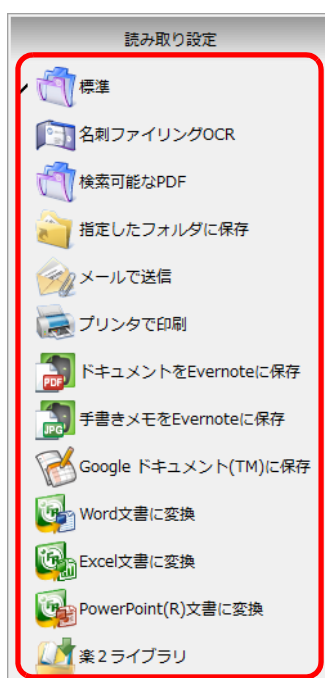
ScanSnap 設定画面の表示中に ScanSnap の［Scan］ボタンを押すと、ScanSnap 設定画面は閉じられ、原稿の読み取りが開始されます。このとき、設定中の読み取り条件は保存され、その読み取り条件で原稿が読み取られます。
ただし、ScanSnap 設定画面以外の画面が表示されている場合は、ScanSnap の［Scan］ボタンを押しても、画面は閉じられず、読み取りも開始されません。

■ 読み取り設定の管理

読み取り設定は、最大 20 個まで管理できます。
読み取り設定は、ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ドロップダウンリストまたは左クリックメニューから選択できます。

読み取り設定を使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。

- 「読み取り設定」ドロップダウンリスト

- 左クリックメニュー

よく使う読み取り条件を読み取り設定として設定しておくと、原稿を読み取るたびに、ScanSnap 設定画面で読み取り条件を設定する必要がなくなります。読み取り設定を選択するだけで、目的にあった読み取り条件に切り替えられます。
読み取り設定の追加 / 変更 / 削除方法については、以下を参照してください。

- 読み取り設定を新規に追加する場合（→ 102 ページ）
- 読み取り設定の読み取り条件を変更する場合（→ 105 ページ）
- 読み取り設定の名前を変更する場合（→ 107 ページ）
- 読み取り設定を削除する場合（→ 109 ページ）

＜読み取り設定を追加します＞

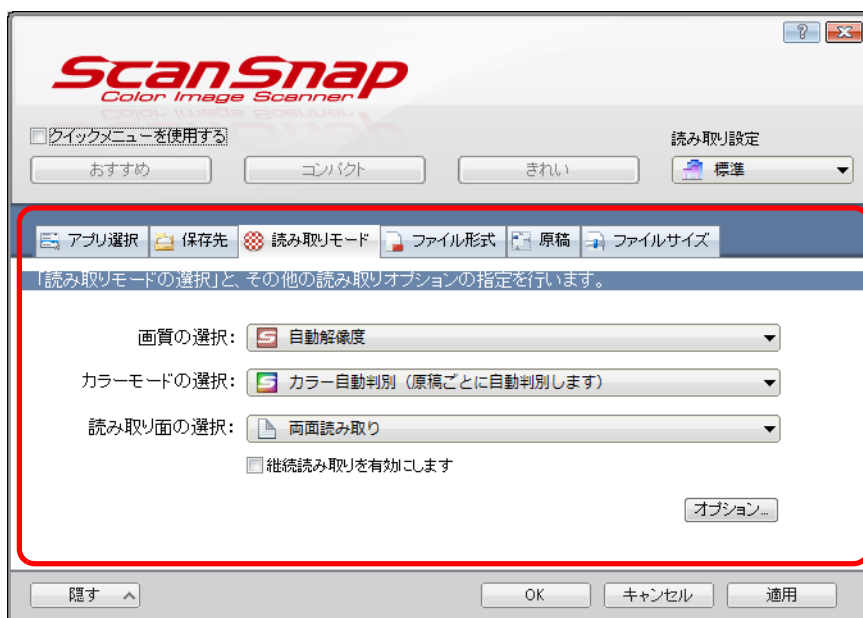
1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。

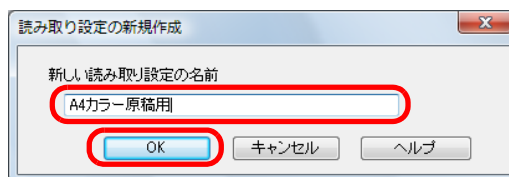
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている場合は、チェックを外してください。

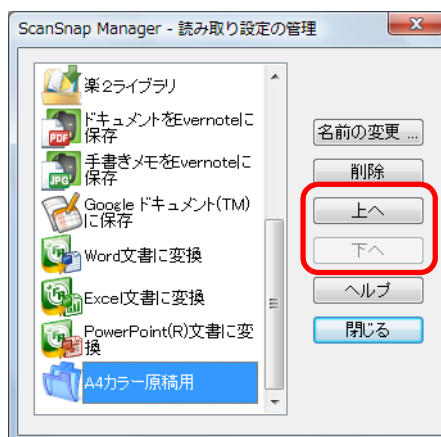
2. 各タブで読み取り条件を設定します。

各タブの詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3. 「読み取り設定」ドロップダウンリストから、「新しい読み取り設定」を選択します。

⇒「読み取り設定の新規作成」画面が表示されます。

4. 読み取り設定の名前を入力して、［OK］ボタンをクリックします。

⇒ ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ドロップダウンリストに、追加した読み取り設定の名前が表示されます。

5. ［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

- 読み取り設定は、「標準」を含めて最大 20 個まで保存できます。
- 読み取り設定の表示順を変更できます。
  ただし、「標準」の表示順は変更できません。
  1. 右クリックメニューまたは ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ドロップダウンリストから、「読み取り設定の管理」を選択します。
     ⇒「ScanSnap Manager - 読み取り設定の管理」画面が表示されます。
  2. 表示順を変更したい読み取り設定を、一覧から選択します。
  3. ［上へ］［下へ］ボタンをクリックして、表示したい順番の位置に読み取り設定を移動します。

  4. ［閉じる］ボタンをクリックして、「ScanSnap Manager - 読み取り設定の管理」画面を閉じます。

<読み取り設定の読み取り条件を変更します>

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。

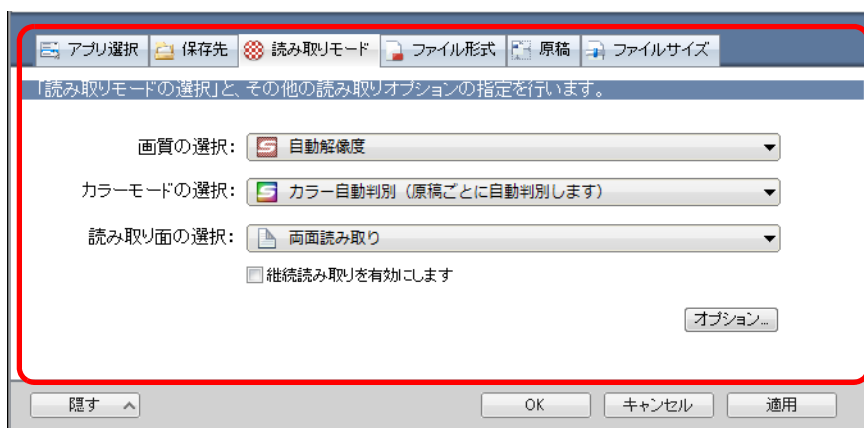
右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

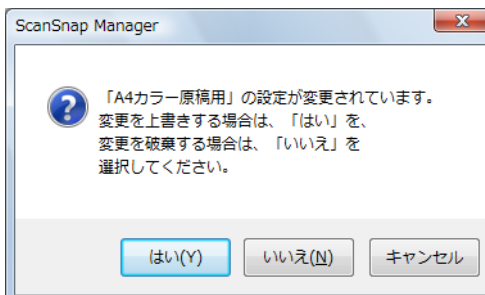
「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている場合は、チェックを外してください。

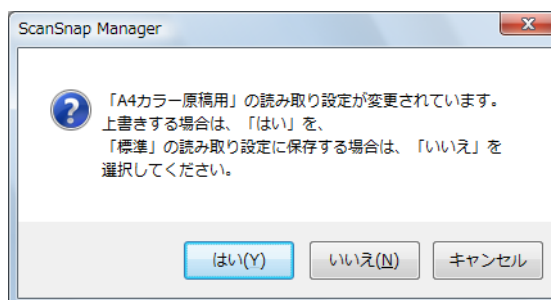
2. 「読み取り設定」ドロップダウンリストで、変更する読み取り設定を選択します。

3. 各タブで読み取り条件を変更します。

各タブの詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

4. 設定が終わったら、［OK］ボタンをクリックします。

⇒ 上書き確認の画面が表示されます。

［OK］ボタンをクリックしないで「読み取り設定」ドロップダウンリストの「読み取り設定」を切り替えると、以下のメッセージが表示されます。

［はい］ボタンをクリックすると、変更内容が上書きされて、切り替えようとした読み取り設定に切り替わります。
［いいえ］ボタンをクリックすると、変更内容が破棄されて、切り替えようとした読み取り設定に切り替わります。

5. 読み取り条件を上書きする場合は［はい］ボタンを、「標準」に保存する場合は［いいえ］ボタンをクリックします。

手順 2. で選択した読み取り設定が「標準」の場合は、確認画面は表示されません。

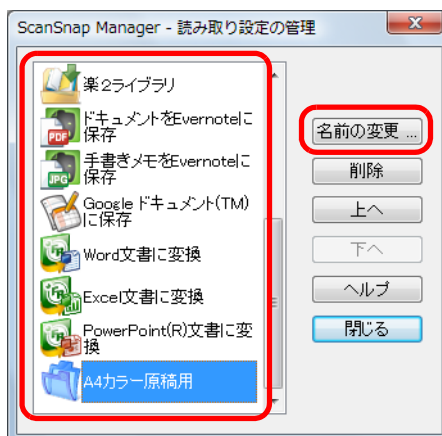
＜読み取り設定の名前を変更します＞

1. 右クリックメニューから、「読み取り設定の管理」を選択します。

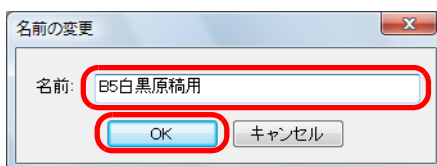
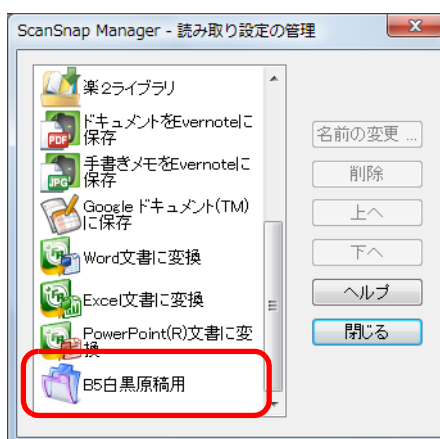
右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。

⇒「読み取り設定の管理」画面が表示されます。

- 右クリックメニューで「読み取り設定の管理」を選択できない場合は、ScanSnap 設定画面の「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックを外してください。
- 「読み取り設定の管理」画面は、ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ドロップダウンリストから「読み取り設定の管理」を選択しても表示できます。

2. 名前を変更したい読み取り設定を選択し、［名前の変更］ボタンをクリックします。

⇒「名前の変更」画面が表示されます。

読み取り設定の「標準」は、名前を変更できません。

3. 新しい名前を入力して、[OK] ボタンをクリックします。

⇒ 読み取り設定の名前が変更されます。

4. [閉じる] ボタンをクリックして、「**ScanSnap Manager - 読み取り設定の管理**」画面を閉じます。

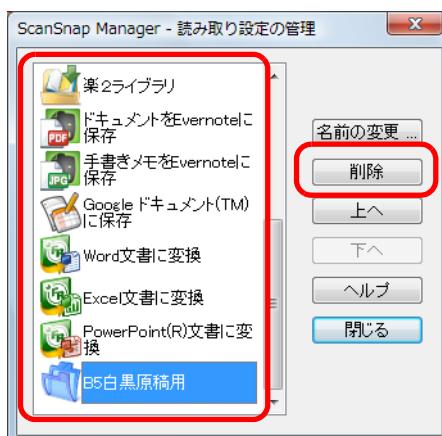
＜読み取り設定を削除します＞

1. 右クリックメニューから、「読み取り設定の管理」を選択します。

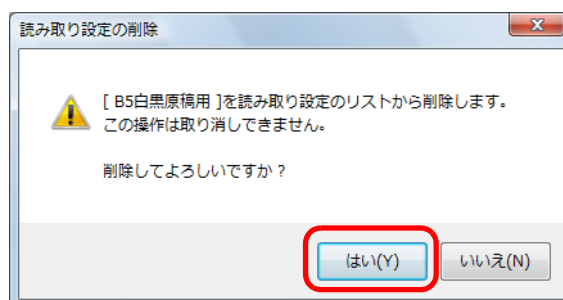
右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。

⇒「読み取り設定の管理」画面が表示されます。

- 右クリックメニューで「読み取り設定の管理」を選択できない場合は、ScanSnap 設定画面の「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックを外してください。
- 「読み取り設定の管理」画面は、ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ドロップダウンリストから「読み取り設定の管理」を選択しても表示できます。

2. 削除したい読み取り設定を選択し、［削除］ボタンをクリックします。

読み取り設定の「標準」は削除できません。

⇒「読み取り設定の削除」画面が表示されます。

3. ［はい］ボタンをクリックします。

⇒ 選択した読み取り設定が削除されます。

4. ［閉じる］ボタンをクリックして、「**ScanSnap Manager - 読み取り設定の管理**」画面を閉じます。

■ アプリケーションの自動連携

自動連携できるアプリケーションを起動した状態で原稿を読み取ると、クイックメニューの使用および設定した読み取り条件に関係なく、該当アプリケーションに自動的に連携されます。

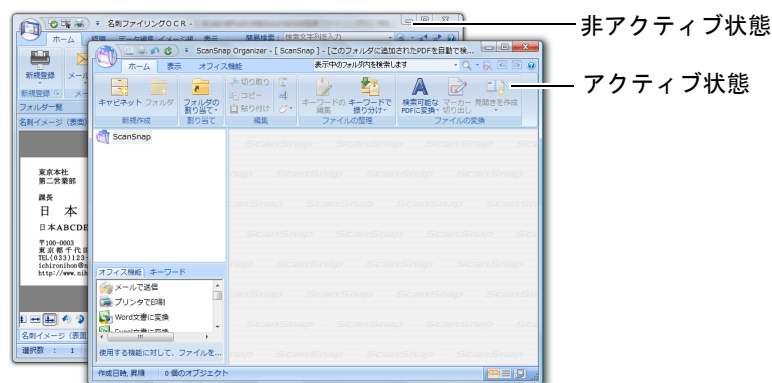
自動連携できるアプリケーションおよび原稿読み取り後の動作は、以下のとおりです。

- ScanSnap Organizer
  読み取った原稿のイメージデータが、ScanSnap Organizer で表示されます。
- 名刺ファイリング ＯＣＲ
  読み取った名刺のイメージデータが、名刺ファイリング ＯＣＲ で表示されます。
- 楽[2]ライブラリ パーソナル体験版/楽[2]ライブラリ パーソナル(V5.0 以降推奨/楽[2]ライブラリセットモデルに添付または別売)
  読み取った原稿のイメージデータが、楽[2]ライブラリのバインダに保存されます。
  – 年賀はがきデスクを起動している場合（*）
    年賀はがきを読み取ると、読み取った年賀はがきのイメージデータが楽[2]ライブラリの年賀はがきデスクで表示されます。
    年賀はがきデスクは、楽[2]ライブラリ パーソナル V5.0L30 以降の機能です。
- やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap（*）
  読み取ったレシートのイメージデータが、やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap で表示されます。
- モバイルに保存（*）
  読み取った原稿のイメージデータが、モバイル機器に送信されます。

* ：アクティブ状態のときだけ自動連携します。

自動連携には、以下の 2 つの連携方法があります。

●該当アプリケーションがアクティブ状態のときに連携する（推奨）

該当アプリケーションのどれかがアクティブ状態（タスク バー上でアプリケーションが選択され、アプリケーション画面が最前面に表示されている状態）のときに、ScanSnap の［Scan］ボタンを押して原稿を読み取ると、該当アプリケーションに自動連携されます。

上図の場合、ScanSnap Organizer の画面がアクティブ状態であるため、ScanSnap Organizer と自動連携されます。

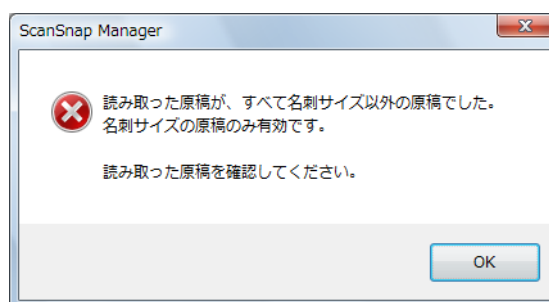
●該当アプリケーション起動中は、常に連携する

該当アプリケーションのどれかを起動すると、ScanSnap 設定画面の「アプリ選択」タブ→「アプリケーションの選択」の設定が、該当アプリケーションに自動的に切り替わります。該当アプリケーションの画面が最小化されている、または最前面に表示されていない場合でも自動的に連携します。該当アプリケーションを終了すると、自動連携は解除されます。
なお、複数の該当アプリケーションを同時に起動している場合は、以下の順で優先して連携されます。

– 名刺ファイリング ＯＣＲ
– ScanSnap Organizer
– 楽^{2}ライブラリ パーソナル体験版/楽^{2}ライブラリ パーソナル(V5.0以上推奨/楽^{2}ライブラリセットモデルに添付または別売)

クイックメニューを使用していない場合は、左クリックメニューに「＜アプリケーション名＞＋連携中」の項目が、チェックの入った状態で追加されます。

ScanSnap Organizer に自動連携されている場合

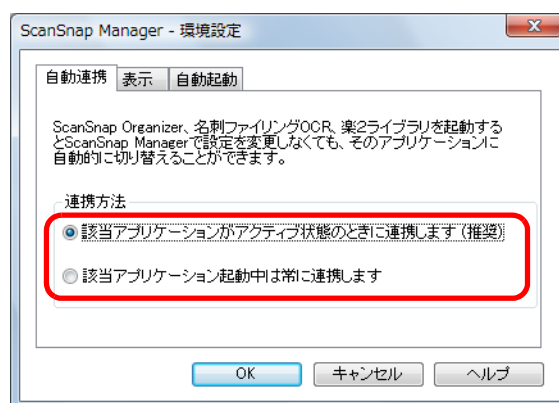
- 名刺ファイリング ＯＣＲ に自動連携する場合、名刺は、現在設定されている読み取り条件で読み取られます。名刺ファイリング ＯＣＲ がサポートしていない読み取り条件については、名刺ファイリング ＯＣＲ のデフォルトの値で読み取られます。
  名刺ファイリング ＯＣＲ のデフォルトの値については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。
- 名刺ファイリング ＯＣＲ に自動連携する場合、名刺サイズの原稿を読み取ったときにだけ連携します。
  名刺サイズ以外の原稿を読み取ると、以下のエラーメッセージが表示されます。

＜連携方法を切り替える場合＞

連携方法の切り替え手順は、以下のとおりです。

1. **右クリックメニューから、「ヘルプ」→「環境設定」を選択します。**

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。

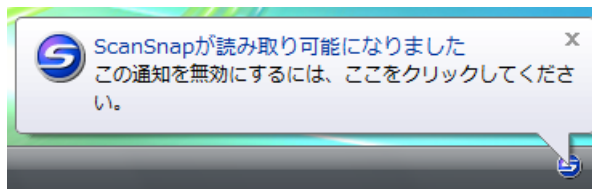
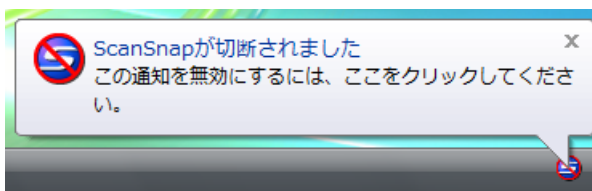
⇒「ScanSnap Manager - 環境設定」画面が表示されます。

2. **「自動連携」タブで連携方法を選択します。**

3. **［OK］ボタンをクリックして、「ScanSnap Manager - 環境設定」画面を閉じます。**

⇒ 選択した連携方法で、該当アプリケーションと自動連携されます。

■ ScanSnap の通信状態の通知

ScanSnap Manager が起動している状態で、ScanSnap の電源の ON/OFF が切り替わった場合、ScanSnap の通信状態をタスク バーのアイコンからポップアップバルーンで通知します。

● **ScanSnap の電源が ON になったとき**

● **ScanSnap の電源が OFF になったとき**

ScanSnap の通信状態の通知が不要な場合は、ポップアップバルーンをクリックすると表示される「ScanSnap Manager - 環境設定」画面の、「通信状態を通知します」チェックボックスのチェックを外してください。

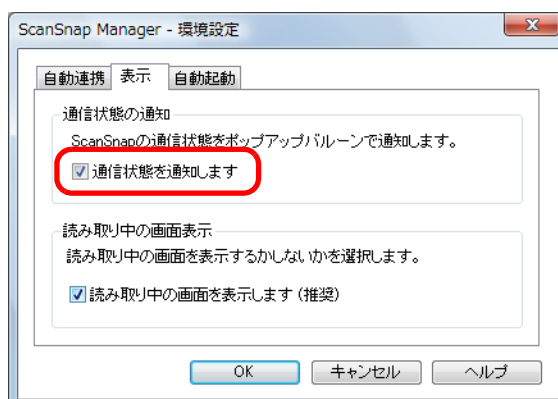
< ScanSnap の通信状態の通知 / 非通知を切り替える場合>

ScanSnap の通信状態を、ポップアップバルーンで通知するかどうかを切り替えられます。
設定方法は、以下のとおりです。

1. **右クリックメニューから、「ヘルプ」→「環境設定」を選択します。**

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」(75 ページ)を参照してください。

⇒「ScanSnap Manager - 環境設定」画面が表示されます。

2.「表示」タブの「通信状態を通知します」チェックボックスのチェックを付けるまたは外します。

「通信状態を通知します」チェックボックスのチェックを付けた場合は、ScanSnap の電源の ON/OFF に合わせて、通信状態が通知されます。

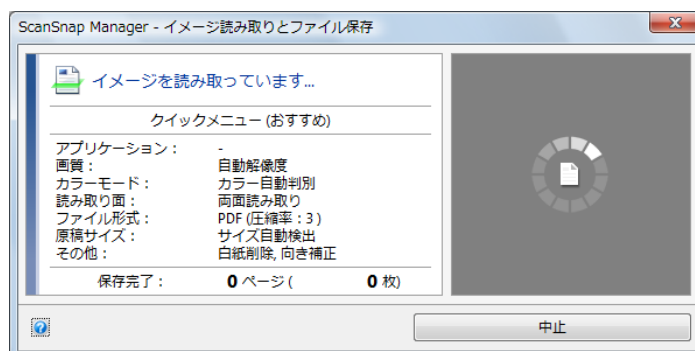
「通信状態を通知します」チェックボックスのチェックを外した場合は、通信状態は通知されません。

3.［OK］ボタンをクリックして、「ScanSnap Manager - 環境設定」画面を閉じます。

■ 原稿読み取り中の画面表示

原稿の読み取りが始まると、コンピュータの画面には、「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面が表示されます。
「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面には以下の情報が表示されます。

- 原稿の読み取り状況
- 原稿の読み取り条件の概略
- 保存したイメージデータのページ数
- 保存したイメージデータのプレビュー

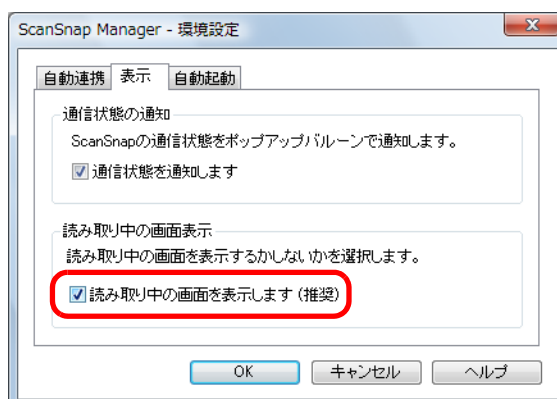
また、「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面の［中止］ボタンをクリックすると、原稿の読み取りを中止できます。
原稿の読み取りを中止する方法については、「原稿の読み取りを中止する場合」（93 ページ）を参照してください。

「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面は、最後に読み取った原稿のイメージデータを保存したあと、自動的に閉じられます。

＜原稿読み取り中の画面を非表示にする場合＞

「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面は、表示させないこともできます。
設定方法は、以下のとおりです。

1. **右クリックメニューから、「ヘルプ」→「環境設定」を選択します。**

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒「ScanSnap Manager - 環境設定」画面が表示されます。

2. **「表示」タブの「読み取り中の画面を表示します（推奨）」チェックボックスのチェックを外します。**

3. **［OK］ボタンをクリックして、「ScanSnap Manager - 環境設定」画面を閉じます。**

⇒ 次の原稿の読み取りから、「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面は表示されなくなります。

原稿読み取り中の画面が非表示の場合は、タスク バーの ScanSnap Manager のアイコンとが交互に表示されます。

オフィス機能

ScanSnap では、日常のオフィス業務で役立つ機能を「オフィス機能」として準備しました。
オフィス機能は、［Scan］ボタンを押すだけで、以下のような要望を実現します。

- **読み取った資料をみんなで共有したい。**
  ネットワーク上の共有フォルダーにイメージデータのファイルを保存して、関係者でデータを共有したり、ファイルの保存先情報をメールに自動的に記載して、簡単に関係者にお知らせしたりできます。
- **もうすぐ打ち合わせがあるので、手元にある紙の資料をメールで関係者に送りたい。**
  イメージデータのファイルをメールに添付して、関係者に送信できます。
- **紙の資料をコピーしたいが、コピー機の所まで行くのが面倒だ。**
  イメージデータをプリンターで印刷できます。
- **カタログやパンフレットなどをデータ化して保存したい。**
  データ化したカタログやパンフレットなどをピクチャフォルダに直接保存できます。
- **紙の資料の内容を引用したいが、入力するのが面倒だ。**
  イメージデータをテキスト認識し、Word 文書 /Excel 文書 /PowerPoint 文書に変換できます。
- **大量の名刺を整理・整頓したい。**
  名刺のイメージデータが名刺ファイリング ＯＣＲ に登録され、名刺ファイリング ＯＣＲ で名刺の情報を管理できます。
- **SharePoint に連携して資料を共有したい。**
  SharePoint および Office Live にイメージデータを保存できます。
- **身のまわりにある紙の資料をデータ化して、手軽に整理・整頓したい。**
  データ化した資料を楽 2 ライブラリに直接保存して、整理・整頓できます。
- **年賀はがきをデータ化して、整理・整頓したい。**
  データ化した年賀はがきを楽 2 ライブラリの年賀はがきデスクに直接保存して、整理・整頓できます。
- **レシートに記載されている品名や金額を家計簿に入力するのが面倒だ。**
  レシートの内容を、家計簿の支出明細に自動的に入力できます。

- **Evernote に連携して資料（活字原稿）を活用したい。**

  Evernote に PDF ファイルを保存できます。保存された PDF ファイルは、いつでもどこでも簡単に参照できます。

- **Evernote に連携して資料（手書き文字を含む原稿）を活用したい。**

  Evernote に JPEG ファイルを保存できます。保存された JPEG ファイルは、いつでもどこでも簡単に参照できます。

- **Google ドキュメントに連携して資料を活用したい。**

  Google ドキュメントに PDF ファイルを保存できます。保存された PDF ファイルは、いつでもどこでも簡単に参照できます。

- **Salesforce Chatter に連携して資料を活用したい。**

  Salesforce Chatter にイメージデータのファイルを投稿できます。投稿したファイルは、Salesforce CRM で活用できます。

- **SugarSync に連携して資料を活用したい。**

  SugarSync の同期フォルダーにイメージデータのファイルを保存できます。保存されたファイルは、いつでもどこでも簡単に参照できます。

- **モバイル機器に資料を保存したい。**

  イメージデータのファイルを、モバイル機器に保存できます。保存されたファイルは、PDF ファイルおよび JPEG ファイルが閲覧可能なアプリケーションと連携すると、参照できます。

次に、具体的な使用方法について説明します。

■ 指定したフォルダーに保存します

指定したフォルダーに、イメージデータを保存する方法について説明します。
ネットワーク上の共有フォルダーに保存すると、関係者でデータを共有できます。また、ファイルの保存先情報をメール本文に自動的に記載できるので、簡単に関係者にお知らせできます。

連携するメールソフトは、既定のプログラムとして設定したメールソフトが使用されます。
既定のプログラムとして設定したメールソフトでも、正しく連携されないことがあります。正しく連携されない場合は、お使いのメールソフトの発売元にお問い合わせください。
連携するメールソフトの設定方法は、以下のとおりです。

Windows 7/Windows Vista の場合

1. 「スタート」メニュー→「既定のプログラム」→「既定のプログラムの設定」をクリックします。
   ⇒「既定のプログラムを設定します」画面が表示されます。
2. 「プログラム」の中から連携するメールソフトを選択します。
3. 以下を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
   Windows 7 :「すべての項目に対し、既定のプログラムとして設定する」
   Windows Vista :「このプログラムを既定として設定する」

Windows XP/Windows 2000 の場合

Internet Explorer の「ツール」メニュー→「インターネットオプション」→「プログラム」タブ→「電子メール」で設定されているメールソフトに連携されます。
設定されていない場合は、連携するメールソフトを「電子メール」に設定してください。
ここで設定できないメールソフトには連携できません。

動作確認できているメールソフト

- Windows Live メール
- Windows メール（Windows Vista ）
- Outlook 2010 / 2007 / 2003
- Outlook Express 6
- Becky! Internet Mail Ver.2（2.54.00）
- Thunderbird version 3.0.4

クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 121 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 124 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（79 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3. 「指定したフォルダに保存」アイコンをクリックします。

⇒「指定したフォルダに保存」画面が表示されます。

4. プレビューで読み取り結果を確認します。

「指定したフォルダに保存」画面では、ファイル名や保存先フォルダーを変更したり、ファイルの保存先情報をメールに記載するかどうかを設定したりできます。
「指定したフォルダに保存」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

5. ［保存］ボタンをクリックします。

⇒ 指定したフォルダーにファイルが保存されます。

⇒「指定したフォルダに保存」画面で、「ファイルの保存先情報をメールに記載する」チェックボックスにチェックを付けた場合は、ファイルの保存先情報がメールの本文に記載された状態で、新規メッセージ画面が表示されます。

- クイックメニューを表示してから「指定したフォルダに保存」画面を閉じるまでの間は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「指定したフォルダに保存」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニューを表示してから「指定したフォルダに保存」画面を閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

<クイックメニューを使用しない場合>

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（85 ページ）を参照してください。

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. 「アプリ選択」タブ の「アプリケーションの選択」で、「指定したフォルダに保存」を選択します。

以下の方法でも、連携するアプリケーションを設定できます。
- ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ドロップダウンリストから「指定したフォルダに保存」を選択
- 左クリックメニューから「指定したフォルダに保存」を選択

3. [OK] ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

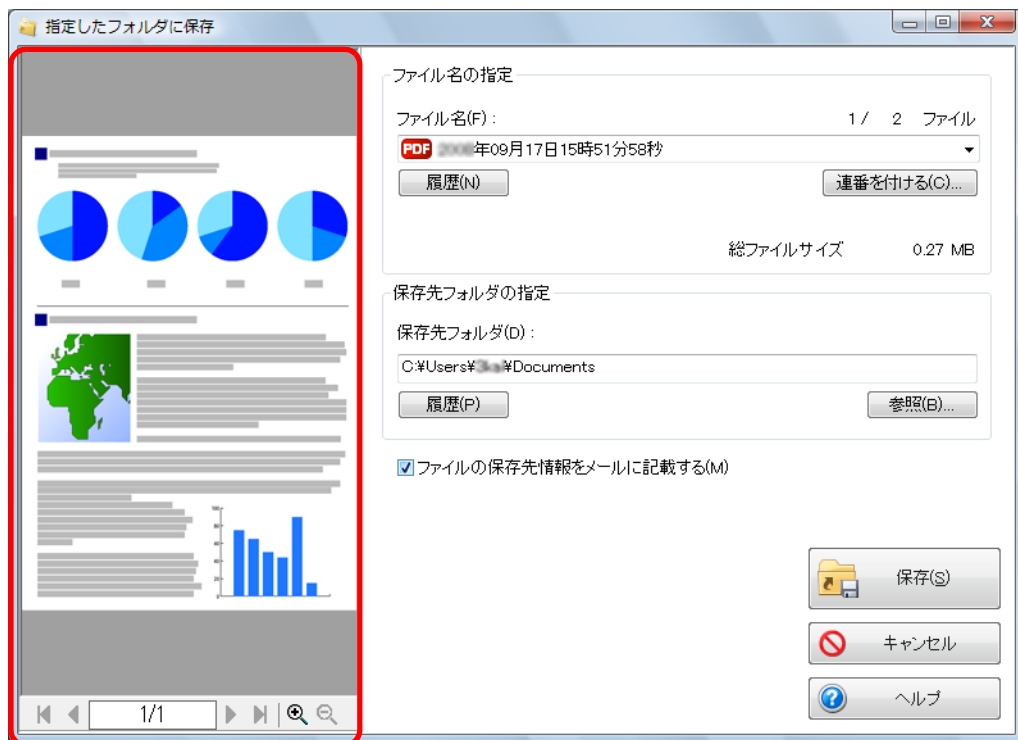
4. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

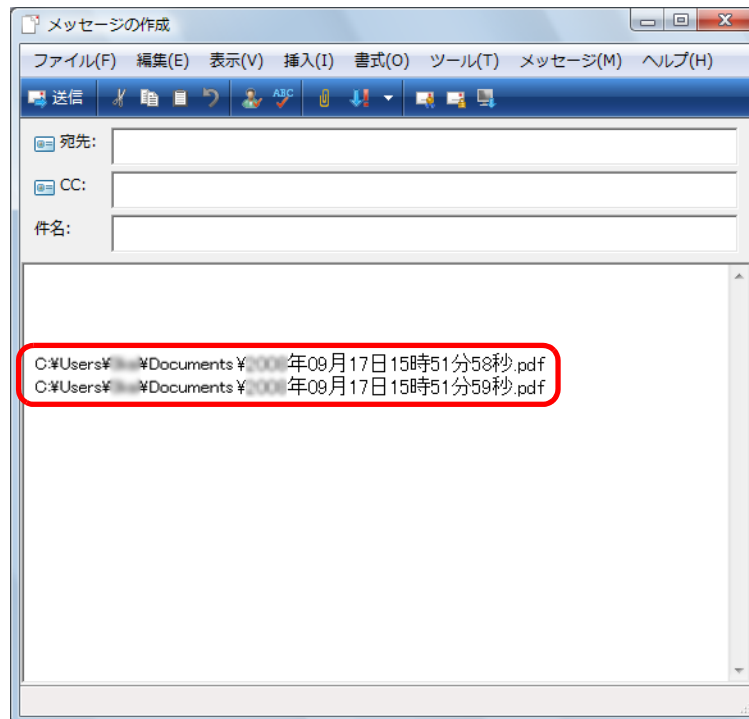
5. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、「指定したフォルダに保存」画面が表示されます。

6. プレビューで読み取り結果を確認します。

「指定したフォルダに保存」画面では、ファイル名や保存先フォルダーを変更したり、ファイルの保存先情報をメールに記載するかどうかを設定したりできます。
「指定したフォルダに保存」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

7. ［保存］ボタンをクリックします。

⇒ 指定したフォルダーにファイルが保存されます。

⇒「指定したフォルダに保存」画面で、「ファイルの保存先情報をメールに記載する」チェックボックスにチェックを付けた場合は、ファイルの保存先情報がメールの本文に記載された状態で、新規メッセージ画面が表示されます。

- 「指定したフォルダに保存」画面表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「指定したフォルダに保存」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- 「指定したフォルダに保存」画面表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

■ メールに添付します

イメージデータをメールに添付する方法について説明します。

連携するメールソフトは、既定のプログラムとして設定したメールソフトが使用されます。
既定のプログラムとして設定したメールソフトでも、正しく連携されないことがあります。正しく連携されない場合は、お使いのメールソフトの発売元にお問い合わせください。
連携するメールソフトの設定方法は、以下のとおりです。

Windows 7/Windows Vista の場合

1. 「スタート」メニュー→「既定のプログラム」→「既定のプログラムの設定」をクリックします。
   ⇒「既定のプログラムを設定します」画面が表示されます。
2. 「プログラム」の中から連携するメールソフトを選択します。
3. 以下を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
   Windows 7 :「すべての項目に対し、既定のプログラムとして設定する」
   Windows Vista :「このプログラムを既定として設定する」

Windows XP/Windows 2000 の場合

Internet Explorer の「ツール」メニュー→「インターネットオプション」→「プログラム」タブ→「電子メール」で設定されているメールソフトに連携されます。
設定されていない場合は、連携するメールソフトを「電子メール」に設定してください。
ここで設定できないメールソフトには連携できません。

動作確認できているメールソフト

- Windows Live メール
- Windows メール（Windows Vista ）
- Outlook 2010 / 2007 / 2003
- Outlook Express 6
- Becky! Internet Mail Ver.2（2.54.00）
- Thunderbird version 3.0.4

クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 128 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 133 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（79 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

メールに添付できるファイル数は、10 個までです。
読み取り条件に以下が設定されている場合、複数枚の原稿を読み取ると、複数のファイルが作成されます。読み取る原稿の枚数に注意してください。

- ファイル形式の選択：JPEG（*.jpg）
- 「設定ページごとに PDF ファイルを作ります」チェックボックスにチェックが付いている

2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3. 「メールで送信」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1. 「メールで送信」アイコンの⚙から「設定」メニューを選択します。

⇒「メールで送信 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「メールで送信 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3.［OK］ボタンをクリックして、「メールで送信 - 設定」画面を閉じます。

4.「メールで送信」アイコンをクリックします。

⇒「メールで送信」画面が表示されます。
手順 3. で、「メールで送信 - 設定」画面の「プレビュー画面を表示する」チェックボックスのチェックを外した場合は、「メールで送信」画面は表示されません。ファイルがメールに添付された状態で、新規メッセージ画面が表示されます。

5. プレビューで読み取り結果を確認します。

「メールで送信」画面では、ファイル名を変更したり、ファイルを開くためのパスワードを付けるかどうかや、読み取り条件の「イメージの保存先」にファイルを残すかどうかを設定したりできます。
「メールで送信」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

6. ［添付］ボタンをクリックします。

⇒「メールで送信 - 設定」画面または「メールで送信」画面で、「PDF ファイルに「文書を開くパスワード」を付ける」チェックボックスにチェックを付けた場合は、「メールで送信 - パスワードの設定」画面が表示されます。

パスワードを入力して、［OK］ボタンをクリックします。

「メールで送信 - パスワードの設定」画面で［キャンセル］ボタンをクリックすると、以下のメッセージが表示されます。

PDF ファイルにファイルを開くパスワードを付けない場合は［はい］ボタンをクリックしてください。

⇒ ファイルがメールに添付された状態で、新規メッセージ画面が表示されます。

- クイックメニューを表示してから「メールで送信」画面を閉じるまでの間は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「メールで送信」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニューを表示してから「メールで送信」画面を閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

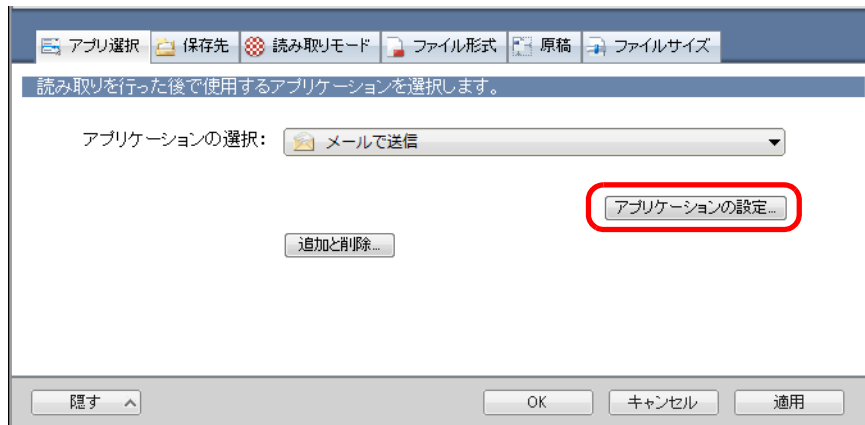
＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（85 ページ）を参照してください。

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。

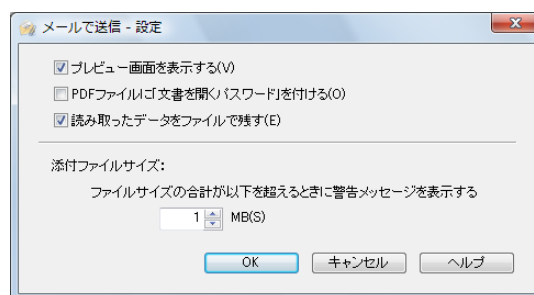
右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. 「アプリ選択」タブ の「アプリケーションの選択」で、「メールで送信」を選択します。

以下の方法でも、連携するアプリケーションを設定できます。
- ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ドロップダウンリストから「メールで送信」を選択
- 左クリックメニューから「メールで送信」を選択

3.「メールで送信」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1.［アプリケーションの設定］ボタンをクリックします。

⇒「メールで送信 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「メールで送信 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3.［OK］ボタンをクリックして、「メールで送信 - 設定」画面を閉じます。

4.［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

5. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

メールに添付できるファイル数は、10 個までです。
読み取り条件に以下が設定されている場合、複数枚の原稿を読み取ると、複数のファイルが作成されます。読み取る原稿の枚数に注意してください。
- ファイル形式の選択：JPEG（*.jpg）
- 「設定ページごとに PDF ファイルを作ります」チェックボックスにチェックが付いている

6. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、「メールで送信」画面が表示されます。
手順 3. で、「メールで送信 - 設定」画面の「プレビュー画面を表示する」チェックボックスのチェックを外した場合は、「メールで送信」画面は表示されません。
ファイルがメールに添付された状態で、新規メッセージ画面が表示されます。

7. プレビューで読み取り結果を確認します。

「メールで送信」画面では、ファイル名を変更したり、ファイルを開くためのパスワードを付けるかどうかや、読み取り条件の「イメージの保存先」にファイルを残すかどうかを設定したりできます。
「メールで送信」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

8. ［添付］ボタンをクリックします。

⇒「メールで送信 - 設定」画面または「メールで送信」画面で、「PDF ファイルに「文書を開くパスワード」を付ける」チェックボックスにチェックを付けた場合は、「メールで送信 - パスワードの設定」画面が表示されます。

パスワードを入力して、［OK］ボタンをクリックします。

「メールで送信 - パスワードの設定」画面で［キャンセル］ボタンをクリックすると、以下のメッセージが表示されます。

PDF ファイルにファイルを開くパスワードを付けない場合は［はい］ボタンをクリックしてください。

⇒ ファイルがメールに添付された状態で、新規メッセージ画面が表示されます。

- 「メールで送信」画面表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「メールで送信」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- 「メールで送信」画面表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

■ ScanSnap をコピー機代わりに利用します

イメージデータをプリンターで印刷する方法について説明します。
プリンターに連携すると、ScanSnap をコピー機のように利用できます。

- 原稿の読み取り方法や原稿の状態によっては、原稿の読み取り時に原稿の端の影が映って、イメージデータに線が入ることがあります。この状態でプリンターに連携すると、線が入ったイメージデータが印刷されます。
- イメージデータは、ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「画質の選択」の設定にかかわらず、常に 150dpi の解像度で印刷されます。

クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 139 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 142 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（79 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

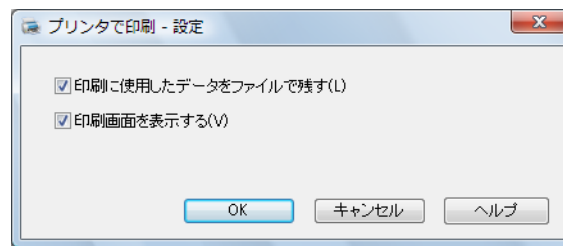
2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3.「プリンタで印刷」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1.「プリンタで印刷」アイコンの⚙から「設定」メニューを選択します。

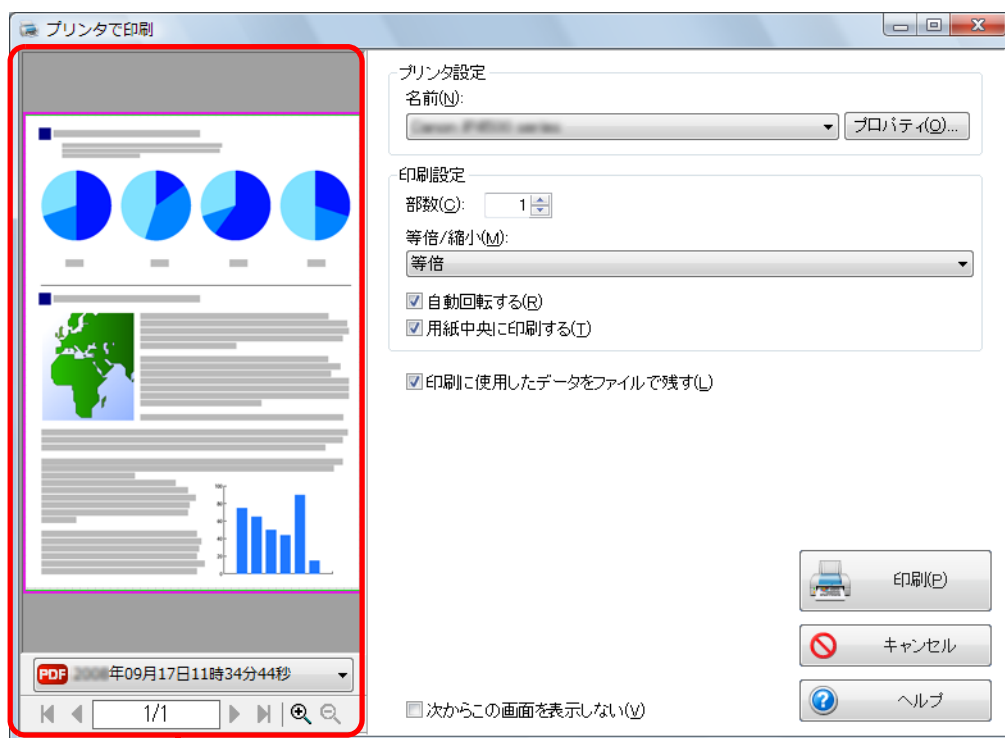
⇒「プリンタで印刷 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「プリンタで印刷 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3. ［OK］ボタンをクリックして、「プリンタで印刷 - 設定」画面を閉じます。

4.「プリンタで印刷」アイコンをクリックします。

⇒「プリンタで印刷」画面が表示されます。
手順 3. で、「印刷画面を表示する」チェックボックスのチェックを外した場合は、直接印刷が実行されます。

5. プレビューで読み取り結果を確認します。

「プリンタで印刷」画面では、印刷するプリンター、印刷部数、イメージデータの印刷サイズ、および読み取り条件の「イメージの保存先」にファイルを残すかどうかを設定できます。
「プリンタで印刷」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

プレビュー

6. ［印刷］ボタンをクリックします。

⇒ イメージデータが印刷されます。

- クイックメニューを表示してから「プリンタで印刷」画面を閉じるまでの間は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「プリンタで印刷」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニューを表示してから「プリンタで印刷」画面を閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

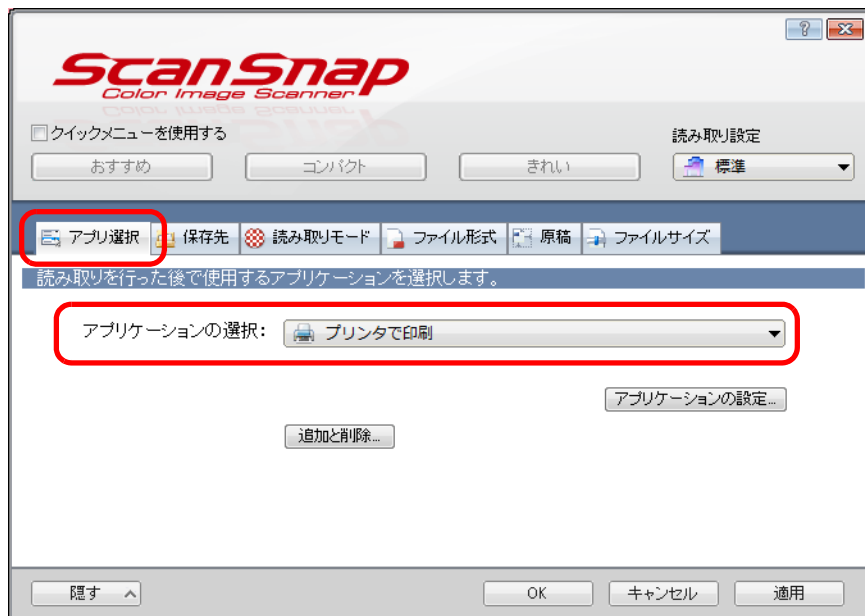
＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（85 ページ）を参照してください。

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。

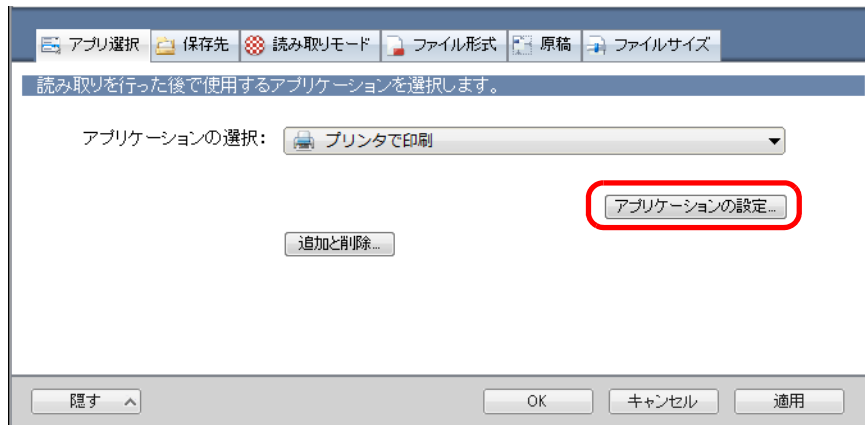
右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。

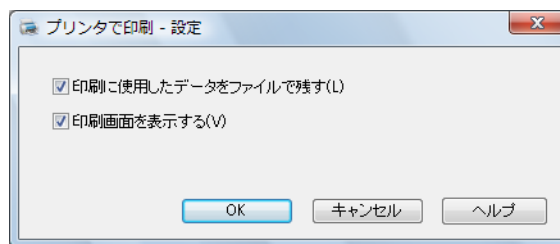
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. 「アプリ選択」タブ の「アプリケーションの選択」で、「プリンタで印刷」を選択します。

以下の方法でも、連携するアプリケーションを設定できます。

- ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ドロップダウンリストから「プリンタで印刷」を選択
- 左クリックメニューから「プリンタで印刷」を選択

3. 「プリンタで印刷」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1. ［アプリケーションの設定］ボタンをクリックします。

⇒「プリンタで印刷 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「プリンタで印刷 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3. ［OK］ボタンをクリックして、「プリンタで印刷 - 設定」画面を閉じます。

4. ［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

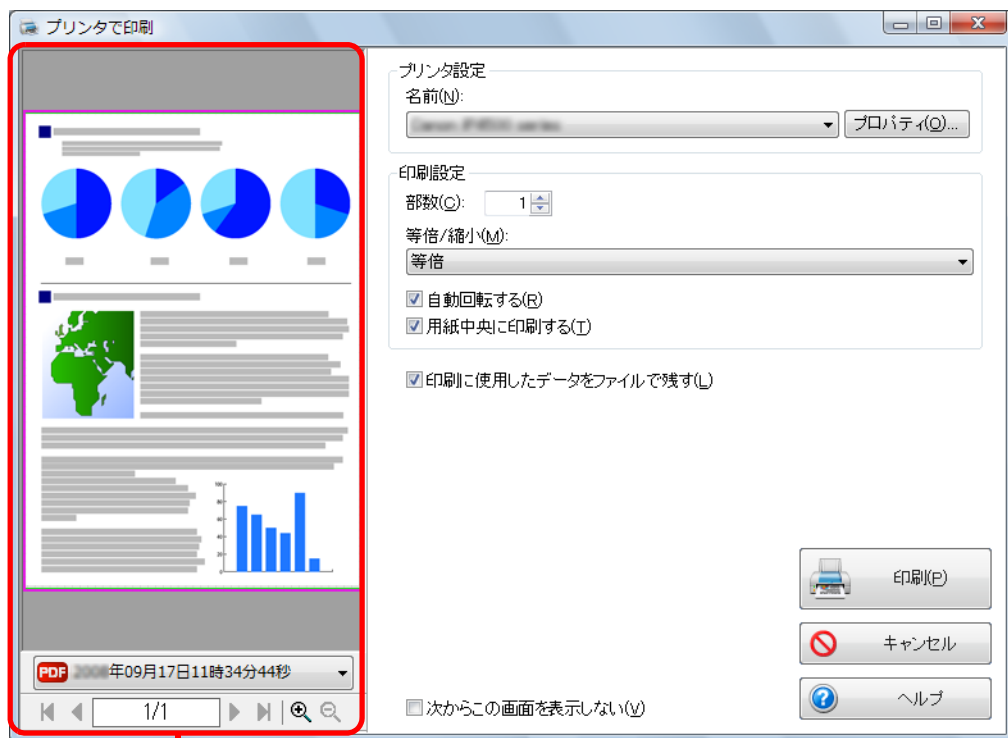
5. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

6. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、「プリンタで印刷」画面が表示されます。
手順 3. で、「印刷画面を表示する」チェックボックスのチェックを外した場合は、直接印刷が実行されます。

7. プレビューで読み取り結果を確認します。

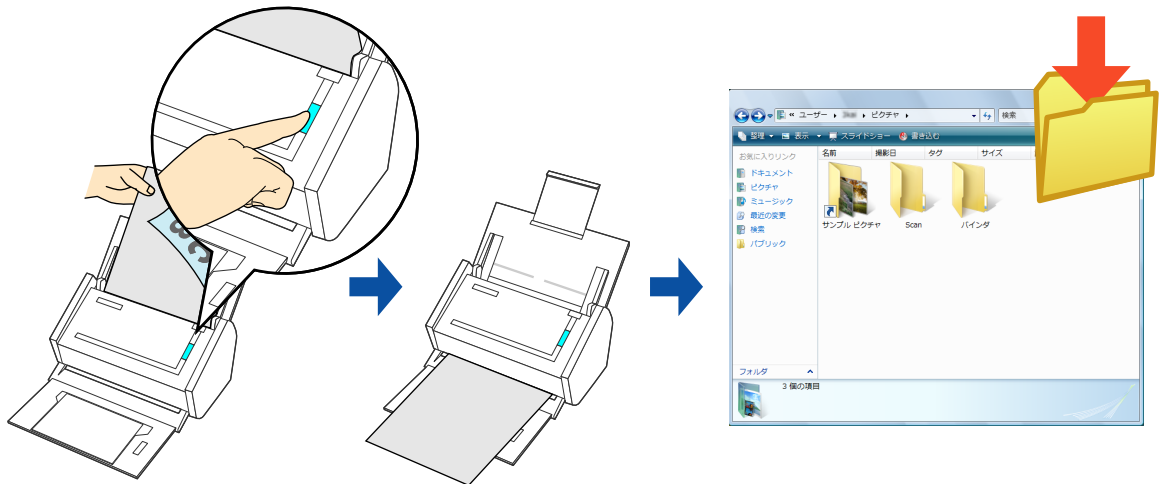
「プリンタで印刷」画面では、印刷するプリンター、印刷部数、イメージデータの印刷サイズ、および読み取り条件の「イメージの保存先」にファイルを残すかどうかを設定できます。
「プリンタで印刷」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

プレビュー

8. [印刷] ボタンをクリックします。

⇒ イメージデータが印刷されます。

- 「プリンタで印刷」画面表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「プリンタで印刷」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- 「プリンタで印刷」画面表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

■ ピクチャフォルダに保存します

イメージデータを JPEG ファイルとして、ピクチャフォルダに保存する方法について説明します。

デフォルトでは、以下のフォルダーが「ピクチャフォルダ」として設定されています。

- Windows 7/Windows Vista の場合
  ドライブ名（C など）: ¥ Users ¥（ユーザー名）¥ Pictures ¥ ScanSnap
- Windows XP/Windows 2000 の場合
  ドライブ名（C など）: ¥ Documents and Settings ¥（ユーザー名）¥ My Documents ¥ My Pictures ¥ ScanSnap

クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 146 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 150 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（79 ページ）を参照してください。

1. **ScanSnap に原稿をセットします。**

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

2. **ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。**

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

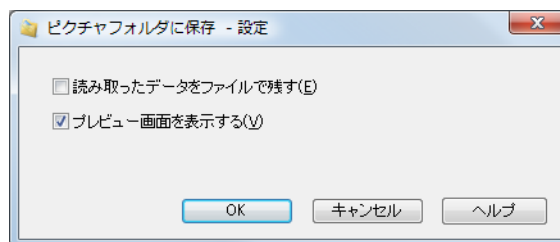
3. **「ピクチャフォルダに保存」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。**

1. ページ切り替えボタンをクリックして、クイックメニューのページを切り替えます。

2.「ピクチャフォルダに保存」アイコンのから「設定」メニューを選択します。

⇒「ピクチャフォルダに保存 - 設定」画面が表示されます。

3. 設定を変更します。

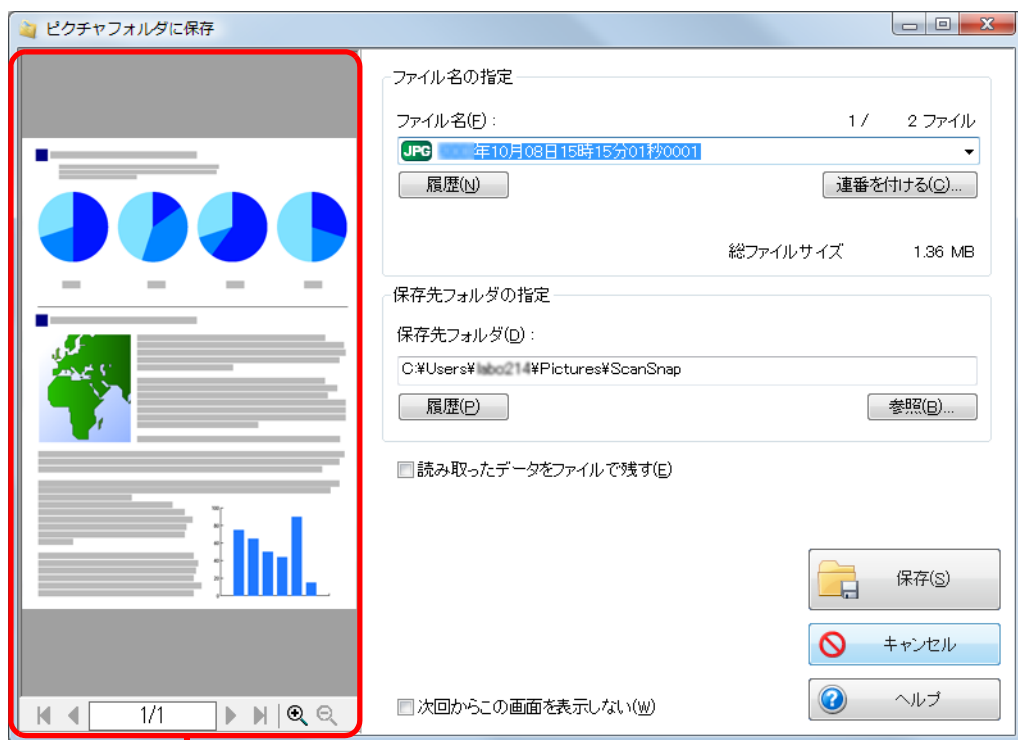
「ピクチャフォルダに保存 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

4.［OK］ボタンをクリックして、「ピクチャフォルダに保存 - 設定」画面を閉じます。

4.「ピクチャフォルダに保存」アイコンをクリックします。

⇒「ピクチャフォルダに保存」画面が表示されます。

手順 3. で、「プレビュー画面を表示する」チェックボックスのチェックを外した場合は、イメージデータが直接ピクチャフォルダに保存されます。

5. プレビューで読み取り結果を確認します。

「ピクチャフォルダに保存」画面では、ファイル名や保存先フォルダーを変更したり、読み取り条件の「イメージの保存先」にファイルを残すかどうかを設定したりできます。
「ピクチャフォルダに保存」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

プレビュー

イメージデータの保存先は、「保存先フォルダの指定」でピクチャフォルダ以外にも設定できます。

6. ［保存］ボタンをクリックします。

⇒ イメージデータが、ピクチャフォルダに保存されます。

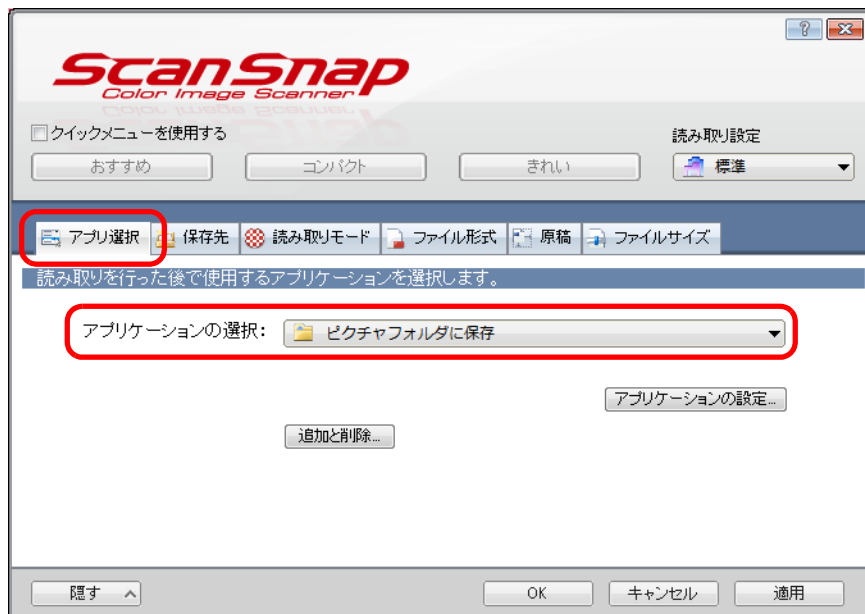
- クイックメニューを表示してから「ピクチャフォルダに保存」画面を閉じるまでの間は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「ピクチャフォルダに保存」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニューを表示してから「ピクチャフォルダに保存」画面を閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

＜クイックメニューを使用しない場合＞

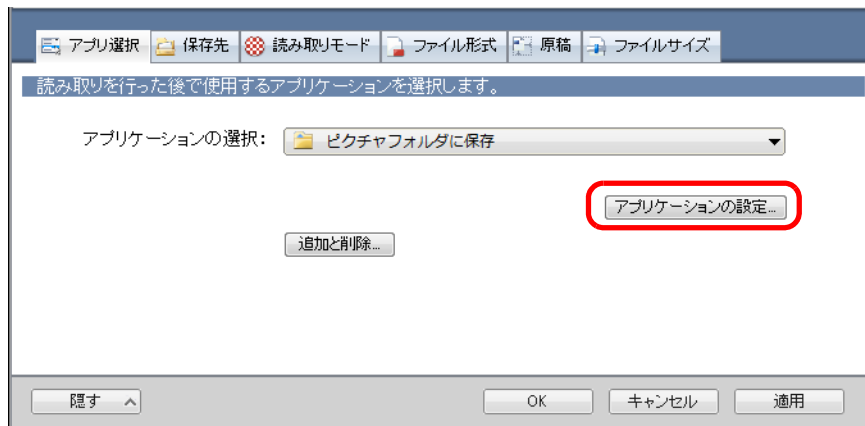
クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（85 ページ）を参照してください。

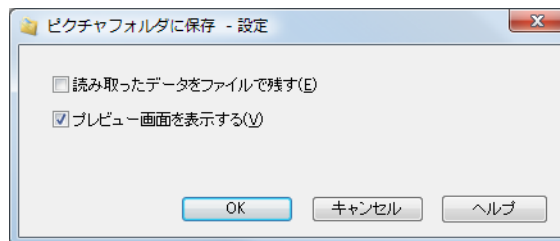
1. **右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。**

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. **「アプリ選択」タブ の「アプリケーションの選択」で、「ピクチャフォルダに保存」を選択します。**

この状態で読み取り設定を追加しておけば、次回から、「読み取り設定」ドロップダウンリストまたは左クリックメニューで、連携するアプリケーションを設定できます。
読み取り設定の追加方法については、「読み取り設定の管理」（101 ページ）を参照してください。

3.「ピクチャフォルダに保存」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1.［アプリケーションの設定］ボタンをクリックします。

⇒「ピクチャフォルダに保存 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「ピクチャフォルダに保存 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3.［OK］ボタンをクリックして、「ピクチャフォルダに保存 - 設定」画面を閉じます。

4.［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

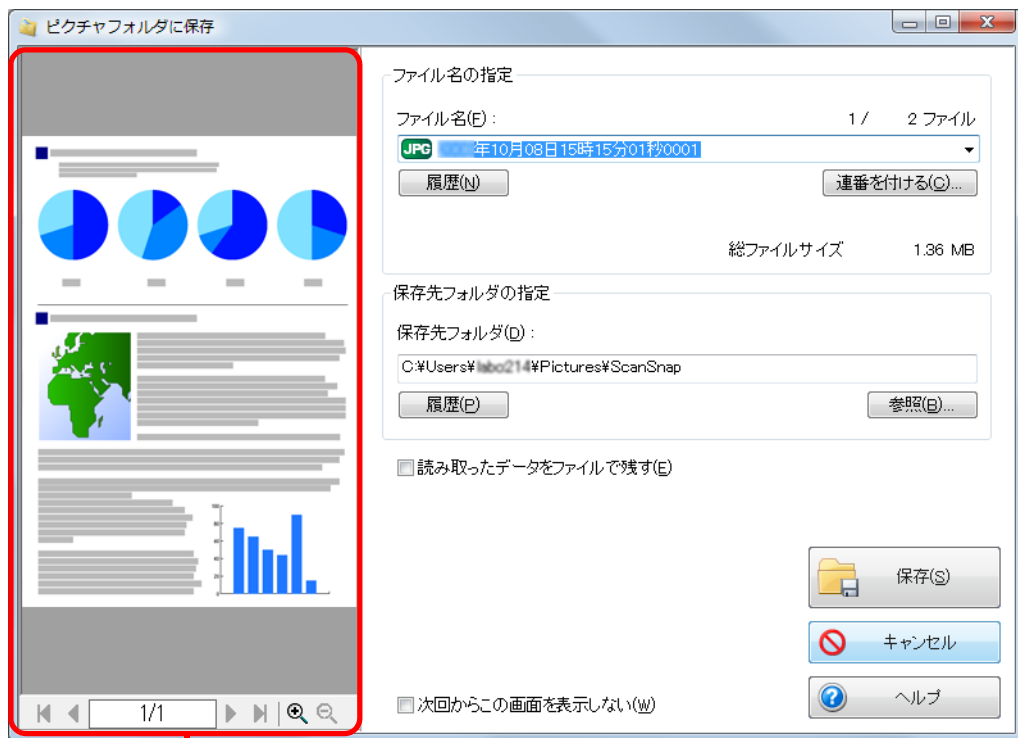
5. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

6. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、「ピクチャフォルダに保存」画面が表示されます。
手順 3. で、「プレビュー画面を表示する」チェックボックスのチェックを外した場合は、イメージデータが直接ピクチャフォルダに保存されます。

7. プレビューで読み取り結果を確認します。

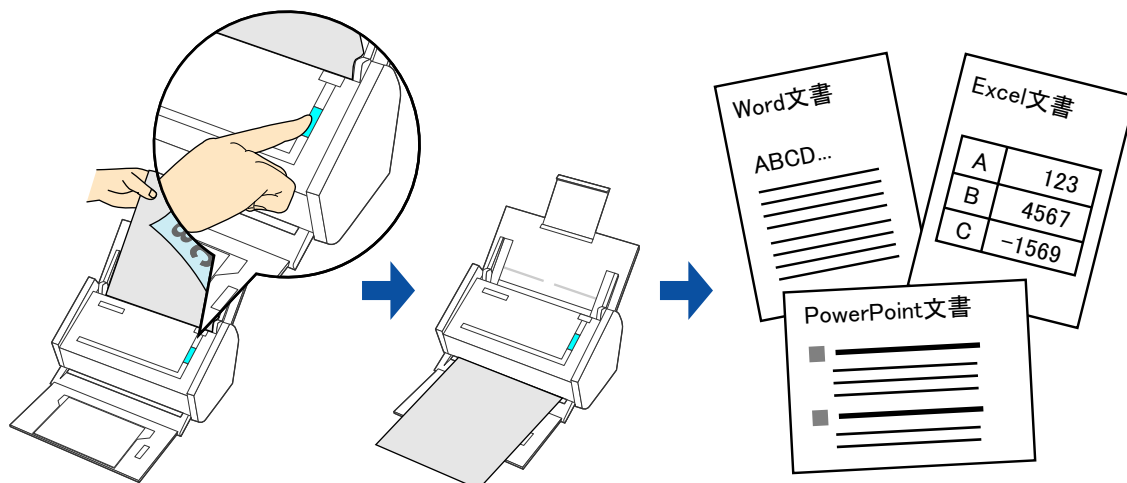
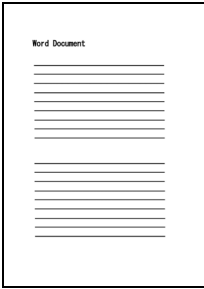
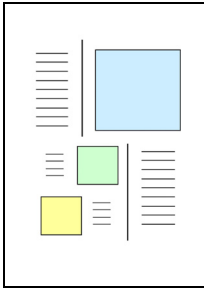
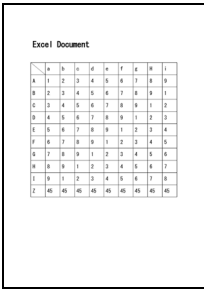
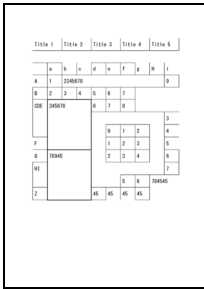
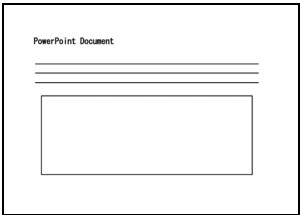
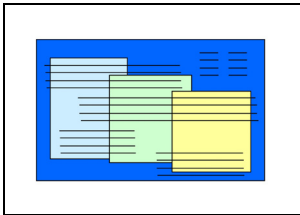
「ピクチャフォルダに保存」画面では、ファイル名や保存先フォルダーを変更したり、読み取り条件の「イメージの保存先」にファイルを残すかどうかを設定したりできます。
「ピクチャフォルダに保存」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

イメージデータの保存先は、「保存先フォルダの指定」でピクチャフォルダ以外にも設定できます。

8. ［保存］ボタンをクリックします。

⇒ イメージデータが、ピクチャフォルダに保存されます。

- 「ピクチャフォルダに保存」画面表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「ピクチャフォルダに保存」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- 「ピクチャフォルダに保存」画面表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

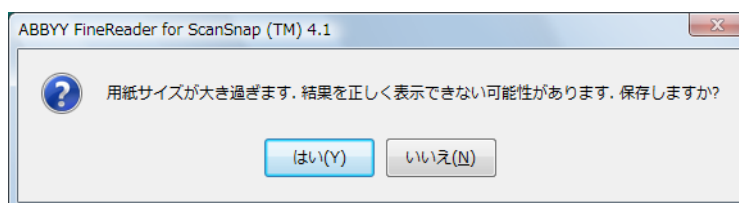
■ Word/Excel/PowerPoint 文書に変換します

ScanSnap に添付されている ABBYY FineReader for ScanSnap を使用して、イメージデータを、Word / Excel / PowerPoint 文書に変換する方法について説明します。

- 本機能を使用するには、お使いのコンピュータに以下のアプリケーションがインストールされている必要があります。
  - ABBYY FineReader for ScanSnap（ScanSnap に添付）
  - Word
  - Excel
  - PowerPoint
  - Office 共有機能の Visual Basic for Applications（Microsoft Office を標準インストールすると、同時にインストールされます）
- Word / Excel / PowerPoint 文書に変換した結果を表示・確認するには、Word、Excel、および PowerPoint をインストール後、ユーザー登録やライセンス認証を完了し、使用可能な状態にしてください。
- ABBYY FineReader for ScanSnap は、Word、Excel、および PowerPoint の以下のバージョンに対応しています。
  - Word：2010 / 2007 / 2003 / 2002
  - Excel：2010 / 2007 / 2003 / 2002
  - PowerPoint：2010 / 2007 / 2003 / 2002
- Word、Excel、および PowerPoint を使用中に、本機能を実行しないでください。また、本機能を実行中に Word、Excel、および PowerPoint を使用しないでください。これらを同時に行うと「呼び出し先が呼び出しを拒否しました」などのメッセージが表示され、変換結果が表示されない場合があります。

ABBYY FineReader for ScanSnap の文字変換機能について

- ABBYY FineReader for ScanSnap は、ScanSnap 専用のアプリケーションです。ScanSnap で作成した PDF ファイルだけ変換できます。Adobe Acrobat やそのほかのアプリケーションで作成した PDF ファイルは変換できません。
- 文字変換機能には、以下のような特性があります。変換処理を行う前に、対象となる原稿を確認してください。

変換アプリケーション	変換に適している原稿	変換に適していない原稿
Word 文書に変換	1 ～ 2 段組の、レイアウトが単純な原稿	図 / 表 / 文書が入り混じったカタログ、雑誌、新聞のような、レイアウトが複雑な原稿
Excel 文書に変換	すべての罫線が、表の外枠まで届いている単純な表を含む原稿	以下を含む原稿 ● 罫線で仕切られていない表 ● 間仕切りが多い複雑な表 ● 表の中に表があるような入り組んだ表 ● 図 ● グラフ ● 写真 ● 縦書きの文章
PowerPoint(R) に変換	背景が白または薄い色の一色で、文字と単純な図表で構成された原稿	文字が図や絵と複雑に入り組んだ文書 / 文字の背景に写真や模様のある原稿 / 文字よりも背景の色が濃い原稿

- 以下の情報は、原稿どおりに再現できない場合があります。変換結果を、Word、Excel、またはPowerPoint で確認し、必要な場合は編集してから使用することを推奨します。
  - 文字のサイズおよびフォント
  - 文字間隔および行間隔
  - 下線付き文字、ボールド文字（太字）、イタリック文字
  - 上下添え字
- 以下の原稿（文字）は、正しく文字認識できない場合があります。
  この場合、カラーモードを変更したり、解像度（画質）を上げたりして読み取ると認識できることがあります。
  - 手書き文字を含んだ原稿
  - 小さな文字（10 ポイント未満）の原稿
  - 傾いた原稿
  - 指定された言語以外で書かれた原稿
  - 文字の背景が不均一色の原稿
    例：網掛けされている文字
  - 装飾文字が多い原稿
    例：影、白抜きなど装飾がされている文字
  - 文字の背景に模様がある原稿
    例：絵や図と重なっている文字
  - 下線や罫線に接触している文字が多い原稿
  - 複雑なレイアウトの原稿や、ノイズが多い原稿
    （認識処理に非常に時間がかかる場合があります。）
- 長尺原稿を Word 文書に変換すると、以下のメッセージが表示され、変換結果が複数のページに分割される場合があります。

- Excel 文書に変換する場合は、認識結果が 65536 行を超えると、それ以降の結果は保存されません。
- Excel 文書に変換する場合は、原稿全体のレイアウト、図、グラフ、および表の高さ / 幅の情報は再現されません。表と文字列だけが再現されます。
- PowerPoint 文書に変換する場合は、背景の色および模様は再現されません。
- 原稿の向きを上下逆さま / 横向きにすると、正しく変換できません。「原稿の向きを自動的に補正します」（260 ページ）を使用するか、原稿の向きを正しくセットして読み取ってください。
- ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→［オプション］ボタン→「読み取りモードオプション」画面→「設定ページごとに PDF ファイルを作ります」チェックボックスにチェックを付けた場合でも、変換結果は 1 つのファイルに保存されます。

ABBYY FineReader for ScanSnap の設定画面で、Word / Excel / PowerPoint 文書に変換するときのオプションを設定できます。

「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「ABBYY FineReader for ScanSnap（TM）4.1」→「ABBYY FineReader for ScanSnap（TM）4.1」を選択すると、以下の画面が表示されます。

設定方法の詳細については、ABBYY FineReader for ScanSnap のユーザーズガイドを参照してください。

クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 157 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 159 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（79 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

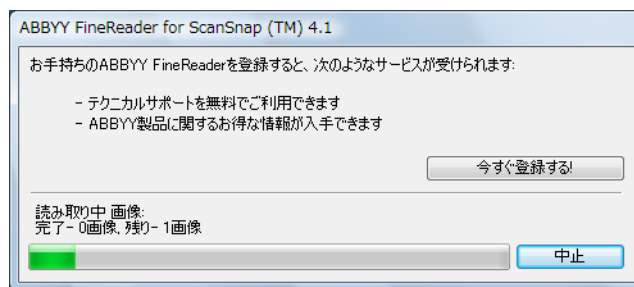
2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「画質の選択」の設定は、「自動解像度」または「スーパーファイン」を推奨します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3. 「Word 文書に変換」、「Excel 文書に変換」、または「PowerPoint(R) 文書に変換」をクリックします。

- ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」で、「JPEG (*.jpg)」を選択して原稿を読み取った場合は、Word 文書、Excel 文書、または PowerPoint 文書に変換できません。
- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。処理を完了してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

⇒ 以下の画面が表示され、イメージデータの Word 文書、Excel 文書、または PowerPoint 文書への変換が開始されます。

⇒ 変換が完了すると、Word、Excel、または PowerPoint が起動され、変換結果が表示されます。

Word、Excel、または PowerPoint がインストールされていない環境では、変換後のイメージデータは以下のファイル形式で保存されます。

- Word 文書に変換：RTF 形式（.rtf）
- Excel 文書に変換：XLS 形式（.xls）
- PowerPoint 文書に変換：PPT 形式（.ppt）

＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（85 ページ）を参照してください。

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. 「アプリ選択」タブ の「アプリケーションの選択」で、「Word 文書に変換」、「Excel 文書に変換」、または「PowerPoint(R) 文書に変換」を選択します。

- ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「画質の選択」の設定は、「自動解像度」または「スーパーファイン」を推奨します。
- 以下の方法でも、連携するアプリケーションを設定できます。
  - ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ドロップダウンリストから「Word 文書に変換」、「Excel 文書に変換」、または「PowerPoint(R) に文書に変換」を選択
  - 左クリックメニューから「Word 文書に変換」、「Excel 文書に変換」、または「PowerPoint(R) に文書に変換」を選択

3. ［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

4. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

5. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

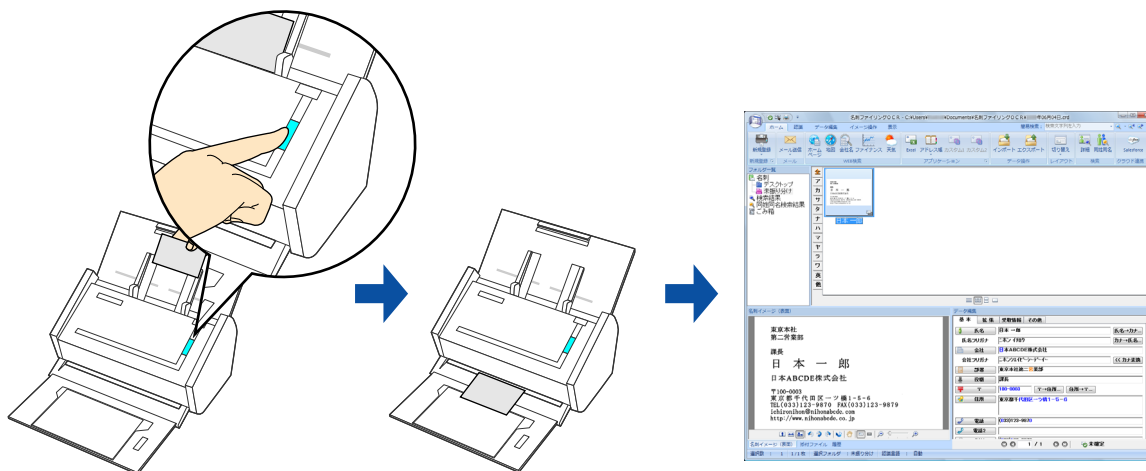
⇒ 原稿の読み取りが完了すると、以下の画面が表示され、イメージデータの Word 文書、Excel 文書、または PowerPoint 文書への変換が開始されます。

⇒ 変換が完了すると、Word、Excel、または PowerPoint が起動され、変換結果が表示されます。

Word、Excel、または PowerPoint がインストールされていない環境では、変換後のイメージデータは以下のファイル形式で保存されます。

- Word 文書に変換：RTF 形式（.rtf）
- Excel 文書に変換：XLS 形式（.xls）
- PowerPoint 文書に変換：PPT 形式（.ppt）

■ 名刺の情報を名刺ファイリング ＯＣＲ に登録します

名刺のイメージデータや情報を、名刺ファイリング ＯＣＲ に登録する方法について説明します。

- イメージデータを 名刺ファイリング ＯＣＲ に登録する場合は、読み取り条件の「白紙ページを自動的に削除します」の設定は無効になり、白紙ページは削除されません。
- 名刺ファイリング ＯＣＲ に一度に登録できるイメージデータは、白紙ページを含めて、1000 ページとなります。

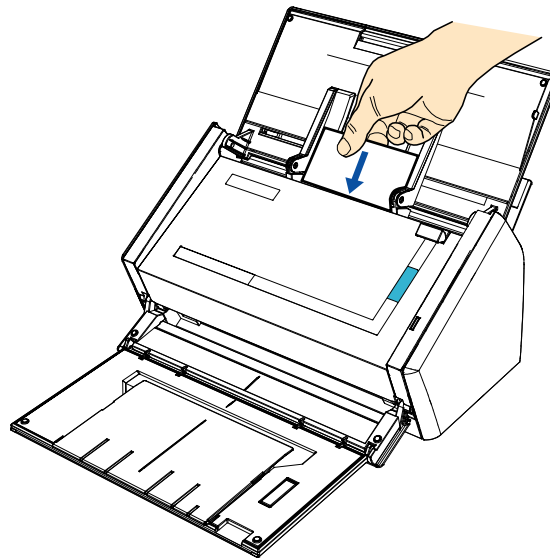
クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 162 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 166 ページ）

<クイックメニューを使用する場合>

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（79 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に名刺をセットします。

- 名刺の表面が給紙カバー（原稿台）側になるようにセットしてください。
- 複数枚を読み取る場合は、重ねてセットしてください。
- サイドガイドを動かして、サイドガイドと名刺の間に隙間ができないようにしてください。

2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、名刺の読み取りを開始します。

ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「画質の選択」の設定は、「自動解像度」または「スーパーファイン」を推奨します。「エクセレント」を設定した場合は連携できません。

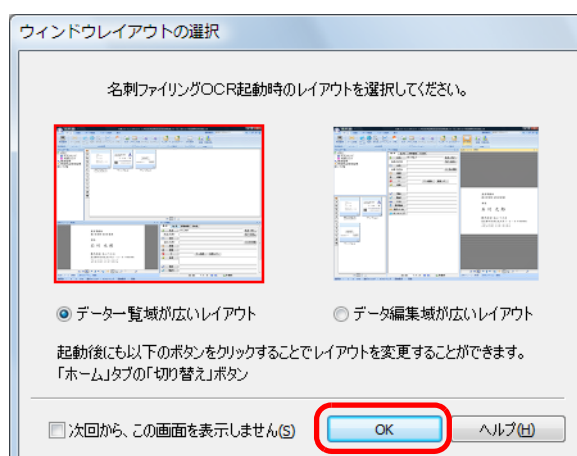
⇒ 名刺の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3.「名刺ファイリング ＯＣＲ」アイコンをクリックします。

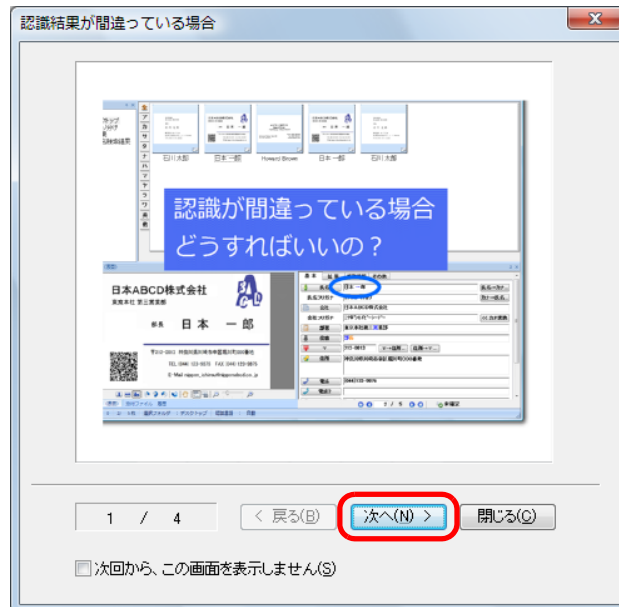
- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で名刺の読み取りを開始できません。名刺ファイリング ＯＣＲ に連携してから、次の名刺の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

⇒ 名刺ファイリング ＯＣＲ が起動され、「ウィンドウレイアウトの選択」画面が表示されます。

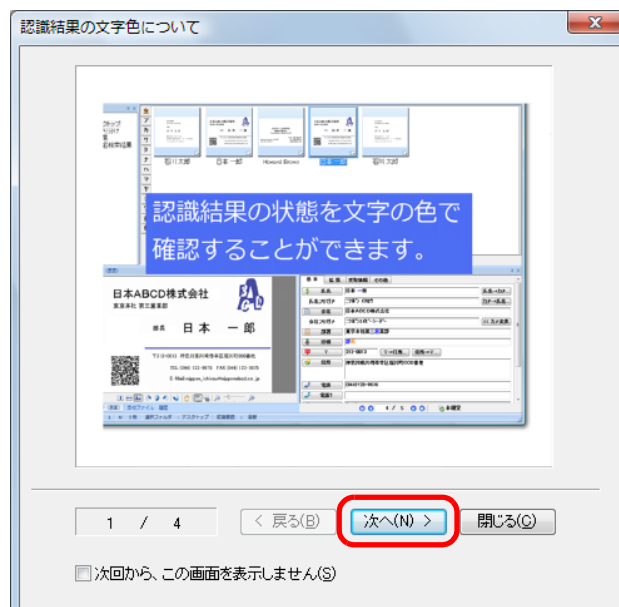
4. レイアウトを選択して、［OK］ボタンをクリックします。

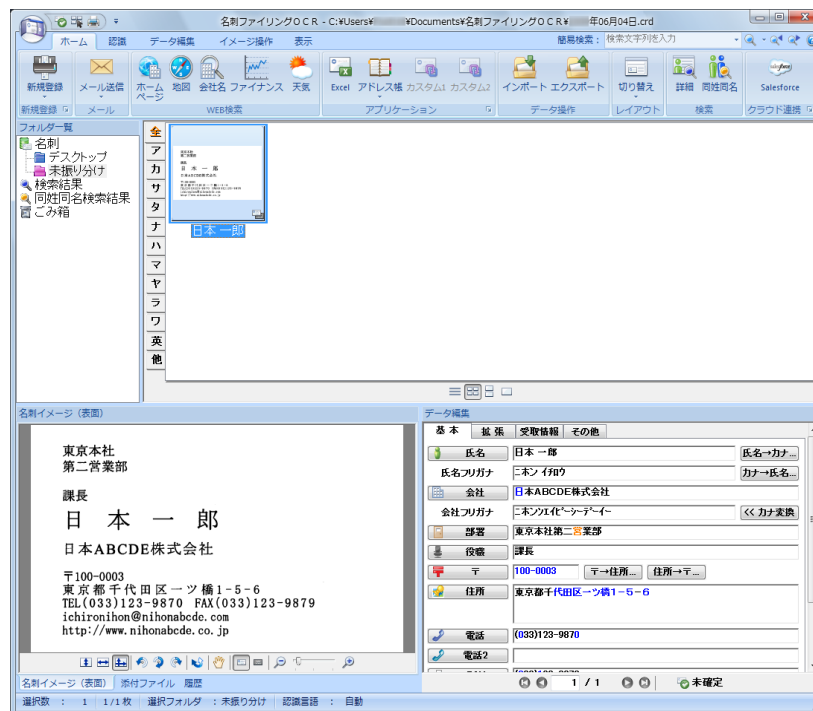
ここでは、「データ一覧域が広いレイアウト」を選択した場合の画面で説明します。

⇒「認識結果が間違っている場合」画面が表示されます。

5. 内容を確認して、［次へ］ボタンをクリックします。

チュートリアルの内容を確認しながら、［次へ］ボタンを数回クリックします。チュートリアルの最後の画面で、［完了］ボタンをクリックして画面を閉じます。

⇒「認識結果の文字色について」画面が表示されます。

6. 内容を確認して、［次へ］ボタンをクリックします。

手順 5. と同様に、チュートリアルの内容を確認したあと、画面を閉じます。

⇒ メインウィンドウが表示されます。

7. **読み取った名刺のイメージデータを確認します。**

名刺ファイリング ＯＣＲ の機能や、使用方法についての詳細は、名刺ファイリング ＯＣＲ ユーザーズガイドおよび名刺ファイリング ＯＣＲ のヘルプを参照してください。

＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（85 ページ）を参照してください。

1. **右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。**

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

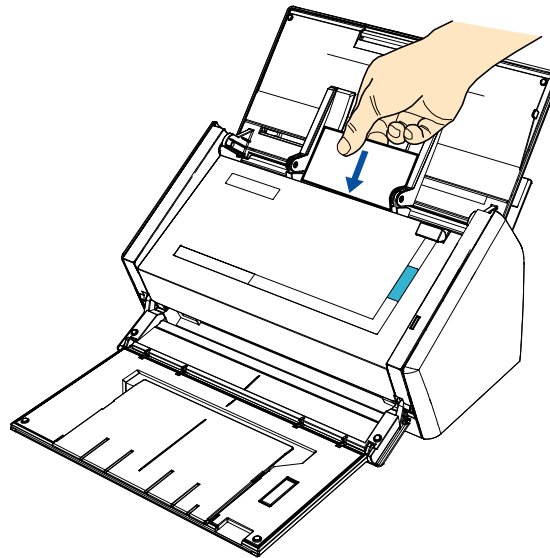
2. **「アプリ選択」タブを選択し、「アプリケーションの選択」で「名刺ファイリング ＯＣＲ」を選択します。**

ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「画質の選択」の設定は、「自動解像度」または「スーパーファイン」を推奨します。「エクセレント」を設定した場合は連携できません。

以下の方法でも、連携するアプリケーションを設定できます。
- ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ドロップダウンリストから「名刺ファイリング ＯＣＲ」を選択
- 左クリックメニューから「名刺ファイリング ＯＣＲ」を選択

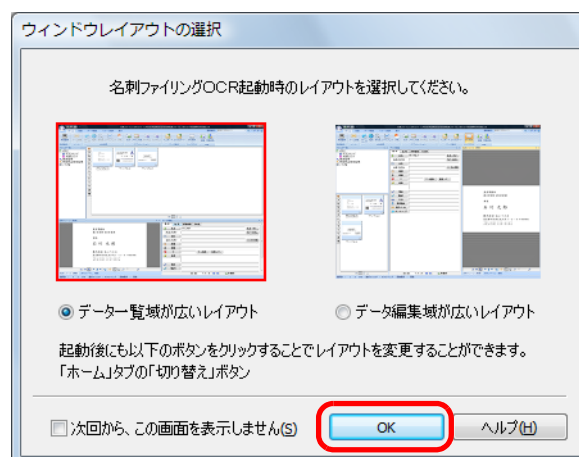
3. **［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。**

4. ScanSnap に名刺をセットします。

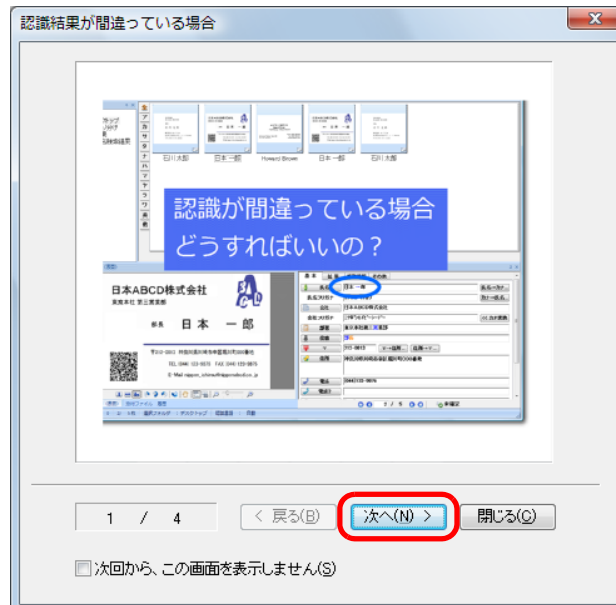
- 名刺の表面が給紙カバー（原稿台）側になるようにセットしてください。
- 複数枚を読み取る場合は、重ねてセットしてください。
- サイドガイドを動かして、サイドガイドと名刺の間に隙間ができないようにしてください。

5. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、名刺の読み取りを開始します。

⇒ 名刺の読み取りが完了すると、「ウィンドウレイアウトの選択」画面が表示されます。

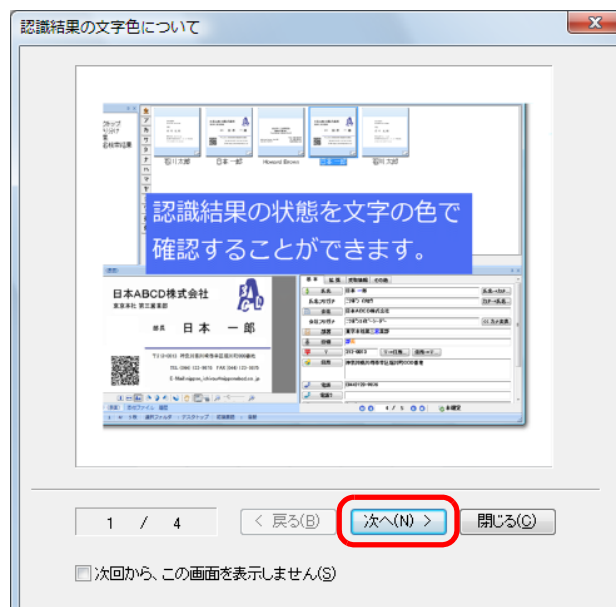
6. レイアウトを選択して、［OK］ボタンをクリックします。

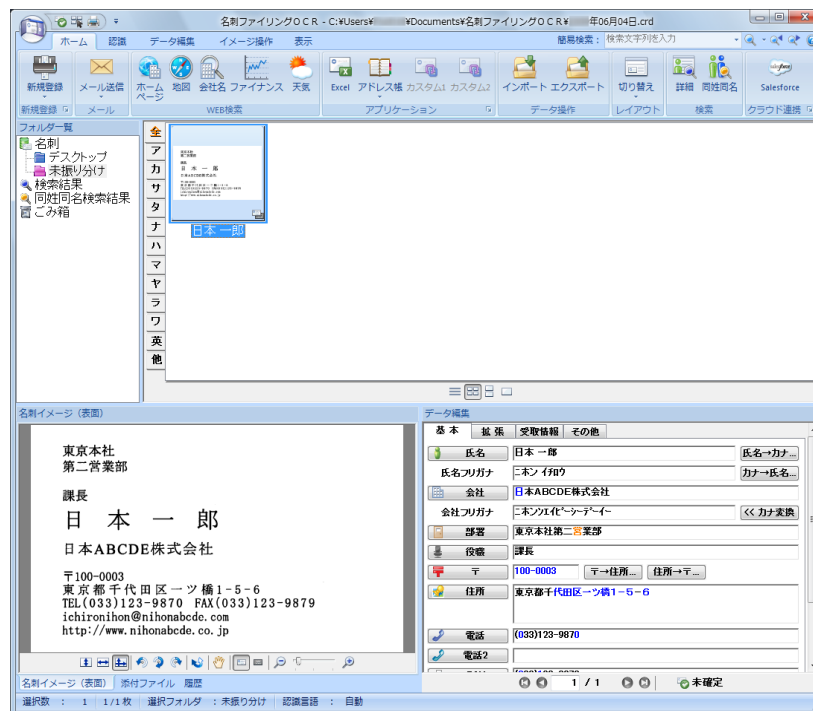
ここでは、「データ一覧域が広いレイアウト」を選択した場合の画面で説明します。

⇒「認識結果が間違っている場合」画面が表示されます。

7. 内容を確認して、［次へ］ボタンをクリックします。

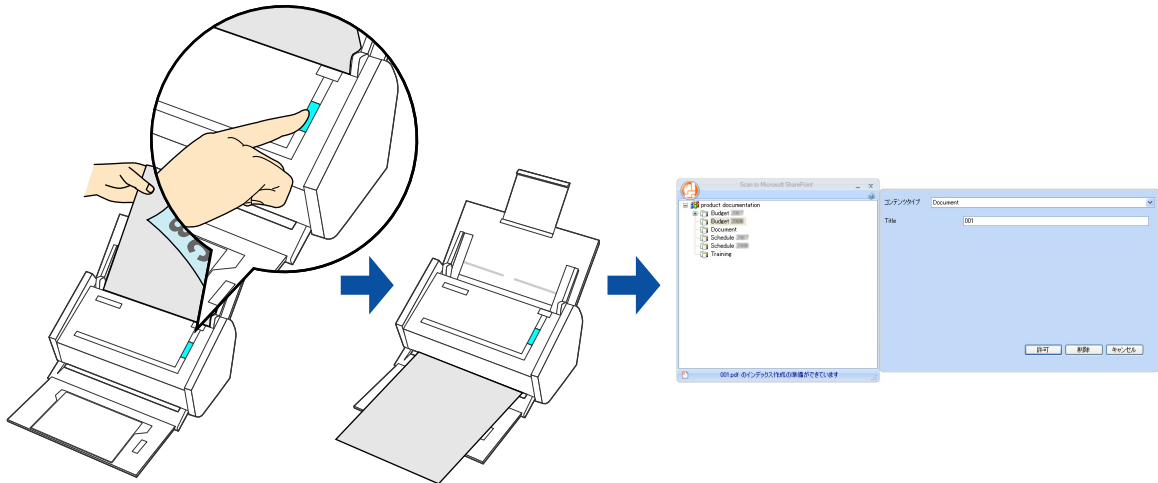
チュートリアルの内容を確認しながら、［次へ］ボタンを数回クリックします。チュートリアルの最後の画面で、［完了］ボタンをクリックして画面を閉じます。

⇒「認識結果の文字色について」画面が表示されます。

8. 内容を確認して、［次へ］ボタンをクリックします。

手順 7. と同様に、チュートリアルの内容を確認したあと、画面を閉じます。

⇒ メインウィンドウが表示されます。

9. 読み取った名刺のイメージデータを確認します。

名刺ファイリング ＯＣＲ の機能や、使用方法についての詳細は、名刺ファイリング ＯＣＲ ユーザーズガイドおよび名刺ファイリング ＯＣＲ のヘルプを参照してください。

■ SharePoint に保存します

イメージデータを、簡単な操作で SharePoint および Office Live に保存する方法について説明します。

- 大きいサイズのデータを SharePoint および Office Live に保存する場合、SharePoint および Office Live 側の設定を変更する必要があります。SharePoint および Office Live 側の設定を変更する方法は、ご利用先のシステム管理者へご確認ください。
- Scan to Microsoft SharePoint の初回起動時は、SharePoint のサイトを登録する必要があります。一度登録すれば、次回以降は起動時に自動的に接続されます。
  詳細は、Scan to Microsoft SharePoint のユーザーズガイドを参照してください。

クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 171 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 175 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（79 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

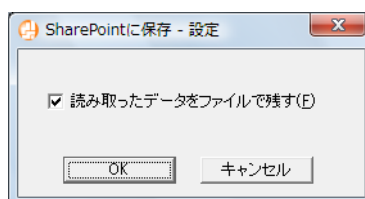
2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3. 「SharePoint に保存」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1.「SharePoint に保存」アイコンの から「設定」メニューを選択します。

⇒「SharePoint に保存 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「SharePoint に保存 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3. ［OK］ボタンをクリックして、「SharePoint に保存 - 設定」画面を閉じます。

4. 「SharePoint に保存」アイコンをクリックします。

- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。Scan to Microsoft SharePoint に連携してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

⇒ Scan to Microsoft SharePoint が起動されます。

5. イメージデータを保存します。

● SharePoint に保存する場合

1. イメージデータの保存先を選択します。
2. Scan to Microsoft SharePoint のインデックスペインに、タイトルなどの情報を入力し、［許可］ボタンをクリックします。

⇒ イメージデータが、指定した保存先に保存されます。

● Office Live に保存する場合

1. メニューから「Office Live に接続」を選択します。

⇒ Office Live のログオン画面が表示されます。

2. Office Live のログオン画面で ID とパスワードを入力し、[Sign In] ボタンをクリックします。

⇒ Office Live との接続が確立されると、「Scan to Microsoft SharePoint」画面が表示されます。

3. イメージデータの保存先を選択します。
4. インデックスペインに、タイトルなどの情報を入力し、[許可] ボタンをクリックします。

⇒ イメージデータが、指定した保存先に保存されます。

詳細については、Scan to Microsoft SharePoint のユーザーズガイドを参照してください。

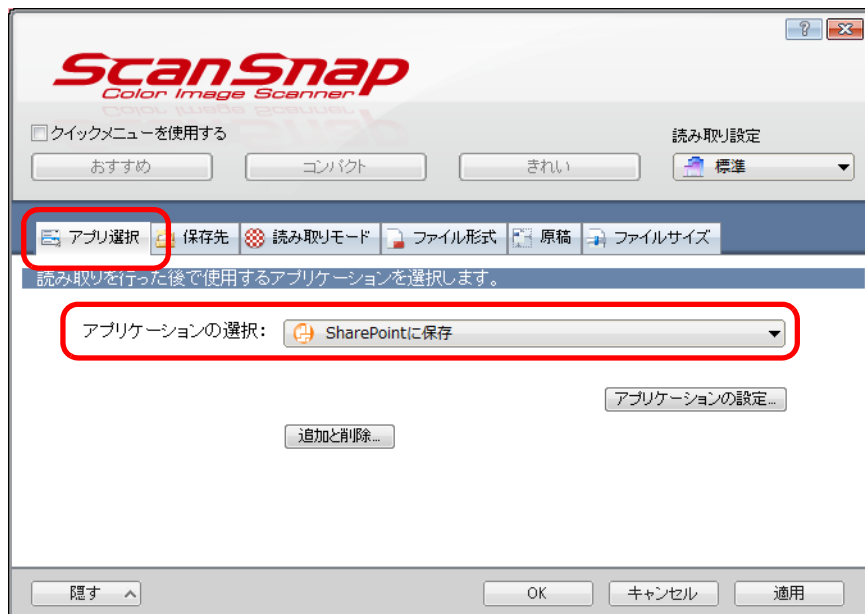
＜クイックメニューを使用しない場合＞

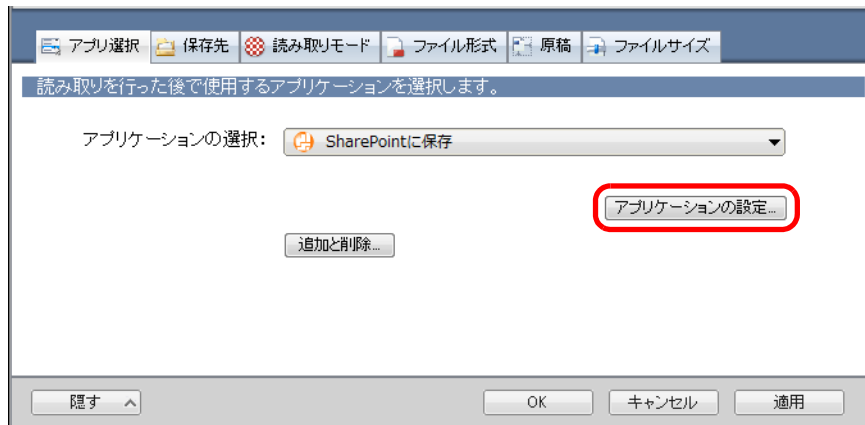
クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（85 ページ）を参照してください。

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。

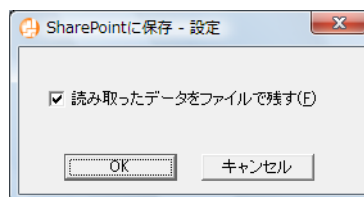
右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. 「アプリ選択」タブの「アプリケーションの選択」で、「SharePoint に保存」を選択します。

この状態で読み取り設定を追加しておけば、次回から、「読み取り設定」ドロップダウンリストまたは左クリックメニューで、連携するアプリケーションを設定できます。
読み取り設定の追加方法については、「読み取り設定の管理」（101 ページ）を参照してください。

3. **「SharePoint に保存」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。**

1.［アプリケーションの設定］ボタンをクリックします。

⇒「SharePoint に保存 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「SharePoint に保存 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3.［OK］ボタンをクリックして、「SharePoint に保存 - 設定」画面を閉じます。

4. **［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。**

5. **ScanSnap に原稿をセットします。**

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

6. **ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。**

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、Scan to Microsoft SharePoint が起動されます。

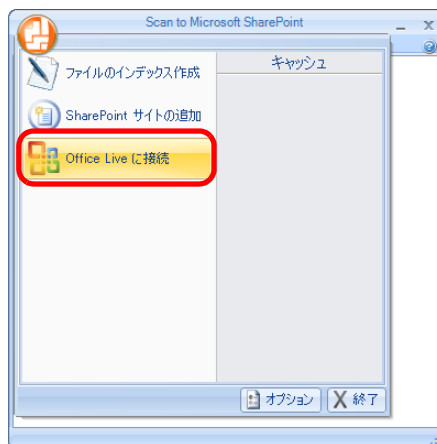
7. イメージデータを保存します。

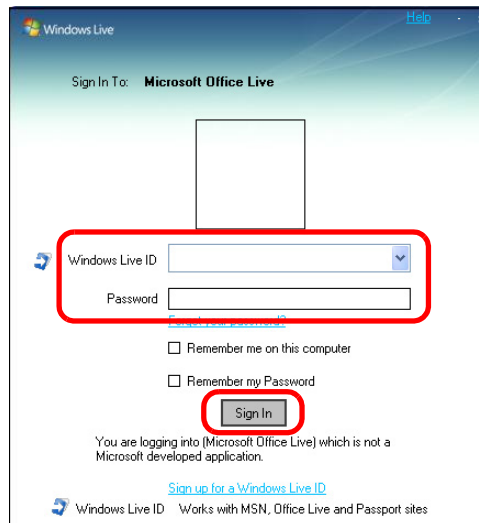
● SharePoint に保存する場合

1. イメージデータの保存先を選択します。
2. Scan to Microsoft SharePoint のインデックスペインに、タイトルなどの情報を入力し、［許可］ボタンをクリックします。

⇒ イメージデータが、指定した保存先に保存されます。

● Office Live に保存する場合

1. メニューから「Office Live に接続」を選択します。

⇒ Office Live のログオン画面が表示されます。

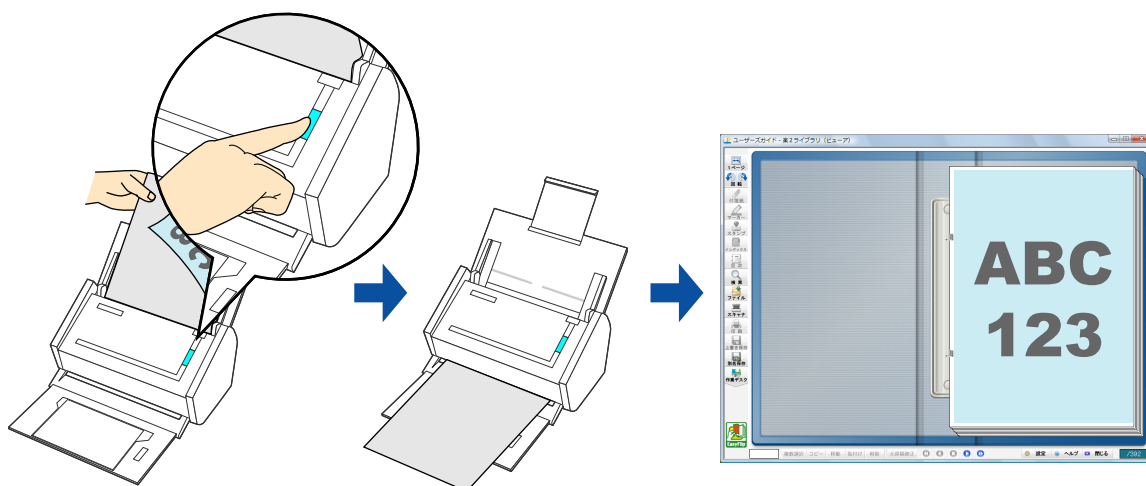
2. Office Live のログオン画面で ID とパスワードを入力し、[Sign In] ボタンをクリックします。

⇒ Office Live との接続が確立されると、「Scan to Microsoft SharePoint」画面が表示されます。

3. イメージデータの保存先を選択します。
4. インデックスペインに、タイトルなどの情報を入力し、[許可] ボタンをクリックします。

⇒ イメージデータが、指定した保存先に保存されます。

詳細については、Scan to Microsoft SharePoint のユーザーズガイドを参照してください。

■ 楽 2 ライブラリに保存します

イメージデータを PDF ファイルとして、添付の楽 2 ライブラリ パーソナル体験版または楽 2 ライブラリ パーソナル（V5.0 以降推奨 / 楽 2 ライブラリセットモデルに添付または別売）に保存する方法について説明します。

- 本機能を使用するには､添付の楽 2 ライブラリ パーソナル体験版または楽 2 ライブラリ パーソナル（V5.0 以降推奨 / 楽 2 ライブラリセットモデルに添付または別売）が必要です。
  楽 2 ライブラリは、紙文書や電子文書を PDF ファイルにして、コンピュータ上で管理するためのアプリケーションです。紙文書をバインダーにとじて本棚に保管するような感覚で管理し、本のようにページをめくる感覚で文書を閲覧できます。
  詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  http://www.pfu.fujitsu.com/raku2library/
- イメージデータを楽 2 ライブラリに保存する場合、ScanSnap Manager の以下の設定が無効になります。
  - 読み取った PDF フィルに電子署名・タイムスタンプを付けます
  - 読み取り後、ファイル名を変更します
  - カラー高圧縮

クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 180 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 183 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（79 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

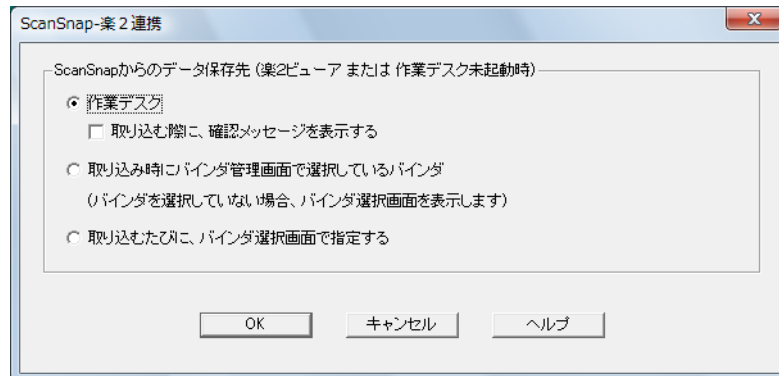
2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3.「楽 2 ライブラリに保存」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1.「楽 2 ライブラリに保存」アイコンの⚙から「設定」メニューを選択します。

⇒「ScanSnap - 楽 2 連携」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
ここでは、イメージデータの保存先を指定します。
「ScanSnap - 楽 2 連携」画面の詳細については、バインダ管理画面のヘルプを参照してください。バインダ管理画面のヘルプは、「ScanSnap - 楽 2 連携」画面の［ヘルプ］ボタンをクリックすると表示されます。

3.［OK］ボタンをクリックして、「ScanSnap - 楽 2 連携」画面を閉じます。

4.「楽 2 ライブラリに保存」アイコンをクリックします。

- ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」で、「JPEG (*.jpg)」を選択して原稿を読み取った場合は、楽 ^{2} ライブラリに保存できません。
- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。楽 ^{2} ライブラリにイメージデータを保存してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

⇒ 楽^2 ライブラリが起動され、手順 3. の設定に従って、ScanSnap で作成された PDF ファイルが楽^2 ライブラリに保存されます。

楽^2 ライブラリの使い方については、楽^2 ライブラリ ユーザーズガイドを参照してください。

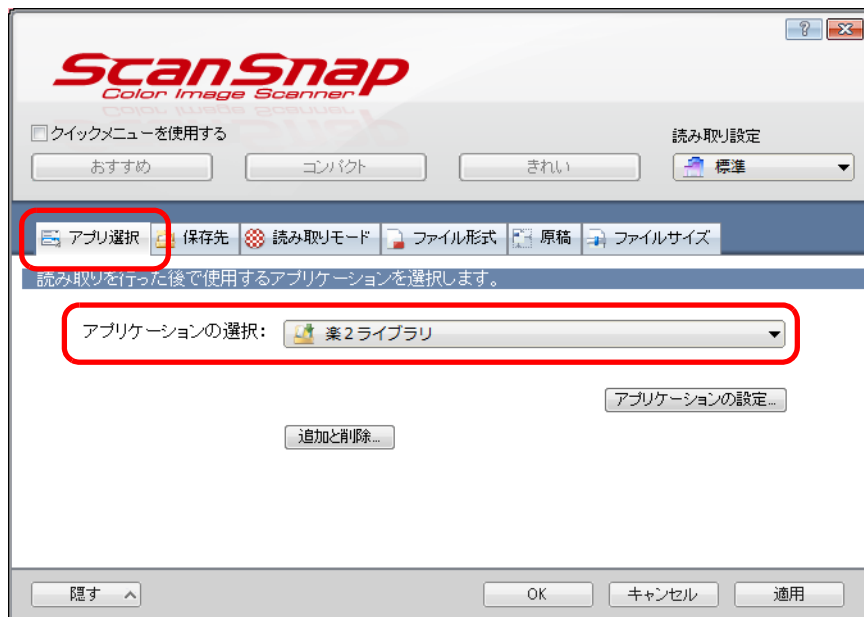
＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（85 ページ）を参照してください。

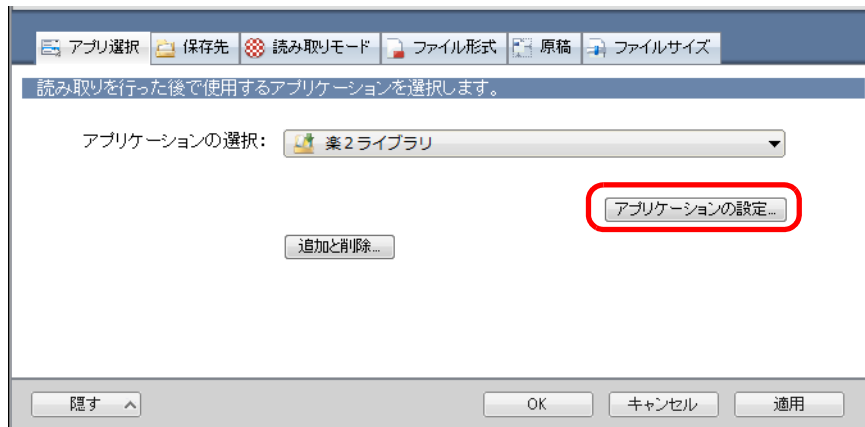
1. **右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。**

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。

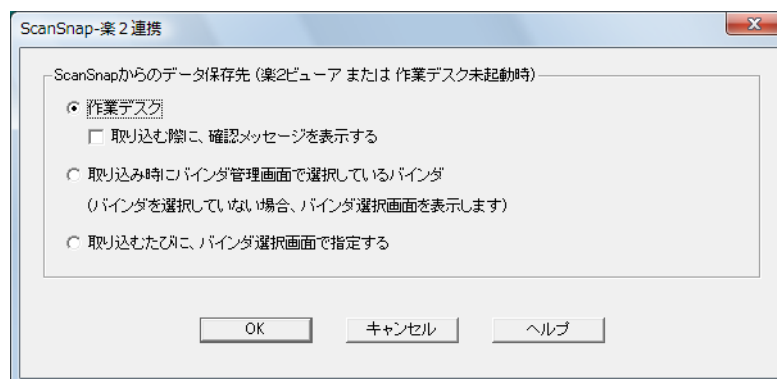
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. **「アプリ選択」タブ の「アプリケーションの選択」で、「楽 2 ライブラリ」を選択します。**

以下の方法でも、連携するアプリケーションを設定できます。

- ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ドロップダウンリストから「楽 2 ライブラリ」を選択
- 左クリックメニューから「楽 2 ライブラリ」を選択

3.「楽 2 ライブラリ」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1.［アプリケーションの設定］ボタンをクリックします。

⇒「ScanSnap - 楽 2 連携」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
ここでは、イメージデータの保存先を指定します。
「ScanSnap - 楽 2 連携」画面の詳細については、バインダ管理画面のヘルプを参照してください。バインダ管理画面のヘルプは、「ScanSnap - 楽 2 連携」画面の［ヘルプ］ボタンをクリックすると表示されます。

3.［OK］ボタンをクリックして、「ScanSnap - 楽 2 連携」画面を閉じます。

4.［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

5. ScanSnap に原稿をセットします。

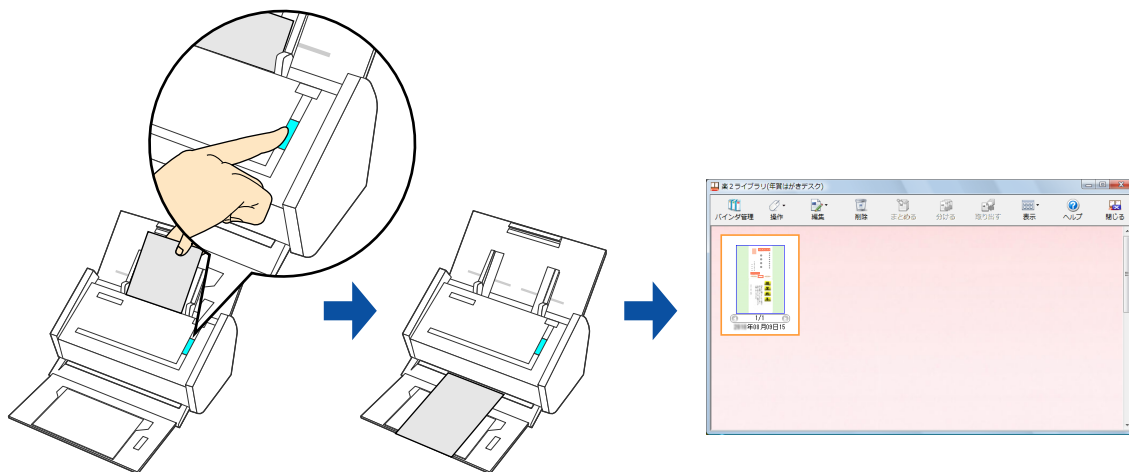
原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

6. **ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。**

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、楽[2] ライブラリが起動され、手順 3. の設定に従って、ScanSnap で作成された PDF ファイルが楽[2] ライブラリに保存されます。

楽[2] ライブラリの使い方については、楽[2] ライブラリ ユーザーズガイドを参照してください。

■ 楽^{2} ライブラリ（年賀はがきデスク）に保存します

年賀はがきのイメージデータを PDF ファイルとして、添付の楽^{2} ライブラリ パーソナル体験版または楽^{2} ライブラリ パーソナル V5.0L30 以降（楽^{2} ライブラリセットモデルに添付または別売）の年賀はがきデスクに保存する方法について説明します。

- 本機能を使用するには､添付の楽^{2} ライブラリ パーソナル体験版または楽^{2} ライブラリ パーソナル V5.0L30 以降（楽^{2} ライブラリセットモデルに添付または別売）が必要です。
  楽^{2} ライブラリは、紙文書や電子文書を PDF ファイルにして、コンピュータ上で管理するためのアプリケーションです。紙文書をバインダーにとじて本棚に保管するような感覚で管理し、本のようにページをめくる感覚で文書を閲覧できます。
  詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  http://www.pfu.fujitsu.com/raku2library/
- イメージデータを楽^{2} ライブラリの年賀はがきデスクに保存する場合、ScanSnap Manager の以下の設定が無効になります。
  - 読み取った PDF フィルに電子署名・タイムスタンプを付けます
  - 読み取り後、ファイル名を変更します
  - カラー高圧縮

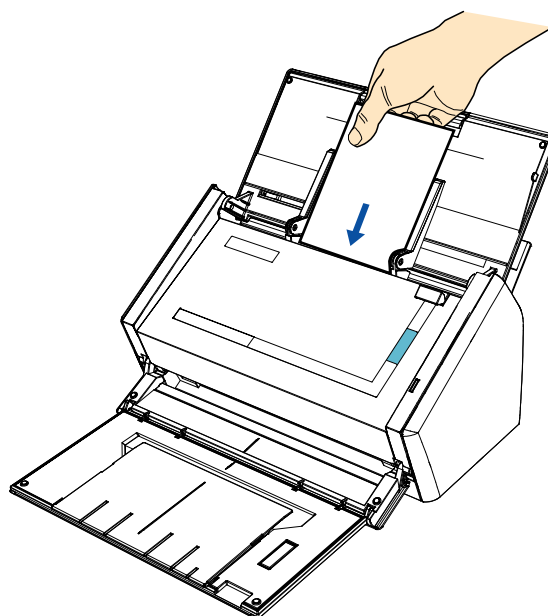
クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 187 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 189 ページ）

<クイックメニューを使用する場合>

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（79 ページ）を参照してください。

1. **ScanSnap に年賀はがきをセットします。**

- 年賀はがきの表面が給紙カバー（原稿台）側になるようにセットしてください。
- 複数枚の年賀はがきを読み取る場合は、重ねてセットしてください。
- サイドガイドを動かして、再度ガイドと年賀はがきの間に隙間ができないようにしてください。

2. **ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、年賀はがきの読み取りを開始します。**

⇒ 年賀はがきの読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「画質の選択」の設定は、「自動解像度」または「スーパーファイン」を推奨します。

3.「楽 2 ライブラリ（年賀はがきデスク）に保存」アイコンをクリックします。

- ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」で、「JPEG (*.jpg)」を選択して原稿を読み取った場合は、楽 2 ライブラリの年賀はがきデスクに保存できません。
- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で年賀はがきの読み取りを開始できません。楽 2 ライブラリの年賀はがきデスクに連携してから、次の年賀はがきの読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

⇒ 年賀はがきデスクが起動され、読み取った年賀はがきのイメージデータが保存されます。

楽 2 ライブラリの使い方については、楽 2 ライブラリ ユーザーズガイドを参照してください。

＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（85 ページ）を参照してください。

1. **右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。**

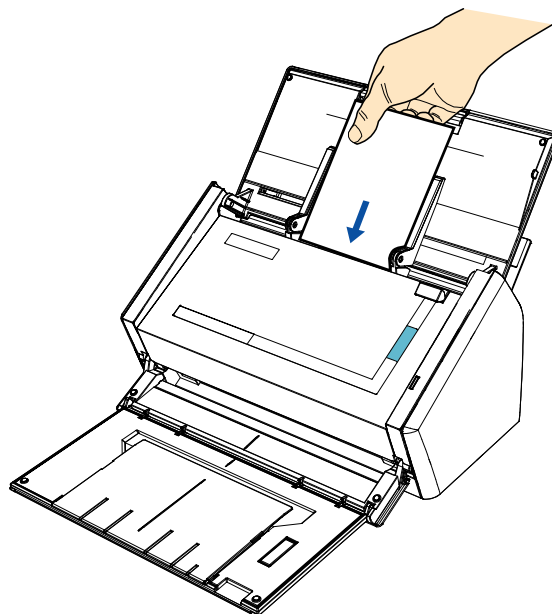
右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. **「アプリ選択」タブ を選択し、「アプリケーションの選択」で「楽 2 ライブラリ（年賀はがきデスク）に保存」を選択します。**

- ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「画質の選択」の設定は、「自動解像度」または「スーパーファイン」を推奨します。
- この状態で読み取り設定を追加しておけば、次回から、「読み取り設定」ドロップダウンリストまたは左クリックメニューで、連携するアプリケーションを設定できます。
  読み取り設定の追加方法については、「読み取り設定の管理」（101 ページ）を参照してください。

3. **［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。**

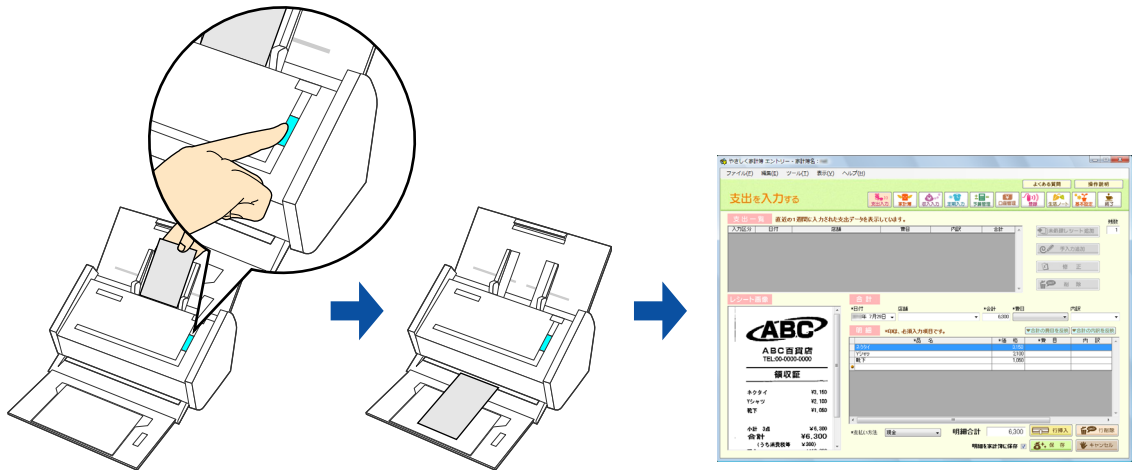
4. ScanSnap に年賀はがきをセットします。

- 年賀はがきの表面が給紙カバー（原稿台）側になるようにセットしてください。
- 複数枚の年賀はがきを読み取る場合は、重ねてセットしてください。
- サイドガイドを動かして、再度ガイドと年賀はがきの間に隙間ができないようにしてください。

5. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、年賀はがきの読み取りを開始します。

⇒ 年賀はがきの読み取りが完了すると、年賀はがきデスクが起動され、読み取った年賀はがきのイメージデータが保存されます。

楽 2 ライブラリの使い方については、楽 2 ライブラリ ユーザーズガイドを参照してください。

■ レシートを読み取ります

レシートのイメージデータや情報を、やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap に登録する方法について説明します。

- Windows 2000 の場合は、この機能は使用できません。
- やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap に連携するには、事前に、レシートの情報を登録する家計簿ファイルを作成しておく必要があります。家計簿の作成方法については、やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap 操作説明書を参照してください。

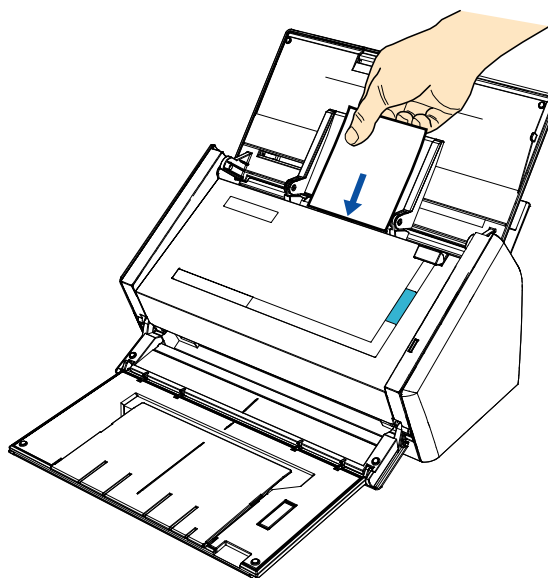
クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 192 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 195 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（79 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap にレシートをセットします。

- レシートの表面が給紙カバー（原稿台）側になるようにセットしてください。
- 複数枚のレシートを読み取る場合は、重ねてセットしてください。
- サイドガイドを動かして、サイドガイドとレシートの間に隙間ができないようにしてください。

2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、レシートの読み取りを開始します。

- ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「画質の選択」の設定は、「自動解像度」または「スーパーファイン」を推奨します。
- レシートの長さが 360mm 以上の場合は、長尺原稿として読み取ってください。長尺原稿の読み取り方法については、「長尺原稿を読み取ります」（272 ページ）を参照してください。

⇒ レシートの読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3. 「やさしく家計簿に保存」アイコンをクリックします。

- クイックメニュー表示中は、ScanSnap でレシートの読み取りを開始できません。やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap に連携してから、次のレシートの読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

⇒ やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap が起動され、「やさしく家計簿エントリー」画面が表示されます。

4. 読み取ったレシートのイメージデータと認識結果を確認します。

やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap の機能や、使用方法についての詳細は、やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap 操作説明書およびやさしく家計簿 エントリー for ScanSnap のヘルプを参照してください。

＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（85 ページ）を参照してください。

1. **右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。**

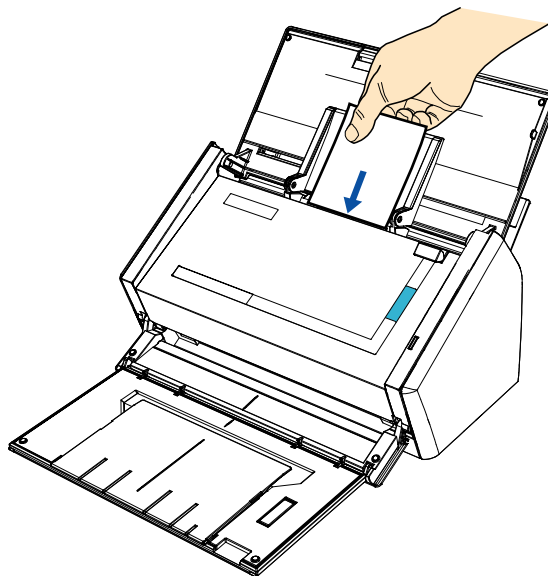
右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. **「アプリ選択」タブ を選択し、「アプリケーションの選択」で「やさしく家計簿 に保存」を選択します。**

この状態で読み取り設定を追加しておけば、次回から、「読み取り設定」ドロップダウンリストまたは左クリックメニューで、連携するアプリケーションを設定できます。
読み取り設定の追加方法については、「読み取り設定の管理」（101 ページ）を参照してください。

3. **［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。**

4. ScanSnap にレシートをセットします。

- レシートの表面が給紙カバー（原稿台）側になるようにセットしてください。
- 複数枚のレシートを読み取る場合は、重ねてセットしてください。
- サイドガイドを動かして、サイドガイドとレシートの間に隙間ができないようにしてください。

5. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、レシートの読み取りを開始します。

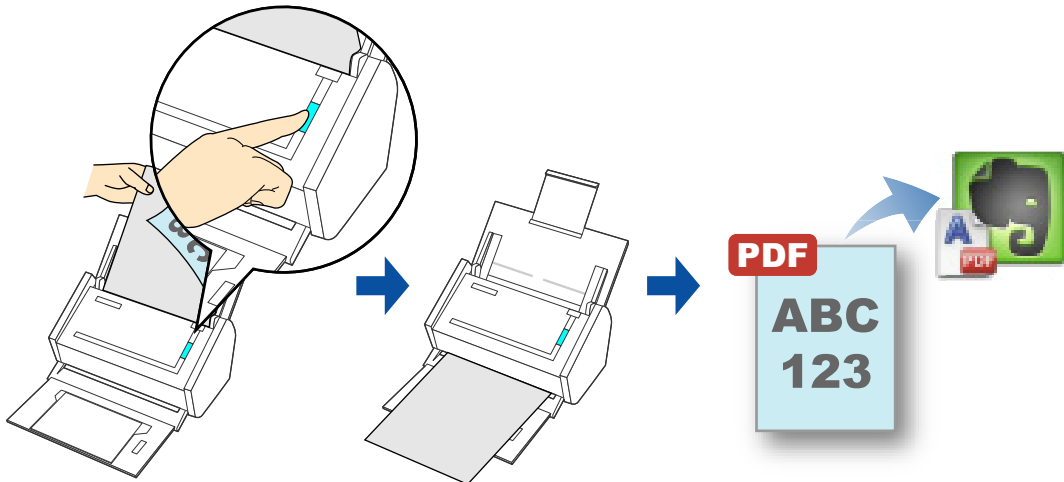
レシートの長さが 360mm 以上の場合は、長尺原稿として読み取ってください。長尺原稿の読み取り方法については、「長尺原稿を読み取ります」（272 ページ）を参照してください。

⇒ レシートの読み取りが完了すると、やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap が起動され、「やさしく家計簿エントリー」画面が表示されます。

6. 読み取ったレシートのイメージデータと認識結果を確認します。

やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap の機能や、使用方法についての詳細は、やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap 操作説明書およびやさしく家計簿 エントリー for ScanSnap のヘルプを参照してください。

■ 活字原稿を Evernote に保存します

イメージデータを PDF ファイルとして、Evernote に保存する方法について説明します。
検索可能な PDF ファイルに変換してから Evernote に保存すると、Evernote で文書が検索できます。

- Windows 2000 の場合は、この機能は使用できません。
- Evernote のアカウントを作成（無料または有償）する必要があります。
- ファイルを Evernote に保存する場合は、Evernote for Windows にサインインしておく必要があります。

クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 199 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 202 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（79 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3.「ドキュメントを Evernote に保存」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1.「ドキュメントを Evernote に保存」アイコンの から「設定」メニューを選択します。

⇒「Evernote に保存 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「Evernote に保存 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3.［OK］ボタンをクリックして、「Evernote に保存 - 設定」画面を閉じます。

4.「ドキュメントを Evernote に保存」アイコンをクリックします。

- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。
  Evernote に PDF ファイルを保存してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

⇒ ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」の設定が「JPEG(*.jpg)」の場合は、JPEG ファイルから PDF ファイルが作成されます。
JPEG ファイル 1 つにつき、1 つの PDF ファイルが作成されます。
PDF ファイルの作成中は、以下の画面が表示されます。

⇒ 手順 3. で「検索可能な PDF にする」チェックボックスにチェックを付けた場合は、「テキスト認識オプション」の設定に従って、テキスト認識されます。
テキスト認識中は、以下の画面が表示されます。

ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブの設定によって、すでにテキスト認識されている場合は、テキスト認識されていないページだけが、テキスト認識されます。

⇒ Evernote for Windows が起動され、PDF ファイルが Evernote に保存されます。

ファイルを Evernote に保存したあとも、ScanSnap 設定画面の「保存先」タブ→「イメージの保存先」に設定されているフォルダーに、イメージデータを保存したファイルが残ります。不要な場合は、削除してください。

＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（85 ページ）を参照してください。

1. **右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。**

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. **「アプリ選択」タブの「アプリケーションの選択」で、「ドキュメントを Evernote に保存」を選択します。**

以下の方法でも、連携するアプリケーションを設定できます。

- ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ドロップダウンリストから「ドキュメントを Evernote に保存」を選択
- 左クリックメニューから「ドキュメントを Evernote に保存」を選択

3.「ドキュメントを Evernote に保存」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1.［アプリケーションの設定］ボタンをクリックします。

⇒「Evernote に保存 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「Evernote に保存 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3.［OK］ボタンをクリックして、「Evernote に保存 - 設定」画面を閉じます。

4.［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

5. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

6. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」の設定が「JPEG(*.jpg)」の場合は、JPEG ファイルから PDF ファイルが作成されます。JPEG ファイル 1 つにつき、1 つの PDF ファイルが作成されます。
PDF ファイルの作成中は、以下の画面が表示されます。

⇒ 手順 3. で「検索可能な PDF にする」チェックボックスにチェックを付けた場合は、「テキスト認識オプション」の設定に従って、テキスト認識されます。
テキスト認識中は、以下の画面が表示されます。

ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブの設定によって、すでにテキスト認識されている場合は、テキスト認識されていないページだけが、テキスト認識されます。

⇒ Evernote for Windows が起動され、PDF ファイルが Evernote に保存されます。

ファイルを Evernote に保存したあとも、ScanSnap 設定画面の「保存先」タブ→「イメージの保存先」に設定されているフォルダーに、イメージデータを保存したファイルが残ります。不要な場合は、削除してください。

■ 手書き文字を含む原稿を Evernote に保存します

イメージデータを JPEG ファイルとして、Evernote に保存する方法について説明します。JPEG ファイルを Evernote に保存すると、手書き文字を含むすべての文字情報が Evernote 上でテキスト認識され、Evernote で文書が検索できます。

- Windows 2000 の場合は、この機能は使用できません。
- Evernote のアカウントを作成（無料または有償）する必要があります。
- ファイルを Evernote に保存する場合は、Evernote for Windows にサインインしておく必要があります。

クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 206 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 208 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（79 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3.「手書きメモを Evernote に保存」アイコンをクリックします。

- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。Evernote に JPEG ファイルを保存してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

⇒ ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」の設定が「PDF(*.pdf)」の場合は、PDF ファイルから JPEG ファイルが作成されます。PDF ファイル 1 ページにつき、1 つの JPEG ファイルが作成されます。
JPEG ファイルの作成中は、以下の画面が表示されます。

⇒ Evernote for Windows が起動され、JPEG ファイルが Evernote に保存されます。

- ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」の設定が「PDF(*.pdf)」の場合、Evernote に保存されるファイル名には、自動的に 4 桁の連番が追加されます。
  例：ファイル名が「ScanSnap」の場合
  ScanSnap_0001、ScanSnap_0002、ScanSnap_0003…
- ファイルを Evernote に保存したあとも、ScanSnap 設定画面の「保存先」タブ→「イメージの保存先」に設定されているフォルダーに、イメージデータを保存したファイルが残ります。不要な場合は、削除してください。

＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（85 ページ）を参照してください。

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. 「アプリ選択」タブの「アプリケーションの選択」で、「手書きメモを Evernote に保存」を選択します。

以下の方法でも、連携するアプリケーションを設定できます。

- ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ドロップダウンリストから「手書きメモを Evernote に保存」を選択
- 左クリックメニューから「手書きメモを Evernote に保存」を選択

3. ［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

4. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

5. **ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。**

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」の設定が「PDF(*.pdf)」の場合は、PDF ファイルから JPEG ファイルが作成されます。PDF ファイル 1 ページにつき、1 つの JPEG ファイルが作成されます。

JPEG ファイルの作成中は、以下の画面が表示されます。

⇒ Evernote for Windows が起動され、JPEG ファイルが Evernote に保存されます。

- ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」の設定が「PDF(*.pdf)」の場合、Evernote に保存されるファイル名には、自動的に 4 桁の連番が追加されます。
  例：ファイル名が「ScanSnap」の場合
  ScanSnap_0001、ScanSnap_0002、ScanSnap_0003…
- ファイルを Evernote に保存したあとも、ScanSnap 設定画面の「保存先」タブ→「イメージの保存先」に設定されているフォルダーに、イメージデータを保存したファイルが残ります。不要な場合は、削除してください。

■ Google ドキュメントに保存します

イメージデータを PDF ファイルとして、Google ドキュメントに保存する方法について説明します。

- Windows 2000 の場合は、この機能は使用できません。
- Google のアカウントを作成（無料）する必要があります。
- 本機能を使用するには、お使いのコンピュータに .NET Framework 3.0 がインストールされている必要があります。
  .NET Framework 3.0 は、.NET Framework 3.5（SP1 以降）にも含まれています。オペレーティングシステムの最新のアップデートを行って、.NET Framework 3.5（SP1 以降）を使用することを推奨します。
  .NET Framework 4 以降をインストール済みの場合でも、.NET Framework 3.0 は含まれていないため .NET Framework 3.0 を別途インストールする必要があります。

クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 211 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 215 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（79 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3.「Google ドキュメント (TM) に保存」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1.「Google ドキュメント (TM) に保存」アイコンのから「設定」メニューを選択します。

⇒「Google ドキュメント (TM) に保存 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「Google ドキュメントに (TM) に保存 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

コンピュータを共用している場合、「メール」および「パスワード」を設定すると、第三者が自動的に Google ドキュメントにログインできるようになります。
そのため、「メール」だけを設定して、「パスワード」はログイン時に毎回入力する運用を推奨します。

3. ［OK］ボタンをクリックして、「Google ドキュメント (TM) に保存 - 設定」画面を閉じます。

4. 「Google ドキュメント (TM) に保存」アイコンをクリックします。

- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。Google ドキュメントに PDF ファイルを保存してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

⇒ 手順 3. の「Google ドキュメント (TM) に保存 - 設定」画面で Google アカウントを指定しなかった場合は、「Google ドキュメント (TM) に保存」画面が表示されます。
「メール」および「パスワード」を入力して［OK］ボタンをクリックすると、処理が続行されます。

- コンピュータを共用している場合、「アカウント情報を保存する」チェックボックスにチェックを付けると、第三者が自動的に Google ドキュメントにログインできるようになります。
そのため、「アカウント情報を保存する」チェックボックスにチェックを付けないでください。
- Google ドキュメントに保存は、インターネット接続時に認証が必要なプロキシ環境下では使用できません。

⇒ ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」の設定が「JPEG(*.jpg)」の場合は、JPEG ファイルから PDF ファイルが作成されます。
JPEG ファイル 1 つにつき、1 つの PDF ファイルが作成されます。
PDF ファイルの作成中は、以下の画面が表示されます。

⇒ 手順 3. の「Google ドキュメント (TM) に保存 - 設定」画面で「検索可能な PDF にする」チェックボックスにチェックを付けた場合は、「テキスト認識オプション」の設定に従って、テキスト認識されます。
テキスト認識中は、以下の画面が表示されます。

ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブの設定によって、すでにテキスト認識されている場合は、テキスト認識されていないページだけが、テキスト認識されます。

⇒ Google ドキュメントに PDF ファイルの保存が開始されます。
保存が完了したら、［閉じる］ボタンをクリックして、「Google ドキュメント (TM) に保存」画面を閉じてください。

「Google ドキュメント (TM) に保存」画面は、「保存完了後、この画面を閉じる」チェックボックスにチェックを付けると、次の原稿の読み取りから、Google ドキュメントに PDF ファイルの保存が完了すると自動的に閉じられます。

PDF ファイルの保存完了後、Google ドキュメントのサイトは起動されません。保存した PDF ファイルを確認する場合は、Web ブラウザを起動し Google ドキュメントにログインして確認してください。

＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（85 ページ）を参照してください。

1. **右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。**

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. **「アプリ選択」タブの「アプリケーションの選択」で、「Google ドキュメント (TM) に保存」を選択します。**

以下の方法でも、連携するアプリケーションを設定できます。

- ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ドロップダウンリストから「Google ドキュメント (TM) に保存」を選択
- 左クリックメニューから「Google ドキュメント (TM) に保存」を選択

3. 「Google ドキュメント (TM) に保存」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1. ［アプリケーションの設定］ボタンをクリックします。

⇒「Google ドキュメント (TM) に保存 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「Google ドキュメント (TM) に保存 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

コンピュータを共用している場合、「メール」および「パスワード」を設定すると、第三者が自動的に Google ドキュメントにログインできるようになります。
そのため、「メール」だけを設定して、「パスワード」はログイン時に毎回入力する運用を推奨します。

3. ［OK］ボタンをクリックして、「Google ドキュメント (TM) に保存 - 設定」画面を閉じます。

4. ［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

5. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

6. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、手順 3. の「Google ドキュメント (TM) に保存 - 設定」画面で Google アカウントを指定しなかった場合は、「Google ドキュメント (TM) に保存」画面が表示されます。「メール」および「パスワード」を入力して［OK］ボタンをクリックすると、処理が続行されます。

- コンピュータを共用している場合、「アカウント情報を保存する」チェックボックスにチェックを付けると、第三者が自動的に Google ドキュメントにログインできるようになります。
  そのため、「アカウント情報を保存する」チェックボックスにチェックを付けないでください。
- Google ドキュメントに保存は、インターネット接続時に認証が必要なプロキシ環境下では使用できません。

⇒ ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」の設定が「JPEG(*.jpg)」の場合は、JPEG ファイルから PDF ファイルが作成されます。
JPEG ファイル 1 つにつき、1 つの PDF ファイルが作成されます。
PDF ファイルの作成中は、以下の画面が表示されます。

⇒ 手順 3. の「Google ドキュメント (TM) に保存 - 設定」画面で「検索可能な PDF にする」チェックボックスにチェックを付けた場合は、「テキスト認識オプション」の設定に従って、テキスト認識されます。
テキスト認識中は、以下の画面が表示されます。

ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブの設定によって、すでにテキスト認識されている場合は、テキスト認識されていないページだけが、テキスト認識されます。

⇒ Google ドキュメントに PDF ファイルの保存が開始されます。
保存が完了したら、[閉じる] ボタンをクリックして、「Google ドキュメント (TM) に保存」画面を閉じてください。

「Google ドキュメント (TM) に保存」画面は、「保存完了後、この画面を閉じる」チェックボックスにチェックを付けると、次の原稿の読み取りから、Google ドキュメントに PDF ファイルの保存が完了すると自動的に閉じられます。

PDF ファイルの保存完了後、Google ドキュメントのサイトは起動されません。保存した PDF ファイルを確認する場合は、Web ブラウザを起動し Google ドキュメントにログインして確認してください。

■ Salesforce Chatter に投稿します

イメージデータを PDF ファイルまたは JPEG ファイルとして、Salesforce Chatter に投稿する方法について説明します。

- Windows 2000 の場合は、この機能は使用できません。
- Salesforce CRM のライセンス契約が別途必要です。
- 連携可能な Salesforce のエディションは以下のとおりです。
  - Unlimited
  - Enterprise
- 本機能を使用するには、お使いのコンピュータに .NET Framework 3.0 がインストールされている必要があります。
  .NET Framework 3.0 は、.NET Framework 3.5（SP1 以降）にも含まれています。オペレーティングシステムの最新のアップデートを行って、.NET Framework 3.5（SP1 以降）を使用することを推奨します。
  .NET Framework 4 以降をインストール済みの場合でも、.NET Framework 3.0 は含まれていないため .NET Framework 3.0 を別途インストールする必要があります。
- Salesforce Chatter に一度に投稿できるイメージデータのファイル数は、100 ファイルまでです。

クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 220 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 225 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（79 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3.「Salesforce Chatter に投稿」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1.「Salesforce Chatter に投稿」アイコンのから「設定」メニューを選択します。

⇒「Salesforce Chatter に投稿 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「Salesforce Chatter に投稿 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

コンピュータを共用している場合、「ユーザ名」、「パスワード」、および「セキュリティトークン」を設定すると、第三者が自動的に Salesforce にログインできるようになります。
そのため、「ユーザ名」および「セキュリティトークン」だけを設定して、「パスワード」はログイン時に毎回入力する運用を推奨します。

3. ［OK］ボタンをクリックして、「Salesforce Chatter に投稿 - 設定」画面を閉じます。

4. 「Salesforce Chatter に投稿」アイコンをクリックします。

⇒ 手順 3. の「Salesforce Chatter に投稿 - 設定」画面で Salesforce アカウントを指定しなかった場合は、「Salesforce Chatter に投稿 - ログイン」画面が表示されます。

「ユーザ名」および「パスワード」を入力して［OK］ボタンをクリックすると、処理が続行されます。「セキュリティトークン」は、必要に応じて入力してください。

- コンピュータを共用している場合、「アカウント情報を保存する」チェックボックスにチェックを付けると、第三者が自動的に Salesforce にログインできるようになります。
  そのため、「アカウント情報を保存する」チェックボックスにチェックを付けないでください。
- Salesforce Chatter に投稿は、インターネット接続時に認証が必要なプロキシ環境下では使用できません。

⇒「Salesforce Chatter に投稿」画面が表示されます。

5. プレビューで読み取り結果を確認します。

「Salesforce Chatter に投稿」画面では、イメージデータの投稿先 / 投稿方法、投稿するメッセージ、Salesforce Chatter で表示されるイメージデータのファイル名、投稿するイメージデータの説明、および読み取り条件の「イメージの保存先」にファイルを残すかどうかを設定できます。
「Salesforce Chatter に投稿」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

プレビュー

6. ［投稿］ボタンをクリックします。

⇒ Salesforce Chatter にイメージデータの投稿が開始されます。
イメージデータの投稿が完了したら、［閉じる］ボタンをクリックして、
「Salesforce Chatter に投稿」画面を閉じてください。

「Salesforce Chatter に投稿」画面は、「投稿完了後、この画面を閉じる」チェックボックスにチェックを付けると、次の原稿の読み取りから、Salesforce Chatter にイメージデータの投稿が完了すると自動的に閉じられます。

- クイックメニューを表示してから「Salesforce Chatter に投稿」画面を閉じるまでの間は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「Salesforce Chatter に投稿」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

イメージデータの投稿完了後、Salesforce のサイトは起動されません。保存したイメージデータを確認する場合は、Web ブラウザを起動し Salesforce にログインして確認してください。

＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（85 ページ）を参照してください。

1. **右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。**

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. **「アプリ選択」タブの「アプリケーションの選択」で、「Salesforce Chatter に投稿」を選択します。**

この状態で読み取り設定を追加しておけば、次回から、「読み取り設定」ドロップダウンリストまたは左クリックメニューで、連携するアプリケーションを設定できます。読み取り設定の追加方法については、「読み取り設定の管理」（101 ページ）を参照してください。

3. 「Salesforce Chatter に投稿」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1. ［アプリケーションの設定］ボタンをクリックします。

⇒「Salesforce Chatter に投稿 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「Salesforce Chatter に投稿 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

コンピュータを共用している場合、「ユーザ名」、「パスワード」、および「セキュリティトークン」を設定すると、第三者が自動的に Salesforce にログインできるようになります。
そのため、「ユーザ名」および「セキュリティトークン」だけを設定して、「パスワード」はログイン時に毎回入力する運用を推奨します。

3. ［OK］ボタンをクリックして、「Salesforce Chatter に投稿 - 設定」画面を閉じます。

4. ［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

5. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

6. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、手順 3. の「Salesforce Chatter に投稿 - 設定」画面で Salesforce アカウントを指定しなかった場合は、「Salesforce Chatter に投稿 - ログイン」画面が表示されます。「ユーザ名」および「パスワード」を入力して［OK］ボタンをクリックすると、処理が続行されます。「セキュリティトークン」は、必要に応じて入力してください。

- コンピュータを共用している場合、「アカウント情報を保存する」チェックボックスにチェックを付けると、第三者が自動的に Salesforce にログインできるようになります。
  そのため、「アカウント情報を保存する」チェックボックスにチェックを付けないでください。
- Salesforce Chatter に投稿は、インターネット接続時に認証が必要なプロキシ環境下では使用できません。

⇒「Salesforce Chatter に投稿」画面が表示されます。

7. プレビューで読み取り結果を確認します。

「Salesforce Chatter に投稿」画面では、イメージデータの投稿先 / 投稿方法、投稿するメッセージ、Salesforce Chatter で表示されるイメージデータのファイル名、投稿するイメージデータの説明、および読み取り条件の「イメージの保存先」にファイルを残すかどうかを設定できます。
「Salesforce Chatter に投稿」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

8. ［投稿］ボタンをクリックします。

⇒ Salesforce Chatter にイメージデータの投稿が開始されます。
イメージデータの投稿が完了したら、［閉じる］ボタンをクリックして、「Salesforce Chatter に投稿」画面を閉じてください。

「Salesforce Chatter に投稿」画面は、「投稿完了後、この画面を閉じる」チェックボックスにチェックを付けると、次の原稿の読み取りから、Salesforce Chatter にイメージデータの投稿が完了すると自動的に閉じられます。

- 「Salesforce Chatter に投稿」画面表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「Salesforce Chatter に投稿」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- 「Salesforce Chatter に投稿」画面表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

イメージデータの投稿完了後、Salesforce のサイトは起動されません。保存したイメージデータを確認する場合は、Web ブラウザを起動し Salesforce にログインして確認してください。

■ SugarSync の同期フォルダーに保存します

イメージデータを PDF ファイルまたは JPEG ファイルとして、SugarSync の同期フォルダーに保存する方法について説明します。

- Windows 2000 の場合は、この機能は使用できません。
- SugarSync のアカウントを取得する必要があります。
- 本機能を使用するには、お使いのコンピュータに SugarSync Manager for Windows 1.9.28 以降がインストールされている必要があります。
- SugarSync の同期フォルダーに一度に保存できるイメージデータのファイル数は、100 ファイルまでです。

SugarSync Manager for Windows をインストールしたあと、SugarSync に初めてログインしたときに、マジックブリーフケースが作成されます。
マジックブリーフケースとは、SugarSync で使用する同期専用のフォルダーです。

クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 231 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 234 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（79 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3.「SugarSync に保存」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1.「SugarSync に保存」アイコンの から「設定」メニューを選択します。

⇒「SugarSync に保存 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「SugarSync に保存 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3.［OK］ボタンをクリックして、「SugarSync に保存 - 設定」画面を閉じます。

4.「SugarSync に保存」アイコンをクリックします。

⇒「SugarSync に保存」画面が表示されます。

手順 3. で、「プレビュー画面を表示する」チェックボックスのチェックを外した場合は、イメージデータが直接 SugarSync の同期フォルダーに保存されます。

5. プレビューで読み取り結果を確認します。

「SugarSync に保存」画面では、ファイル名を変更したり、SugarSync の同期フォルダーを指定したりできます。
「SugarSync に保存」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

ファイルの保存先に SugarSync の同期フォルダー以外を指定した場合、保存されたファイルは SugarSync と同期の対象になりません。

6. ［保存］ボタンをクリックします。

⇒ イメージデータが、SugarSync の同期フォルダーに保存されます。

- クイックメニューを表示してから「SugarSync に保存」画面を閉じるまでの間は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「SugarSync に保存」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニューを表示してから「SugarSync に保存」画面を閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（85 ページ）を参照してください。

1. **右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。**

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. **「アプリ選択」タブ の「アプリケーションの選択」で、「SugarSync に保存」を選択します。**

この状態で読み取り設定を追加しておけば、次回から、「読み取り設定」ドロップダウンリストまたは左クリックメニューで、連携するアプリケーションを設定できます。
読み取り設定の追加方法については、「読み取り設定の管理」（101 ページ）を参照してください。

3.「SugarSync に保存」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1.［アプリケーションの設定］ボタンをクリックします。

⇒「SugarSync に保存 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「SugarSync に保存 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3.［OK］ボタンをクリックして、「SugarSync に保存 - 設定」画面を閉じます。

4.［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

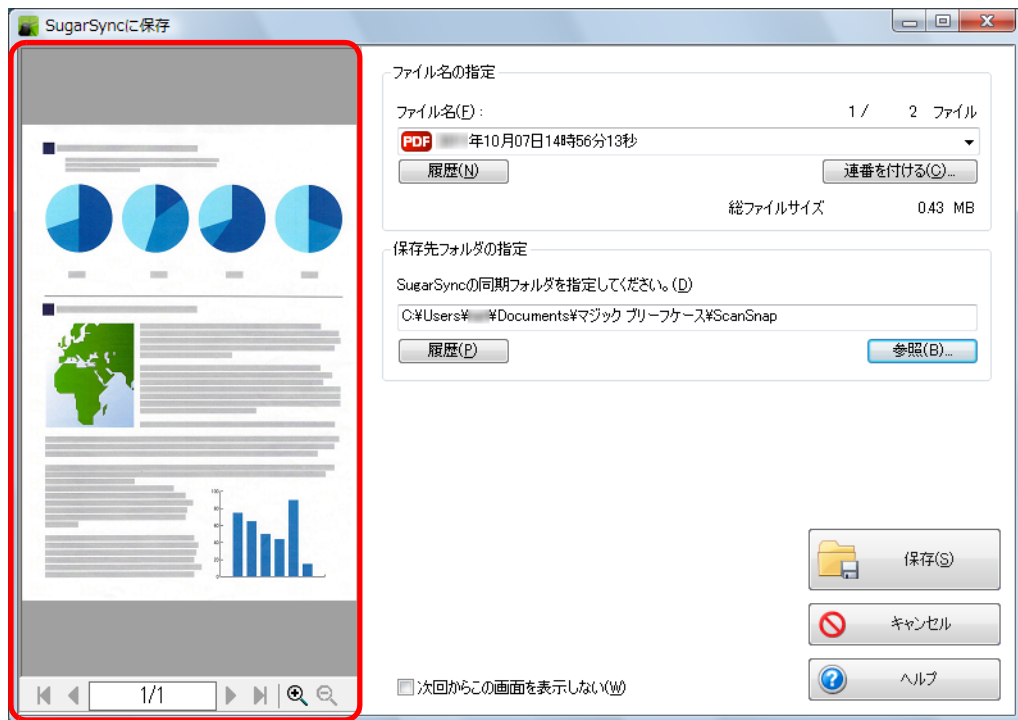
5. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

6. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、「SugarSync に保存」画面が表示されます。
手順 3. で、「プレビュー画面を表示する」チェックボックスのチェックを外した場合は、イメージデータが直接 SugarSync の同期フォルダーに保存されます。

7. プレビューで読み取り結果を確認します。

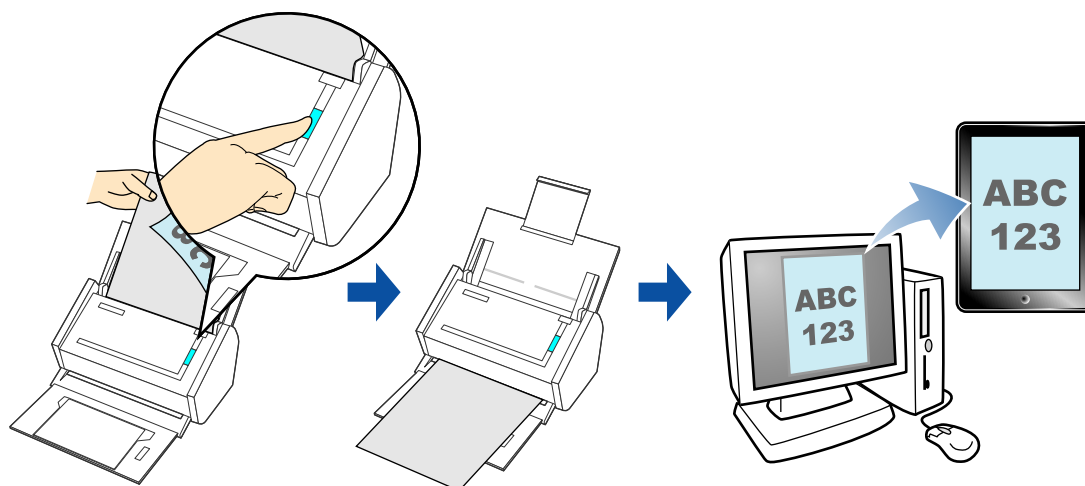
「SugarSync に保存」画面では、ファイル名を変更したり、SugarSync の同期フォルダーを指定したりできます。
「SugarSync に保存」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

ファイルの保存先に SugarSync の同期フォルダー以外を指定した場合、保存されたファイルは SugarSync と同期の対象になりません。

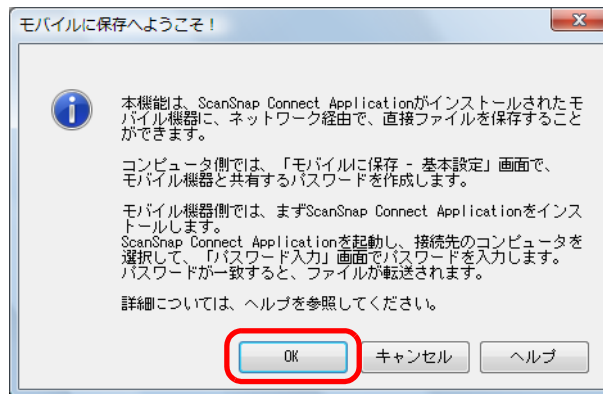
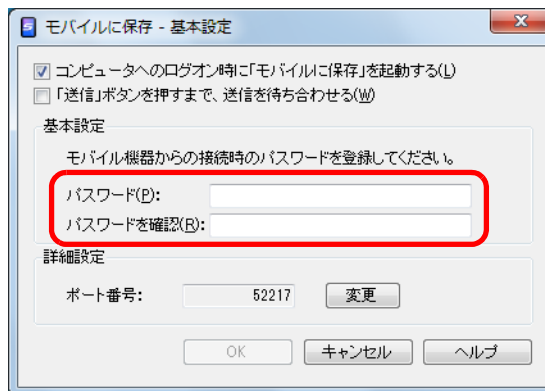
8. ［保存］ボタンをクリックします。

⇒ イメージデータが、SugarSync の同期フォルダーに保存されます。

- 「SugarSync に保存」画面表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「SugarSync に保存」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- 「SugarSync に保存」画面表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

■ モバイル機器に保存します

イメージデータを PDF ファイルまたは JPEG ファイルとして、モバイル機器に保存する方法について説明します。

- Windows 2000 の場合は、この機能は使用できません。
- コンピュータに接続できるモバイル機器は、1 台だけです。
- 本機能を使用するには、お使いのコンピュータに .NET Framework 3.0 がインストールされている必要があります。
  .NET Framework 3.0 は、.NET Framework 3.5（SP1 以降）にも含まれています。オペレーティングシステムの最新のアップデートを行って、.NET Framework 3.5（SP1 以降）を使用することを推奨します。
  .NET Framework 4 以降をインストール済みの場合でも、.NET Framework 3.0 は含まれていないため .NET Framework 3.0 を別途インストールする必要があります。
- 本機能を使用するには、接続するモバイル機器に ScanSnap Connect Application がインストールされている必要があります。各モバイル機器用の ScanSnap Connect Application は、アプリケーションマーケット（App Store など）からダウンロードしてください。
  モバイル機器用の ScanSnap Connect Application が動作するオペレーティングシステムは、以下のとおりです。
  - iOS 4.2.1 以降
- モバイル機器 に一度に保存できるイメージデータのファイル数およびファイルサイズは、以下のとおりです。
  - ファイル数 : 100 まで
  - ファイルサイズ : 2048M バイト
- モバイルに保存の初回起動時は、ファイアーウォールのブロックの警告が表示されることがあります。表示された場合は、「アクセスを許可する」や「解除する」などを選択してください。

- モバイルに保存の初回起動時は、以下のメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると「モバイルに保存 - 基本設定」画面が表示されます。

「モバイルに保存 - 基本設定」画面では、モバイル機器と接続するためのパスワードを設定してください。
そのほかの設定項目の詳細については、モバイルに保存のヘルプを参照してください。

- モバイルに保存が起動中は、タスク バーにモバイルに保存のアイコンが表示されます。
Windows 7 の場合は、タスク バーの をクリックして表示されるメニューに、モバイルに保存のアイコンが表示されます。
モバイルに保存のアイコンは、コンピュータとモバイル機器との通信状態を示しています。
通信状態によって表示されるアイコンは、以下のとおりです。

通信状態	モバイルに保存のアイコン
受付待ち	
待機中	
送信中	
送信中エラー	
受付不可	

アプリケーションに自動連携する場合およびクイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- アプリケーションに自動連携する場合（→ 239 ページ）
- クイックメニューを使用する場合（→ 241 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 245 ページ）

＜アプリケーションに自動連携する場合＞

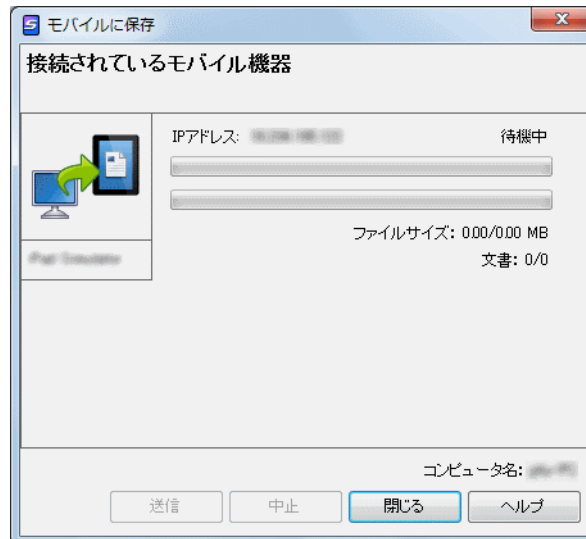
- モバイル機器側の機能および使用方法についての詳細は、ScanSnap Connect Application ユーザーズガイド（iOS 編）を参照してください。
- アクティブ連携については、「アプリケーションの自動連携」（111 ページ）を参照してください。

1. 「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「ScanSnap Manager」→「モバイルに保存」を選択します。

⇒ タスク バーにモバイルに保存のアイコン が表示されます。

2. モバイル機器からコンピュータに接続します。

モバイル機器からコンピュータへの接続方法については、ScanSnap Connect Application ユーザーズガイド（iOS 編）を参照してください。

⇒ コンピュータに、「モバイルに保存」画面が表示されます。
モバイル機器とコンピュータが接続されると、「モバイルに保存」画面に、コンピュータと接続中のモバイル機器が表示されます。

3. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

4. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

モバイルに保存に自動連携する場合は、モバイルに保存がアクティブ状態（タスク バー上でモバイルに保存が選択され、「モバイルに保存」画面が最前面に表示されている状態）のときに、ScanSnap の［Scan］ボタンを押して原稿の読み取りを開始してください。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、イメージデータがコンピュータからモバイル機器に送信されます。

「モバイルに保存 - 基本設定」画面の「「送信」ボタンを押すまで、送信を待ち合わせる」チェックボックスにチェックを付けた場合は、「モバイルに保存」画面に［送信］ボタンが表示されます。［送信］ボタンをクリックすると、イメージデータがモバイル機器に送信されます。

5. イメージデータの送信が完了したら、［閉じる］ボタンをクリックして「モバイルに保存」画面を閉じます。

「モバイルに保存」画面は、モバイル機器とコンピュータの接続が解除されると自動的に閉じられます。

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（79 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

すでにモバイルに保存が起動されていて、アクティブ状態（タスク バー上でモバイルに保存が選択され、「モバイルに保存」画面が最前面に表示されている状態）の場合は、モバイルに保存に自動連携され、クイックメニューは表示されません。
クイックメニューを表示するには、「モバイルに保存」画面を最小化してから、再度原稿を読み取ってください。

3. 「モバイルに保存」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1. 「モバイルに保存」アイコンの から「設定」メニューを選択します。

⇒「モバイルに保存 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「モバイルに保存 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3.［OK］ボタンをクリックして、「モバイルに保存 - 設定」画面を閉じます。

4.「モバイルに保存」アイコンをクリックします。

- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。モバイルに保存に連携してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

⇒「モバイルに保存」画面が表示されます。

5. モバイル機器からコンピュータに接続します。

モバイル機器からコンピュータへの接続方法については、ScanSnap Connect Application ユーザーズガイド（iOS 編）を参照してください。

⇒ モバイル機器とコンピュータが接続されると、「モバイルに保存」画面にコンピュータと接続中のモバイル機器が表示され、イメージデータがモバイル機器に送信されます。

- 「モバイルに保存 - 基本設定」画面の「「送信」ボタンを押すまで、送信を待ち合わせる」チェックボックスにチェックを付けた場合は、「モバイルに保存」画面に［送信］ボタンが表示されます。［送信］ボタンをクリックすると、イメージデータがモバイル機器に送信されます。
- モバイル機器側の機能および使用方法についての詳細は、ScanSnap Connect Application ユーザーズガイド（iOS 編）を参照してください。

6. **イメージデータの送信が完了したら、［閉じる］ボタンをクリックして「モバイルに保存」画面を閉じます。**

「モバイルに保存」画面は、モバイル機器とコンピュータの接続が解除されると自動的に閉じられます。

＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（85 ページ）を参照してください。

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. 「アプリ選択」タブの「アプリケーションの選択」で、「モバイルに保存」を選択します。

この状態で読み取り設定を追加しておけば、次回から、「読み取り設定」ドロップダウンリストまたは左クリックメニューで、連携するアプリケーションを設定できます。読み取り設定の追加方法については、「読み取り設定の管理」（101 ページ）を参照してく ださい。

3.「モバイルに保存」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1.［アプリケーションの設定］ボタンをクリックします。

⇒「モバイルに保存 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「モバイルに保存 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3.［OK］ボタンをクリックして、「モバイルに保存 - 設定」画面を閉じます。

4.［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

5. ScanSnap に原稿をセットします。

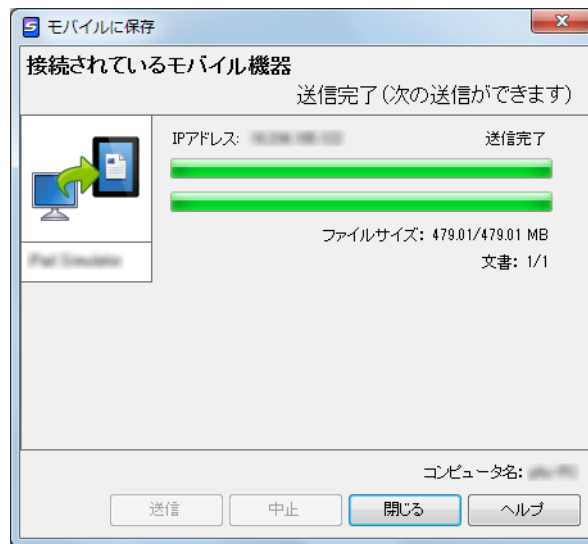
原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

6. **ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。**

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、コンピュータに「モバイルに保存」画面が表示されます。

7. モバイル機器からコンピュータに接続します。

モバイル機器からコンピュータへの接続方法については、ScanSnap Connect Application ユーザーズガイド（iOS 編）を参照してください。

⇒ モバイル機器とコンピュータが接続されると、「モバイルに保存」画面にコンピュータと接続中のモバイル機器が表示され、イメージデータがモバイル機器に送信されます。

- 「モバイルに保存 - 基本設定」画面の「「送信」ボタンを押すまで、送信を待ち合わせる」チェックボックスにチェックを付けた場合は、「モバイルに保存」画面に［送信］ボタンが表示されます。［送信］ボタンをクリックすると、イメージデータがモバイル機器に送信されます。
- モバイル機器側の機能および使用方法についての詳細は、ScanSnap Connect Application ユーザーズガイド（iOS 編）を参照してください。

8. イメージデータの送信が完了したら、［閉じる］ボタンをクリックして「モバイルに保存」画面を閉じます。

「モバイルに保存」画面は、モバイル機器とコンピュータの接続が解除されると自動的に閉じられます。

ScanSnap のいろいろな使い方

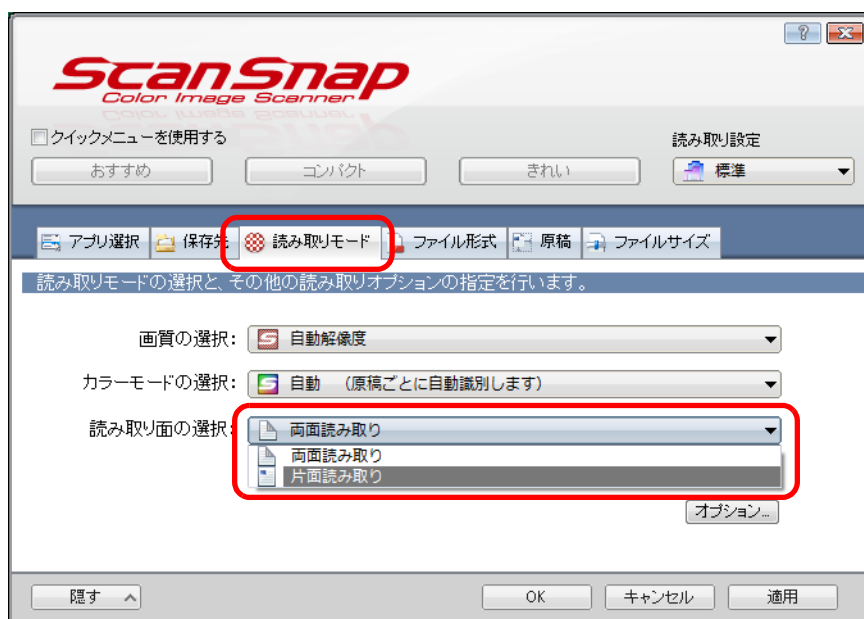
ここでは、ScanSnap の便利な使い方について説明します。

■ 片面だけを読み取ります

デフォルトでは、「両面読み取り」に設定されています。
片面読み取りをする場合は、以下の手順で設定を変更します。

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2.「読み取りモード」タブの「読み取り面の選択」で、「片面読み取り」を選択します。

3.［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

4. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

5. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

右クリックメニューから「片面読み取り」を選択すると、「読み取りモード」タブの「読み取り面の選択」が「両面読み取り」に設定されている場合でも、片面読み取りが開始されます。

⇒ 片面だけのイメージデータが保存されます。

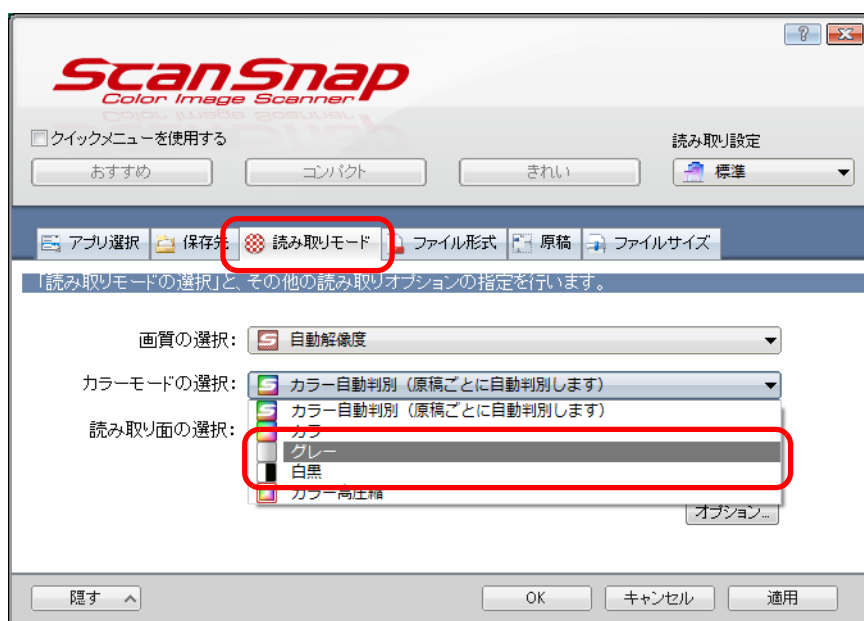
■ カラー原稿をグレーまたは白黒で読み取ります

ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「カラーモードの選択」に「カラー自動判別」が設定されている場合、原稿を読み取ると、原稿のカラーモード（カラー、グレー、白黒）を自動判別して、判別した色のイメージデータが保存されます。
カラー原稿を読み取って、グレーまたは白黒のイメージデータを保存する場合は、以下の手順で設定を変更します。

e- スキャンモードの場合は、カラー原稿を白黒またはグレーで読み取れません。

1. **右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。**

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. **「読み取りモード」タブの「カラーモードの選択」で、「グレー」または「白黒」を選択します。**

3. **［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。**

4. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

5. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ グレーまたは白黒のイメージデータが保存されます。

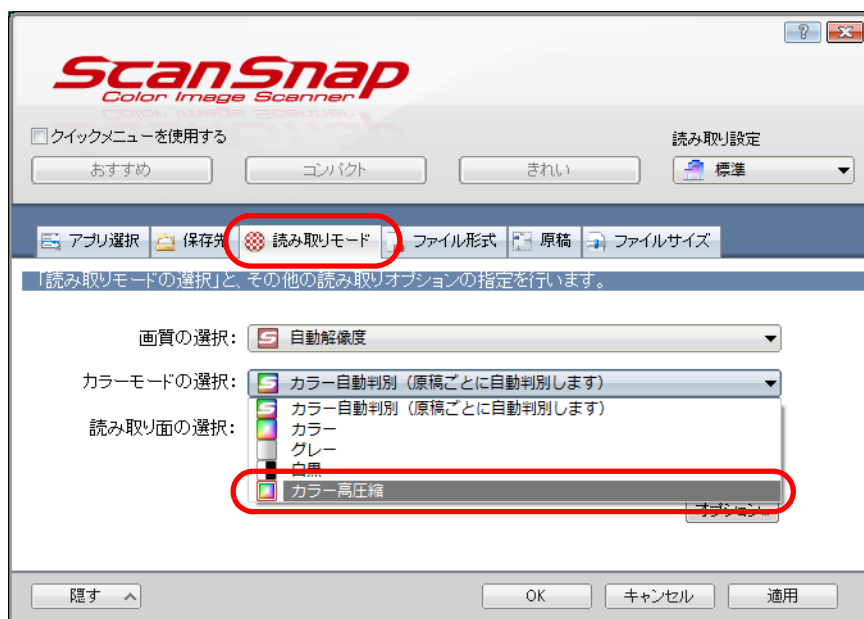
■ カラー原稿を高圧縮します

カラー原稿のイメージデータを高圧縮して保存できます。膨大な量のカラー原稿でも高圧縮して読み取れば、コンパクトな PDF ファイルにまとめて保存できます。
カラー原稿を高圧縮する場合は、以下の手順で設定を変更します。

- 「カラー高圧縮」では、文字部分と背景部分を分離して背景部分だけを高圧縮します。そのため、文字ベースの原稿を読み取ると、文字はきれいなままでファイルサイズを小さくできます。一方、写真や図などは、背景とみなされて高圧縮されるため、イメージデータが劣化しますので、写真などの読み取りには適していません。
- e- スキャンモードの場合は、カラー原稿を高圧縮して読み取れません。

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2.「読み取りモード」タブの「カラーモードの選択」で、「カラー高圧縮」を選択します。

3.［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

4. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

5. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 高圧縮されたイメージデータが保存されます。

■ イメージデータから白紙ページを削除します

イメージデータから、不要な白紙ページを自動的に削除できます。例えば、両面・片面原稿が混在している場合、両面読み取りを行えば、片面原稿の裏面（白紙ページ）のイメージデータは削除されます。
白紙ページを削除する場合は、以下の手順で設定を変更します。

- 以下のような原稿は、白紙ページとして識別される場合があります。
  - 白紙原稿内に、文字が極端に少ない場合
  - 白色でなくても、ページ全体が一様色（無地）の場合（黒色も含みます）

  このような原稿を読み取る場合は、「白紙ページを自動的に削除します」チェックボックスのチェックを外してください。
  また、読み取った原稿を廃棄する場合は、誤って削除されたページがないかどうかを必ずご確認ください。
- 名刺ファイリング ＯＣＲ と連携する場合は、白紙ページは削除されません。

1. **右クリックメニューから「Scan ボタンの設定」を選択します。**

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. **「読み取りモード」タブの［オプション］ボタンをクリックします。**

⇒「読み取りモードオプション」画面が表示されます。

3.「白紙ページを自動的に削除します」チェックボックスにチェックを付けます。

4.［OK］ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

5. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

6. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 白紙ページの削除されたイメージデータが保存されます。

■ 文字列の傾きを補正します

文字列が傾いて印刷されている原稿を読み取った際に、文字列の傾きを検出し、その傾きを補正できます。
文字列の傾きを補正する場合は、以下の手順で設定を変更します。

- 最大± 5 度までの傾きを補正できます。
- 文字の傾きは、原稿中の文字列を基準にして補正するため、以下のような原稿を読み取ると、誤って補正されてイメージデータが傾く場合があります。
  その場合は、「文字列の傾きを自動的に補正します」チェックボックスのチェックを外してください。
  - 文字間や行間が極端に狭い、または文字が接触している原稿
  - 白抜きや装飾文字が多い原稿
  - 写真や図などが多く、文字の少ない原稿
  - 文字の背景に模様がある原稿
    例：絵や図と重なっている文字
  - 図面など、文字が一定方向を向いていない原稿
  - 斜め方向の長い直線がある原稿
  - 手書き文字の原稿
- A3 キャリアシートで読み取る場合、文字列の傾きは補正されません。

ScanSnap 設定画面の「原稿」タブ→「原稿サイズの選択」の設定が「サイズ自動検出」の場合は、常に原稿の傾きを補正します。そのため、「文字列の傾きを自動的に補正します」を有効にする必要はありません。

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2.「読み取りモード」タブの［オプション］ボタンをクリックします。

⇒「読み取りモードオプション」画面が表示されます。

3.「文字列の傾きを自動的に補正します」チェックボックスにチェックを付けます。

4.［OK］ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

5. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

6. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 文字列の傾きが補正されたイメージデータが保存されます。

■ いろいろな向きで読み取った原稿の向きを補正します

一般的なオフィスで使用されている文書の中には、同じ用紙サイズの原稿でも、原稿の向きが縦 / 横混在している場合があります。
このような原稿を読み取った場合に、自動的にイメージデータの向きを補正できます。
イメージデータの向きを補正する場合は、以下の手順で設定を変更します。

イメージデータの向きは、原稿中の文字列を基準にして補正するため、以下のような原稿を読み取ると、イメージデータの向きが補正されない場合があります。
その場合は、「原稿の向きを自動的に補正します」チェックボックスのチェックを外してください。

- 極端に大きい文字や小さい文字が多い原稿
- 文字間や行間が極端に狭い、または文字が接触している原稿
- 下線や罫線に接触している文字が多い原稿
- 写真や図などが多く、文字の少ない原稿
- 文字の背景が不均一色の原稿
  例：網掛けされている文字
- 装飾文字が多い原稿
  例：影、白抜きなど装飾がされている文字
- 文字の背景に模様がある原稿
  例：絵や図と重なっている文字
- 図面など、文字が一定方向を向いていない原稿
- アルファベット大文字だけで書かれている原稿
- 手書き文字の原稿
- 傾いた原稿
- サポート言語（日本語 / 英語 / フランス語 / ドイツ語 / イタリア語 / スペイン語 / 中国語（簡体字）/ 中国語（繁体字）/ 韓国語 / ロシア語 / ポルトガル語）以外の言語の原稿
- 複雑なレイアウトの原稿
- ノイズの多い原稿
- 薄い文字の原稿
- かすれた文字の原稿

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2.「読み取りモード」タブの［オプション］ボタンをクリックします。

⇒「読み取りモードオプション」画面が表示されます。

3.「原稿の向きを自動的に補正します」チェックボックスにチェックを付けます。

4.［OK］ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

5. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

6. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 向きが補正されたイメージデータが保存されます。

■ 幅や長さの違う原稿を同時に読み取ります

幅や長さの違う原稿を同時にセットして読み取れます。
幅や長さの違う原稿を同時に読み取る場合は、以下の手順で設定を変更します。

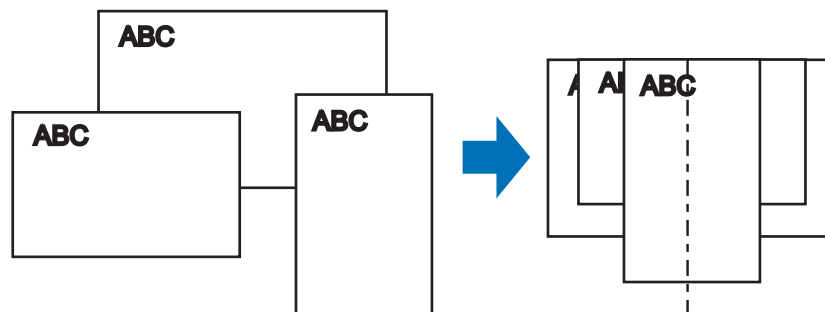
1. 右クリックメニューから「Scan ボタンの設定」を選択します。

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

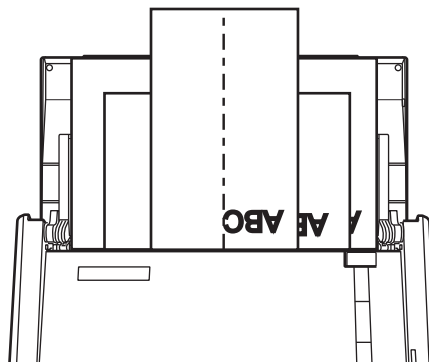
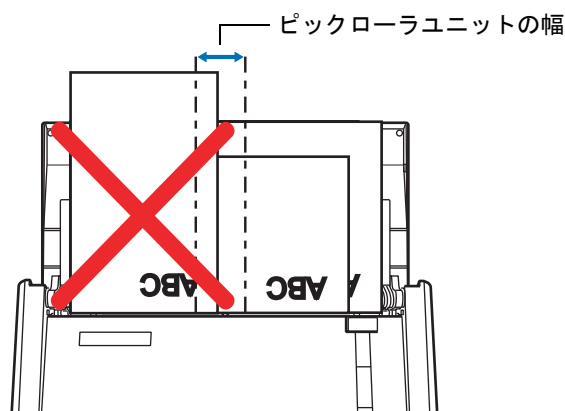
2.「原稿」タブの「原稿サイズの選択」で「サイズ自動検出」を選択します。

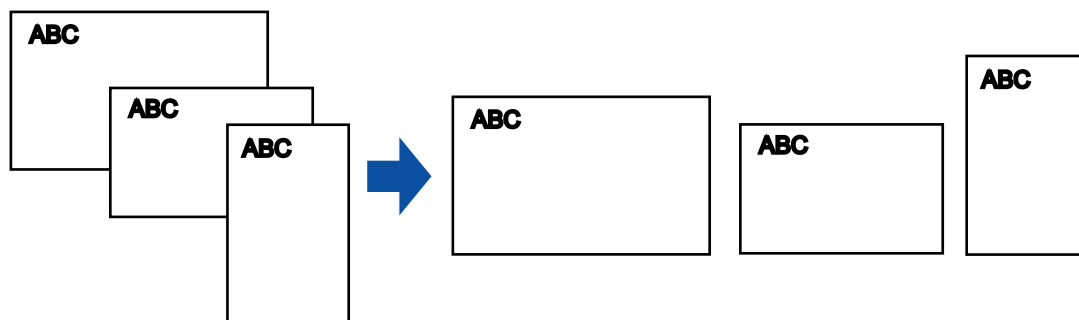
3.「マルチフィード検出」で「長さで検出」以外を選択します。

「長さで検出」を選択して幅や長さの違う原稿を同時に読み取ると、マルチフィードが検出され、読み取りできません。ただし、原稿サイズが Letter および A4 の原稿を同時に読み取った場合、マルチフィードは検出されません。

4.［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

5. ScanSnap に原稿をセットします。

1. 原稿の先端をそろえます。

2. 原稿を給紙カバー（原稿台）の中央にセットします。

- すべての原稿が、ピックローラユニット（中央）の上に重なるようにセットしてください。
  ピックローラユニットから離れた位置に原稿があると、給紙できません。

- サイドガイドは、読み取る原稿の中で最大幅の原稿に合わせてください。
- 最大幅以外の原稿は、まっすぐ読み取られるようにセットしてください。原稿が傾いて読み取られた場合、イメージデータの乱れ（イメージデータの欠け / イメージデータに斜めの線が入る）や、原稿サイズと一致しないイメージデータが保存される、などの現象が発生する場合があります。原稿がまっすぐ読み取られない場合は、幅の同じ原稿に分けて、継続読み取りを有効にして、読み取ることを推奨します。
- サイドガイドを原稿の幅に合わせていない場合、原稿づまりとなることがあります。

6. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ それぞれの原稿サイズに一致するイメージデータが保存されます。

原稿が傾いて読み取られた場合に、原稿サイズと一致しないイメージデータが保存される場合があります。

■ A4 サイズより大きい原稿を読み取ります

A3 キャリアシートを使用すると、A3 や B4 のような A4 サイズより大きい原稿を読み取れます。原稿を 2 つ折りにして両面を読み取り、1 つのイメージデータにつなぎ合わせて保存します。

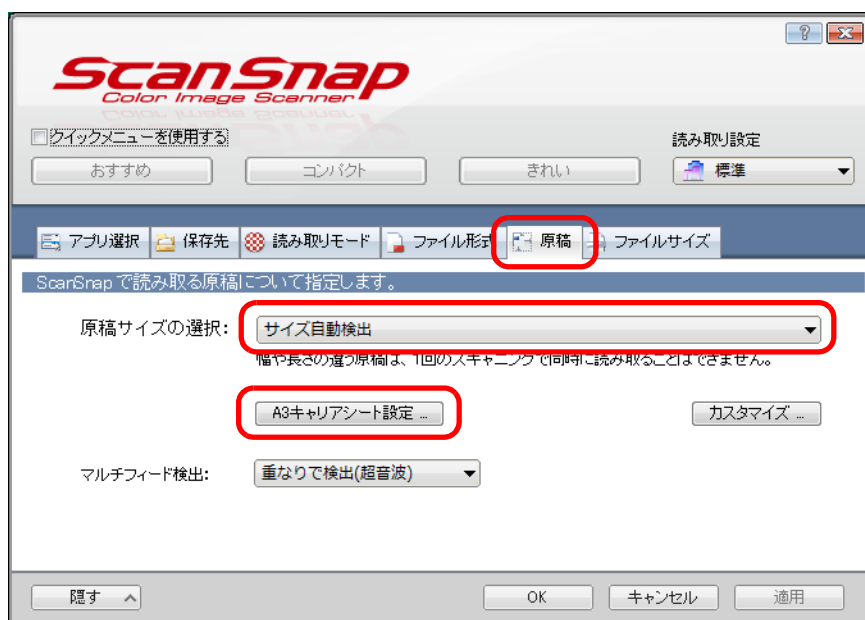
- e- スキャンモードの場合は、見開き状態のイメージデータを保存できません。
- ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「オプション」→「文字列の傾きを自動的に補正します」チェックボックスは無効となります。

A4 サイズ以下の両面印刷された原稿を読み取って、両面を 1 つのイメージデータにつなぎ合わせることもできます。

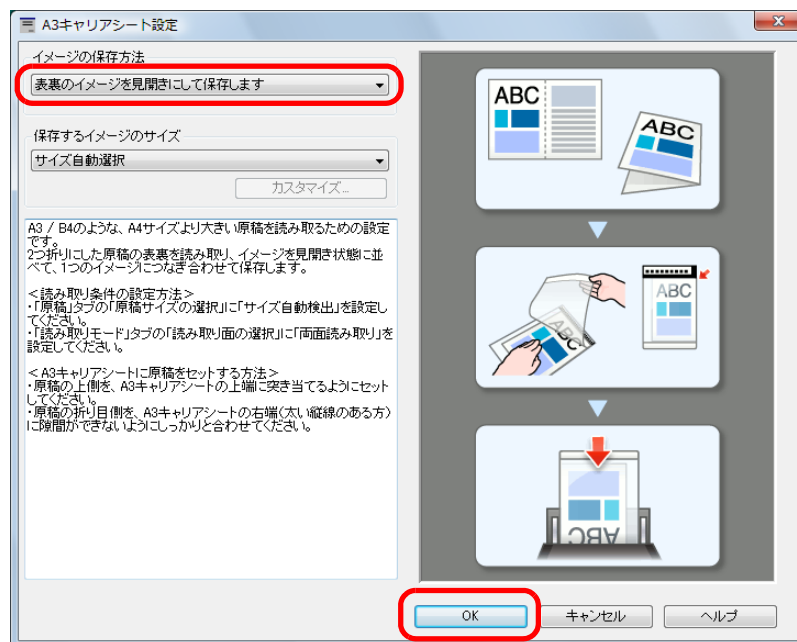
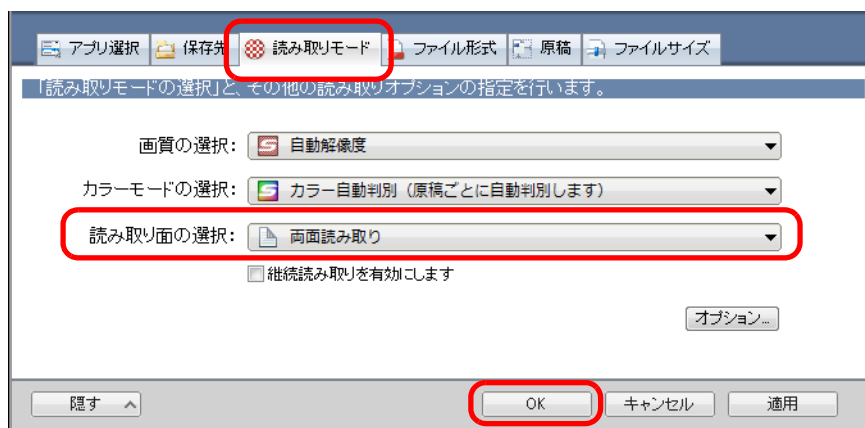
1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。

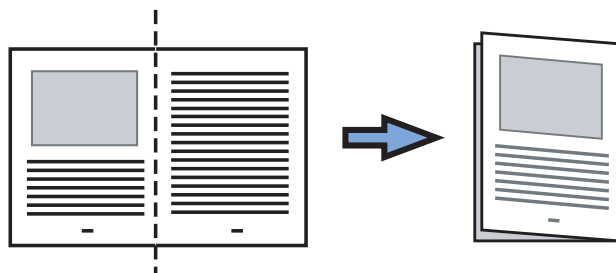
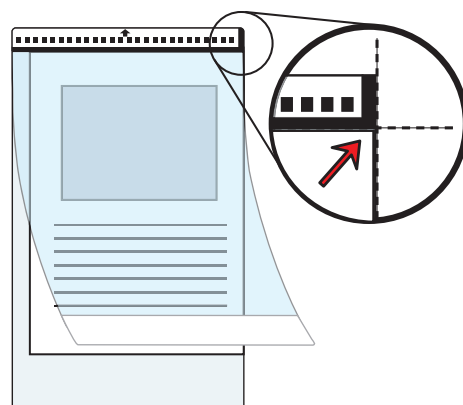
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. 「原稿」タブの「原稿サイズの選択」で「サイズ自動検出」を選択してから、［A3 キャリアシート設定］ボタンをクリックします。

⇒「A3 キャリアシート設定」画面が表示されます。

3. **「イメージの保存方法」で「表裏のイメージを見開きにして保存します」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。**

A3 キャリアシート設定の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

4. **「読み取りモード」タブの「読み取り面の選択」で、「両面読み取り」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。**

「片面読み取り」を行うと、「表裏の画像をそれぞれ出力します」で片面読み取りを行った場合と同じ保存結果になります。

5. A3 キャリアシートに原稿をセットします。

1. 読み取り面が外側になるように、原稿を中央から 2 つに折り曲げます。
   原稿の折り曲げ部分がふくらまない程度まで、しっかりと折り曲げてください。

2. A3 キャリアシートの表面を開いて、原稿をはさみます。
   原稿の上側を A3 キャリアシートの上端、折り目側を右端に、隙間のできないようにしっかりと合わせます。

A3 キャリアシートの白黒のパターンが印刷された部分を上にしたときに、右端に太い縦線のある面が、A3 キャリアシートの表面です。

6. A3 キャリアシートの白黒のパターンが印刷された部分を下（矢印の向き）にして、ScanSnap にセットします。

A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。

7. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 両面を読み取ると、表面および裏面のイメージデータが見開きの状態で保存されます。

- イメージデータの見開きの継ぎ目部分に、隙間ができたり、線が入ったりする場合があります。
  また、A3 キャリアシートに厚みのある原稿をセットして読み取ると、見開きの継ぎ目部分を中心にして、イメージデータがハの字に傾く場合があります。
  これらの現象は、以下を行うと改善される場合があります。
  - 原稿をしっかりと折り曲げる
  - A3 キャリアシートに原稿をはさむときに、原稿の端を A3 キャリアシートの端にしっかりと合わせる
- 「A3 キャリアシート設定」画面の「保存するイメージのサイズ」に「サイズ自動選択」が設定されている場合、「保存するイメージのサイズ」で選択可能な定型サイズ（A3、B4、または 11 × 17 インチ）の中から最適なサイズが選択されます。
  ただし、原稿によっては、保存されるイメージデータのサイズが原稿より小さくなる場合があります。
  例：A3 サイズの原稿の中央に、A4 サイズに収まる範囲で絵や文字が印刷されている場合
  ⇒ B4 サイズで保存されます。
  原稿サイズと同じサイズでイメージデータを保存したい場合は、「保存するイメージのサイズ」に原稿と同じサイズを設定してください。
- 原稿の折り曲げ部分の検出誤差により、イメージデータの見開きの継ぎ目部分が欠ける場合があります。その場合には、A3 キャリアシートに原稿をはさむときに、原稿の折り曲げ部分を A3 キャリアシートの端から 1mm ほど内側にずらしてください。

■ 写真や切り抜きなどの原稿を読み取ります

A3 キャリアシートを使用すると、傷付けたくない写真や、資料の切り抜きなど非定型サイズの原稿を読み取れます。
写真や資料の切り抜きなどの原稿を読み取る場合は、以下の手順で設定を変更します。

- e- スキャンモードで読み取る場合は、A3 キャリアシートの黒横線の下 5mm 部分から読み取りを開始し、常に 220 × 306mm のサイズで保存されます。最大 210 × 280mm までの原稿を読み取り、枠を付けて保存できます。指定サイズのイメージデータ（切り出し）は作成できません。
- ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「オプション」→「文字列の傾きを自動的に補正します」チェックボックスは無効となります。

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。

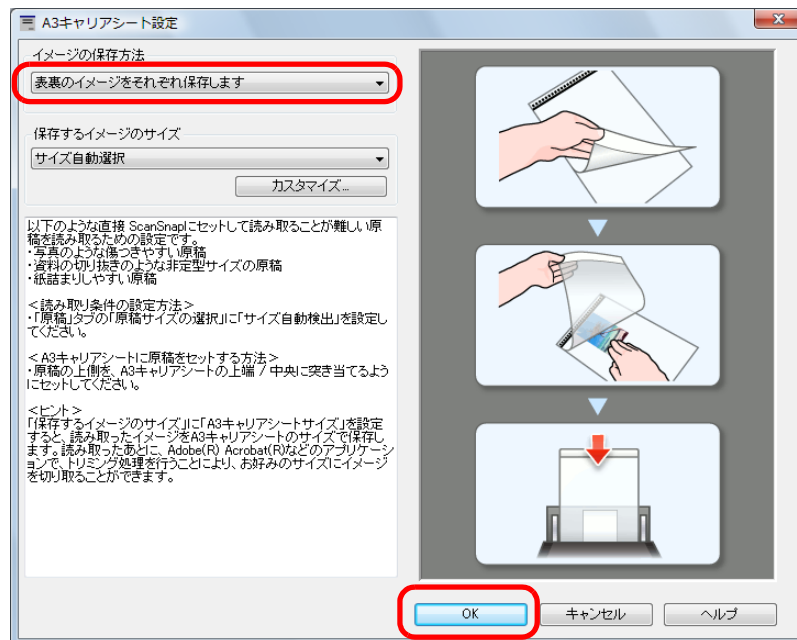
右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. 「原稿」タブの「原稿サイズの選択」で「サイズ自動検出」を選択してから、［A3 キャリアシート設定］ボタンをクリックします。

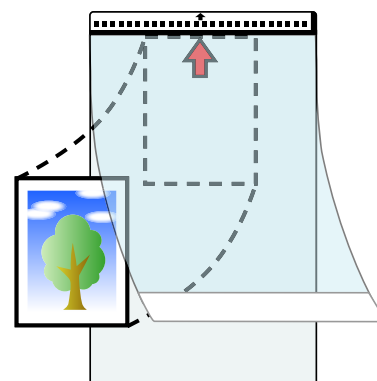
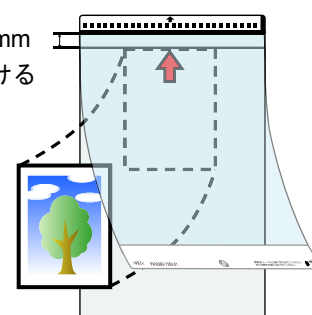
⇒「A3 キャリアシート設定」画面が表示されます。

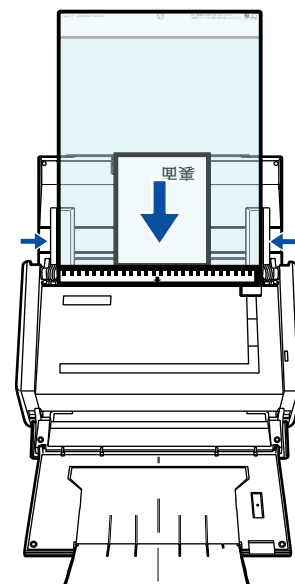
右クリックメニューから「e- スキャンの設定」を選択した場合は、「原稿」タブの「原稿サイズの選択」で「サイズ自動検出」を選択してから、手順 5. に進んでください。

3.「イメージの保存方法」で「表裏のイメージをそれぞれ保存します」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

A3 キャリアシート設定の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

4.［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

5. A3 キャリアシートに原稿をセットします。

A3 キャリアシートを開いて、原稿を A3 キャリアシートの幅方向に対して中央に置き、原稿の上側を A3 キャリアシートの上端に突き当ててはさんでください。

e- スキャンモード読み取り時は、上部に突き当てず、10mm 下にずらしてセットしてください。

6. A3 キャリアシートの白黒のパターンが印刷された部分を下（矢印の向き）にして、ScanSnap にセットします。

原稿の裏面が手前側になるようにセットしてください。
A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。

右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」→「読み取りモード」タブ→［オプション］ボタン→「読み取りモードオプション」画面→「原稿を上向きにしてセットします」チェックボックスにチェックが付いている場合は、原稿の表面が手前、上端が上になるように、A3 キャリアシート内の原稿をセットしてください。

7. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ イメージデータが保存されます。

- イメージデータは、「A3 キャリアシート設定」画面の「保存するイメージのサイズ」に設定されているサイズの中央に配置されます。
- 「A3 キャリアシート設定」画面の「保存するイメージのサイズ」に「サイズ自動選択」が設定されている場合、「保存するイメージのサイズ」で選択可能な定型サイズの中から最適なサイズが選択されます。ただし、原稿によっては、保存されるイメージデータのサイズが原稿より小さくなったり、切れたりする場合があります。
  例：A4 サイズの原稿の中央に A5 サイズで印刷されている場合
  　⇒ A5 サイズで保存されます。
  原稿サイズと同じサイズでイメージデータを保存したい場合は、「保存するイメージのサイズ」に原稿と同じサイズを設定してください。

以下のような現象が発生する場合は、原稿のうしろに白紙をはさんでください。
- 「A3 キャリアシート設定」画面の「保存するイメージのサイズ」に「サイズ自動選択」が設定されている場合、イメージデータが原稿と同じサイズで保存されない
- イメージデータに原稿の端の影が入る
- 特殊な形に切り抜いた原稿を A3 キャリアシートにはさんだ場合、イメージデータに原稿の形をした黒線が入る

■ 長尺原稿を読み取ります

最大長 863mm（34 インチ）までの原稿を読み取れます。
長尺原稿を読み取る方法は、以下のとおりです。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

セットできる原稿の種類については、「読み取りできる原稿」（30 ページ）を参照してください。

- 長尺原稿は、1 枚ずつ給紙カバー（原稿台）にセットしてください。
- 長尺原稿を読み取る場合は、原稿のセット時および排出時に原稿を以下のように扱ってください。

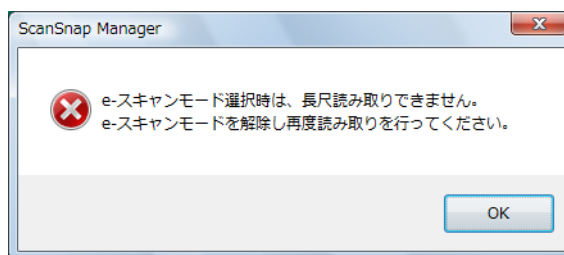
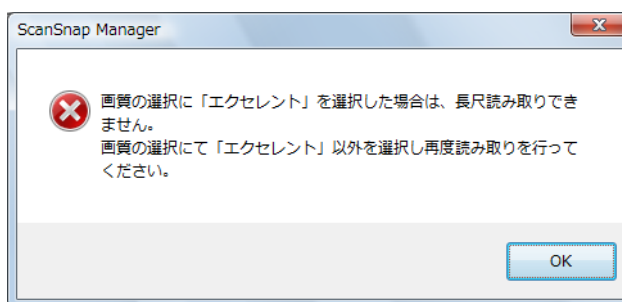
原稿のセット時
読み取る原稿が給紙カバー（原稿台）から落ちないよう、原稿を手で押さえてセットしてください。

原稿の排出時
スタッカー側に十分なスペースを設け、読み取りが完了した原稿がスタッカーから落ちないように、手で受け取ってください。

2. ScanSnap の［Scan］ボタンを、青色で点滅するまで押します（3 秒以上）。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

1 枚目の原稿を長尺原稿として読み取った場合は、継続読み取り時、次の原稿も長尺原稿として読み取ります。

- 「e- スキャンモード」または「読み取りモード」タブの「画質の選択」が「エクセレント」に設定されていると、以下のエラーメッセージが表示され、長尺原稿は読み取りできません。

「e- スキャンモード」の場合

「画質の選択：エクセレント」の場合

- 長尺原稿の読み取り時は、現在の設定を無視して、以下の設定で読み取ります。
  - マルチフィード検出：しない
  - 原稿サイズの選択：サイズ自動検出

■ 複数の PDF ファイルに分割して保存します

イメージデータを一定のページごとに区切って、別々の PDF ファイルとして保存できます。
例えば、定型の伝票を一度に読み取って、1 枚ずつ PDF ファイルにして保存できます。
複数の PDF ファイルに分割して保存する場合は、以下の手順で設定を変更します。

1. **右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。**

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. **「ファイル形式」タブの「ファイル形式の選択」で「PDF（.*pdf）」を選択してから、［オプション］ボタンをクリックします。**

⇒「PDF フォーマットオプション」画面が表示されます。

3. **「設定ページごとに PDF ファイルを作ります」を選択し、分割するページ数を指定します。**

ここで指定したページ数のイメージデータが保存されるごとに、PDF ファイルが 1 つ作成されます。

「両面読み取り」の場合、1 枚の原稿は、表 / 裏で 2 ページとなります。
また、「読み取りモード」タブ→［オプション］ボタン→「読み取りモードオプション」画面→「白紙ページを自動的に削除します」チェックボックスにチェックが付いていると、白紙ページが混在していた場合にページがずれることがありますので、チェックを外しておくことを推奨します。

4. **［OK］ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。**

5. **ScanSnap に原稿をセットします。**

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

6. **ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。**

⇒ 手順 3. で指定したページ数ごとの PDF ファイルが作成されます。

■ 検索可能な PDF ファイルを作成します

イメージデータのテキストを自動的に認識して、検索可能な PDF ファイルを作成できます。
検索可能な PDF ファイルを作成する場合は、以下の手順で設定を変更します。

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2.「ファイル形式」タブの「ファイル形式の選択」で「PDF（*.pdf）」を選択します。

ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「画質の選択」の設定は、「ファイン」または「スーパーファイン」を推奨します。

3.「検索可能な PDF にします」チェックボックスにチェックを付けます。

⇒ 以下のメッセージが表示されます。

⇒［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。

- 対象言語
  対象言語を選択してください。選択できる言語は、日本語 / 英語 / フランス語 / ドイツ語 / イタリア語 / スペイン語 / 中国語（簡体字）/ 中国語（繁体字）/ 韓国語 / ロシア語 / ポルトガル語です。
- 対象ページ
  先頭ページだけをテキスト認識する場合は「先頭ページのみ」を、全ページをテキスト認識する場合は「全ページ」を選択してください。

4.［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

5. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

6. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ イメージデータがテキスト認識され、検索可能な PDF ファイルが作成されます。

- 手順 3. の設定を有効にすると、お使いのコンピュータ環境によっては、処理に時間がかかる場合があります。
- 以下のような原稿（文字）のイメージデータは、正しくテキスト認識されない場合があります。
  その場合は、読み取り条件の「カラーモードの選択」を変更したり、「画質の選択」を高い解像度に変更したりすると、正しくテキスト認識される場合があります。
  - 手書き文字の原稿
  - 低解像度で読み取った小さな文字
  - 傾いた原稿
  - 指定した言語以外で書かれた原稿
  - イタリック文字で書かれた原稿
  - 上下添え字、複雑な数式
  - 文字の背景が不均一色の原稿
    例：網掛けされている文字
  - 装飾文字が多い原稿
    例：影、白抜きなど装飾がされている文字
  - 文字の背景に模様がある原稿
    例：絵や図と重なっている文字
  - 下線や罫線に接触している文字が多い原稿
- 以下のような原稿は、テキスト認識するのに非常に時間がかかる場合があります。
  - 複雑なレイアウトの原稿
  - 文字以外の情報が多い原稿
    例：よごれ、文字背景の網掛け

■ PDF ファイルにキーワードを自動設定します

白黒原稿のタイトルなどの文字列を PDF ファイルのキーワードに設定して、PDF ファイルの検索に利用できます。
キーワードにしたい文字列を覆うように半透明の水性蛍光ペンで線を引き、その原稿を読み取ると、線を引いた文字列がテキスト認識されて、PDF ファイルのキーワードに設定されます。
以降、水性蛍光ペンで引いた線を「マーカー」、水性蛍光ペンを「マーカーペン」と表記します。

マーカーは、白黒原稿に以下のように引いてください。

- 半透明のマーカーペン（市販品で可）を使用してください。
  推奨するマーカーの色と濃さは、以下のとおりです。

ピンク	イエロー	ブルー	グリーン
ScanSnap	ScanSnap	ScanSnap	ScanSnap

- 1 つのマーカーは、1 行（横書き）または 1 列（縦書き）の文字列に、まっすぐに引いてください。
- サポート範囲のマーカーのサイズは、以下のとおりです。
  最小サイズ : 短辺 3mm × 長辺 10mm
  最大サイズ : 短辺 20mm × 長辺 150mm
- 1 ページに使用するマーカーの色は、1 色にしてください。

- キーワードにする文字列の上下左右が、完全に覆われるようにマーカーを引いてください。
  なお、マーカー全体の色が均一になるように引いてください。

良い例	悪い例 1 （塗り残しがある）	悪い例 2 （色が不均一）
ScanSnap	ScanSnap	ScanSnap

- マーカーの数は、1 ページにつき 10 か所以下にしてください。

- 以下の原稿に対しては、マーカー部分の文字列をキーワードとして設定できません。
  - カタログ、パンフレットなどのカラー原稿
  - 2 色以上のマーカーペンが使用されている原稿
  - マーカー以外の色が付いている原稿（マーカーペン以外のペンが使われている場合や、原稿がよごれている場合）
  - 1 ページに多数のマーカーが存在する原稿
- 以下に該当するマーカー部分の文字列は、キーワードとして設定できません。
  - マーカーのサイズがサポート範囲外の場合
  - 特殊なマーカーの引き方をした場合（斜めに引くなど）
  - 複数のマーカーが密集している場合
  - マーカーペンの色が薄い、または色がかすれている場合

    ScanSnap
- 複数の文字列にマーカーを引く場合は、マーカー同士の間隔を 5mm 以上空けてください。マーカー同士の間隔が狭すぎると、複数のマーカーがつながって、1 つのマーカーとして検出される場合があります。
- 以下の場合、マーカー周辺の文字列がキーワードとして設定される場合があります。
  - マーカーが上下（横書きの場合）または左右（縦書きの場合）の行に重なっている場合
- 以下の場合、マーカーが引かれていない文字列が、キーワードとして設定される場合があります。
  - カタログ、パンフレットなどのカラー原稿
  - 文字 / 図 / 絵 / 表 / 線などに色が付いている原稿
  - マーカーで囲まれた部分が存在する原稿
  - よごれている原稿

- 正しくキーワードを設定できないときは、解像度を上げて読み取ると、キーワードを設定できる場合があります。
- PDF ファイルに設定したキーワードは、ScanSnap Organizer のメイン画面（サムネイル表示）や Adobe Acrobat および Adobe Reader の文書のプロパティなどで確認できます。

PDF ファイルにキーワードを自動設定する場合は、以下の手順で設定を変更します。

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2.「ファイル形式」タブの「ファイル形式の選択」で「PDF（*.pdf)」を選択します。

ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「画質の選択」の設定は、「ファイン」または「スーパーファイン」を推奨します。

3.「マーカー部分の文字列を PDF のキーワードにします」チェックボックスにチェックを付けます。

- 対象マーカー
  先頭マーカー部分の文字列だけをテキスト認識して PDF のキーワードにする場合は「先頭マーカーのみ」を、すべてのマーカー部分の文字列をテキスト認識して PDF のキーワードにする場合は「全マーカー」を選択してください。

縦書き原稿の場合は、「先頭マーカーのみ」を選択しないでください。

「先頭マーカーのみ」の使い方は、以下のとおりです。

- 横書き原稿の表題などを PDF のキーワードにしたい場合に使用してください。
  例：文書の表題だけにマーカーを引くと、マーカーを引いた文字列が PDF のキーワードに設定され、表題の文字列で PDF ファイルを検索できるようになります。

（電子協標準パターンＪ４／ｖｅｒ．１）

プリンタの新製品動向

出荷動向の分析

昭和６１年度から平成元年度までのプリンタ装置別金額推移をグラフに示す。

１．インパクトシリアルプリンタ
平成元年度の出荷実績は、台数５，１９８千台（対前年度比２４％減）、金額３．４９６億円（対前年度比１８％減）と台数、金額共に大幅に減少した。その要因は、ノンインパクトプリンタへの移行や生産

- 複数のマーカーが並んでいる場合、原稿の最上部にあるマーカー部分の文字列がキーワードとして設定されます。
  例：以下の場合、マーカー A より上部にあるマーカー B の文字列がキーワードに設定されます。

- 対象言語
  対象言語を選択してください。選択できる言語は、日本語 / 英語 / フランス語 / ドイツ語 / イタリア語 / スペイン語 / 中国語（簡体字）/ 中国語（繁体字）/ 韓国語 / ロシア語 / ポルトガル語です。
- 対象ページ
  先頭ページのマーカー部分だけをテキスト認識して PDF のキーワードにする場合は「先頭ページのみ」を、すべてのページのマーカー部分をテキスト認識して PDF のキーワードにする場合は「全ページ」を選択してください。

4. ［OK］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

5. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

6. **ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。**

⇒ イメージデータのマーカー部分の文字列がテキスト認識され、キーワードが追加された PDF ファイルが作成されます。

- 手順 3. の設定を有効にすると、お使いのコンピュータ環境によっては、処理に時間がかかる場合があります。
- 以下のような原稿（文字）のイメージデータは、正しくテキスト認識されない場合があります。
  その場合は、読み取り条件の「画質の選択」を高い解像度に変更すると、正しくテキスト認識される場合があります。
  - 手書き文字の原稿
  - 低解像度で読み取った小さな文字
  - 傾いた原稿
  - 指定した言語以外で書かれた原稿
  - イタリック文字で書かれた原稿
  - 上下添え字、複雑な数式
  - 文字の背景が不均一色の原稿
    例：網掛けされている文字
  - 装飾文字が多い原稿
    例：影、白抜きなど装飾がされている文字
  - 文字の背景に模様がある原稿
    例：絵や図と重なっている文字
  - 下線や罫線に接触している文字が多い原稿
- 以下のような原稿は、テキスト認識するのに非常に時間がかかる場合があります。
  - 複雑なレイアウトの原稿
  - 文字以外の情報が多い原稿
    例：よごれ、文字背景の網掛け
- 原稿内の複数箇所で、同じ文字列にマーカーが引かれている場合は、PDF ファイルに同じキーワードが複数追加されます。
- キーワードとして追加する文字数の上限は、複数のキーワード間の区切り文字を含め、255 文字です。
- Adobe Acrobat および Adobe Reader でキーワードを確認すると、追加されたキーワードの先頭と末尾に「"」が表示される場合があります。

■ PDF ファイルに文書を開くパスワードを設定します

イメージデータを PDF ファイルとして保存するときに、文書を開くためのパスワードを設定できます。
PDF ファイルにパスワードを設定すると、パスワードを知る人以外は PDF ファイルの内容を見られません。他人に知られたくない文書や、関係者外秘の重要書類などを読み取る場合、パスワードを設定して保存することで、大切な情報の漏洩を防止します。
PDF ファイルにパスワードを設定する場合は、以下の手順で設定を変更します。

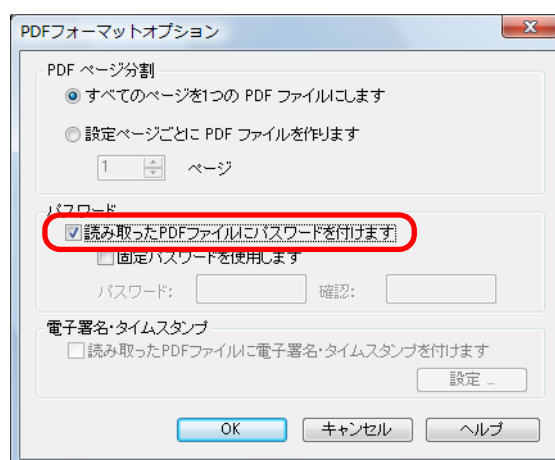
クイックメニューを使用して読み取る場合は、パスワードを設定できません。

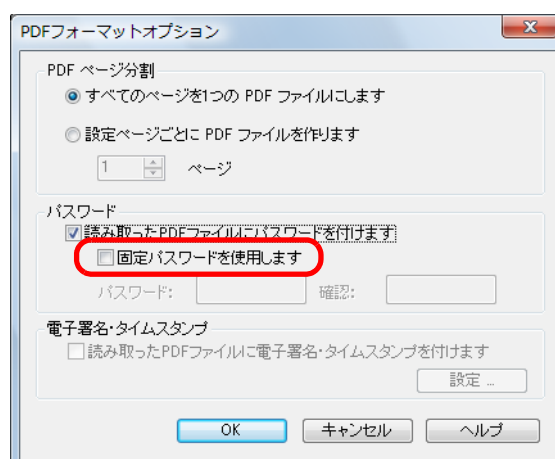
1. **右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。**

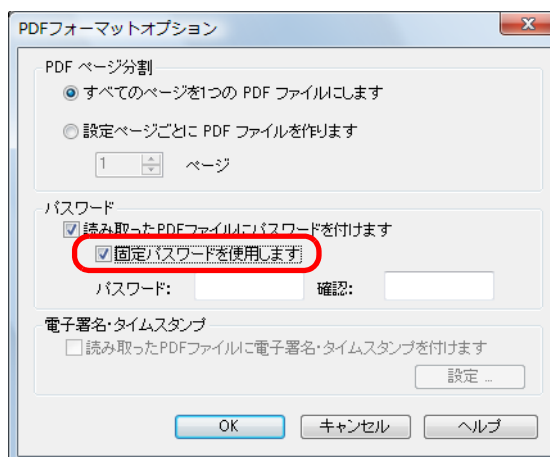
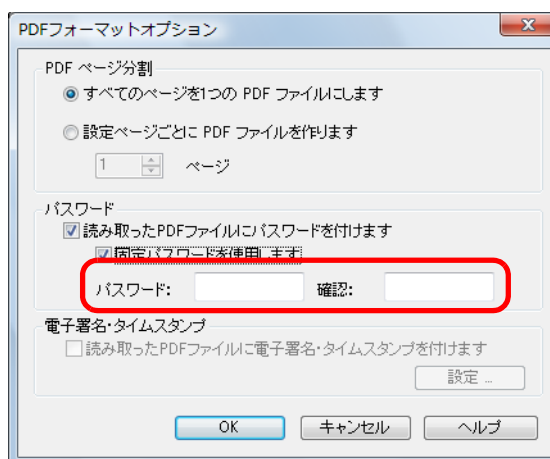
右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. **「ファイル形式」タブの「ファイル形式の選択」で「PDF（.*pdf）」を選択してから、［オプション］ボタンをクリックします。**

⇒「PDF フォーマットオプション」画面が表示されます。

3. 「読み取った PDF ファイルにパスワードを付けます」チェックボックスにチェックを付けます。

● **読み取りごとにパスワードを入力する場合**

「固定パスワードを使用します」チェックボックスのチェックを外します。
読み取りごとに、異なるパスワードを設定できます。

●事前に設定した固定パスワードを使用する場合

1.「固定パスワードを使用します」チェックボックスにチェックを付けます。
すべての PDF ファイルに、同じパスワードが設定されます。読み取りごとに、パスワードを設定する必要はありません。

2.「パスワード」および「確認」の欄に、同じパスワードを入力します。

パスワードには、以下の半角文字および半角スペースを設定できます。

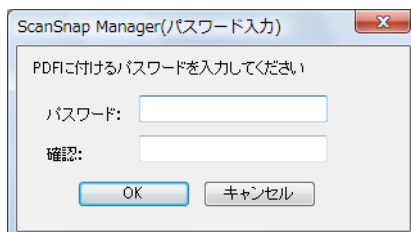
最大文字数	:	半角 16 文字
半角英数字	:	A ～ Z、a ～ z、0 ～ 9
半角記号	:	! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~

4. ［OK］ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

5. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

6. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 手順 3. で「固定パスワードを使用します」チェックボックスのチェックを外した場合は、原稿の読み取りが完了すると以下の画面が表示されます。

「パスワード」、「確認」の欄に、同じパスワードを入力して、［OK］ボタンをクリックしてください。

- パスワードには、以下の半角文字および半角スペースを設定できます。
  最大文字数　:　半角 16 文字
  半角英数字　:　A ～ Z、a ～ z、0 ～ 9
  半角記号　:　! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~
- ［キャンセル］ボタンをクリックすると、パスワードのない通常の PDF ファイルとして保存されます。

⇒ イメージデータが、パスワード付きの PDF ファイルとして保存されます。

パスワードを忘れると、PDF ファイルを開けなくなりますので注意してください。

ScanSnap の使用方法＜ Mac OS 編＞

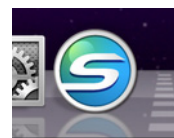
ここでは、原稿の読み取り方法、読み取り条件の設定方法、読み取り設定の追加 / 変更 / 削除方法、各種機能、およびいろいろな使い方について説明します。

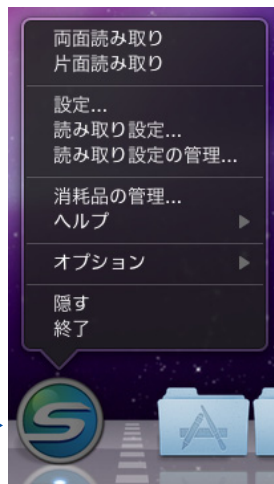
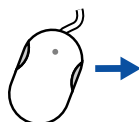
ScanSnap Manager のアイコンと操作

ScanSnap の動作は、すべて ScanSnap Manager で管理されています。
ScanSnap Manager が起動している場合は、Dock に ScanSnap Manager のアイコンが表示されます。ScanSnap Manager のアイコンは、Mac OS が起動すると自動的に Dock に表示されます。
ScanSnap Manager のアイコンは、ScanSnap Manager と ScanSnap の通信が正常に行われているかどうかも示しています。通信状態によって表示される ScanSnap Manager のアイコンは、以下のとおりです。

通信状態	ScanSnap Manager のアイコン
通信が行われている	
通信が行われていない	

キーボードの「control」キーを押しながら、ScanSnap Manager のアイコンをクリックするとメニューが表示されます。

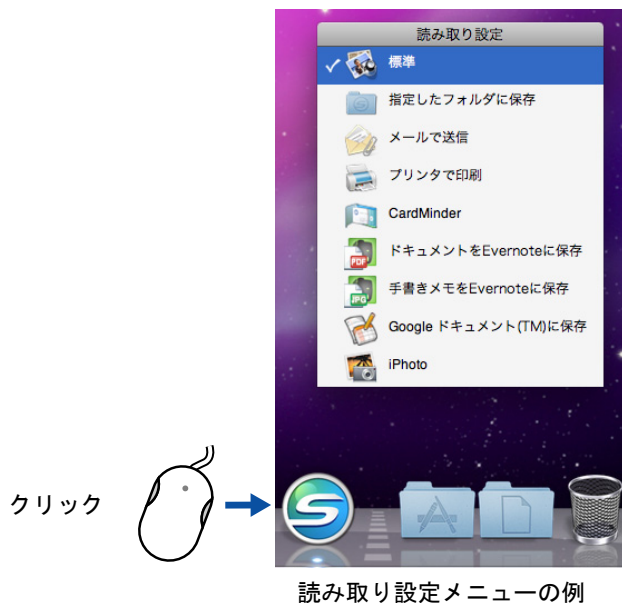
ScanSnap Manager のアイコンを Dock に追加した場合、常に、が表示されます。
ScanSnap Manager が起動している場合、アイコンの下に青いスポットライトが表示されます。

■ ScanSnap Manager のメニュー

キーボードの「control」キーを押しながら、ScanSnap Manager のアイコン をクリックすると表示されるメニューです。

項　目　名	機　　能
両面読み取り	ScanSnap にセットした原稿の両面が読み取られます。読み取り条件は、「設定」に従います。
片面読み取り	ScanSnap にセットした原稿の片面が読み取られます。読み取り条件は、「設定」に従います。
設定	ScanSnap 設定画面が表示されます。 原稿を読み取るときの、読み取り条件を設定できます。 ⇒「読み取り条件の設定方法」(307 ページ)
読み取り設定	読み取り設定メニューが表示されます。 ScanSnap 設定画面の「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている場合は、選択できません。 ⇒「読み取り設定メニュー」(292 ページ)
読み取り設定の管理	「ScanSnap Manager - 読み取り設定の管理」画面が表示されます。 ScanSnap 設定画面の「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている場合は、選択できません。 ⇒「読み取り設定の管理」(310 ページ)
消耗品の管理	「ScanSnap Manager - 消耗品の管理」画面が表示されます。 消耗品を交換した際に、消耗品のカウンターをリセットできます。 ⇒「消耗品」(458 ページ)

項　目　名	機　　能
ヘルプ	以下のメニューが表示されます。 ● ヘルプ ScanSnap Manager のヘルプが表示されます。 ● 困ったときには ScanSnap Manager のヘルプの「困ったときには」が表示されます。 ● ScanSnap サポートホームページ ScanSnap の「よくあるご質問」のホームページ （http://scansnap.fujitsu.com/jp/faq/）が表示されます。 ● ScanSnap Manager について 「ScanSnap Manager - バージョン情報」画面が表示されます。 ● 環境設定 「ScanSnap Manager - 環境設定」画面が表示されます。 ● オンラインアップデート 「ScanSnap Manager - オンラインアップデート」画面が表示されます（477 ページ）。
Dock に追加（*）	ScanSnap Manager のアイコンが Dock に追加されます。
ログイン時に開く（*）	Mac OS の起動時に、ScanSnap Manager が自動的に起動されます。
Finder に表示（*）	Finder の「ScanSnap」フォルダー内が表示されます。
隠す / 表示	表示している ScanSnap Manager のすべての画面が隠されたり、再度表示されたりします。
終了	ScanSnap Manager が終了されます。 ⇒「終了します」（303 ページ）

＊　:「オプション」を選択すると表示されます。

■ 読み取り設定メニュー

ScanSnap Manager のアイコン をクリックすると表示されるメニューです。
管理されている読み取り設定の一覧が表示されます。

読み取り設定メニューの例

原稿を読み取る前に、読み取り設定メニューで読み取り設定を選択します。選択した読み取り設定の読み取り条件に従って原稿が読み取られます。
読み取り設定の追加 / 変更 / 削除方法については、「読み取り設定の管理」（310 ページ）を参照してください。

- 読み取り設定メニューを表示する場合は、ScanSnap 設定画面で「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックを外してください。チェックが付いていると読み取り設定メニューは表示されません。
- 読み取り設定メニューは、ScanSnap Manager のメニューの「読み取り設定」を選択しても表示できます。
- 以下の ScanSnap を使用していたコンピュータで ScanSnap S1500、S1500M を使用する場合は、既存の読み取り設定が引き継がれます。
  - ScanSnap S1300
  - ScanSnap S1100
  - ScanSnap S510M
  - ScanSnap S300M

原稿の読み取り方法

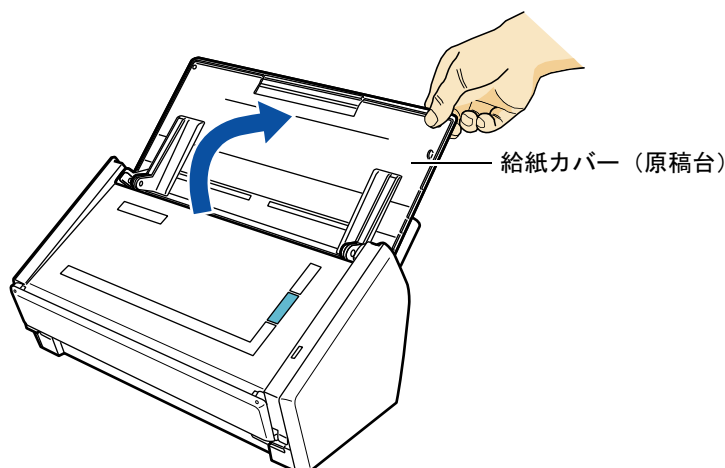
ScanSnap の読み取り方法について説明します。

■ 準備します

1. コンピュータの電源を ON にします。

⇒ Mac OS が起動され、Dock に ScanSnap Manager のアイコンが表示されます。

- ScanSnap Manager のアイコンが表示されない場合は、Finder から、「アプリケーション」→「ScanSnap」→「ScanSnap Manager」をダブルクリックして、「ScanSnap Manager」を起動してください。
- Mac OS が起動されたときに、自動で ScanSnap Manager が起動されない場合は、「システム環境設定」画面から「アカウント」→「マイアカウント」→「ログイン項目」→「＋」→「ScanSnap」→「ScanSnap Manager」を選択します。

2. ScanSnap の給紙カバー（原稿台）を開けて、電源を ON にします。

⇒ ScanSnap Manager のアイコンがからに切り替わります。

コンピュータ上で多数のソフトウェアが動作しているときなど、コンピュータの負荷、性能、環境によって、ScanSnap Manager のアイコンが に切り替わるまでに時間がかかる場合があります。

原稿の読み取り方法は、クイックメニューを使用する場合およびクイックメニューを使用しない場合の 2 種類です。それぞれ以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 294 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 299 ページ）

■ クイックメニューを使用する場合

クイックメニューを使用する場合の読み取り手順は、以下のとおりです。

1. ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2.「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックを付けます。

3. 読み取り設定ボタンをクリックします。

読み取り設定ボタン

読み取り設定ボタン	説明
［おすすめ］ボタン	読み取り条件は、ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブの「画質の選択」が「自動解像度」、それ以外の設定はデフォルトです。 原稿サイズに合わせて、最適な画質で読み取りたいときに選択することを推奨します。

読み取り設定ボタン	説明
［コンパクト］ボタン	読み取り条件は、ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブの「画質の選択」が「ノーマル」（カラー / グレー：150dpi、白黒：300dpi 相当）、それ以外の設定はデフォルトです。 ファイルサイズを小さくしたいときに選択することを推奨します。
［きれい］ボタン	読み取り条件は、ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブの「画質の選択」が「スーパーファイン」（カラー / グレー：300dpi、白黒：600dpi 相当）、それ以外の設定はデフォルトです。 原稿をきれいな画質で読み取りたいときに選択することを推奨します。
［カスタマイズ］ボタン	デフォルトの読み取り条件は、［おすすめ］の設定と同じです。 目的に応じた読み取り条件に変更できます。

- デフォルトでは、［おすすめ］ボタンが選択されています。
- クイックメニュー使用時の読み取り条件のデフォルトについては、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。
- ［おすすめ］ボタン、［コンパクト］ボタン、および［きれい］ボタンの読み取り条件は変更できません。読み取り条件を変更した場合は、［カスタマイズ］ボタンに自動的に切り替わります。
  読み取り条件の変更方法については、「読み取り条件の設定方法」（307 ページ）を参照してください。

4. **［適用］ボタンをクリックします。**

5. **画面左上の［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。**

6. **ScanSnap に原稿をセットします。**

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

7. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

- デフォルトでは、［Scan］ボタンの設定は「両面読み取り」に設定されています。ScanSnap Manager を使って、［Scan］ボタンの設定を片面読み取りに切り替えられます。詳細は、「片面だけを読み取ります」（413 ページ）を参照してください。
- ScanSnap Manager のメニューでも、原稿の読み取りを開始できます。詳細については、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

- 読み取り中は、ScanSnap およびほかの USB 機器を抜き差ししないでください。
- 読み取り中は、ScanSnap の給紙カバー（原稿台）を閉じないでください。
- 読み取り中は、ユーザーを切り替えないでください。

⇒ 原稿の読み取り中は、ScanSnap の［Scan］ボタンが青色に点滅します。
コンピュータには、「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面が表示されます。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

8. クイックメニューから、連携したいアプリケーションのアイコンをクリックします。

⇒ 選択したアプリケーションに連携されます。

- アプリケーションのアイコンの表示 / 非表示および表示順を変更する場合は、「クイックメニューの設定方法」（304 ページ）を参照してください。
- 原稿を読み取る前に、連携するアプリケーションを選択する場合は、「クイックメニューを使用しない場合」（299 ページ）を参照してください。

アプリケーション名	説明
指定したフォルダに保存	「指定したフォルダに保存」画面が表示されます。 イメージデータの保存先を指定できます。 選択後の操作方法については、「指定したフォルダーに保存します」（325 ページ）を参照してください。
メールで送信	「メールで送信」画面が表示されます。 イメージデータをメールに添付できます。 選択後の操作方法については、「メールに添付します」（332 ページ）を参照してください。
プリンタで印刷	「プリント」画面が表示されます。 イメージデータをプリンターで印刷できます。 選択後の操作方法については、「ScanSnap をコピー機代わりに利用します」（341 ページ）を参照してください。
CardMinder（*1）	「CardMinder」画面が表示されます。 イメージデータを CardMinder に登録できます。 選択後の操作方法については、「名刺の情報を CardMinder に登録します」（348 ページ）を参照してください。
モバイルに保存	「モバイルに保存」画面が表示されます。 イメージデータを、接続しているモバイル機器に保存できます。 選択後の操作方法については、「モバイル機器に保存します」（398 ページ）を参照してください。
ドキュメントを Evernote に保存（*2）（*3）	イメージデータを PDF ファイルとして、Evernote に保存できます。 選択後の操作方法については、「活字原稿を Evernote に保存します」（359 ページ）を参照してください。
手書きメモを Evernote に保存（*2）（*3）	イメージデータを JPEG ファイルとして、Evernote に保存できます。 選択後の操作方法については、「手書き文字を含む原稿を Evernote に保存します」（366 ページ）を参照してください。

アプリケーション名	説明
Google ドキュメント (TM) に保存（*2）	イメージデータを PDF ファイルとして、Google ドキュメントに保存できます。 選択後の操作方法については、「Google ドキュメントに保存します」（371 ページ）を参照してください。
Salesforce Chatter に投稿	イメージデータを Salesforce Chatter に投稿できます。 選択後の操作方法については、「Salesforce Chatter に投稿します」（380 ページ）を参照してください。
SugarSync に保存（*2）（*4）	イメージデータを SugarSync の同期フォルダーに保存できます。 選択後の操作方法については、「SugarSync の同期フォルダーに保存します」（391 ページ）を参照してください。
iPhoto（*5）	「iPhoto」画面が表示されます。 イメージデータを iPhoto に登録できます。 選択後の操作方法については、「iPhoto に登録します」（354 ページ）を参照してください。

*1 ：CardMinder がインストールされている場合に表示されます。
*2 ：Mac OS X v10.5.8 以降の場合に表示されます。
*3 ：Evernote for Mac 1.10 以降がインストールされている場合に表示されます。
*4 ：SugarSync Manager for Mac 1.9.29 以降がインストールされている場合に表示されます。
*5 ：iPhoto5 以降がインストールされている場合に表示されます。

- イメージデータの倍率は、原稿サイズに対して若干変わることがあります。
- 以下のアプリケーションがアクティブ状態（メニューバーに該当アプリケーションのメニューが表示されている状態）のときに、ScanSnap の［Scan］ボタンを押して原稿を読み取ると、該当アプリケーションに自動的に連携します。
  - CardMinder（原稿が名刺サイズのときだけ連携します）
  - モバイルに保存

  自動連携については、「アプリケーションの自動連携」（320 ページ）を参照してください。

- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。クイックメニューのアイコンを選択して処理を完了するか、クイックメニューを閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータから作成したファイルの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

■ クイックメニューを使用しない場合

クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順は、以下のとおりです。

1. ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2.「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックを外します。

3. 読み取り設定を選択します。

以下のどちらかの方法で、読み取り設定を選択します。

- 「読み取り設定」ポップアップメニューから読み取り設定を選択する

- 読み取り設定メニューから読み取り設定を選択する

4. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

5. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

- デフォルトでは、［Scan］ボタンの設定は「両面読み取り」に設定されています。
  ScanSnap Manager を使って、［Scan］ボタンの設定を片面読み取りに切り替えられます。詳細は、「片面だけを読み取ります」（413 ページ）を参照してください。
- ScanSnap Manager のメニューでも、原稿の読み取りを開始できます。
  詳細については、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

- 読み取り中は、ScanSnap およびほかの USB 機器を抜き差ししないでください。
- 読み取り中は、ScanSnap の給紙カバー（原稿台）を閉じないでください。
- 読み取り中は、ユーザーを切り替えないでください。

⇒ 原稿の読み取り中は、ScanSnap の［Scan］ボタンが青色に点滅します。
コンピュータには、「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面が表示されます。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、選択した読み取り設定の読み取り条件に設定されているアプリケーションに連携されます。

- 原稿を読み取ったあとに、クイックメニューから連携するアプリケーションを選択する場合は、「クイックメニューを使用する場合」（294 ページ）を参照してください。
- ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「マーカー部分の文字列を PDF のキーワードにします」チェックボックスまたは「検索可能な PDF にします」チェックボックスにチェックが付いている場合は、イメージデータのテキスト認識が行われてから、アプリケーションに連携されます。
  テキスト認識中は、処理状況を示す画面が表示されます。
- デフォルトの読み取り条件では、「画質の選択 : 自動解像度」、「カラーモードの選択 : カラー自動判別」で読み取られます。
  読み取り条件の変更方法については、「読み取り条件の設定方法」（307 ページ）を参照してください。
- 読み取ったあとに起動されるアプリケーションは、ScanSnap 設定画面の「アプリ選択」タブの設定によって異なります。詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。
- イメージデータの倍率は、原稿サイズに対して若干変わることがあります。
- 以下のアプリケーションがアクティブ状態（メニューバーに該当アプリケーションのメニューが表示されている状態）のときに、ScanSnap の［Scan］ボタンを押して原稿を読み取ると、該当アプリケーションに自動的に連携します。
  - CardMinder（原稿が名刺サイズのときだけ連携します）
  - モバイルに保存

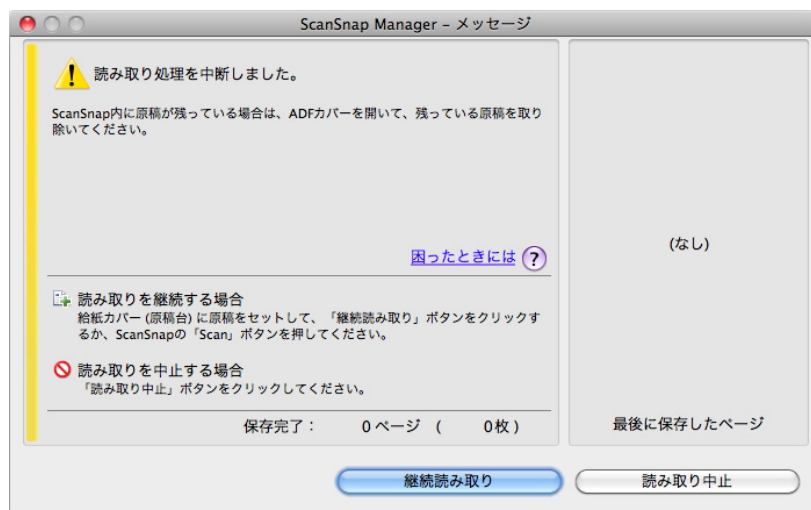
  自動連携については、「アプリケーションの自動連携」（320 ページ）を参照してください。

■ 原稿の読み取りを中止する場合

読み取る原稿や原稿の読み取り面などを間違えた場合に、原稿の読み取り動作中に読み取りを中止できます。
中止方法は、以下のとおりです。

1. **原稿の読み取り中に表示される「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面の［中止］ボタンをクリックします。**

読み取り動作が停止したら、ScanSnap 内に残っている原稿を取り除いてください。原稿を取り除く方法については、ScanSnap Manager のヘルプの「困ったときには」を参照してください。

⇒ 原稿の読み取りが停止すると、以下のエラーメッセージが表示されます。

2. **［読み取り中止］ボタンをクリックします。**

続けて原稿を読み取る場合は、原稿を ScanSnap にセットしてから［継続読み取り］ボタンをクリックするか、ScanSnap の［Scan］ボタンを押してください。

■ 終了します

＜ ScanSnap Manager を終了するには＞

ScanSnap Manager のメニューから、「終了」を選択します。

通常は、終了する必要はありません。

「ScanSnap Manager」を終了すると、ScanSnap は使用できなくなります。
ScanSnap を使用する場合は、Finder から「アプリケーション」→「ScanSnap」→「ScanSnap Manager」をダブルクリックして、ScanSnap Manager を起動してください。

＜ ScanSnap を取り外すには＞

1. ScanSnap の給紙カバー（原稿台）を閉じて、電源を OFF にします。

⇒ Dock にある ScanSnap Manager のアイコンが、から に切り替わります。

2. USB ケーブルをコンピュータから取り外します。

3. ScanSnap の電源ケーブルを、コンセントから取り外します。

ScanSnap には、電源スイッチがありません。電源は、コンピュータの ON/OFF に連動します。また、給紙カバー（原稿台）の開閉に応じて、自動的に ON/OFF します。

ScanSnap Manager の設定

クイックメニューの設定方法、読み取り条件の設定方法、読み取り設定の追加 / 変更 / 削除方法、アプリケーションの自動連携、および原稿読み取り中の画面表示について説明します。

■ クイックメニューの設定方法

クイックメニューに表示される、アプリケーションのアイコンの表示や非表示を設定したり、表示順を変更したりできます。
変更方法は、以下のとおりです。

1. クイックメニューから、「 」をクリックします。

クイックメニューの表示方法については、「クイックメニューを使用する場合」（294 ページ）を参照してください。

⇒「表示アプリケーションの変更」画面が表示されます。

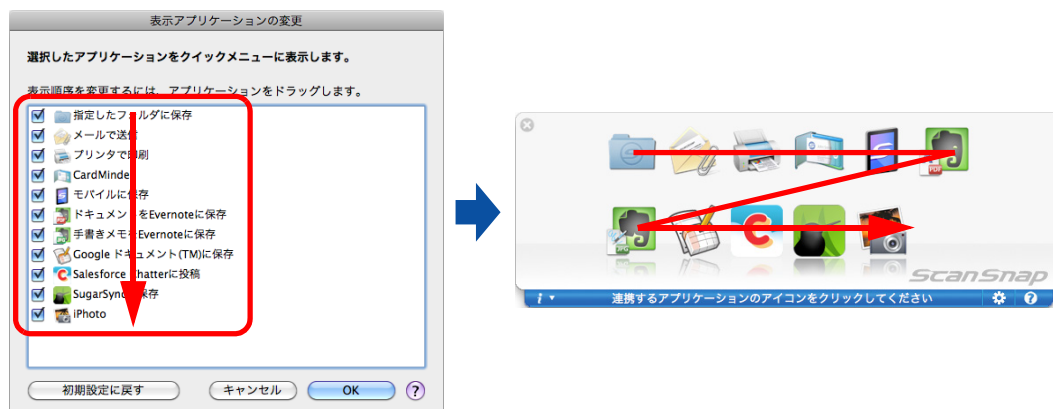
2. クイックメニューに表示されるアプリケーションのアイコンを設定します。

●アプリケーションのアイコンの表示と非表示

アプリケーション名のチェックボックスにチェックを付けると、クイックメニューにアプリケーションのアイコンが表示されます。
すべてのアプリケーションのアイコンをクイックメニューに表示する場合は、［初期設定に戻す］ボタンをクリックします。

●アプリケーションのアイコンの表示順

「表示アプリケーションの変更」画面に表示されているアプリケーションの表示順で、クイックメニューにアイコンが表示されます。
表示順を変更したいアプリケーションをドラッグして、表示位置を変更します。
クイックメニューに表示される、アプリケーションのアイコンの表示順をデフォルトに戻す場合は、［初期設定に戻す］ボタンをクリックします。

クイックメニューおよび「表示アプリケーションの変更」画面の一覧に表示されるアプリケーションの表示順は、以下のように対応します。

3. **［OK］ボタンをクリックして、「表示アプリケーションの変更」画面を閉じます。**

⇒ クイックメニューに表示されるアプリケーションのアイコンおよび表示順が変更されます。

■ 読み取り条件の設定方法

ScanSnap は、使用目的に合わせて読み取り条件を設定できます。読み取り条件の設定は、ScanSnap 設定画面で行います。
読み取り条件を設定する方法は、以下のとおりです。

1. ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

ScanSnap 設定画面は、キーボードの「command（⌘）」キー＋「S」キーを同時に押しても表示できます。この操作は、ScanSnap Manager がアクティブ状態（メニューバーに ScanSnap Manager のメニューが表示されている状態）のときに有効です。

2. ［詳細］ボタンをクリックして、詳細表示に切り替えます。

● クイックメニューを使用する場合

概要表示

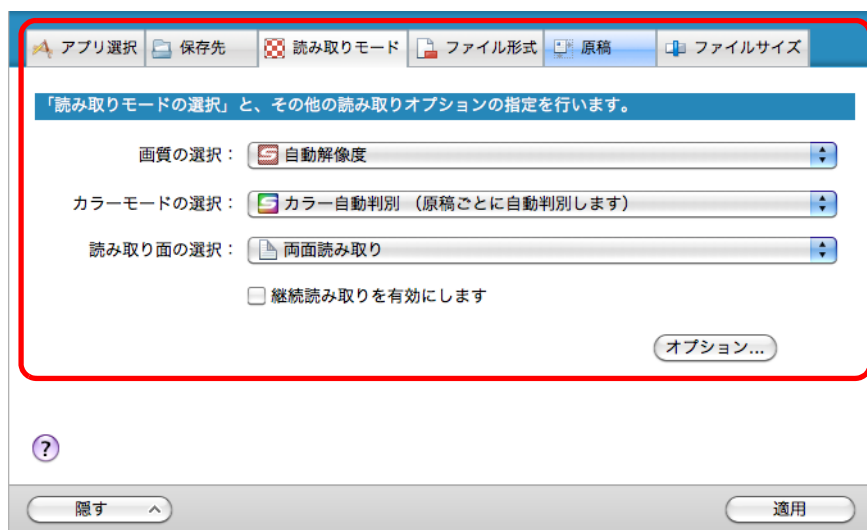
詳細表示

● クイックメニューを使用しない場合

概要表示

詳細表示

ScanSnap 設定画面は前回開いていたときの表示状態を保持しています。例えば、詳細表示のまま閉じると、次回は、詳細表示で開きます。

3. **各タブで読み取り条件を設定します。**

各タブで以下の項目を変更できます。
詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

- 「アプリ選択」タブ
  - ScanSnap と連携するアプリケーション
- 「保存先」タブ
  - イメージデータを保存するフォルダー
  - イメージデータを保存するファイル名
- 「読み取りモード」タブ
  - 読み取りモード
    （どんな画質で読み取るか、カラーで読み取るか、グレーで読み取るか、白黒で読み取るか、片面で読み取るか、両面で読み取るか、文字をくっきり読み取るか、白紙ページを自動的に削除するか、文字列の傾き / 原稿の向きを補正するか、読み取りを継続するか）
- 「ファイル形式」タブ
  - イメージデータのファイル形式（*.pdf、*.jpg）
  - イメージデータのマーカー部分の文字列をテキスト認識して、PDF ファイルのキーワードに追加するか
    （先頭マーカー部分の文字列だけをキーワードにするか、すべてのマーカー部分の文字列をキーワードにするか、どの言語でテキスト認識するか）
  - イメージデータ上の文字列をテキスト認識して検索可能な PDF ファイルに変換するか
    （先頭ページだけを変換するか、すべてのページを変換するか、どの言語でテキスト認識するか）
  - PDF ファイルをページ分割するか
    （イメージデータを 1 つの PDF ファイルにするか、設定したページごとに分割して PDF ファイルを作成するか）

- 「原稿」タブ
  - 読み取る原稿のサイズ（原稿サイズの選択、A3 キャリアシートの設定）
  - マルチフィードを検出するか
- 「ファイルサイズ」タブ
  - イメージデータのファイルサイズ（圧縮率）

読み取り条件は、読み取り方法によって、設定できる項目が異なります。
設定できる項目の違いについては、「原稿の読み取り方法による設定項目の違い」（485 ページ）を参照してください。

4. **［適用］ボタンをクリックします。**

⇒ クイックメニューを使用する場合は、［カスタマイズ］ボタンの読み取り条件が変更されます。

⇒ クイックメニューを使用しない場合は、現在選択されている読み取り設定の読み取り条件が変更されます。

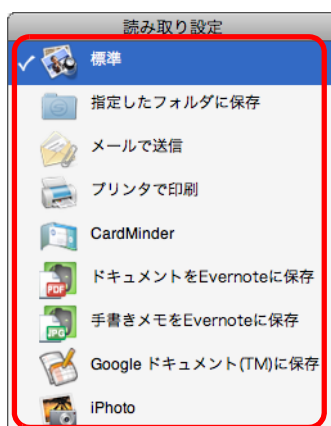
ScanSnap 設定画面の表示中に ScanSnap の［Scan］ボタンを押すと、ScanSnap 設定画面は閉じられ、原稿の読み取りが開始されます。このとき、設定中の読み取り条件は保存され、その読み取り条件で原稿が読み取られます。
ただし、ScanSnap 設定画面以外の画面が表示されている場合は、ScanSnap の［Scan］ボタンを押しても、画面は閉じられず、読み取りも開始されません。

■ 読み取り設定の管理

読み取り設定は、最大 20 個まで管理できます。
読み取り設定は、ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ポップアップメニューまたは読み取り設定メニューから選択できます。

読み取り設定を使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。

- 「読み取り設定」ポップアップメニュー

- 読み取り設定メニュー

よく使う読み取り条件を読み取り設定として設定しておくと、原稿を読み取るたびに、ScanSnap 設定画面で読み取り条件を設定する必要がなくなります。読み取り設定を選択するだけで、目的にあった読み取り条件に切り替えられます。
読み取り設定の追加 / 変更 / 削除方法については、以下を参照してください。

- 読み取り設定を新規に追加する場合（→ 311 ページ）
- 読み取り設定の読み取り条件を変更する場合（→ 314 ページ）
- 読み取り設定の名前を変更する場合（→ 316 ページ）
- 読み取り設定を削除する場合（→ 318 ページ）

＜読み取り設定を追加します＞

1. ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

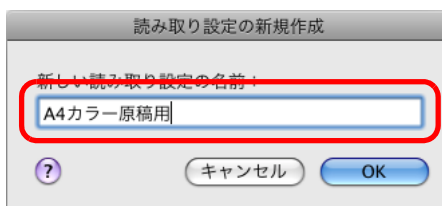
「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている場合は、チェックを外してください。

2. 各タブで読み取り条件を設定します。

各タブの詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

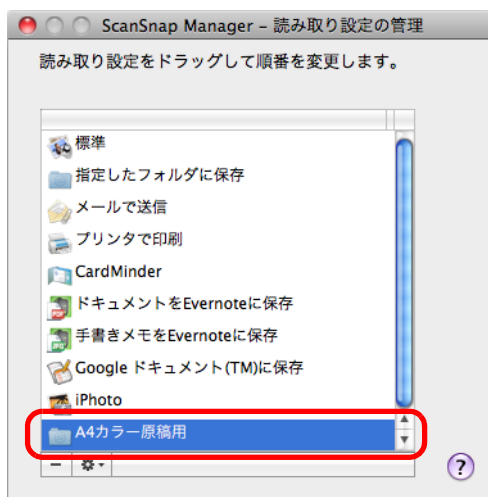
3.「読み取り設定」ポップアップメニューから、「新しい読み取り設定」を選択します。

⇒「読み取り設定の新規作成」画面が表示されます。

4. 読み取り設定の名前を入力して、［OK］ボタンをクリックします。

⇒ ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ポップアップメニューに、追加した読み取り設定の名前が表示されます。

5.［適用］ボタンをクリックします。

6. **画面左上の［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。**

- 読み取り設定は、「標準」を含めて最大 20 個まで管理できます。
- 読み取り設定の表示順を変更できます。
  ただし、「標準」の表示順は変更できません。
  1. ScanSnap Manager のメニューまたは ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ポップアップメニューから、「読み取り設定の管理」を選択します。
     ⇒「ScanSnap Manager - 読み取り設定の管理」画面が表示されます。
  2. 表示順を変更したい読み取り設定をドラッグして、表示したい順番の位置に移動します。

  3. 画面左上の［ ］ボタンをクリックして、「ScanSnap Manager - 読み取り設定の管理」画面を閉じます。

＜読み取り設定の読み取り条件を変更します＞

1. ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。

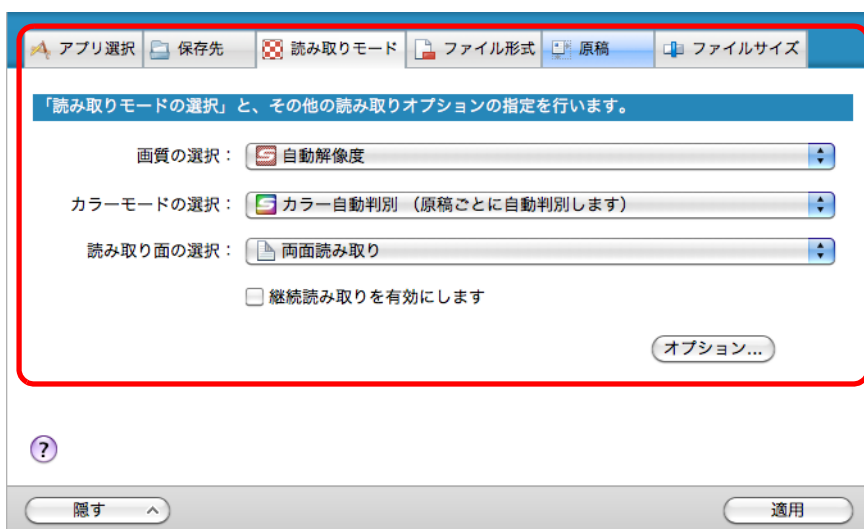
ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている場合は、チェックを外してください。

2. 「読み取り設定」ポップアップメニューで、変更する読み取り設定を選択します。

3. 各タブで読み取り条件を変更します。

各タブの詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

4. 設定が終わったら、［適用］ボタンをクリックします。

5. 画面左上の［　］ボタンをクリックして、**ScanSnap** 設定画面を閉じます。

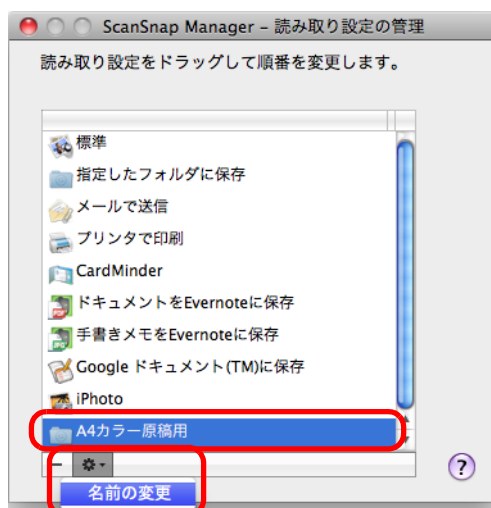
＜読み取り設定の名前を変更します＞

1. ScanSnap Manager のメニューから、「読み取り設定の管理」を選択します。

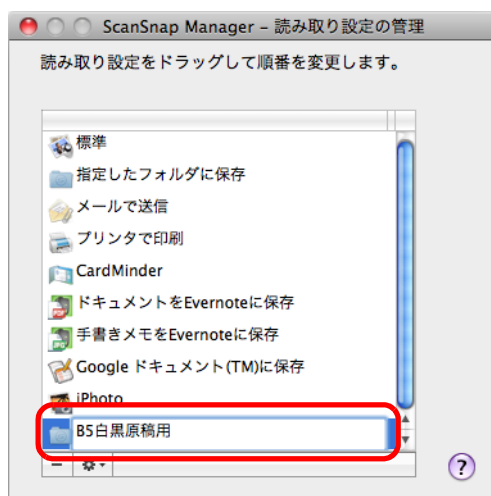
ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

⇒「読み取り設定の管理」画面が表示されます。

- ScanSnap Manager のメニューで「読み取り設定の管理」を選択できない場合は、ScanSnap 設定画面の「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックを外してください。
- 「読み取り設定の管理」画面は、ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ポップアップメニューから「読み取り設定の管理」を選択しても表示できます。

2. 名前を変更したい読み取り設定を選択し、画面左下の［ ］ボタンをクリックして「名前の変更」を選択します。

⇒ 読み取り設定の名前の部分が、入力できる状態になります。

読み取り設定の「標準」は、名前を変更できません。

3. 新しい名前を入力します。

⇒ 読み取り設定の名前が変更されます。

4. 画面左上の［●］ボタンをクリックして、「**ScanSnap Manager - 読み取り設定の管理**」画面を閉じます。

⇒ メッセージ画面が表示されます。

5. ［適用］ボタンをクリックします。

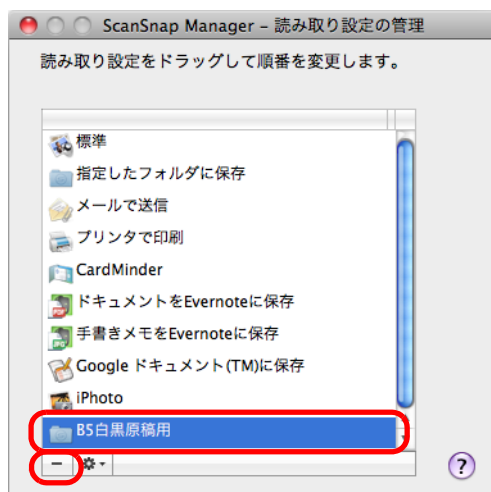
＜読み取り設定を削除します＞

1. ScanSnap Manager のメニューから、「読み取り設定の管理」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

⇒「読み取り設定の管理」画面が表示されます。

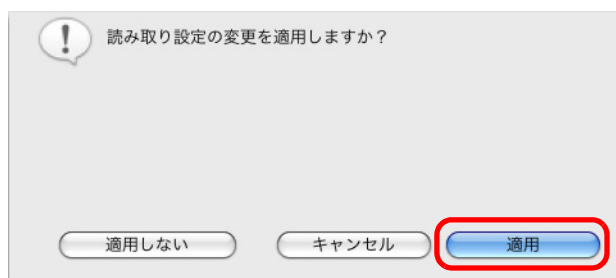
- ScanSnap Manager のメニューで「読み取り設定の管理」を選択できない場合は、ScanSnap 設定画面の「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックを外してください。
- 「読み取り設定の管理」画面は、ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ポップアップメニューから「読み取り設定の管理」を選択しても表示できます。

2. 削除したい読み取り設定を選択し、[−] ボタンをクリックします。

読み取り設定の「標準」は削除できません。

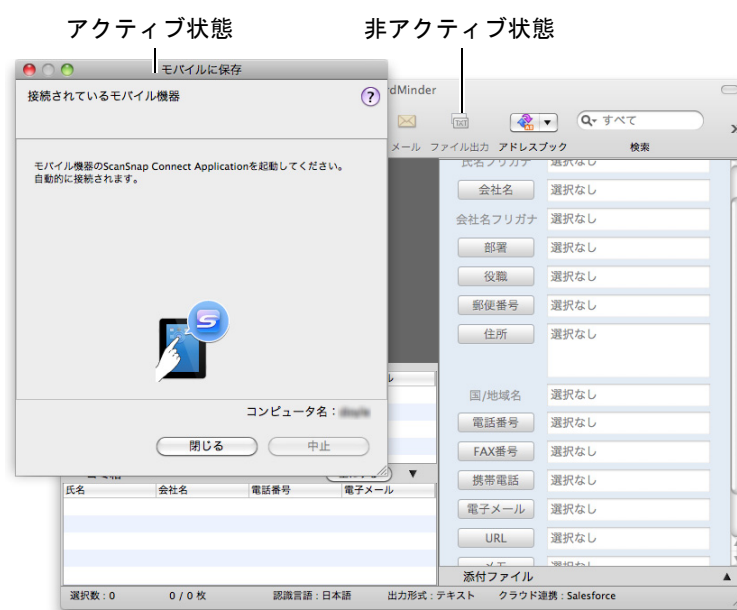
⇒ 選択した読み取り設定が削除されます。

3. 画面左上の [ ] ボタンをクリックして、「ScanSnap Manager - 読み取り設定の管理」画面を閉じます。

⇒ メッセージ画面が表示されます。

4.［適用］ボタンをクリックします。

■ アプリケーションの自動連携

該当アプリケーションのどれかがアクティブ状態（メニューバーに該当アプリケーションのメニューが表示されている状態）のときに、ScanSnap の［Scan］ボタンを押して原稿を読み取ると、クイックメニューを使用する / しないにかかわらず、該当アプリケーションに自動的に連携されます。
自動連携できるアプリケーションおよび原稿読み取り後の動作は、以下のとおりです。

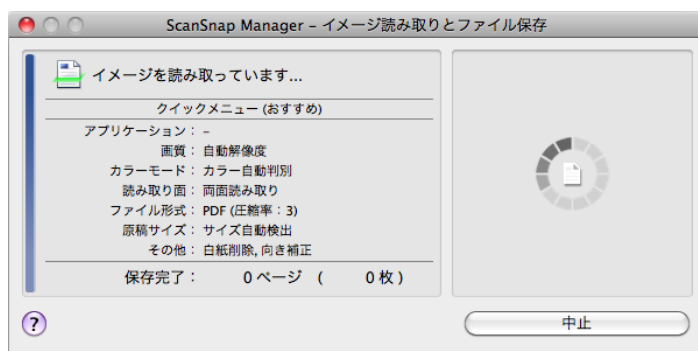
- CardMinder
  読み取った名刺のイメージデータが、CardMinder で表示されます。
- モバイルに保存
  読み取った原稿のイメージデータが、モバイル機器に送信されます。

上図の場合、モバイルに保存の画面がアクティブ状態であるため、モバイルに保存と自動連携されます。

- CardMinder がアクティブ状態の場合、名刺は、現在設定されている読み取り条件で読み取られます。CardMinder がサポートしていない読み取り条件については、CardMinder のデフォルトの値で読み取られます。
  CardMinder のデフォルトの値については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。
- CardMinder がアクティブ状態の場合、名刺サイズの原稿を読み取ったときにだけ、CardMinder に自動連携します。
  名刺サイズ以外の原稿を読み取ると、以下のエラーメッセージが表示されます。

■ 原稿読み取り中の画面表示

原稿の読み取りが始まると、コンピュータの画面には、「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面が表示されます。
「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面には以下の情報が表示されます。

- 原稿の読み取り状況
- 原稿の読み取り条件の概略
- 保存したイメージデータのページ数
- 保存したイメージデータのプレビュー

また、「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面の［中止］ボタンをクリックすると、原稿の読み取りを中止できます。
原稿の読み取りを中止する方法については、「原稿の読み取りを中止する場合」（302 ページ）を参照してください。

「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面は、最後に読み取った原稿のイメージデータを保存したあと、自動的に閉じられます。

＜原稿読み取り中の画面を非表示にする場合＞

「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面は、表示させないこともできます。
設定方法は、以下のとおりです。

1. ScanSnap Manager のメニューから、「ヘルプ」→「環境設定」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。
⇒「ScanSnap Manager - 環境設定」画面が表示されます。

2. **「読み取り中の画面を表示します（推奨）」チェックボックスのチェックを外します。**

3. **画面左上の［］ボタンをクリックして、「ScanSnap Manager - 環境設定」画面を閉じます。**

⇒ 次の原稿の読み取りから、「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面は表示されなくなります。

原稿読み取り中の画面が非表示の場合は、Dock の ScanSnap Manager のアイコン に、現在の保存ページ数が表示されます。

オフィス機能

ScanSnap では、日常のオフィス業務で役立つ機能を「オフィス機能」として準備しました。
オフィス機能は、[Scan] ボタンを押すだけで、以下のような要望を実現します。

- **読み取った資料をみんなで共有したい。**
  ネットワーク上の共有フォルダーにイメージデータのファイルを保存して、関係者でデータを共有したり、ファイルの保存先情報をメールに自動的に記載して、簡単に関係者にお知らせしたりできます。
- **もうすぐ打ち合わせがあるので、手元にある紙の資料をメールで関係者に送りたい。**
  イメージデータのファイルをメールに添付して、関係者に送信できます。
- **紙の資料をコピーしたいが、コピー機の所まで行くのが面倒だ。**
  イメージデータをプリンターで印刷できます。
- **大量の名刺を整理・整頓したい。**
  名刺のイメージデータが CardMinder に登録され、CardMinder で名刺の情報を管理できます。
- **カタログやパンフレットなどをデータ化して、手軽に管理・閲覧したい。**
  カタログやパンフレットなどのイメージデータが iPhoto に登録され、iPhoto でイメージデータを管理・閲覧できます。
- **Evernote に連携して資料（活字原稿）を活用したい。**
  Evernote に PDF ファイルを保存できます。保存された PDF ファイルは、いつでもどこでも簡単に参照できます。
- **Evernote に連携して資料（手書き文字を含む原稿）を活用したい。**
  Evernote に JPEG ファイルを保存できます。保存された JPEG ファイルは、いつでもどこでも簡単に参照できます。
- **Google ドキュメントに連携して資料を活用したい。**
  Google ドキュメントに PDF ファイルを保存できます。保存された PDF ファイルは、いつでもどこでも簡単に参照できます。
- **Salesforce Chatter に連携して資料を活用したい。**
  Salesforce Chatter にイメージデータのファイルを投稿できます。投稿したファイルは、Salesforce CRM で活用できます。

- **SugarSync に連携して資料を活用したい。**

  SugarSync の同期フォルダーにイメージデータのファイルを保存できます。保存されたファイルは、いつでもどこでも簡単に参照できます。

- **モバイル機器に資料を保存したい。**

  イメージデータのファイルを、モバイル機器に保存できます。保存されたファイルは、PDF ファイルおよび JPEG ファイルが閲覧可能なアプリケーションと連携すると、参照できます。

次に、具体的な使用方法について説明します。

■ 指定したフォルダーに保存します

指定したフォルダーに、イメージデータを保存する方法について説明します。
ネットワーク上の共有フォルダーに保存すると、関係者でデータを共有できます。また、ファイルの保存先情報をメール本文に自動的に記載できるので、簡単に関係者にお知らせできます。

Mail の「Mail」メニュー→「環境設定」→「一般」アイコン→「デフォルトメールソフト」に設定したメールソフトに連携されます。
サポートしているメールソフトは、以下のとおりです。

- Mail
- Outlook for Mac 2011
- Entourage 2004 for Mac
- Entourage 2008 for Mac

クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 326 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 329 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（294 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3.「指定したフォルダに保存」アイコンをクリックします。

⇒「指定したフォルダに保存」画面が表示されます。

4. プレビューで読み取り結果を確認します。

「指定したフォルダに保存」画面では、ファイル名や保存先フォルダーを変更したり、ファイルの保存先情報をメールに記載するかどうかを設定したりできます。
「指定したフォルダに保存」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

5. ［保存］ボタンをクリックします。

⇒ 指定したフォルダーにファイルが保存されます。

⇒「指定したフォルダに保存」画面で、「ファイルの保存先情報をメールに記載する」チェックボックスにチェックを付けた場合は、ファイルの保存先情報がメールの本文に記載された状態で、新規メッセージ画面が表示されます。

- クイックメニューを表示してから「指定したフォルダに保存」画面を閉じるまでの間は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「指定したフォルダに保存」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニューを表示してから「指定したフォルダに保存」画面を閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（299 ページ）を参照してください。

1. **ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。**

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. **「アプリ選択」タブ の「アプリケーションの選択」で、「指定したフォルダに保存」を選択します。**

以下の方法でも、連携するアプリケーションを設定できます。
- ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ポップアップメニューから「指定したフォルダに保存」を選択
- 読み取り設定メニューから「指定したフォルダに保存」を選択

3. **［適用］ボタンをクリックします。**

4. **画面左上の ［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。**

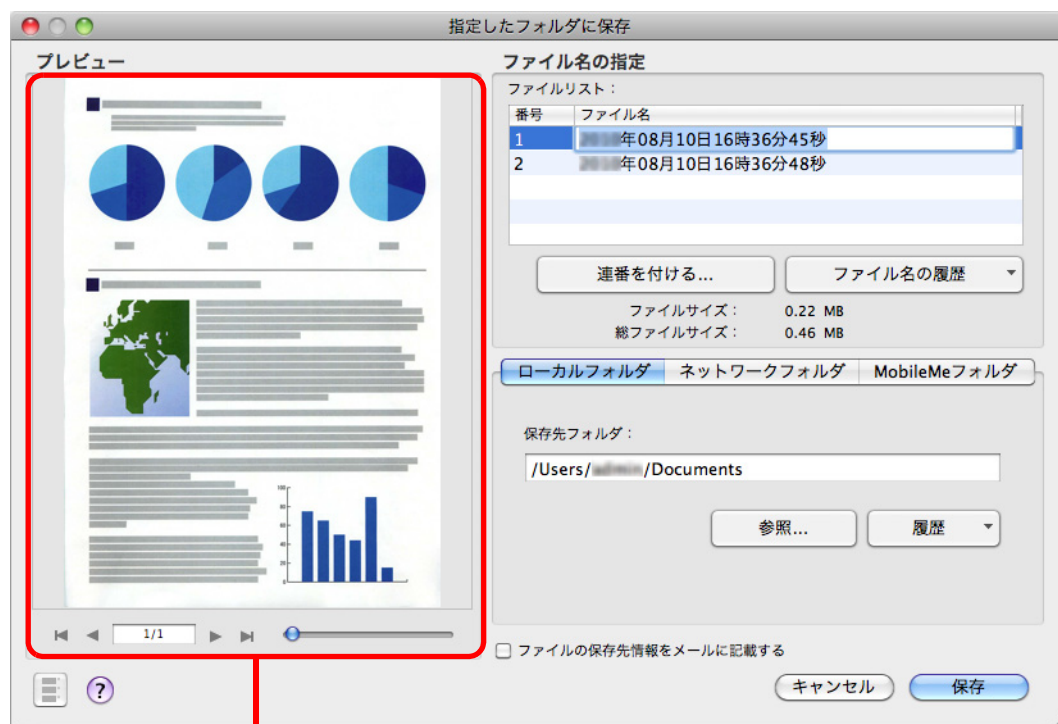
5. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

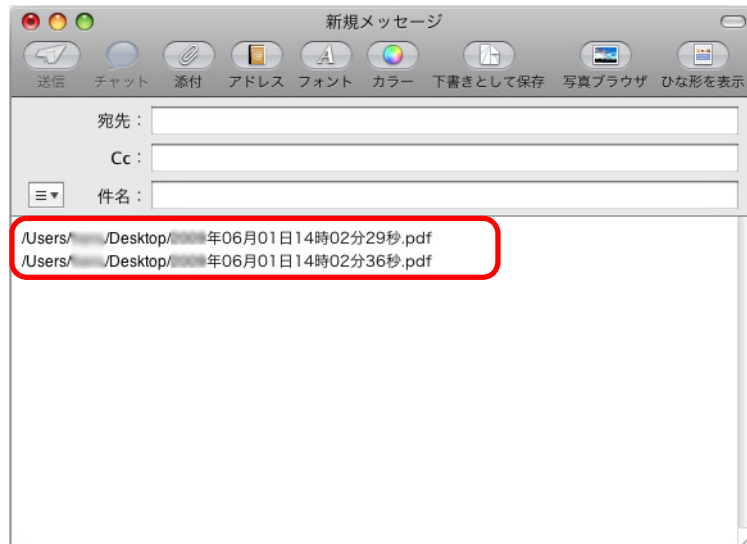
6. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、「指定したフォルダに保存」画面が表示されます。

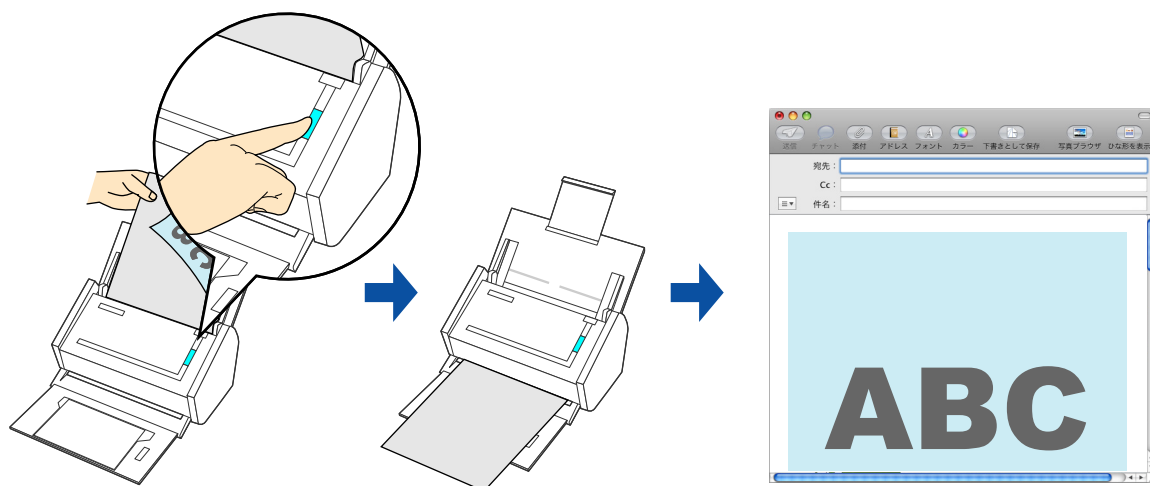
7. プレビューで読み取り結果を確認します。

「指定したフォルダに保存」画面では、ファイル名や保存先フォルダーを変更したり、ファイルの保存先情報をメールに記載するかどうかを設定したりできます。
「指定したフォルダに保存」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

8. ［保存］ボタンをクリックします。

⇒ 指定したフォルダーにファイルが保存されます。

⇒「指定したフォルダに保存」画面で、「ファイルの保存先情報をメールに記載する」チェックボックスにチェックを付けた場合は、ファイルの保存先情報がメールの本文に記載された状態で、新規メッセージ画面が表示されます。

- 「指定したフォルダに保存」画面表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「指定したフォルダに保存」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- 「指定したフォルダに保存」画面表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

■ メールに添付します

イメージデータをメールに添付する方法について説明します。

Mail の「Mail」メニュー→「環境設定」→「一般」アイコン→「デフォルトメールソフト」に設定したメールソフトに連携されます。
サポートしているメールソフトは、以下のとおりです。

- Mail
- Outlook for Mac 2011
- Entourage 2004 for Mac
- Entourage 2008 for Mac

クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 333 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 337 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（294 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

メールに添付できるファイル数は、10 個までです。
読み取り条件に以下が設定されている場合、複数枚の原稿を読み取ると、複数のファイルが作成されます。読み取る原稿の枚数に注意してください。

- ファイル形式の選択：JPEG（*.jpg）
- 「設定ページごとに PDF ファイルを作ります」チェックボックスにチェックが付いている

2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3. 「メールで送信」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1. 「メールで送信」アイコンの下にある「設定」をクリックします。

⇒「メールで送信 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「メールで送信 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

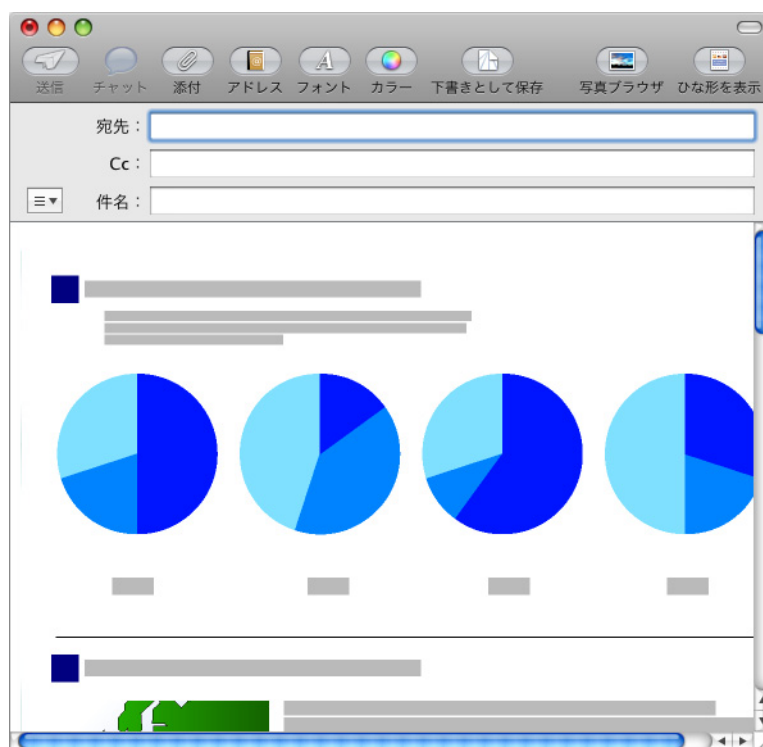
3.［OK］ボタンをクリックして、「メールで送信 - 設定」画面を閉じます。

4.「メールで送信」アイコンをクリックします。

⇒「メールで送信」画面が表示されます。
手順 3. で、「メールで送信 - 設定」画面の「プレビュー画面を表示する」チェックボックスのチェックを外した場合は、「メールで送信」画面は表示されません。ファイルがメールに添付された状態で、新規メッセージ画面が表示されます。

5. プレビューで読み取り結果を確認します。

「メールで送信」画面では、ファイル名を変更したり、読み取り条件の「イメージの保存先」にファイルを残すかどうかを設定したりできます。
「メールで送信」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

6. ［メールに添付］ボタンをクリックします。

⇒ ファイルがメールに添付された状態で、新規メッセージ画面が表示されます。

- クイックメニューを表示してから「メールで送信」画面を閉じるまでの間は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「メールで送信」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニューを表示してから「メールで送信」画面を閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

＜クイックメニューを使用しない場合＞

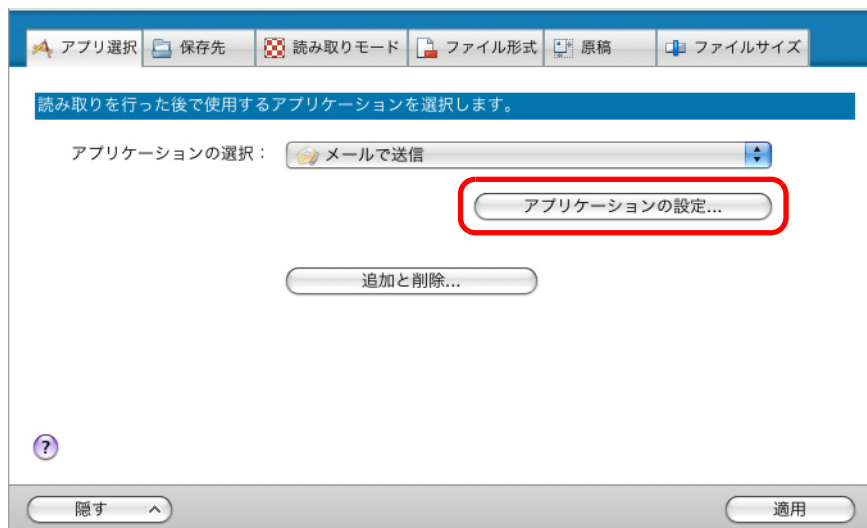
クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（299 ページ）を参照してください。

1. **ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。**

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. **「アプリ選択」タブ の「アプリケーションの選択」で、「メールで送信」を選択します。**

以下の方法でも、連携するアプリケーションを設定できます。
- ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ポップアップメニューから「メールで送信」を選択
- 読み取り設定メニューから「メールで送信」を選択

3.「メールで送信」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 **4.** に進んでください）。

1.［アプリケーションの設定］ボタンをクリックします。

⇒「メールで送信 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「メールで送信 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3.［OK］ボタンをクリックして、「メールで送信 - 設定」画面を閉じます。

4. ScanSnap 設定画面の［適用］ボタンをクリックします。

5. 画面左上の［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

6. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

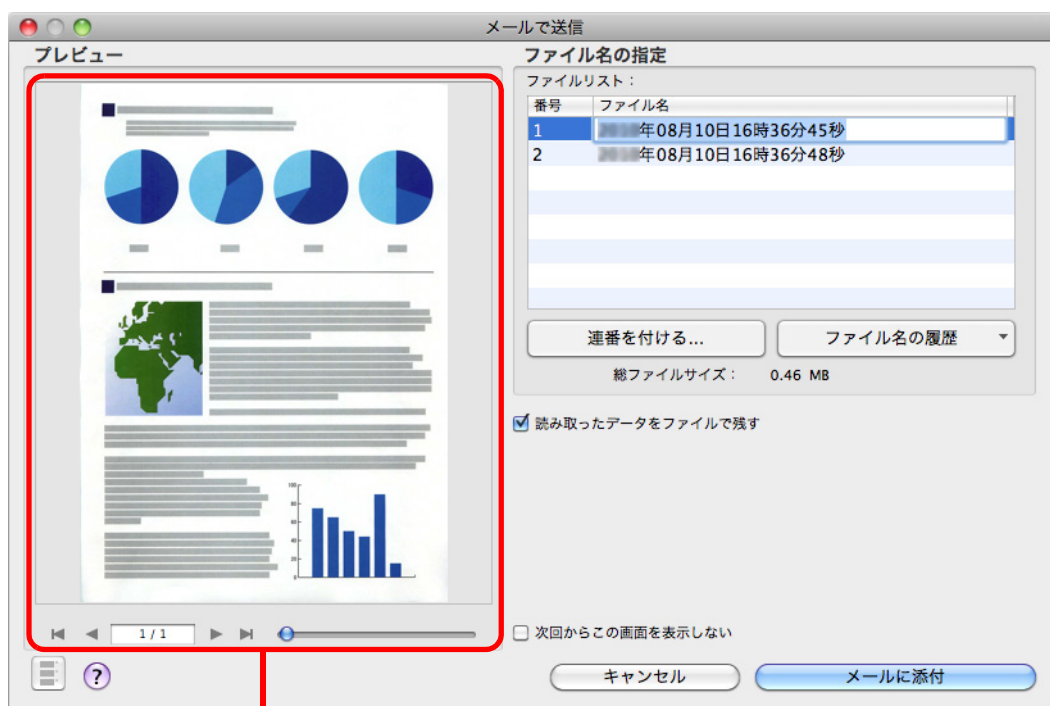
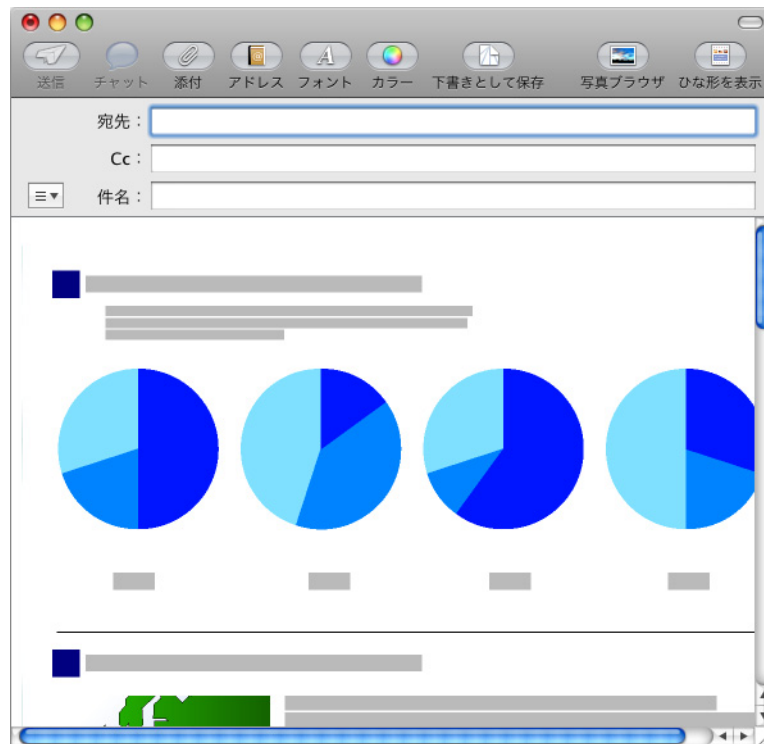
メールに添付できるファイル数は、10 個までです。
読み取り条件に以下が設定されている場合、複数枚の原稿を読み取ると、複数のファイルが作成されます。読み取る原稿の枚数に注意してください。

- ファイル形式の選択：JPEG（*.jpg）
- 「設定ページごとに PDF ファイルを作ります」チェックボックスにチェックが付いている

7. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

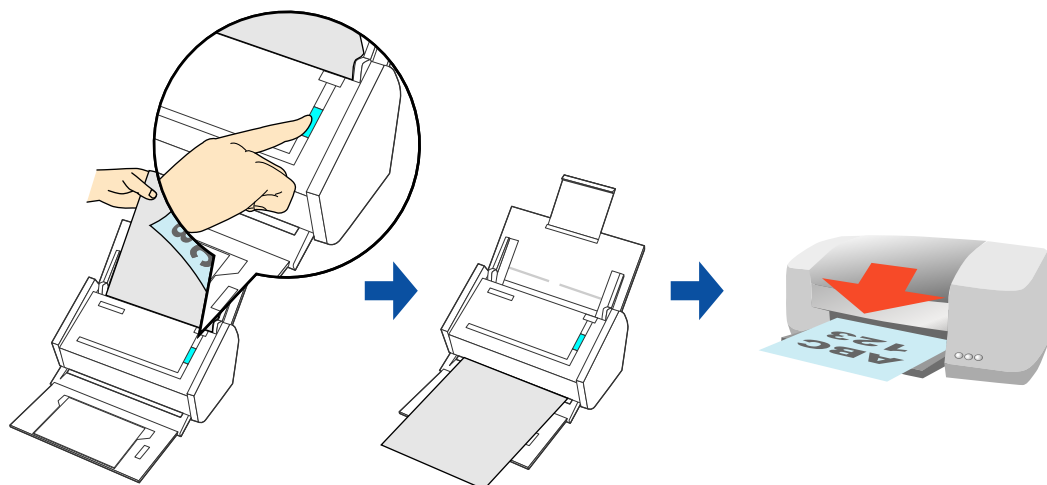
⇒ 原稿の読み取りが完了すると、「メールで送信」画面が表示されます。
手順 3. で、「メールで送信 - 設定」画面の「プレビュー画面を表示する」チェックボックスのチェックを外した場合は、「メールで送信」画面は表示されません。
ファイルがメールに添付された状態で、新規メッセージ画面が表示されます。

8. プレビューで読み取り結果を確認します。

「メールで送信」画面では、ファイル名を変更したり、読み取り条件の「イメージの保存先」にファイルを残すかどうかを設定したりできます。
「メールで送信」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

9. ［メールに添付］ボタンをクリックします。

⇒ ファイルがメールに添付された状態で、新規メッセージ画面が表示されます。

- 「メールで送信」画面表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「メールで送信」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- 「メールで送信」画面表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

■ ScanSnap をコピー機代わりに利用します

イメージデータをプリンターで印刷する方法について説明します。
プリンターに連携すると、ScanSnap をコピー機のように利用できます。

- 原稿の読み取り方法や原稿の状態によっては、原稿の読み取り時に原稿の端の影が映って、イメージデータに線が入ることがあります。この状態でプリンターに連携すると、線が入ったイメージデータが印刷されます。
- イメージデータは、ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「画質の選択」の設定にかかわらず、常に 150dpi の解像度で印刷されます。
- フチなしで印刷されている原稿を読み取る場合は、イメージデータのファイルを作成してから、プレビュー、Adobe Acrobat、または Adobe Reader などで印刷してください。

クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 342 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 345 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（294 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

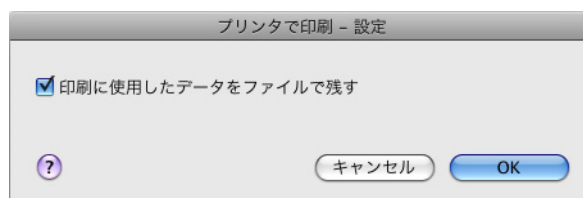
2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3.「プリンタで印刷」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1.「プリンタで印刷」アイコンの下にある「設定」をクリックします。

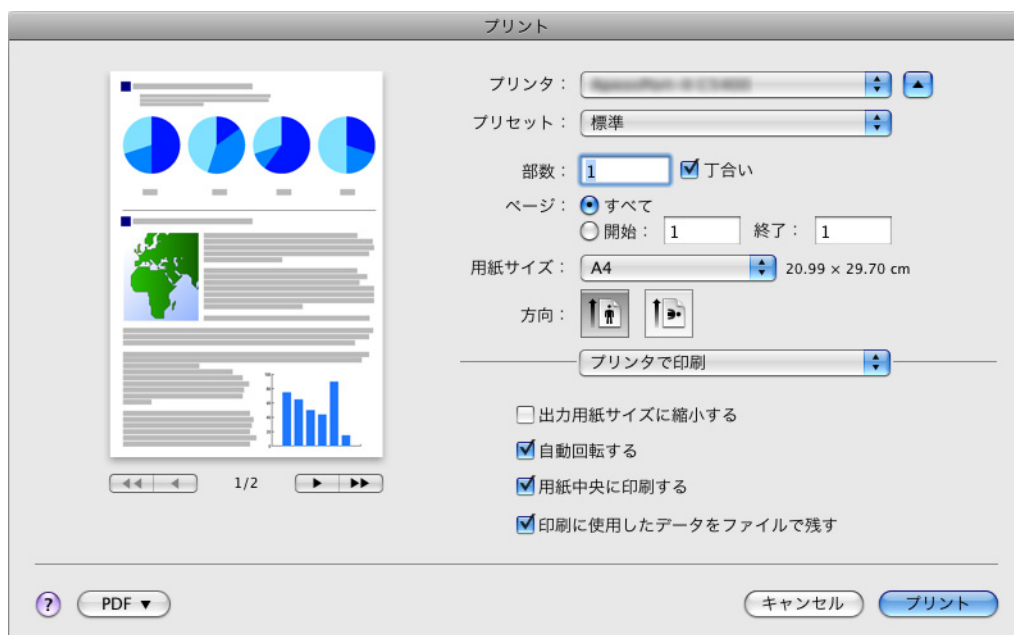
⇒「プリンタで印刷 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「プリンタで印刷 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3.［OK］ボタンをクリックして、「プリンタで印刷 - 設定」画面を閉じます。

4.「プリンタで印刷」アイコンをクリックします。

⇒「プリント」画面が表示されます。

5.「プリント」画面で印刷設定を行います。

「プリント」画面では、印刷するプリンター、印刷部数、イメージデータの印刷サイズや位置、および読み取り条件の「イメージの保存先」にファイルを残すかどうかを設定できます。
「プリント」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

6. ［プリント］ボタンをクリックします。

⇒ イメージデータが印刷されます。

- クイックメニューを表示してから「プリント」画面を閉じるまでの間は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「プリント」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニューを表示してから「プリント」画面を閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（299 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。

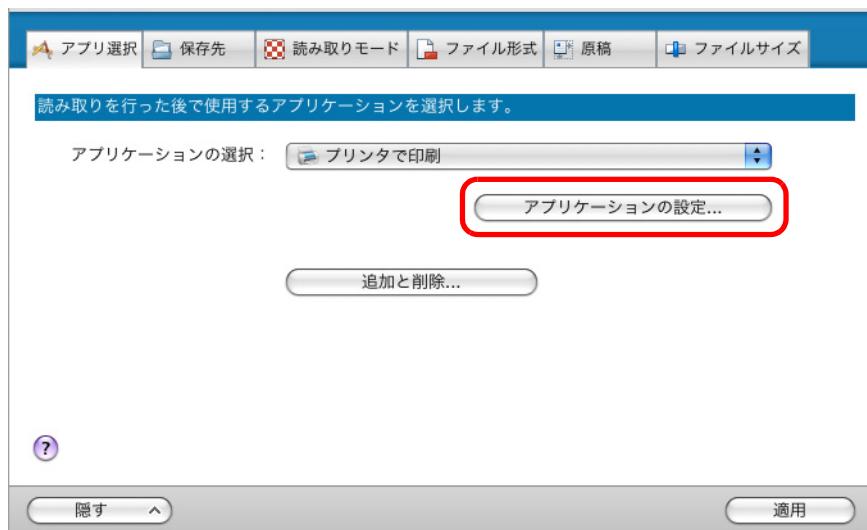
ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

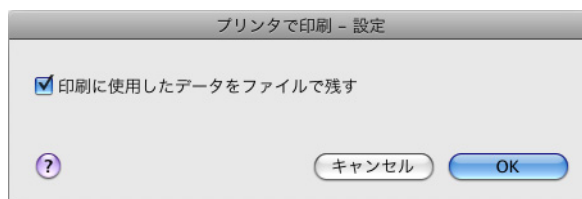
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. 「アプリ選択」タブ の「アプリケーションの選択」で、「プリンタで印刷」を選択します。

以下の方法でも、連携するアプリケーションを設定できます。
- ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ポップアップメニューから「プリンタで印刷」を選択
- 読み取り設定メニューから「プリンタで印刷」を選択

3.「プリンタで印刷」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1.［アプリケーションの設定］ボタンをクリックします。

⇒「プリンタで印刷 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「プリンタで印刷 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3.［OK］ボタンをクリックして、「プリンタで印刷 - 設定」画面を閉じます。

4. ScanSnap 設定画面の［適用］ボタンをクリックします。

5. 画面左上の［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

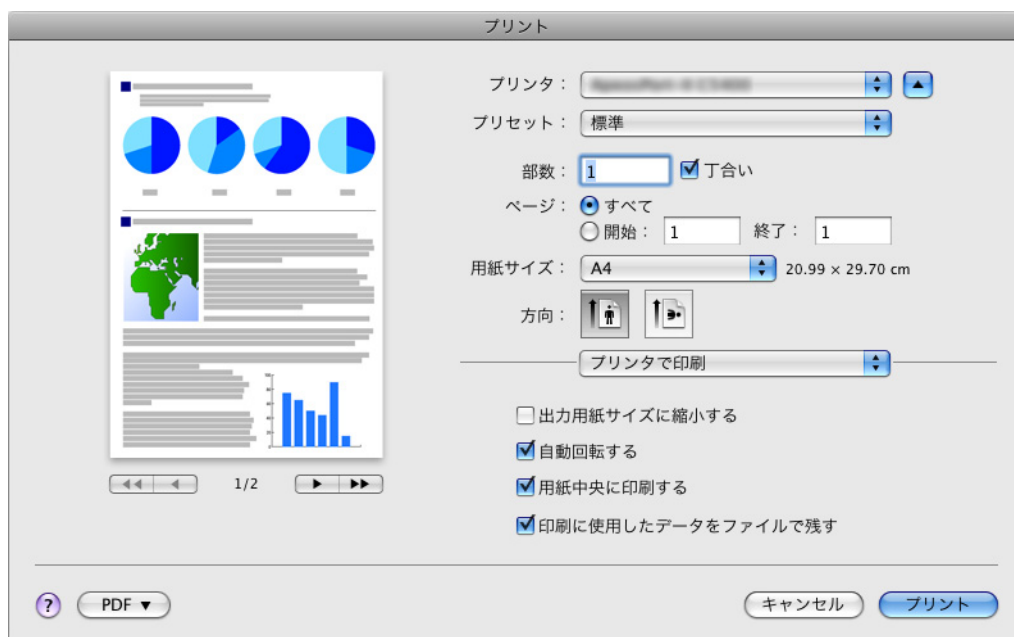
6. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

7. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、「プリント」画面が表示されます。

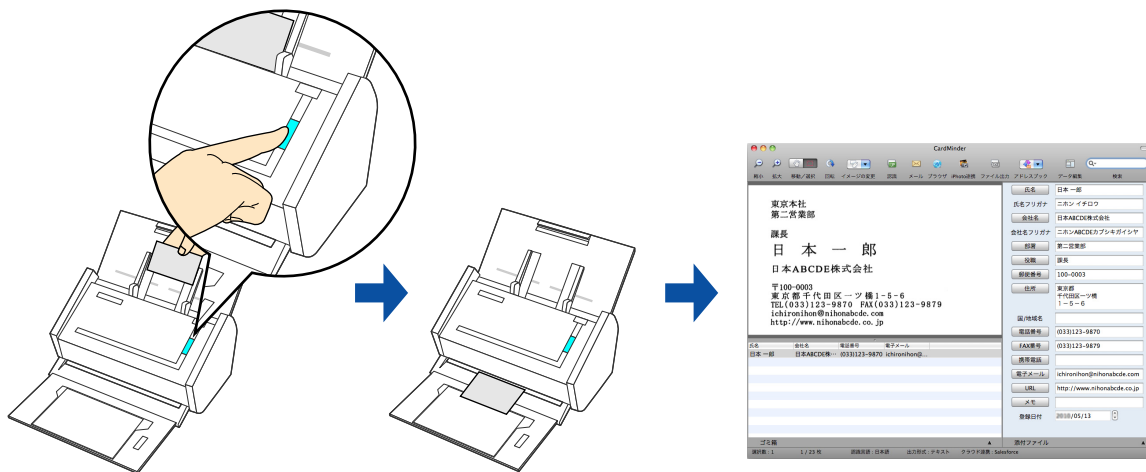
8.「プリント」画面で印刷設定を行います。

「プリント」画面では、印刷するプリンター、印刷部数、イメージデータの印刷サイズや位置、および読み取り条件の「イメージの保存先」にファイルを残すかどうかを設定できます。
「プリント」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

9.［プリント］ボタンをクリックします。

⇒ イメージデータが印刷されます。

- 「プリント」画面表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「プリント」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- 「プリント」画面表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

■ 名刺の情報を CardMinder に登録します

名刺のイメージデータや情報を、CardMinder に登録する方法について説明します。

イメージデータを CardMinder に登録する場合は、読み取り条件の「白紙ページを自動的に削除します」の設定は無効になり、白紙ページは削除されません。

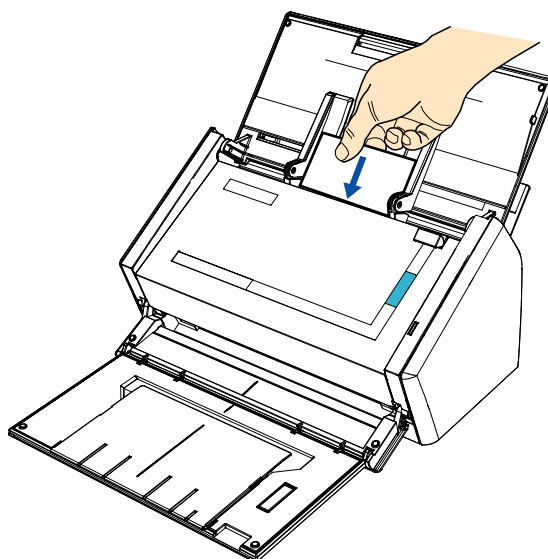
クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 349 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 351 ページ）

<クイックメニューを使用する場合>

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（294 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に名刺をセットします。

- 名刺の表面が給紙カバー（原稿台）側になるようにセットしてください。
- 複数枚を読み取る場合は、重ねてセットしてください。
- サイドガイドを動かして、サイドガイドと名刺の間に隙間ができないようにしてください。

2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、名刺の読み取りを開始します。

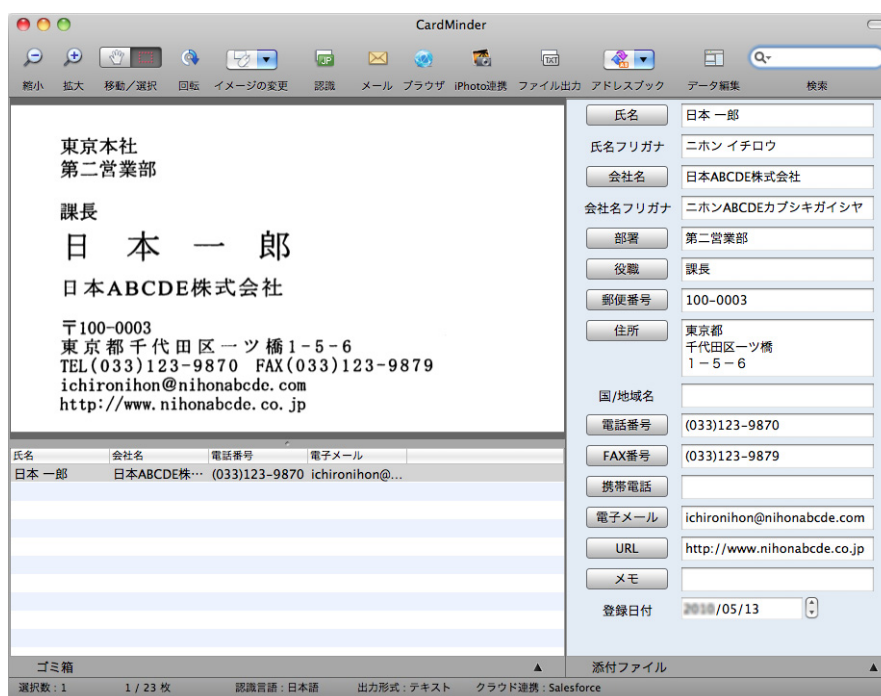
ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「画質の選択」の設定は、「自動解像度」または「スーパーファイン」を推奨します。「エクセレント」を設定した場合は連携できません。

⇒ 名刺読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3.「CardMinder」アイコンをクリックします。

- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で名刺の読み取りを開始できません。CardMinder に連携してから、次の名刺読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

⇒ CardMinder が起動され、「CardMinder」画面が表示されます。

4. CardMinder に登録されたイメージデータを確認します。

CardMinder の機能や、使用方法についての詳細は、CardMinder ユーザーズガイドおよび CardMinder のヘルプを参照してください。

＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（299 ページ）を参照してください。

1. **ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。**

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. **「アプリ選択」タブ を選択し、「アプリケーションの選択」で「CardMinder」を選択します。**

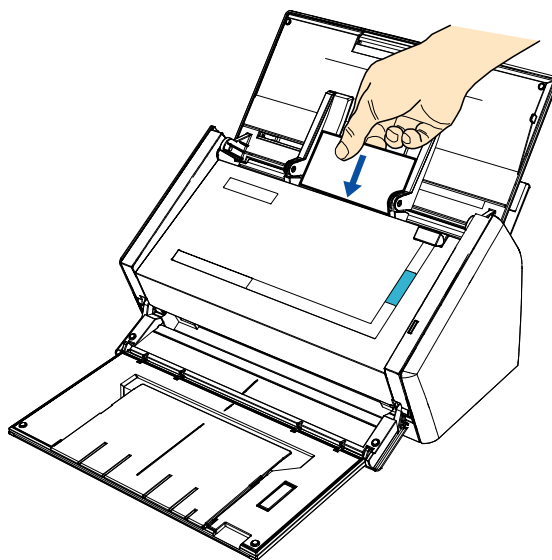
ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「画質の選択」の設定は、「自動解像度」または「スーパーファイン」を推奨します。「エクセレント」を設定した場合は連携できません。

以下の方法でも、連携するアプリケーションを設定できます。
- ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ポップアップメニューから「CardMinder」を選択
- 読み取り設定メニューから「CardMinder」を選択

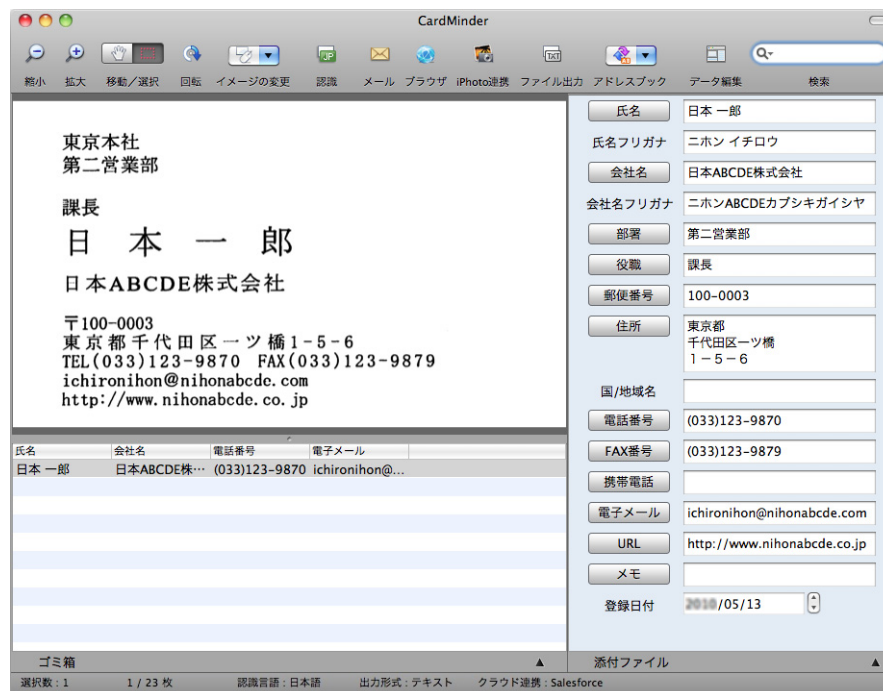
3.［適用］ボタンをクリックします。

4. 画面左上の［ ］ボタンをクリックして、**ScanSnap** 設定画面を閉じます。

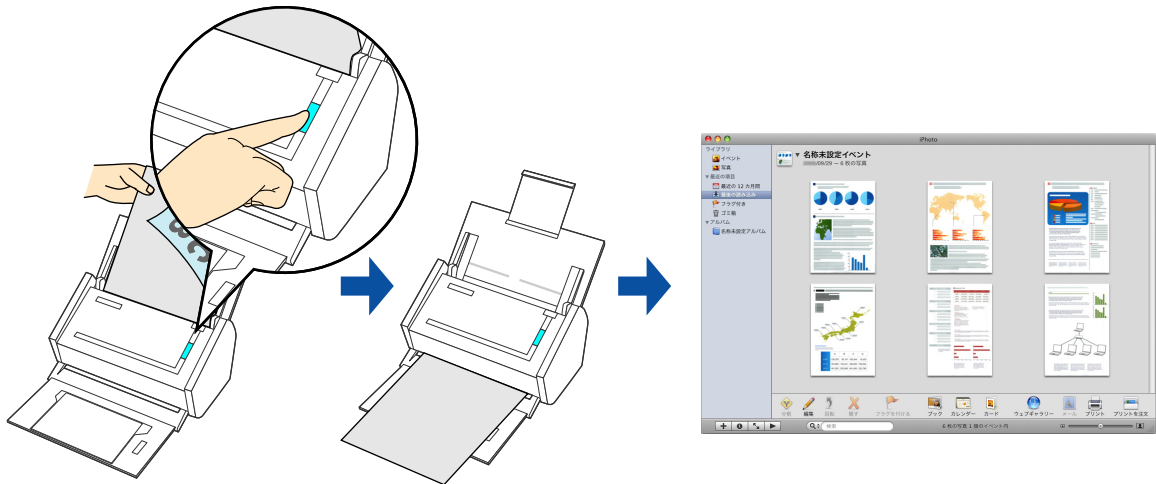
5. ScanSnap に名刺をセットします。

- 名刺の表面が給紙カバー（原稿台）側になるようにセットしてください。
- 複数枚を読み取る場合は、重ねてセットしてください。
- サイドガイドを動かして、サイドガイドと名刺の間に隙間ができないようにしてください。

6. ScanSnap の［**Scan**］ボタンを押して、名刺の読み取りを開始します。

⇒ 名刺の読み取りが完了すると、CardMinder が起動され、「CardMinder」画面が表示されます。

7. **CardMinder に登録されたイメージデータを確認します。**

CardMinder の機能や、使用方法についての詳細は、CardMinder ユーザーズガイドおよび CardMinder のヘルプを参照してください。

■ iPhoto に登録します

イメージデータを、iPhoto に登録する方法について説明します。

クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 355 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 357 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（294 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3.「iPhoto」アイコンをクリックします。

- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。iPhoto に連携してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

⇒「iPhoto」画面が表示されます。

4. iPhoto に登録されたイメージデータを確認します。

イメージデータは、iPhoto に登録されるのと同時に、ScanSnap 設定画面の「保存先」タブ→「イメージの保存先」に設定されているフォルダーにも保存されます。不要な場合は、削除してください。

＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（299 ページ）を参照してください。

1. **ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。**

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. **「アプリ選択」タブ の「アプリケーションの選択」で、「iPhoto」を選択します。**

以下の方法でも、連携するアプリケーションを設定できます。
- ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ポップアップメニューから「iPhoto」を選択
- 読み取り設定メニューから「iPhoto」を選択

3. **［適用］ボタンをクリックします。**

4. **画面左上の［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。**

5. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

6. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

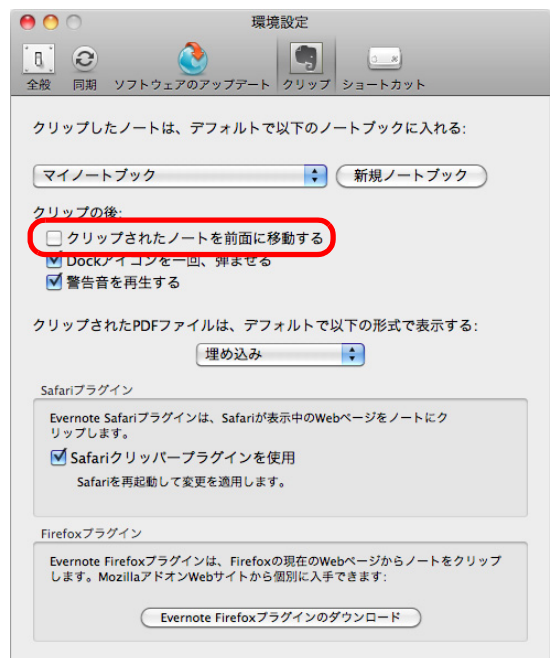
⇒ 原稿の読み取りが完了すると、「iPhoto」画面が表示されます。

7. iPhoto に登録されたイメージデータを確認します。

イメージデータは、iPhoto に登録されるのと同時に、ScanSnap 設定画面の「保存先」タブ→「イメージの保存先」に設定されているフォルダーにも保存されます。不要な場合は、削除してください。

■ 活字原稿を Evernote に保存します

イメージデータを PDF ファイルとして、Evernote に保存する方法について説明します。
検索可能な PDF ファイルに変換してから Evernote に保存すると、Evernote で文書が検索できます。

- Evernote のアカウントを作成（無料または有償）する必要があります。
- ファイルを Evernote に保存する場合は、Evernote for Mac にノートブックを作成しておく必要があります。
- 連続して原稿を読み取ると、たくさんのノートが画面上に表示されるため、事前に Evernote の環境設定で、ノートを表示する設定を無効にしてください。
右の画面は、Evernote for Mac Version 2.0.4 の環境設定画面です。この画面の、「クリップされたノートを前面に移動する」チェックボックスのチェックを外してください。
バージョンによって、設定する画面および項目名が異なる場合があります。

クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 360 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 363 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（294 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3. 「ドキュメントを Evernote に保存」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1. 「ドキュメントを Evernote に保存」アイコンの下にある「設定」をクリックします。

⇒「ドキュメントを Evernote に保存 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「ドキュメントを Evernote に保存 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3. ［OK］ボタンをクリックして、「ドキュメントを Evernote に保存 - 設定」画面を閉じます。

4.「ドキュメントを Evernote に保存」アイコンをクリックします。

- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。
  Evernote に PDF ファイルを保存してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

⇒ ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」の設定が「JPEG(*.jpg)」の場合は、JPEG ファイルから PDF ファイルが作成されます。
JPEG ファイル 1 つにつき、1 つの PDF ファイルが作成されます。
PDF ファイルの作成中は、以下の画面が表示されます。

⇒ 手順 3. で「検索可能な PDF にする」チェックボックスにチェックを付けた場合は、「テキスト認識オプション」の設定に従って、テキスト認識されます。
テキスト認識中は、以下の画面が表示されます。

ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブの設定によって、すでにテキスト認識されている場合は、テキスト認識されていないページがあるときにだけ、すでにテキスト認識されているページも含めて、テキスト認識されます。

⇒ Evernote for Mac が起動され、PDF ファイルが Evernote に保存されます。

ファイルを Evernote に保存したあとも、ScanSnap 設定画面の「保存先」タブ→「イメージの保存先」に設定されているフォルダーに、イメージデータを保存したファイルが残ります。不要な場合は、削除してください。

＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（299 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2.「アプリ選択」タブの「アプリケーションの選択」で、「ドキュメントを Evernote に保存」を選択します。

以下の方法でも、連携するアプリケーションを設定できます。

- ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ポップアップメニューから「ドキュメントを Evernote に保存」を選択
- 読み取り設定メニューから「ドキュメントを Evernote に保存」を選択

3.「ドキュメントを Evernote に保存」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1.［アプリケーションの設定］ボタンをクリックします。

⇒「ドキュメントを Evernote に保存 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「ドキュメントを Evernote に保存 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3.［OK］ボタンをクリックして、「ドキュメントを Evernote に保存 - 設定」画面を閉じます。

4.［適用］ボタンをクリックします。

5. 画面左上の［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

6. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

7. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」の設定が「JPEG(*.jpg)」の場合は、JPEG ファイルから PDF ファイルが作成されます。JPEG ファイル 1 つにつき、1 つの PDF ファイルが作成されます。
PDF ファイルの作成中は、以下の画面が表示されます。

⇒ 手順 3. で「検索可能な PDF にする」チェックボックスにチェックを付けた場合は、「テキスト認識オプション」の設定に従って、テキスト認識されます。
テキスト認識中は、以下の画面が表示されます。

ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブの設定によって、すでにテキスト認識されている場合は、テキスト認識されていないページがあるときにだけ、すでにテキスト認識されているページも含めて、テキスト認識されます。

⇒ Evernote for Mac が起動され、PDF ファイルが Evernote に保存されます。

ファイルを Evernote に保存したあとも、ScanSnap 設定画面の「保存先」タブ→「イメージの保存先」に設定されているフォルダーに、イメージデータを保存したファイルが残ります。不要な場合は、削除してください。

■ 手書き文字を含む原稿を Evernote に保存します

イメージデータを JPEG ファイルとして、Evernote に保存する方法について説明します。JPEG ファイルを Evernote に保存すると、手書き文字を含むすべての文字情報が Evernote 上でテキスト認識され、Evernote で文書が検索できます。

- Evernote のアカウントを作成（無料または有償）する必要があります。
- ファイルを Evernote に保存する場合は、Evernote for Mac にノートブックを作成しておく必要があります。
- 連続して原稿を読み取ると、たくさんのノートが画面上に表示されるため、事前に Evernote の環境設定で、ノートを表示する設定を無効にしてください。
  右の画面は、Evernote for Mac Version 2.0.4 の環境設定画面です。この画面の、「クリップされたノートを前面に移動する」チェックボックスのチェックを外してください。
  バージョンによって、設定する画面および項目名が異なる場合があります。

クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 367 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 369 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（294 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3.「手書きメモを Evernote に保存」アイコンをクリックします。

- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。Evernote に JPEG ファイルを保存してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

⇒ ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」の設定が「PDF(*.pdf)」の場合は、PDF ファイルから JPEG ファイルが作成されます。PDF ファイル 1 ページにつき、1 つの JPEG ファイルが作成されます。
JPEG ファイルの作成中は、以下の画面が表示されます。

手書きメモをEvernoteに保存

イメージデータからJPEGの作成中です。

⇒ Evernote for Mac が起動され、JPEG ファイルが Evernote に保存されます。

- ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」の設定が「PDF(*.pdf)」の場合、Evernote に保存されるファイル名には、自動的に 4 桁の連番が追加されます。
  例：ファイル名が「ScanSnap」の場合
  ScanSnap_0001、ScanSnap_0002、ScanSnap_0003…
- ファイルを Evernote に保存したあとも、ScanSnap 設定画面の「保存先」タブ→「イメージの保存先」に設定されているフォルダーに、イメージデータを保存したファイルが残ります。不要な場合は、削除してください。

＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（299 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2.「アプリ選択」タブの「アプリケーションの選択」で、「手書きメモを Evernote に保存」を選択します。

以下の方法でも、連携するアプリケーションを設定できます。

- ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ポップアップメニューから「手書きメモを Evernote に保存」を選択
- 読み取り設定メニューから「手書きメモを Evernote に保存」を選択

3.［適用］ボタンをクリックします。

4. 画面左上の［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

5. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」(34 ページ)を参照してください。

6. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」の設定が「PDF(*.pdf)」の場合は、PDF ファイルから JPEG ファイルが作成されます。PDF ファイル 1 ページにつき、1 つの JPEG ファイルが作成されます。
JPEG ファイルの作成中は、以下の画面が表示されます。

⇒ Evernote for Mac が起動され、JPEG ファイルが Evernote に保存されます。

- ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」の設定が「PDF(*.pdf)」の場合、Evernote に保存されるファイル名には、自動的に 4 桁の連番が追加されます。
  例：ファイル名が「ScanSnap」の場合
  ScanSnap_0001、ScanSnap_0002、ScanSnap_0003…
- ファイルを Evernote に保存したあとも、ScanSnap 設定画面の「保存先」タブ→「イメージの保存先」に設定されているフォルダーに、イメージデータを保存したファイルが残ります。不要な場合は、削除してください。

■ Google ドキュメントに保存します

イメージデータを PDF ファイルとして、Google ドキュメントに保存する方法について説明します。

Google のアカウントを作成（無料）する必要があります。

クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 372 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 376 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（294 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3.「Google ドキュメント (TM) に保存」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1.「Google ドキュメント (TM) に保存」アイコンの下にある「設定」をクリックします。

⇒「Google ドキュメント (TM) に保存 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「Google ドキュメント (TM) に保存 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

コンピュータを共用している場合、「メール」および「パスワード」を設定すると、第三者が自動的に Google ドキュメントにログインできるようになります。
そのため、「メール」だけを設定して、「パスワード」はログイン時に毎回入力する運用を推奨します。

3. ［OK］ボタンをクリックして、「Google ドキュメント (TM) に保存 - 設定」画面を閉じます。

4. 「Google ドキュメント (TM) に保存」アイコンをクリックします。

- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。Google ドキュメントに PDF ファイルを保存してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

⇒ 手順 3. の「Google ドキュメント (TM) に保存 - 設定」画面で Google アカウントを指定しなかった場合は、「Google ドキュメント (TM) に保存」画面が表示されます。
「メール」および「パスワード」を入力して［OK］ボタンをクリックすると、処理が続行されます。

- コンピュータを共用している場合、「パスワードキーチェーンに保存」チェックボックスにチェックを付けると、第三者が自動的に Google ドキュメントにログインできるようになります。
そのため、「パスワードキーチェーンに保存」チェックボックスにチェックを付けないでください。
- Google ドキュメントに保存は、インターネット接続時に認証が必要なプロキシ環境下では使用できません。

⇒ ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」の設定が「JPEG(*.jpg)」の場合は、JPEG ファイルから PDF ファイルが作成されます。
JPEG ファイル 1 つにつき、1 つの PDF ファイルが作成されます。
PDF ファイルの作成中は、以下の画面が表示されます。

⇒ 手順 3. の「Google ドキュメント (TM) に保存 - 設定」画面で「検索可能な PDF にする」チェックボックスにチェックを付けた場合は、「テキスト認識オプション」の設定に従って、テキスト認識されます。
テキスト認識中は、以下の画面が表示されます。

ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブの設定によって、すでにテキスト認識されている場合は、テキスト認識されていないページがあるときにだけ、すでにテキスト認識されているページも含めて、テキスト認識されます。

⇒ Google ドキュメントに PDF ファイルの保存が開始されます。
保存が完了したら、[閉じる] ボタンをクリックして、「Google ドキュメント (TM) に保存」画面を閉じてください。

「Google ドキュメント (TM) に保存」画面は、「保存完了後、この画面を閉じる」チェックボックスにチェックを付けると、次の原稿の読み取りから、Google ドキュメントに PDF ファイルの保存が完了すると自動的に閉じられます。

PDF ファイルの保存完了後、Google ドキュメントのサイトは起動されません。保存した PDF ファイルを確認する場合は、Web ブラウザを起動し Google ドキュメントにログインして確認してください。

<クイックメニューを使用しない場合>

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（299 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2.「アプリ選択」タブの「アプリケーションの選択」で、「Google ドキュメント (TM) に保存」を選択します。

以下の方法でも、連携するアプリケーションを設定できます。
- ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」ポップアップメニューから「Google ドキュメント (TM) に保存」を選択
- 読み取り設定メニューから「Google ドキュメント (TM) に保存」を選択

3.「Google ドキュメント (TM) に保存」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1. ［アプリケーションの設定］ボタンをクリックします。

⇒「Google ドキュメント (TM) に保存 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「Google ドキュメント (TM) に保存 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

コンピュータを共用している場合、「メール」および「パスワード」を設定すると、第三者が自動的に Google ドキュメントにログインできるようになります。
そのため、「メール」だけを設定して、「パスワード」はログイン時に毎回入力する運用を推奨します。

3. ［OK］ボタンをクリックして、「Google ドキュメント (TM) に保存 - 設定」画面を閉じます。

4.［適用］ボタンをクリックします。

5. 画面左上の［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

6. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

7. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、手順 3. の「Google ドキュメント (TM) に保存 - 設定」画面で Google アカウントを指定しなかった場合は、「Google ドキュメント (TM) に保存」画面が表示されます。「メール」および「パスワード」を入力して［OK］ボタンをクリックすると、処理が続行されます。

- コンピュータを共用している場合、「パスワードキーチェーンに保存」チェックボックスにチェックを付けると、第三者が自動的に Google ドキュメントにログインできるようになります。
  そのため、「パスワードキーチェーンに保存」チェックボックスにチェックを付けないでください。
- Google ドキュメントに保存は、インターネット接続時に認証が必要なプロキシ環境下では使用できません。

⇒ ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」の設定が「JPEG(*.jpg)」の場合は、JPEG ファイルから PDF ファイルが作成されます。
JPEG ファイル 1 つにつき、1 つの PDF ファイルが作成されます。
PDF ファイルの作成中は、以下の画面が表示されます。

⇒ 手順 3. の「Google ドキュメント (TM) に保存 - 設定」画面で「検索可能な PDF にする」チェックボックスにチェックを付けた場合は、「テキスト認識オプション」の設定に従って、テキスト認識されます。
テキスト認識中は、以下の画面が表示されます。

ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブの設定によって、すでにテキスト認識されている場合は、テキスト認識されていないページがあるときにだけ、すでにテキスト認識されているページも含めて、テキスト認識されます。

⇒ Google ドキュメントに PDF ファイルの保存が開始されます。
保存が完了したら、[閉じる] ボタンをクリックして、「Google ドキュメント (TM) に保存」画面を閉じてください。

「Google ドキュメント (TM) に保存」画面は、「保存完了後、この画面を閉じる」チェックボックスにチェックを付けると、次の原稿の読み取りから、Google ドキュメントに PDF ファイルの保存が完了すると自動的に閉じられます。

PDF ファイルの保存完了後、Google ドキュメントのサイトは起動されません。保存した PDF ファイルを確認する場合は、Web ブラウザを起動し Google ドキュメントにログインして確認してください。

■ Salesforce Chatter に投稿します

イメージデータを PDF ファイルまたは JPEG ファイルとして、Salesforce Chatter に投稿する方法について説明します。

- Salesforce CRM のライセンス契約が別途必要です。
- 連携可能な Salesforce のエディションは以下のとおりです。
  - Unlimited
  - Enterprise

クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 381 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 386 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（294 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3.「Salesforce Chatter に投稿」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1.「Salesforce Chatter に投稿」アイコンの下にある「設定」をクリックします。

⇒「Salesforce Chatter に投稿 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「Salesforce Chatter に投稿 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

コンピュータを共用している場合、「ユーザ名」、「パスワード」、および「セキュリティトークン」を設定すると、第三者が自動的に Salesforce にログインできるようになります。
そのため、「ユーザ名」および「セキュリティトークン」だけを設定して、「パスワード」はログイン時に毎回入力する運用を推奨します。

3. ［OK］ボタンをクリックして、「Salesforce Chatter に投稿 - 設定」画面を閉じます。

4. 「Salesforce Chatter に投稿」アイコンをクリックします。

⇒ 手順 3. の「Salesforce Chatter に投稿 - 設定」画面で Salesforce アカウントを指定しなかった場合は、「Salesforce Chatter に投稿 - ログイン」画面が表示されます。
「ユーザ名」および「パスワード」を入力して［OK］ボタンをクリックすると、処理が続行されます。「セキュリティトークン」は、必要に応じて入力してください。

- コンピュータを共用している場合、「パスワードキーチェーンに保存」チェックボックスにチェックを付けると、第三者が自動的に Salesforce にログインできるようになります。
  そのため、「パスワードキーチェーンに保存」チェックボックスにチェックを付けないでください。
- Salesforce Chatter に投稿は、インターネット接続時に認証が必要なプロキシ環境下では使用できません。

⇒「Salesforce Chatter に投稿」画面が表示されます。

5. プレビューで読み取り結果を確認します。

「Salesforce Chatter に投稿」画面では、イメージデータの投稿先 / 投稿方法、投稿するメッセージ、Salesforce Chatter で表示されるイメージデータのファイル名、投稿するイメージデータの説明、および読み取り条件の「イメージの保存先」にファイルを残すかどうかを設定できます。
「Salesforce Chatter に投稿」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

6. ［投稿］ボタンをクリックします。

⇒ Salesforce Chatter にイメージデータの投稿が開始されます。
イメージデータの投稿が完了したら、［閉じる］ボタンをクリックして、「Salesforce Chatter に投稿」画面を閉じてください。

「Salesforce Chatter に投稿」画面は、「投稿完了後、この画面を閉じる」チェックボックスにチェックを付けると、次の原稿の読み取りから、Salesforce Chatter にイメージデータの投稿が完了すると自動的に閉じられます。

- クイックメニューを表示してから「Salesforce Chatter に投稿」画面を閉じるまでの間は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「Salesforce Chatter に投稿」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

イメージデータの投稿完了後、Salesforce のサイトは起動されません。保存したイメージデータを確認する場合は、Web ブラウザを起動し Salesforce にログインして確認してください。

＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（299 ページ）を参照してください。

1. **ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。**

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. **「アプリ選択」タブの「アプリケーションの選択」で、「Salesforce Chatter に投稿」を選択します。**

この状態で読み取り設定を追加しておけば、次回から、「読み取り設定」ポップアップメニューまたは読み取り設定メニューで、連携するアプリケーションを設定できます。
読み取り設定の追加方法については、「読み取り設定の管理」（310 ページ）を参照してください。

3. 「Salesforce Chatter に投稿」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1. ［アプリケーションの設定］ボタンをクリックします。

⇒「Salesforce Chatter に投稿 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「Salesforce Chatter に投稿 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

コンピュータを共用している場合、「ユーザ名」、「パスワード」、および「セキュリティトークン」を設定すると、第三者が自動的に Salesforce にログインできるようになります。
そのため、「ユーザ名」および「セキュリティトークン」だけを設定して、「パスワード」はログイン時に毎回入力する運用を推奨します。

3. ［OK］ボタンをクリックして、「Salesforce Chatter に投稿 - 設定」画面を閉じます。

4. ［適用］ボタンをクリックします。

5. 画面左上の［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

6. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

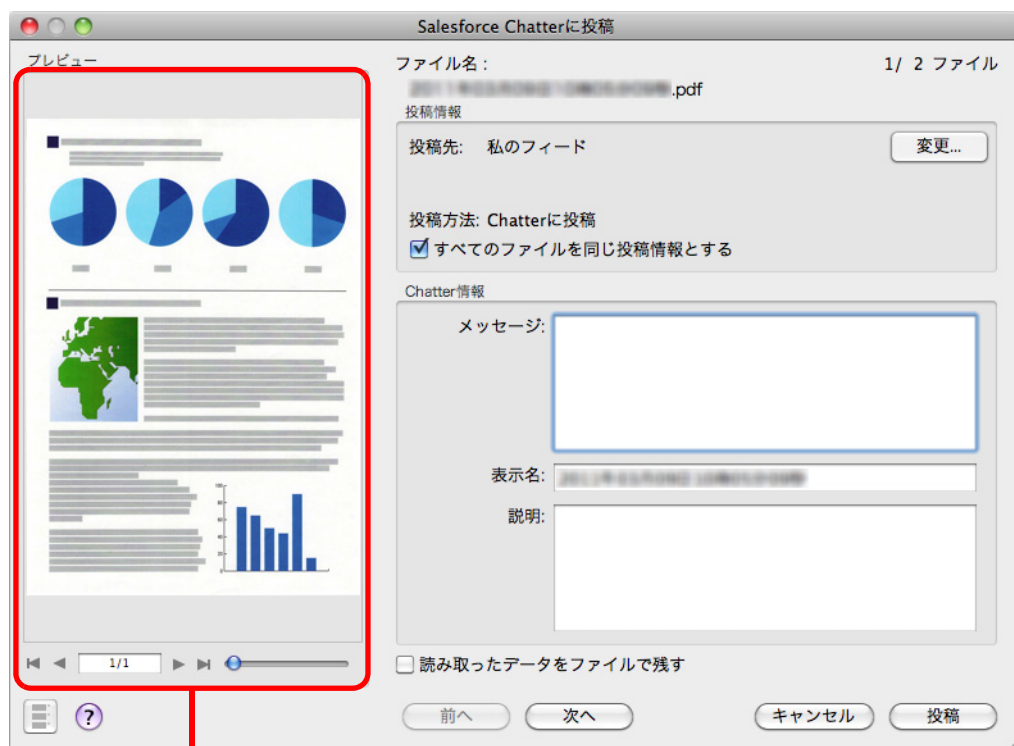
7. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、手順 3. の「Salesforce Chatter に投稿に保存 - 設定」画面で Salesforce アカウントを指定しなかった場合は、「Salesforce Chatter に投稿 - ログイン」画面が表示されます。「ユーザ名」および「パスワード」を入力して［OK］ボタンをクリックすると、処理が続行されます。「セキュリティトークン」は、必要に応じて入力してください。

- コンピュータを共用している場合、「パスワードキーチェーンに保存」チェックボックスにチェックを付けると、第三者が自動的に Salesforce にログインできるようになります。
  そのため、「パスワードキーチェーンに保存」チェックボックスにチェックを付けないでください。
- Salesforce Chatter に投稿は、インターネット接続時に認証が必要なプロキシ環境下では使用できません。

⇒「Salesforce Chatter に投稿」画面が表示されます。

8. プレビューで読み取り結果を確認します。

「Salesforce Chatter に投稿」画面では、イメージデータの投稿先 / 投稿方法、投稿するメッセージ、Salesforce Chatter で表示されるイメージデータのファイル名、投稿するイメージデータの説明、および読み取り条件の「イメージの保存先」にファイルを残すかどうかを設定できます。
「Salesforce Chatter に投稿」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

9.［投稿］ボタンをクリックします。

⇒ Salesforce Chatter にイメージデータの投稿が開始されます。
イメージデータの投稿が完了したら、［閉じる］ボタンをクリックして、
「Salesforce Chatter に投稿」画面を閉じてください。

「Salesforce Chatter に投稿」画面は、「投稿完了後、この画面を閉じる」チェックボックスにチェックを付けると、次の原稿の読み取りから、Salesforce Chatter にイメージデータの投稿が完了すると自動的に閉じられます。

- 「Salesforce Chatter に投稿」画面表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「Salesforce Chatter に投稿」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- 「Salesforce Chatter に投稿」画面表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

イメージデータの投稿完了後、Salesforce のサイトは起動されません。保存したイメージデータを確認する場合は、Web ブラウザを起動し Salesforce にログインして確認してください。

■ SugarSync の同期フォルダーに保存します

イメージデータを PDF ファイルまたは JPEG ファイルとして、SugarSync の同期フォルダーに保存する方法について説明します。

- SugarSync のアカウントを取得する必要があります。
- 本機能を使用するには、お使いのコンピュータに SugarSync Manager for Mac 1.9.29 以降がインストールされている必要があります。

SugarSync Manager for Mac をインストールしたあと、SugarSync に初めてログインしたときに、マジックブリーフケースが作成されます。
マジックブリーフケースとは、SugarSync で使用する同期専用のフォルダーです。

クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- クイックメニューを使用する場合（→ 392 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 395 ページ）

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（294 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

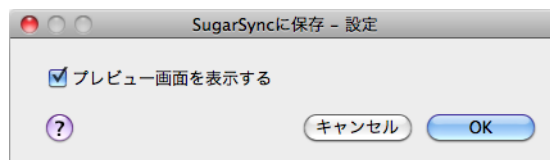
2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

3.「SugarSync に保存」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1.「SugarSync に保存」アイコンの下にある「設定」をクリックします。

⇒「SugarSync に保存 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「SugarSync に保存 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3.［OK］ボタンをクリックして、「SugarSync に保存 - 設定」画面を閉じます。

4.「SugarSync に保存」アイコンをクリックします。

⇒「SugarSync に保存」画面が表示されます。

手順 3. で、「プレビュー画面を表示する」チェックボックスのチェックを外した場合は、イメージデータが直接 SugarSync の同期フォルダーに保存されます。

5. プレビューで読み取り結果を確認します。

「SugarSync に保存」画面では、ファイル名を変更したり、SugarSync の同期フォルダーを指定したりできます。

「SugarSync に保存」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

プレビュー

ファイルの保存先に SugarSync の同期フォルダー以外を指定した場合、保存されたファイルは SugarSync と同期の対象になりません。

6.［保存］ボタンをクリックします。

⇒ イメージデータが、SugarSync の同期フォルダーに保存されます。

- クイックメニューを表示してから「SugarSync に保存」画面を閉じるまでの間は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「SugarSync に保存」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニューを表示してから「SugarSync に保存」画面を閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（299 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2.「アプリ選択」タブ の「アプリケーションの選択」で、「SugarSync に保存」を選択します。

この状態で読み取り設定を追加しておけば、次回から、「読み取り設定」ポップアップメニューまたは読み取り設定メニューで、連携するアプリケーションを設定できます。
読み取り設定の追加方法については、「読み取り設定の管理」（310 ページ）を参照してください。

3. 「SugarSync に保存」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1. ［アプリケーションの設定］ボタンをクリックします。

⇒「SugarSync に保存 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「SugarSync に保存 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3. ［OK］ボタンをクリックして、「SugarSync に保存 - 設定」画面を閉じます。

4. ［適用］ボタンをクリックします。

5. 画面左上の［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

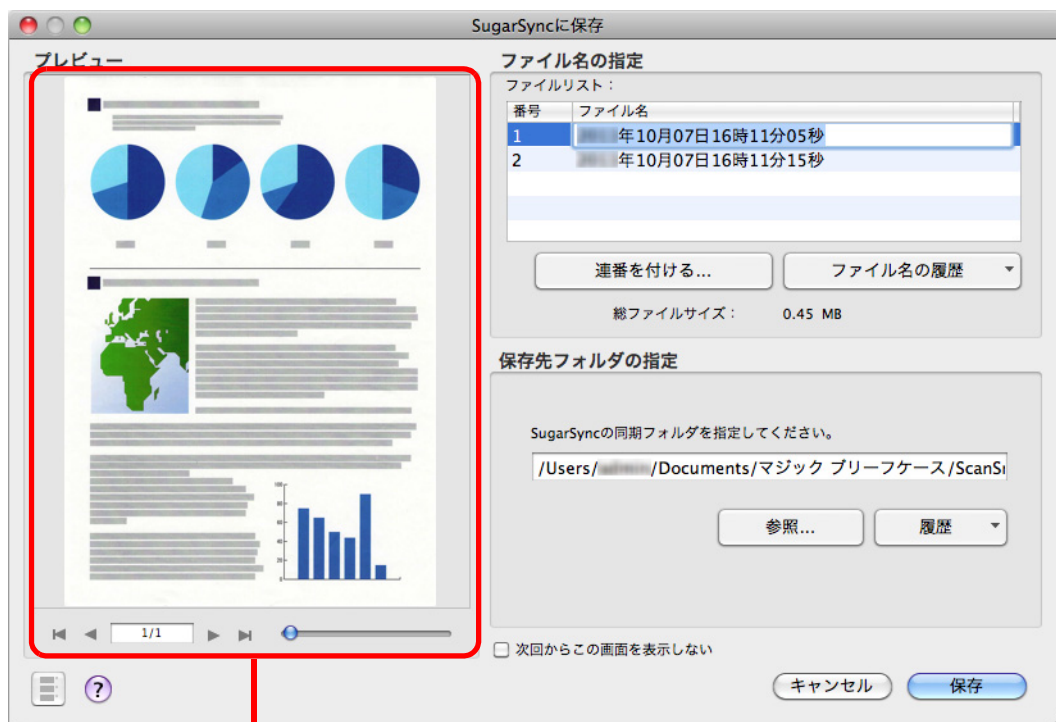
6. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

7. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、「SugarSync に保存」画面が表示されます。
手順 3. で、「プレビュー画面を表示する」チェックボックスのチェックを外した場合は、イメージデータが直接 SugarSync の同期フォルダーに保存されます。

8. プレビューで読み取り結果を確認します。

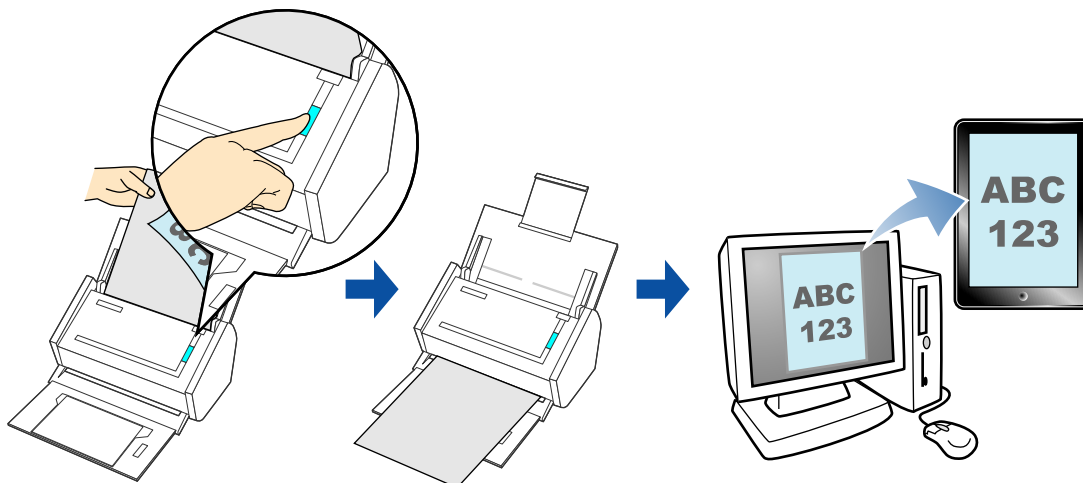
「SugarSync に保存」画面では、ファイル名を変更したり、SugarSync の同期フォルダーを指定したりできます。
「SugarSync に保存」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

ファイルの保存先に SugarSync の同期フォルダー以外を指定した場合、保存されたファイルは SugarSync と同期の対象になりません。

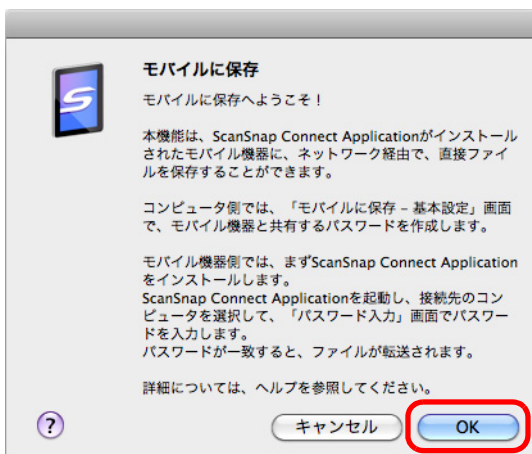
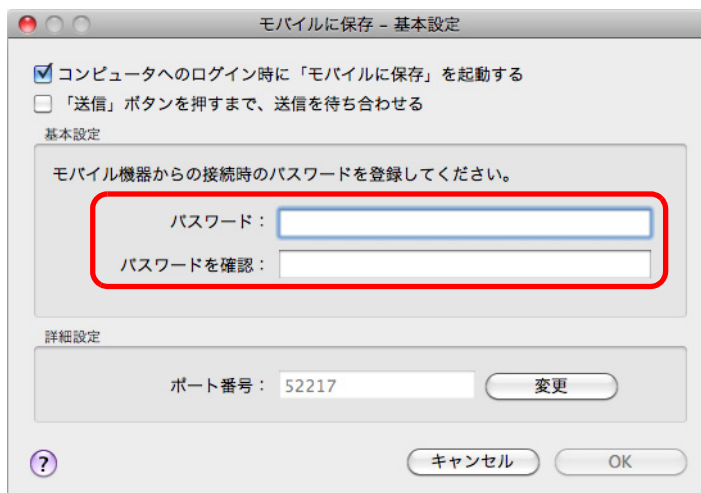
9. ［保存］ボタンをクリックします。

⇒ イメージデータが、SugarSync の同期フォルダーに保存されます。

- 「SugarSync に保存」画面表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「SugarSync に保存」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- 「SugarSync に保存」画面表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

■ モバイル機器に保存します

イメージデータを PDF ファイルまたは JPEG ファイルとして、モバイル機器に保存する方法について説明します。

- コンピュータに接続できるモバイル機器は、1 台だけです。
- 本機能を使用するには、接続するモバイル機器に ScanSnap Connect Application がインストールされている必要があります。各モバイル機器用の ScanSnap Connect Application は、アプリケーションマーケット（App Store など）からダウンロードしてください。
  モバイル機器用の ScanSnap Connect Application が動作するオペレーティングシステムは、以下のとおりです。
  - iOS 4.2.1 以降
- モバイル機器 に一度に保存できるイメージデータのファイル数およびファイルサイズは、以下のとおりです。
  - ファイル数：100 まで
  - ファイルサイズ：1024M バイト
- モバイルに保存の初回起動時は、ファイアーウォールのブロックの警告が表示されることがあります。表示された場合は、「許可」を選択してください。

- モバイルに保存の初回起動時は、以下のメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると「モバイルに保存 - 基本設定」画面が表示されます。

「モバイルに保存 - 基本設定」画面では、モバイル機器と接続するためのパスワードを設定してください。
そのほかの設定項目の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

- モバイルに保存が起動中は、メニューバーにモバイルに保存のアイコンが表示されます。
  モバイルに保存のアイコンは、コンピュータとモバイル機器との通信状態を示しています。
  通信状態によって表示されるアイコンは、以下のとおりです。

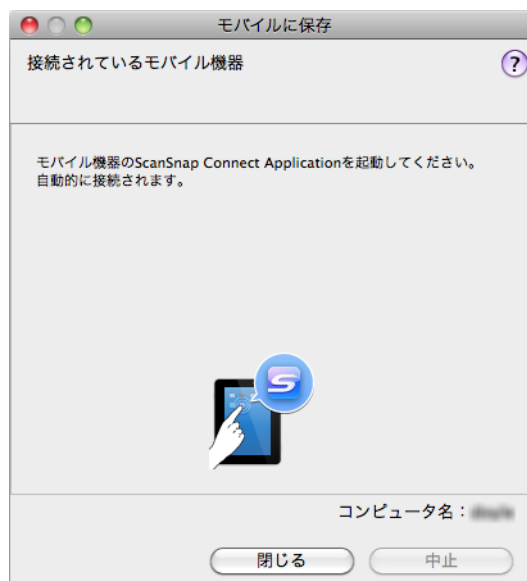
通信状態	モバイルに保存のアイコン
受付待ち	
待機中	
送信中	
送信中エラー	
受付不可	

アプリケーションに自動連携する場合、クイックメニューを使用する場合 / 使用しない場合、および既存のファイルをモバイル機器に保存する場合の操作手順について説明します。それぞれ、以下を参照してください。

- アプリケーションに自動連携する場合（→ 400 ページ）
- クイックメニューを使用する場合（→ 403 ページ）
- クイックメニューを使用しない場合（→ 406 ページ）
- 既存のファイルをモバイル機器に保存する場合（→ 410 ページ）

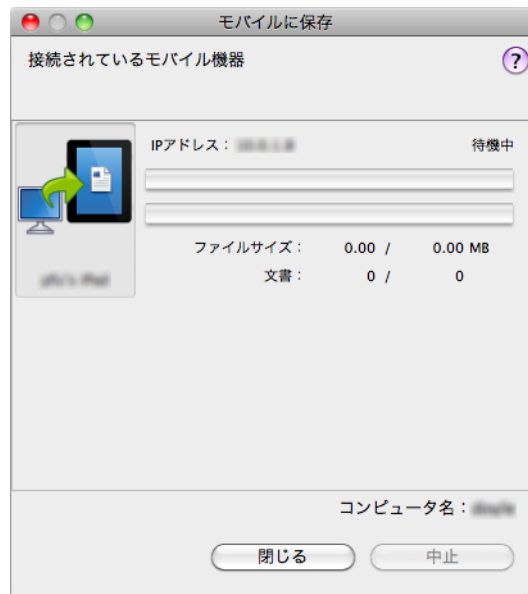
＜アプリケーションに自動連携する場合＞

- モバイル機器側の機能および使用方法についての詳細は、ScanSnap Connect Application ユーザーズガイド（iOS 編）を参照してください。
- アクティブ連携については、「アプリケーションの自動連携」（320 ページ）を参照してください。

1. Finder から、「アプリケーション」→「ScanSnap」→「モバイルに保存」をダブルクリックします。

⇒「モバイルに保存」画面が表示されます。

2. モバイル機器からコンピュータに接続します。

モバイル機器からコンピュータへの接続方法については、ScanSnap Connect Application ユーザーズガイド（iOS 編）を参照してください。

⇒ モバイル機器とコンピュータが接続されると、「モバイルに保存」画面にコンピュータと接続中のモバイル機器が表示されます。

3. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

4. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

モバイルに保存に自動連携する場合は、モバイルに保存がアクティブ状態（メニューバーにモバイルに保存のメニューが表示されている状態）のときに、ScanSnap の［Scan］ボタンを押して原稿の読み取りを開始してください。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、イメージデータがコンピュータからモバイル機器に送信されます。

「モバイルに保存 - 基本設定」画面の「「送信」ボタンを押すまで、送信を待ち合わせる」チェックボックスにチェックを付けた場合は、「モバイルに保存」画面に［送信］ボタンが表示されます。［送信］ボタンをクリックすると、イメージデータがモバイル機器に送信されます。

5. イメージデータの送信が完了したら、［閉じる］ボタンをクリックして「モバイルに保存」画面を閉じます。

「モバイルに保存」画面は、モバイル機器とコンピュータの接続が解除されると自動的に閉じられます。

＜クイックメニューを使用する場合＞

クイックメニューを使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている必要があります。
クイックメニューを使用する場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用する場合」（294 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

2. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、クイックメニューが表示されます。

すでにモバイルに保存が起動されていて、アクティブ状態（メニューバーにモバイルに保存のメニューが表示されている状態）の場合は、モバイルに保存に自動連携され、クイックメニューは表示されません。
クイックメニューを表示するには、メニューバーのメニューをモバイルに保存以外に変更してから、再度原稿を読み取ってください。

3. 「モバイルに保存」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。

1. 「モバイルに保存」アイコンの下にある「設定」をクリックします。

⇒「モバイルに保存 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「モバイルに保存 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3. ［OK］ボタンをクリックして、「モバイルに保存 - 設定」画面を閉じます。

4. 「モバイルに保存」アイコンをクリックします。

- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。モバイルに保存に連携してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動 / 削除 / 名前の変更などの操作を行わないでください。

⇒「モバイルに保存」画面が表示されます。

5. モバイル機器からコンピュータに接続します。

モバイル機器からコンピュータへの接続方法については、ScanSnap Connect Application ユーザーズガイド（iOS 編）を参照してください。

⇒ モバイル機器とコンピュータが接続されると、「モバイルに保存」画面にコンピュータと接続中のモバイル機器が表示され、イメージデータがモバイル機器に送信されます。

- 「モバイルに保存 - 基本設定」画面の「「送信」ボタンを押すまで、送信を待ち合わせる」チェックボックスにチェックを付けた場合は、「モバイルに保存」画面に［送信］ボタンが表示されます。［送信］ボタンをクリックすると、イメージデータがモバイル機器に送信されます。
- モバイル機器側の機能および使用方法についての詳細は、ScanSnap Connect Application ユーザーズガイド（iOS 編）を参照してください。

6. イメージデータの送信が完了したら、［閉じる］ボタンをクリックして「モバイルに保存」画面を閉じます。

「モバイルに保存」画面は、モバイル機器とコンピュータの接続が解除されると自動的に閉じられます。

＜クイックメニューを使用しない場合＞

クイックメニューを使用しない場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
クイックメニューを使用しない場合の読み取り手順については、「クイックメニューを使用しない場合」（299 ページ）を参照してください。

1. ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2.「アプリ選択」タブの「アプリケーションの選択」で、「モバイルに保存」を選択します。

この状態で読み取り設定を追加しておけば、次回から、「読み取り設定」ポップアップメニューまたは読み取り設定メニューで、連携するアプリケーションを設定できます。
読み取り設定の追加方法については、「読み取り設定の管理」（310 ページ）を参照してください。

3. **「モバイルに保存」に関する設定を変更します（不要な場合は手順 4. に進んでください）。**

1. ［アプリケーションの設定］ボタンをクリックします。

⇒「モバイルに保存 - 設定」画面が表示されます。

2. 設定を変更します。
「モバイルに保存 - 設定」画面の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

3. ［OK］ボタンをクリックして、「モバイルに保存 - 設定」画面を閉じます。

4. **［適用］ボタンをクリックします。**

5. **画面左上の［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。**

6. **ScanSnap に原稿をセットします。**

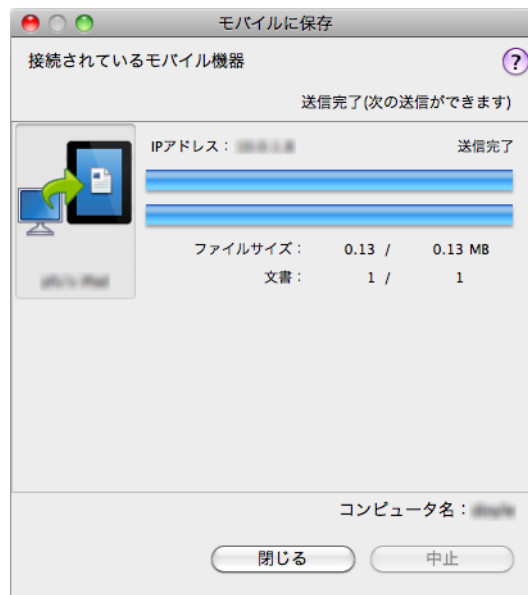
原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

7. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、コンピュータに「モバイルに保存」画面が表示されます。

8. モバイル機器からコンピュータに接続します。

モバイル機器からコンピュータへの接続方法については、ScanSnap Connect Application ユーザーズガイド（iOS 編）を参照してください。

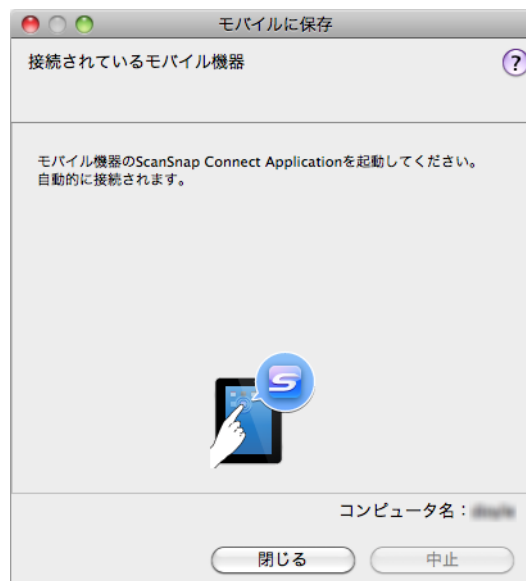
⇒ モバイル機器とコンピュータが接続されると、「モバイルに保存」画面にコンピュータと接続中のモバイル機器が表示され、イメージデータがモバイル機器に送信されます。

- 「モバイルに保存 - 基本設定」画面の「「送信」ボタンを押すまで、送信を待ち合わせる」チェックボックスにチェックを付けた場合は、「モバイルに保存」画面に［送信］ボタンが表示されます。［送信］ボタンをクリックすると、イメージデータがモバイル機器に送信されます。
- モバイル機器側の機能および使用方法についての詳細は、ScanSnap Connect Application ユーザーズガイド（iOS 編）を参照してください。

9. イメージデータの送信が完了したら、［閉じる］ボタンをクリックして「モバイルに保存」画面を閉じます。

「モバイルに保存」画面は、モバイル機器とコンピュータの接続が解除されると自動的に閉じられます。

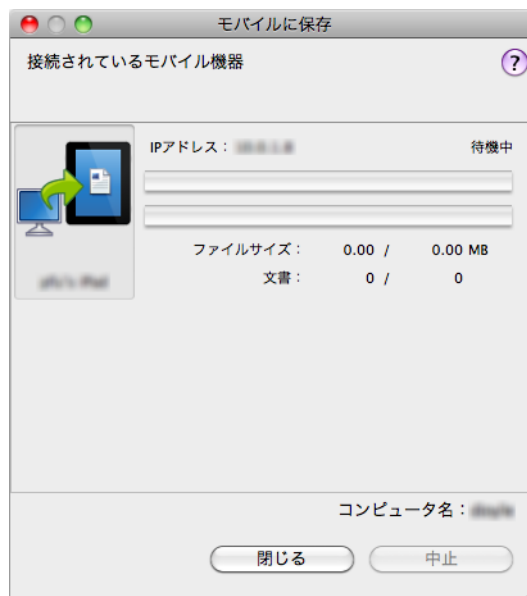
<既存のファイルをモバイル機器に保存する場合>

モバイル機器側の機能および使用方法についての詳細は、ScanSnap Connect Application ユーザーズガイド（iOS 編）を参照してください。

1. **Finder から、「アプリケーション」→「ScanSnap」→「モバイルに保存」をダブルクリックします。**

⇒「モバイルに保存」画面が表示されます。

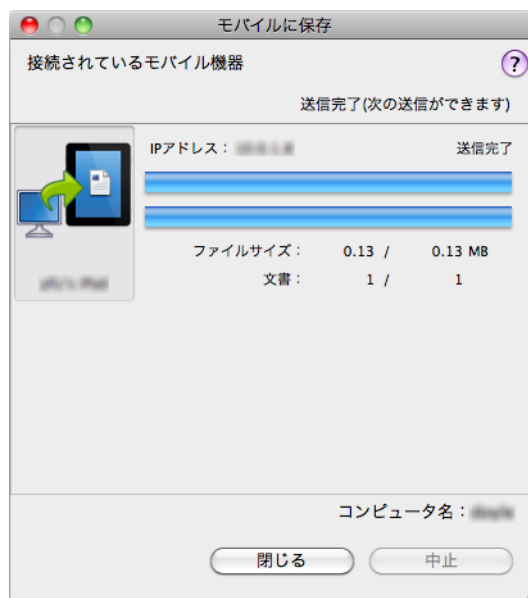
2. モバイル機器からコンピュータに接続します。

モバイル機器からコンピュータへの接続方法については、ScanSnap Connect Application ユーザーズガイド（iOS 編）を参照してください。

⇒ モバイル機器とコンピュータが接続されると、「モバイルに保存」画面に、コンピュータと接続中のモバイル機器が表示されます。

3. メニューバーの「ファイル」→「開く」を選択します。

⇒「開く」画面が表示されます。

4. **モバイル機器に保存したい PDF ファイルまたは JPEG ファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。**

⇒ ファイルが、コンピュータからモバイル機器に送信されます。

「モバイルに保存 - 基本設定」画面の「「送信」ボタンを押すまで、送信を待ち合わせる」チェックボックスにチェックを付けた場合は、「モバイルに保存」画面に［送信］ボタンが表示されます。［送信］ボタンをクリックすると、イメージデータがモバイル機器に送信されます。

5. **イメージデータの送信が完了したら、［閉じる］ボタンをクリックして「モバイルに保存」画面を閉じます。**

「モバイルに保存」画面は、モバイル機器とコンピュータの接続が解除されると自動的に閉じられます。

ScanSnap のいろいろな使い方

ここでは、ScanSnap の便利な使い方について説明します。

■ 片面だけを読み取ります

デフォルトでは、「両面読み取り」に設定されています。
片面読み取りをする場合は、以下の手順で設定を変更します。

1. ScanSnap Manager のメニューから「設定」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2.「読み取りモード」タブ の「読み取り面の選択」で、「片面読み取り」を選択します。

3. ScanSnap 設定画面の［適用］ボタンをクリックします。

4. **画面左上の［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。**

5. **ScanSnap に原稿をセットします。**

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

6. **ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。**

ScanSnap Manager のメニューから「片面読み取り」を選択すると、「読み取りモード」タブの「読み取り面の選択」が「両面読み取り」に設定されている場合でも、片面読み取りが開始されます。

⇒ 片面だけのイメージデータが保存されます。

■ カラー原稿をグレーまたは白黒で読み取ります

ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「カラーモードの選択」に「カラー自動判別」が設定されている場合、原稿を読み取ると、原稿のカラーモード（カラー、グレー、白黒）を自動判別して、判別した色のイメージデータが保存されます。
カラー原稿を読み取って、グレーまたは白黒のイメージデータを保存する場合は、以下の手順で設定を変更します。

1. ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2.「読み取りモード」タブの「カラーモードの選択」で、「グレー」または「白黒」を選択します。

3.［適用］ボタンをクリックします。

4. 画面左上の［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

5. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

6. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ グレーまたは白黒のイメージデータが保存されます。

■ イメージデータから白紙ページを削除します

イメージデータから、不要な白紙ページを自動的に削除できます。例えば、両面・片面原稿が混在している場合、両面読み取りを行えば、片面原稿の裏面（白紙ページ）のイメージデータは削除されます。
白紙ページを削除する場合は、以下の手順で設定を変更します。

- 以下のような原稿は、白紙ページとして識別される場合があります。
  - 白紙原稿内に、文字が極端に少ない場合
  - 白色でなくても、ページ全体が一様色（無地）の場合（黒色も含みます）

  このような原稿を読み取る場合は、「白紙ページを自動的に削除します」チェックボックスのチェックを外してください。
  また、読み取った原稿を廃棄する場合は、誤って削除されたページがないかどうかを必ずご確認ください。
- CardMinder と連携する場合は、白紙ページは削除されません。

1. ScanSnap Manager のメニューから「設定」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. 「読み取りモード」タブの［オプション］ボタンをクリックします。

⇒「読み取りモードオプション」画面が表示されます。

3. **「白紙ページを自動的に削除します」チェックボックスにチェックを付けます。**

4. **［OK］ボタンをクリックして、「読み取りモードオプション」画面を閉じます。**

5. **ScanSnap 設定画面の［適用］ボタンをクリックします。**

6. **画面左上の［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。**

7. **ScanSnap に原稿をセットします。**

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

8. **ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。**

⇒ 白紙ページの削除されたイメージデータが保存されます。

■ 文字列の傾きを補正します

文字列が傾いて印刷されている原稿を読み取った際に、文字列の傾きを検出し、その傾きを補正できます。
文字列の傾きを補正する場合は、以下の手順で設定を変更します。

- 最大± 5 度までの傾きを補正できます。
- 文字の傾きは、原稿中の文字列を基準にして補正するため、以下のような原稿を読み取ると、誤って補正されてイメージデータが傾く場合があります。
  その場合は、「文字列の傾きを自動的に補正します」チェックボックスのチェックを外してください。
  - 文字間や行間が極端に狭い、または文字が接触している原稿
  - 白抜きや装飾文字が多い原稿
  - 写真や図などが多く、文字の少ない原稿
  - 文字の背景に模様がある原稿
    例：絵や図と重なっている文字
  - 図面など、文字が一定方向を向いていない原稿
  - 斜め方向の長い直線がある原稿
  - 手書き文字の原稿
- A3 キャリアシートで読み取る場合、文字列の傾きは補正されません。

ScanSnap 設定画面の「原稿」タブ→「原稿サイズの選択」の設定が「サイズ自動検出」の場合は、常に原稿の傾きを補正します。そのため、「文字列の傾きを自動的に補正します」を有効にする必要はありません。

1. ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. 「読み取りモード」タブの［オプション］ボタンをクリックします。

⇒「読み取りモードオプション」画面が表示されます。

3. 「文字列の傾きを自動的に補正します」チェックボックスにチェックを付けます。

4. ［OK］ボタンをクリックして、「読み取りモードオプション」画面を閉じます。

5. ScanSnap 設定画面の［適用］ボタンをクリックします。

6. 画面左上の［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

7. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

8. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 文字列の傾きが補正されたイメージデータが保存されます。

■ いろいろな向きで読み取った原稿の向きを補正します

一般的なオフィスで使用されている文書の中には、同じ用紙サイズの原稿でも、原稿の向きが縦 / 横混在している場合があります。
このような原稿を読み取った場合に、自動的にイメージデータの向きを補正できます。
イメージデータの向きを補正する場合は、以下の手順で設定を変更します。

イメージデータの向きは、原稿中の文字列を基準にして補正するため、以下のような原稿を読み取ると、イメージデータの向きが補正されない場合があります。
その場合は、「原稿の向きを自動的に補正します」チェックボックスのチェックを外してください。

- 極端に大きい文字や小さい文字が多い原稿
- 文字間や行間が極端に狭い、または文字が接触している原稿
- 下線や罫線に接触している文字が多い原稿
- 写真や図などが多く、文字の少ない原稿
- 文字の背景が不均一色の原稿
  例：網掛けされている文字
- 装飾文字が多い原稿
  例：影、白抜きなど装飾がされている文字
- 文字の背景に模様がある原稿
  例：絵や図と重なっている文字
- 図面など、文字が一定方向を向いていない原稿
- アルファベット大文字だけで書かれている原稿
- 手書き文字の原稿
- 傾いた原稿
- サポート言語（日本語/英語/フランス語/ドイツ語/イタリア語/スペイン語/ロシア語/ポルトガル語）以外の言語の原稿
- 複雑なレイアウトの原稿
- ノイズの多い原稿
- 薄い文字の原稿
- かすれた文字の原稿

1. ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. 「読み取りモード」タブの［オプション］ボタンをクリックします。

⇒「読み取りモードオプション」画面が表示されます。

3. 「原稿の向きを自動的に補正します」チェックボックスにチェックを付けます。

4. ［OK］ボタンをクリックして、「読み取りモードオプション」画面を閉じます。

5. ScanSnap 設定画面の［適用］ボタンをクリックします。

6. 画面左上の［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

7. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

8. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 向きが補正されたイメージデータが保存されます。

■ 幅や長さの違う原稿を同時に読み取ります

幅や長さの違う原稿を同時にセットして読み取れます。
幅や長さの違う原稿を同時に読み取る場合は、以下の手順で設定を変更します。

1. ScanSnap Manager のメニューから「設定」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. 「原稿」タブの「原稿サイズの選択」で「サイズ自動検出」を選択します。

3.「マルチフィード検出」で「長さで検出」以外を選択します。

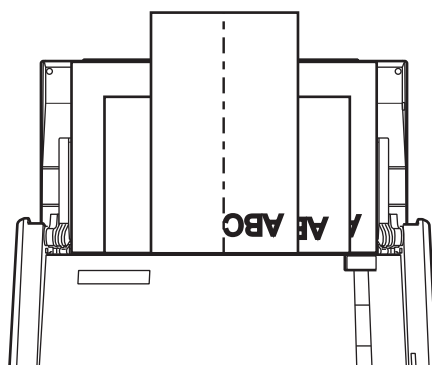
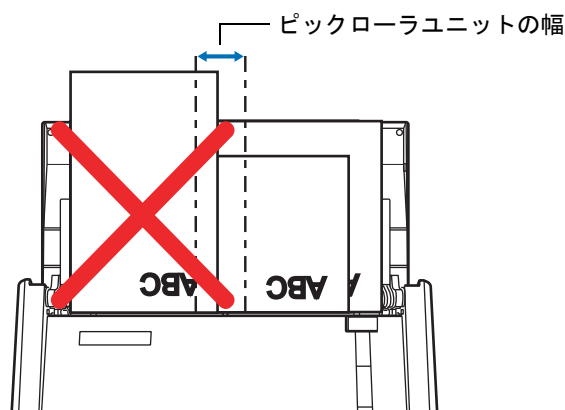
「長さで検出」を選択して幅や長さの違う原稿を同時に読み取ると、マルチフィードが検出され、読み取りできません。ただし、原稿サイズが Letter および A4 の原稿を同時に読み取った場合、マルチフィードは検出されません。

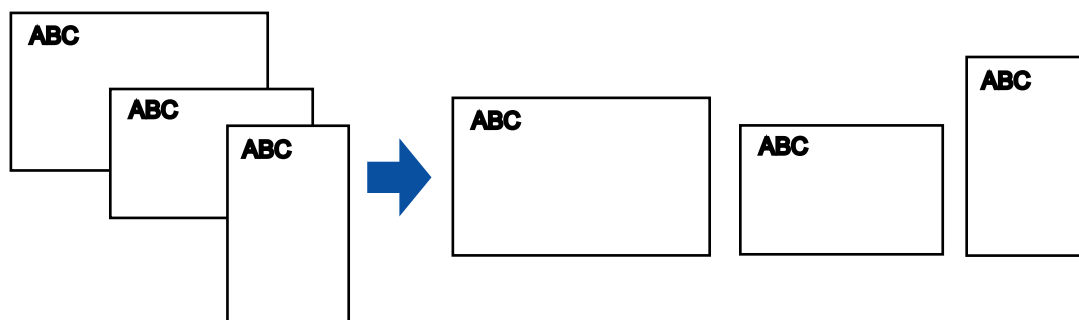
4. ScanSnap 設定画面の［適用］ボタンをクリックします。

5. 画面左上の［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

6. ScanSnap に原稿をセットします。

1. 原稿の先端をそろえます。

2. 原稿を給紙カバー（原稿台）の中央にセットします。

- すべての原稿が、ピックローラユニット（中央）の上に重なるようにセットしてください。
  ピックローラユニットから離れた位置に原稿があると、給紙できません。

- サイドガイドは、読み取る原稿の中で最大幅の原稿に合わせてください。
- 最大幅以外の原稿は、まっすぐ読み取られるようにセットしてください。原稿が傾いて読み取られた場合、イメージデータの乱れ（イメージデータの欠け / イメージデータに斜めの線が入る）や、原稿サイズと一致しないイメージデータが保存される、などの現象が発生する場合があります。原稿がまっすぐ読み取られない場合は、幅の同じ原稿に分けて、継続読み取りを有効にして、読み取ることを推奨します。
- サイドガイドを原稿の幅に合わせていない場合、原稿づまりとなることがあります。

7. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ それぞれの原稿サイズに一致するイメージデータが保存されます。

原稿が傾いて読み取られた場合に、原稿サイズと一致しないイメージデータが保存される場合があります。

■ A4 サイズより大きい原稿を読み取ります

A3 キャリアシートを使用すると、A3 や B4 のような A4 サイズより大きい原稿を読み取れます。原稿を 2 つ折りにして両面を読み取り、1 つのイメージデータにつなぎ合わせて保存します。

ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「オプション」→「文字列の傾きを自動的に補正します」チェックボックスは無効となります。

A4 サイズ以下の両面印刷された原稿を読み取って、両面を 1 つのイメージデータにつなぎ合わせることもできます。

1. ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

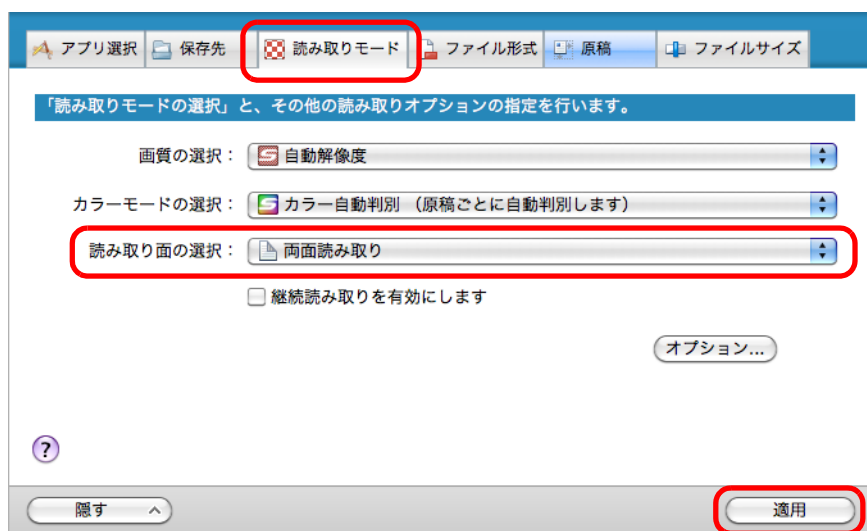
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2.「原稿」タブの「原稿サイズの選択」で「サイズ自動検出」を選択してから、［A3 キャリアシート設定］ボタンをクリックします。

⇒「A3 キャリアシート設定」画面が表示されます。

3. **「イメージの保存方法」で「表裏のイメージを見開きにして保存します」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。**

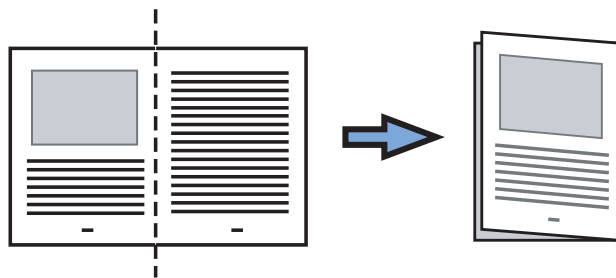
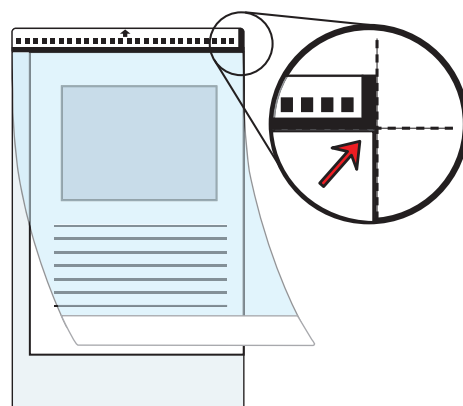
A3 キャリアシート設定の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

4. **「読み取りモード」タブの「読み取り面の選択」で、「両面読み取り」を選択し、［適用］ボタンをクリックします。**

「片面読み取り」を行うと、「表裏の画像をそれぞれ出力します」で片面読み取りを行った場合と同じ保存結果になります。

5. ScanSnap 設定画面の［適用］ボタンをクリックします。

6. 画面左上の［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

7. A3 キャリアシートに原稿をセットします。

1. 読み取り面が外側になるように、原稿を中央から 2 つに折り曲げます。
   原稿の折り曲げ部分がふくらまない程度まで、しっかりと折り曲げてください。

2. A3 キャリアシートの表面を開いて、原稿をはさみます。
   原稿の上側を A3 キャリアシートの上端、
   折り目側を右端に、隙間のできないように
   しっかりと合わせます。

A3 キャリアシートの白黒のパターンが印刷された部分を上にしたときに、右端に太い縦線のある面が、A3 キャリアシートの表面です。

8. A3 キャリアシートの白黒のパターンが印刷された部分を下（矢印の向き）にして、ScanSnap にセットします。

A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。

9. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 両面を読み取ると、表面および裏面のイメージデータが見開きの状態で保存されます。

- イメージデータの見開きの継ぎ目部分に、隙間ができたり、線が入ったりする場合があります。
  また、A3 キャリアシートに厚みのある原稿をセットして読み取ると、見開きの継ぎ目部分を中心にして、イメージデータがハの字に傾く場合があります。
  これらの現象は、以下を行うと改善される場合があります。
  - 原稿をしっかりと折り曲げる
  - A3 キャリアシートに原稿をはさむときに、原稿の端を A3 キャリアシートの端にしっかりと合わせる
- 「A3 キャリアシート設定」画面の「保存するイメージのサイズ」に「サイズ自動選択」が設定されている場合、「保存するイメージのサイズ」で選択可能な定型サイズ（A3、B4、または 11 × 17 インチ）の中から最適なサイズが選択されます。ただし、原稿によっては、保存されるイメージデータのサイズが原稿より小さくなる場合があります。
  例：A3 サイズの原稿の中央に、A4 サイズに収まる範囲で絵や文字が印刷されている場合
  ⇒ B4 サイズで保存されます。
  原稿サイズと同じサイズでイメージデータを保存したい場合は、「保存するイメージのサイズ」に原稿と同じサイズを設定してください。
- 原稿の折り曲げ部分の検出誤差により、イメージデータの見開きの継ぎ目部分が欠ける場合があります。その場合には、A3 キャリアシートに原稿をはさむときに、原稿の折り曲げ部分を A3 キャリアシートの端から 1mm ほど内側にずらしてください。

■ 写真や切り抜きなどの原稿を読み取ります

A3 キャリアシートを使用すると、傷付けたくない写真や、資料の切り抜きなど非定型サイズの原稿を読み取れます。
写真や資料の切り抜きなどの原稿を読み取る場合は、以下の手順で設定を変更します。

ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「オプション」→「文字列の傾きを自動的に補正します」チェックボックスは無効となります。

1. ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2.「原稿」タブの「原稿サイズの選択」で「サイズ自動検出」を選択してから、［A3 キャリアシート設定］ボタンをクリックします。

⇒「A3 キャリアシート設定」画面が表示されます。

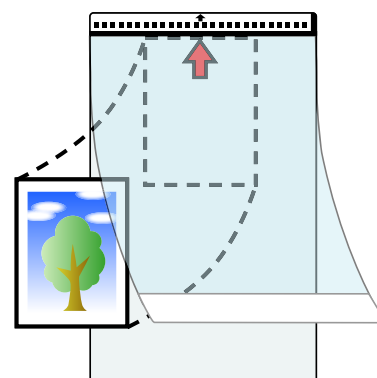
3.「イメージの保存方法」で「表裏のイメージをそれぞれ保存します」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

A3 キャリアシート設定の詳細については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

4. ScanSnap 設定画面の［適用］ボタンをクリックします。

5. 画面左上の［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

6. A3 キャリアシートに原稿をセットします。

A3 キャリアシートを開いて、原稿を A3 キャリアシートの幅方向に対して中央に置き、原稿の上側を A3 キャリアシートの上端に突き当ててはさんでください。

7. A3 キャリアシートの白黒のパターンが印刷された部分を下（矢印の向き）にして、ScanSnap にセットします。

原稿の裏面が手前側になるようにセットしてください。
A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。

8. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ イメージデータが保存されます。

- イメージデータは、「A3 キャリアシート設定」画面の「保存するイメージのサイズ」に設定されているサイズの中央に配置されます。
- 「A3 キャリアシート設定」画面の「保存するイメージのサイズ」に「サイズ自動選択」が設定されている場合、「保存するイメージのサイズ」で選択可能な定型サイズの中から最適なサイズが選択されます。ただし、原稿によっては、保存されるイメージデータのサイズが原稿より小さくなったり、切れたりする場合があります。
  例：A4 サイズの原稿の中央に A5 サイズで印刷されている場合
  ⇒ A5 サイズで保存されます。
  原稿サイズと同じサイズでイメージデータを保存したい場合は、「保存するイメージのサイズ」に原稿と同じサイズを設定してください。

以下のような現象が発生する場合は、原稿のうしろに白紙をはさんでください。
- 「A3 キャリアシート設定」画面の「保存するイメージのサイズ」に「サイズ自動選択」が設定されている場合、イメージデータが原稿と同じサイズで保存されない
- イメージデータに原稿の端の影が入る
- 特殊な形に切り抜いた原稿を A3 キャリアシートにはさんだ場合、イメージデータに原稿の形をした黒線が入る

■ 長尺原稿を読み取ります

最大長 863mm（34 インチ）までの原稿を読み取れます。
長尺原稿を読み取る方法は、以下のとおりです。

1. ScanSnap に原稿をセットします。

セットできる原稿の種類については、「読み取りできる原稿」（30 ページ）を参照してください。

- 長尺原稿は、1 枚ずつ給紙カバー（原稿台）にセットしてください。
- 長尺原稿を読み取る場合は、原稿のセット時および排出時に原稿を以下のように扱ってください。

  原稿のセット時
  読み取る原稿が給紙カバー（原稿台）から落ちないよう、原稿を手で押さえてセットしてください。

  原稿の排出時
  スタッカー側に十分なスペースを設け、読み取りが完了した原稿がスタッカーから落ちないように、手で受け取ってください。

2. ScanSnap の［Scan］ボタンを、青色で点滅するまで押します（3 秒以上）。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

1 枚目の原稿を長尺原稿として読み取った場合は、継続読み取り時、次の原稿も長尺原稿として読み取ります。

- 「読み取りモード」タブの「画質の選択」が「エクセレント」に設定されていると、以下のエラーメッセージが表示され、長尺原稿は読み取りできません。

- 長尺原稿の読み取り時は、現在の設定を無視して、以下の設定で読み取ります。
  - マルチフィード検出：しない
  - 原稿サイズの選択：サイズ自動検出

■ 複数の PDF ファイルに分割して保存します

イメージデータを一定のページごとに区切って、別々の PDF ファイルとして保存できます。
例えば、定型の伝票を一度に読み取って、1 枚ずつ PDF ファイルにして保存できます。
複数の PDF ファイルに分割して保存する場合は、以下の手順で設定を変更します。

1. ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. 「ファイル形式」タブの「ファイル形式の選択」で「PDF（.*pdf）」を選択してから、［オプション］ボタンをクリックします。

⇒「PDF フォーマットオプション」画面が表示されます。

3.「設定ページごとに PDF ファイルを作ります」を選択し、分割するページ数を指定します。

ここで指定したページ数のイメージデータが保存されるごとに、PDF ファイルが 1 つ作成されます。

「両面読み取り」の場合、1 枚の原稿は、表 / 裏で 2 ページとなります。
また、「読み取りモード」タブ→［オプション］ボタン→「読み取りモードオプション」画面→「白紙ページを自動的に削除します」チェックボックスにチェックが付いていると、白紙ページが混在していた場合にページがずれることがありますので、チェックを外しておくことを推奨します。

4.［OK］ボタンをクリックして、「PDF フォーマットオプション」画面を閉じます。

5. ScanSnap 設定画面の［適用］ボタンをクリックします。

6. 画面左上の［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

7. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

8. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 手順 3. で指定したページ数ごとの PDF ファイルが作成されます。

■ 検索可能な PDF ファイルを作成します

イメージデータのテキストを自動的に認識して、検索可能な PDF ファイルを作成できます。
検索可能な PDF ファイルを作成する場合は、以下の手順で設定を変更します。

1. ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. 「ファイル形式」タブの「ファイル形式の選択」で「PDF（*.pdf)」を選択します。

ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「画質の選択」の設定は、「ファイン」または「スーパーファイン」を推奨します。

3.「検索可能な PDF にします」チェックボックスにチェックを付けます。

⇒ 以下のメッセージが表示されます。

⇒［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。

- 対象言語
  対象言語を選択してください。選択できる言語は、日本語 / 英語 / フランス語 / ドイツ語 / イタリア語 / スペイン語 / ロシア語 / ポルトガル語です。
- 対象ページ
  先頭ページだけをテキスト認識する場合は「先頭ページのみ」を、全ページをテキスト認識する場合は「全ページ」を選択してください。

4.［適用］ボタンをクリックします。

5. 画面左上の［ ］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

6. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

7. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ イメージデータがテキスト認識され、検索可能な PDF ファイルが作成されます。

- 手順 3. の設定を有効にすると、お使いのコンピュータ環境によっては、処理に時間がかかる場合があります。
- 以下のような原稿（文字）のイメージデータは、正しくテキスト認識されない場合があります。
  その場合は、読み取り条件の「カラーモードの選択」を変更したり、「画質の選択」を高い解像度に変更したりすると、正しくテキスト認識される場合があります。
  - 手書き文字の原稿
  - 低解像度で読み取った小さな文字
  - 傾いた原稿
  - 指定した言語以外で書かれた原稿
  - イタリック文字で書かれた原稿
  - 上下添え字、複雑な数式
  - 文字の背景が不均一色の原稿
    例：網掛けされている文字
  - 装飾文字が多い原稿
    例：影、白抜きなど装飾がされている文字
  - 文字の背景に模様がある原稿
    例：絵や図と重なっている文字
  - 下線や罫線に接触している文字が多い原稿
- 以下のような原稿は、テキスト認識するのに非常に時間がかかる場合があります。
  - 複雑なレイアウトの原稿
  - 文字以外の情報が多い原稿
    例：よごれ、文字背景の網掛け
- 縦書き文字は、Spotlight やプレビューでは検索できません。Adobe Acrobat では検索できます。

■ PDF ファイルにキーワードを自動設定します

白黒原稿のタイトルなどの文字列を PDF ファイルのキーワードに設定して、PDF ファイルの検索に利用できます。
キーワードにしたい文字列を覆うように半透明の水性蛍光ペンで線を引き、その原稿を読み取ると、線を引いた文字列がテキスト認識されて、PDF ファイルのキーワードに設定されます。
以降、水性蛍光ペンで引いた線を「マーカー」、水性蛍光ペンを「マーカーペン」と表記します。

マーカーは、白黒原稿に以下のように引いてください。

- 半透明のマーカーペン（市販品で可）を使用してください。
  推奨するマーカーの色と濃さは、以下のとおりです。

ピンク	イエロー	ブルー	グリーン
ScanSnap	ScanSnap	ScanSnap	ScanSnap

- 1 つのマーカーは、1 行（横書き）または 1 列（縦書き）の文字列に、まっすぐに引いてください。
- サポート範囲のマーカーのサイズは、以下のとおりです。
  最小サイズ : 短辺 3mm × 長辺 10mm
  最大サイズ : 短辺 20mm × 長辺 150mm
- 1 ページに使用するマーカーの色は、1 色にしてください。

- キーワードにする文字列の上下左右が、完全に覆われるようにマーカーを引いてください。
  なお、マーカー全体の色が均一になるように引いてください。

良い例	悪い例 1 （塗り残しがある）	悪い例 2 （色が不均一）
ScanSnap	ScanSnap	ScanSnap

- マーカーの数は、1 ページにつき 10 か所以下にしてください。

- 以下の原稿に対しては、マーカー部分の文字列をキーワードとして設定できません。
  - カタログ、パンフレットなどのカラー原稿
  - 2 色以上のマーカーペンが使用されている原稿
  - マーカー以外の色が付いている原稿（マーカーペン以外のペンが使われている場合や、原稿がよごれている場合）
  - 1 ページに多数のマーカーが存在する原稿
- 以下に該当するマーカー部分の文字列は、キーワードとして設定できません。
  - マーカーのサイズがサポート範囲外の場合
  - 特殊なマーカーの引き方をした場合（斜めに引くなど）
  - 複数のマーカーが密集している場合
  - マーカーペンの色が薄い、または色がかすれている場合

    ScanSnap
- 複数の文字列にマーカーを引く場合は、マーカー同士の間隔を 5mm 以上空けてください。
  マーカー同士の間隔が狭すぎると、複数のマーカーがつながって、1 つのマーカーとして検出される場合があります。
- 以下の場合、マーカー周辺の文字列がキーワードとして設定される場合があります。
  - マーカーが上下（横書きの場合）または左右（縦書きの場合）の行に重なっている場合
- 以下の場合、マーカーが引かれていない文字列が、キーワードとして設定される場合があります。
  - カタログ、パンフレットなどのカラー原稿
  - 文字 / 図 / 絵 / 表 / 線などに色が付いている原稿
  - マーカーで囲まれた部分が存在する原稿
  - よごれている原稿

- 正しくキーワードを設定できないときは、解像度を上げて読み取ると、キーワードを設定できる場合があります。
- PDF ファイルに設定したキーワードは、プレビューのインスペクタや Adobe Acrobat および Adobe Reader の文書のプロパティで確認できます。

PDF ファイルにキーワードを自動設定する場合は、以下の手順で設定を変更します。

1. ScanSnap Manager のメニューから、「設定」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

2. **「ファイル形式」タブの「ファイル形式の選択」で「PDF（*.pdf）」を選択します。**

ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「画質の選択」の設定は、「ファイン」または「スーパーファイン」を推奨します。

3.「マーカー部分の文字列を PDF のキーワードにします」チェックボックスにチェックを付けます。

- 対象マーカー
  先頭マーカー部分の文字列だけをテキスト認識して PDF のキーワードにする場合は「先頭マーカーのみ」を、すべてのマーカー部分の文字列をテキスト認識して PDF のキーワードにする場合は「全マーカー」を選択してください。

縦書き原稿の場合は、「先頭マーカーのみ」を選択しないでください。

「先頭マーカーのみ」の使い方は、以下のとおりです。

- 横書き原稿の表題などを PDF のキーワードにしたい場合に使用してください。
  例：文書の表題だけにマーカーを引くと、マーカーを引いた文字列が、PDF のキーワードに設定され、表題の文字列で PDF ファイルを検索できるようになります。

プリンタの新製品動向

出荷動向の分析

昭和６１年度から平成元年度までのプリンタ装置別金額推移をグラフに示す。

１．インパクトシリアルプリンタ

- 複数のマーカーが並んでいる場合、原稿の最上部にあるマーカー部分の文字列がキーワードとして設定されます。
  例：以下の場合、マーカー A より上部にあるマーカー B の文字列がキーワードに設定されます。

- 対象言語
  対象言語を選択してください。選択できる言語は、日本語 / 英語 / フランス語 / ドイツ語 / イタリア語 / スペイン語 / ロシア語 / ポルトガル語です。

- 対象ページ
  先頭ページのマーカー部分だけをテキスト認識して PDF のキーワードにする場合は「先頭ページのみ」を、すべてのページのマーカー部分をテキスト認識して PDF のキーワードにする場合は「全ページ」を選択してください。

4. ［適用］ボタンをクリックします。

5. 画面左上の［］ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

6. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、「原稿のセット方法」（34 ページ）を参照してください。

7. ScanSnap の［Scan］ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ イメージデータのマーカー部分の文字列がテキスト認識され、キーワードが追加された PDF ファイルが作成されます。

- 手順 3. の設定を有効にすると、お使いのコンピュータ環境によっては、処理に時間がかかる場合があります。
- 以下のような原稿（文字）のイメージデータは、正しくテキスト認識されない場合があります。
  その場合は、読み取り条件の「画質の選択」を高い解像度に変更すると、正しくテキスト認識される場合があります。
  - 手書き文字の原稿
  - 低解像度で読み取った小さな文字
  - 傾いた原稿
  - 指定した言語以外で書かれた原稿
  - イタリック文字で書かれた原稿
  - 上下添え字、複雑な数式
  - 文字の背景が不均一色の原稿
    例：網掛けされている文字
  - 装飾文字が多い原稿
    例：影、白抜きなど装飾がされている文字
  - 文字の背景に模様がある原稿
    例：絵や図と重なっている文字
  - 下線や罫線に接触している文字が多い原稿
- 以下のような原稿は、テキスト認識するのに非常に時間がかかる場合があります。
  - 複雑なレイアウトの原稿
  - 文字以外の情報が多い原稿
    例：よごれ、文字背景の網掛け
- 原稿内の複数箇所で、同じ文字列にマーカーが引かれている場合は、PDF ファイルに同じキーワードが複数追加されます。
- キーワードとして追加する文字数の上限は、255 文字です。
- Adobe Acrobat および Adobe Reader でキーワードを確認すると、追加されたキーワードの先頭と末尾に「"」が表示される場合があります。
- Mac OS X v10.4 で、PDF ファイルのサイズが 500M バイト以上になる場合、キーワードは設定されません。

■ 2 つのファイルやページを見開き状態で保存します

ScanSnap 見開き作成を使用すると、ScanSnap Manager で作成された PDF ファイルおよび JPEG ファイルの 2 ファイル（複数ページの PDF ファイルの場合は 2 ページ）の、上下または左右を結合できます。結合したファイルまたはページは、見開き 1 ページの状態で保存されます。
機能の詳細および操作については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

困ったときには

原稿づまりなどのトラブルの対処方法については、ScanSnap Manager のヘルプの「困ったときには」を参照してください。
ScanSnap Manager のヘルプの「困ったときには」は、以下の方法で参照してください。

Windows

右クリックメニューから、「ヘルプ」→「困ったときには」を選択します。

Mac OS

ScanSnap Manager のメニューから、「ヘルプ」→「困ったときには」を選択します。

清掃方法

ここでは、清掃用品および ScanSnap 本体の清掃方法について説明します。

ScanSnap 使用時は、底面の温度が高くなることがありますが、装置動作や人体への影響はありません。ScanSnap を持ち運ぶ場合は、落とさないように注意してください。

清掃用品

清掃用品の品名および商品番号は、以下のとおりです。

品名	商品番号	出荷単位	備考
クリーナ F1	FI-C100CF1	1 本	容量：100ml
クリーニングワイプ （*1）	FI-C100CW	1 箱	24 袋入り
乾いた布（*2）	市販品	―	―
ScanAid（*3）	FI-611SA	―	―

*1 ：クリーニングワイプは、クリーナ F1 をしみこませたウェットティッシュタイプのクリーナーです。クリーナ F1 を布にしみこませる代わりに、本品を使用できます。
*2 ：繊維クズの発生しにくい布であれば使用可能です。
*3 ：ScanAid の詳細については、「ScanAid の購入」（492 ページ）を参照してください。

清掃用品のご購入については、「消耗品 / 清掃用品の購入先」（497 ページ）を参照してください。

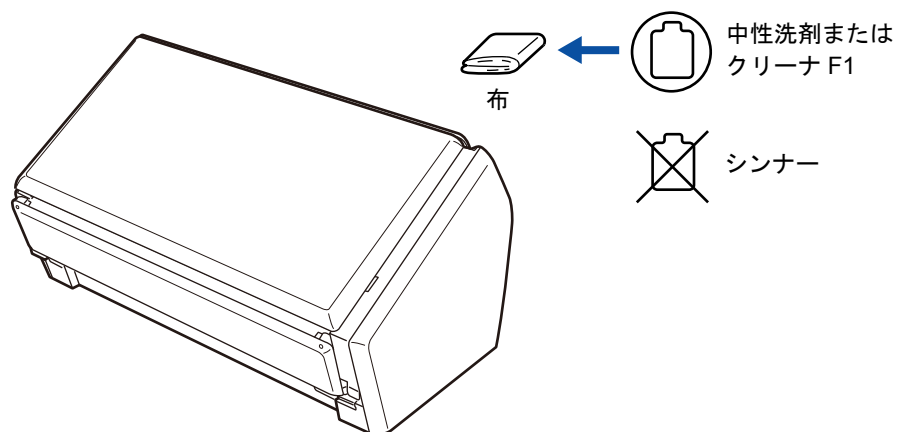
ScanSnap 外部の清掃

ScanSnap 外部の清掃方法は、以下のとおりです。

<清掃方法>

1. **ScanSnap に接続されているケーブルを抜きます。**

2. **乾いた布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布で清掃します。**

- シンナーなどの有機溶剤は、決して使用しないでください。
- 清掃中に、内部に水分が入らないように注意してください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないように柔らかい布でよくふき取ってください。

ScanSnap 内部の清掃

原稿の読み取りを繰り返していると、ScanSnap 内部に、紙粉やほこりなどがたまり、読み取り不良の原因となる場合があります。
ScanSnap 内部は、目安として、原稿を 1000 枚読み取るごとに清掃してください。ただし、この目安は読み取る原稿によって変わります。例えば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。

ScanSnap の読み取り枚数の確認方法は、以下のとおりです。

Windows

右クリックメニューから、「ヘルプ」→「ScanSnap Manager について」→［詳細］ボタンをクリックして表示される「ScanSnap Manager - 詳細情報」画面の「総スキャン枚数」を確認してください。

Mac OS

ScanSnap Manager のメニューから、「ヘルプ」→「ScanSnap Manager について」→［詳細］ボタンをクリックして表示される「ScanSnap Manager - 詳細情報」画面の「総スキャン枚数」を確認してください。

⚠ 警告

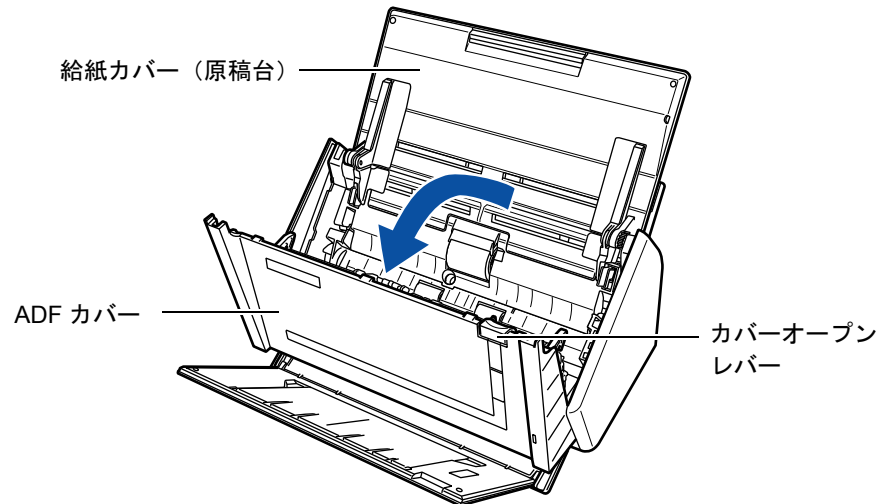
- ScanSnap を清掃する場合は、ScanSnap の電源を OFF にして、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。火災、感電の原因となることがあります。
- 内部の部品（パッドユニット、ピックローラユニットなど）は、小さなお子様の手の届く所に置かないでください。けがの原因となることがあります。
- 清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコールなどを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどが ScanSnap 内部に侵入し、故障や ScanSnap の異常の原因となることがあります。
  また、静電気などによるスパーク（火花）により引火するおそれがあります。
- ScanSnap 使用時は、内部のガラス表面が高温になります。
  内部を清掃する場合は、電源ケーブルをコンセントから抜き、15 分以上待ってから清掃してください。

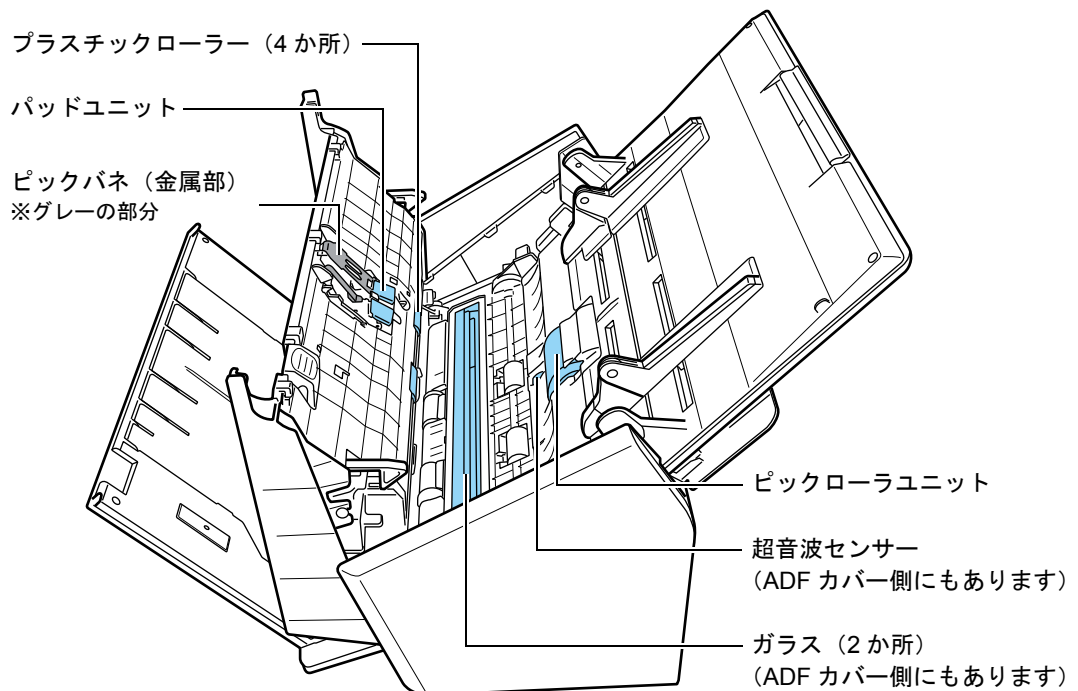
⚠ 注意

- 清掃時は、ScanSnap 内部を確認しながら、ピックバネ（金属部）に手や布が引っかからないように注意してください。ピックバネ（金属部）が変形して、けがの原因となることがあります。

<清掃方法>

1. **電源ケーブルをコンセントから抜きます。**

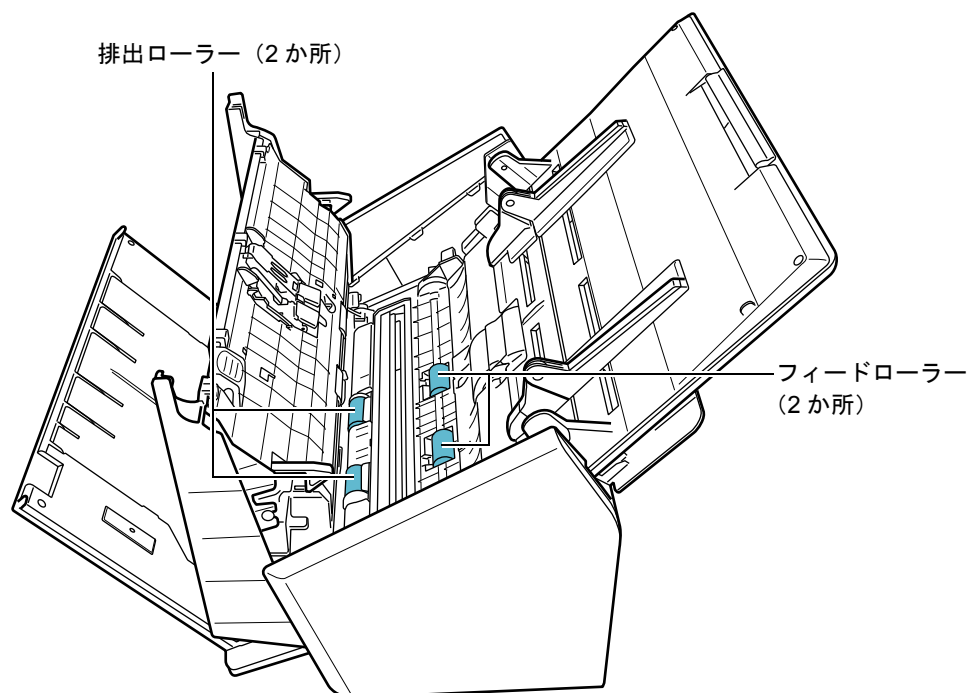
2. **カバーオープンレバーを手前に引いて、ADF カバーを開けます。**

3. **乾いた布に少量のクリーナ F1 をしみこませて、以下の箇所を清掃します。**

- ScanSnap 内部を清掃する際は、水や中性洗剤を使用しないでください。
- クリーナ F1 を大量に使用すると、なかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。
また、清掃箇所にクリーナー液が残らないように柔らかい布でよくふき取ってください。

- パッドユニット（ADF カバー側 1 か所）
  ゴム製のパッド表面に付着したよごれやほこりを、上から下に向かってふき取ります。このとき、ピックバネ（金属部）に、手や布が引っかからないように注意してください。
- ガラス（ADF カバー側 1 か所、本体側 1 か所）
  ガラス表面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。
- 超音波センサー（ADF カバー側 1 か所、本体側 1 か所）
  超音波センサー表面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。
- ピックローラユニット（本体側 1 か所）
  手動で上から下に向かって回転させながら、よごれやほこりを軽くふき取ります。ローラーの表面を傷めないように注意してください。異物が付着している場合、原稿づまりや原稿送り不良を起こすおそれがありますので、十分に清掃してください。
- プラスチックローラー（ADF カバー側 4 か所）
  手動で少しずつ回転させながら、よごれやほこりを軽くふき取ります。ローラーの表面を傷めないように注意してください。異物が付着している場合、原稿づまりや原稿送り不良を起こすおそれがありますので、十分に清掃してください。

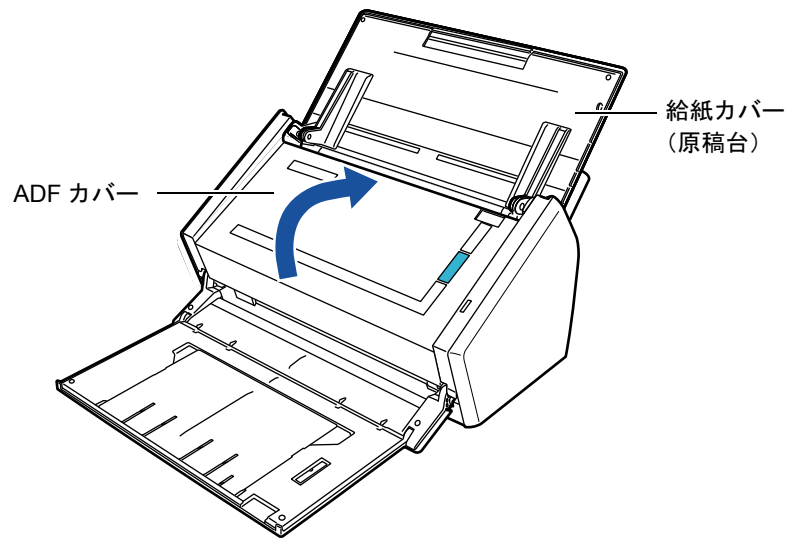
4. 電源ケーブルをコンセントに接続し、ADF カバーを開けた状態で、[Scan] ボタンを 3 秒間押します。

フィードローラーと排出ローラーの清掃時だけ、電源ケーブルをコンセントに接続してください。

5. 乾いた布に少量のクリーナ F1 をしみこませて、以下の箇所を清掃します。

- ScanSnap 内部を清掃する際は、水や中性洗剤を使用しないでください。
- クリーナ F1 を大量に使用すると、なかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。
  また、清掃箇所にクリーナー液が残らないように柔らかい布でよくふき取ってください。

- フィードローラー（本体側 2 か所）
  ［Scan］ボタンを押すと、一定量ローラーが回転します。ローラーの表面を傷めないように、よごれやほこりを軽くふき取ります。異物が付着している場合、原稿づまりや原稿送り不良を起こすおそれがありますので、十分に清掃してください。
- 排出ローラー（本体側 2 か所）
  ［Scan］ボタンを押すと、一定量ローラーが回転します。ローラーの表面を傷めないように、よごれやほこりを軽くふき取ります。異物が付着している場合、原稿づまりや原稿送り不良を起こすおそれがありますので、十分に清掃してください。

［Scan］ボタンを 6 回押すと、フィードローラーと排出ローラーが 1 回転します。

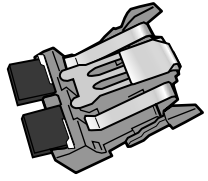
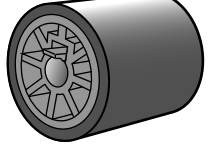
6. ADF カバーを閉じます。

⇒「カチン」と音がします。

ADF カバーが完全に閉じていることを確認してください。
完全に閉じられていないと、原稿づまりや原稿送り不良、画像不良を起こすおそれがあります。

消耗品

ここでは、消耗品の商品番号、交換周期、および交換方法について説明します。

⚠ 警告

- 消耗品を交換する場合は、ScanSnap の電源を OFF にして、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。火災、感電の原因となることがあります。
- 内部の部品（パッドユニット、ピックローラユニットなど）は、小さなお子様の手の届く所に置かないでください。けがの原因となることがあります。

ScanSnap 使用時は、底面の温度が高くなることがありますが、装置動作や人体への影響はありません。ScanSnap を持ち運ぶ場合は、落とさないように注意してください。

消耗品の商品番号と交換周期

消耗品の商品番号と交換周期の目安は、以下のとおりです。

No.	品　名	商品番号	交換周期（目安）
1	パッドユニット	FI-C611P	5 万枚または 1 年ごとに交換
2	ピックローラユニット	FI-C611PR	10 万枚または 1 年ごとに交換
3	ScanAid（*）	FI-611SA	―

＊　: ScanAid の詳細については、「ScanAid の購入」（492 ページ）を参照してください。

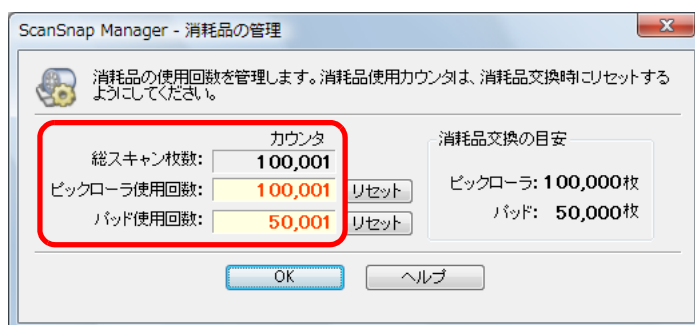
交換周期は、A4 上質 80g/m^2 用紙を使用した場合の目安であり、使用する用紙によって交換周期が異なります。
当社指定の消耗品以外は使用しないでください。

消耗品のご購入については、「消耗品 / 清掃用品の購入先」（497 ページ）を参照してください。

消耗品の使用回数を確認する方法は、以下のとおりです。

Windows

1. 右クリックメニューから、「消耗品の管理」を選択します。

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
⇒「ScanSnap Manager - 消耗品の管理」画面が表示されます。

2. 消耗品の使用回数を確認します。

⇒「消耗品交換の目安」を参考にして、消耗品の交換をしてください。

Mac OS

1. ScanSnap Manager のメニューから、「消耗品の管理」を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。
⇒「ScanSnap Manager - 消耗品の管理」画面が表示されます。

2. 消耗品の使用回数を確認します。

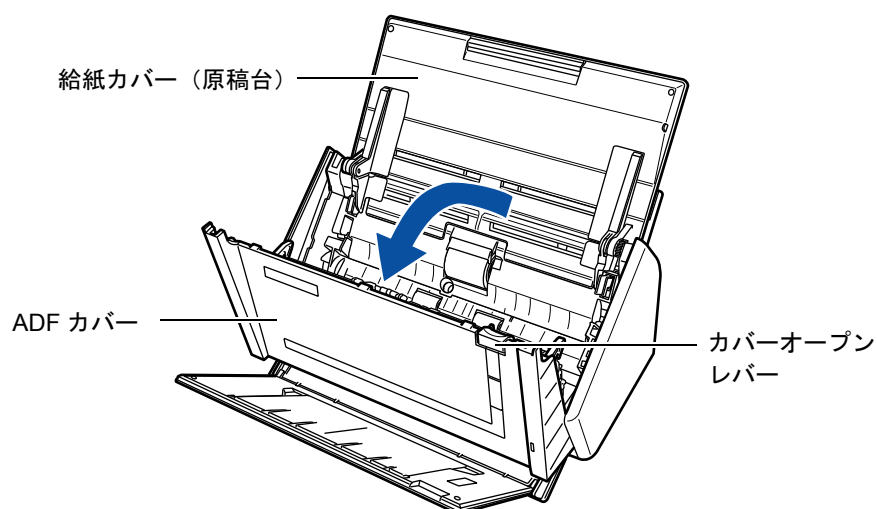
⇒「消耗品交換の目安」を参考にして、消耗品の交換をしてください。

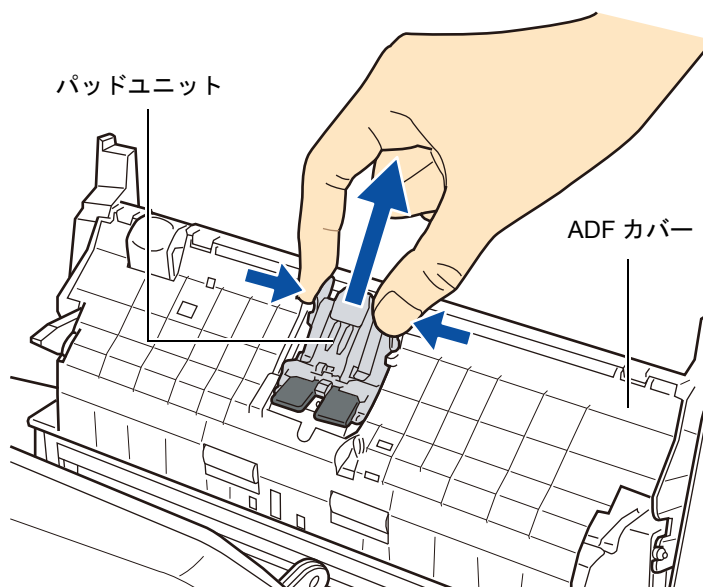
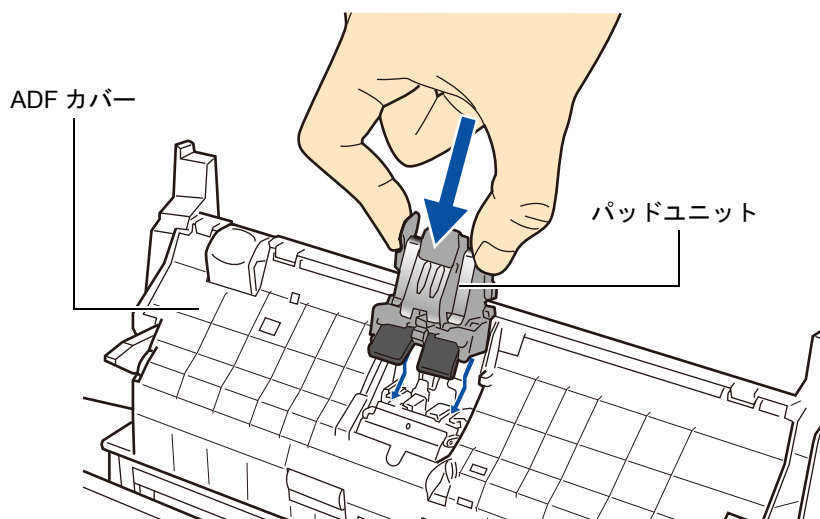
パッドユニットの交換

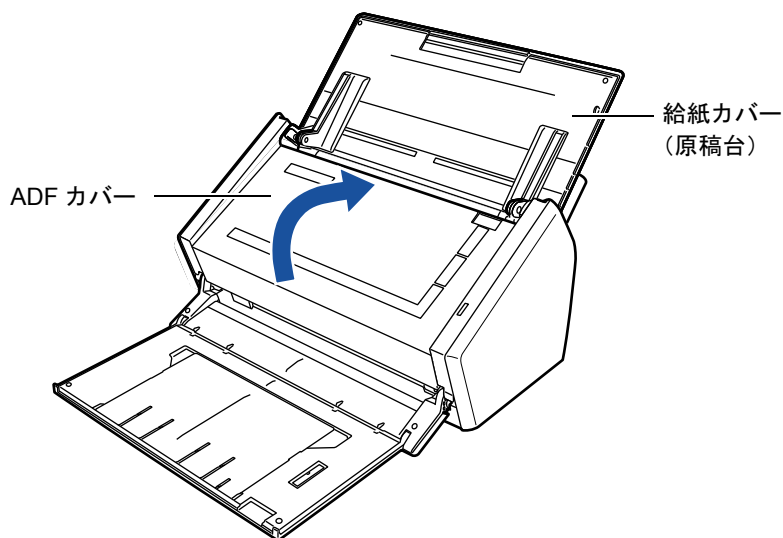
パッドユニットの交換方法は、以下のとおりです。

1. **電源ケーブルをコンセントから抜きます。**

2. **給紙カバー（原稿台）上に原稿がある場合は、原稿を取り除きます。**

3. **カバーオープンレバーを手前に引いて、ADF カバーを開けます。**

4. **パッドユニットを取り外します。**

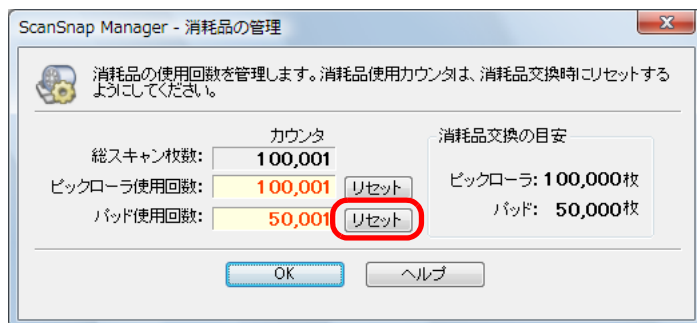
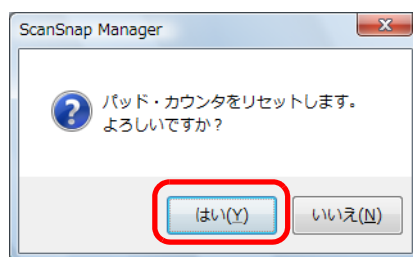
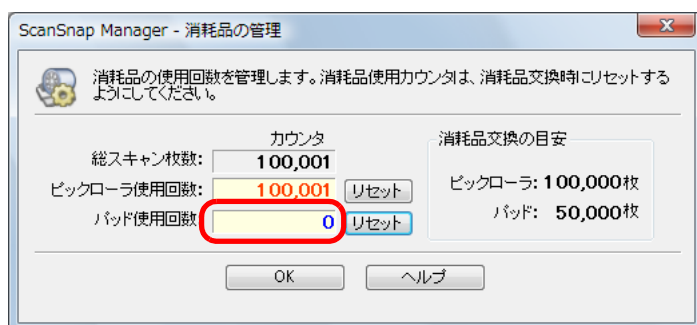
パッドユニットの両端をつまんで、矢印の方向に取り外します。

5. 新しいパッドユニットを取り付けます。

パッドユニットがしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりや原稿送り不良を起こすおそれがあります。

6. ADF カバーを閉じます。

⇒「カチン」と音がします。

7. 電源ケーブルをコンセントに接続し、ScanSnap の電源を ON にします。

8. パッドユニットの使用回数をリセットします。

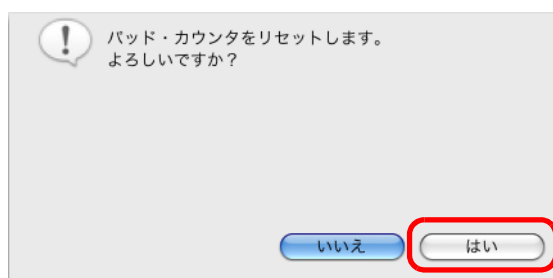
Windows

1. 右クリックメニューから、「消耗品の管理」を選択します。
   右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。
   ⇒「ScanSnap Manager - 消耗品の管理」画面が表示されます。
2. 「パッド使用回数」の［リセット］ボタンをクリックします。

   ⇒ 確認画面が表示されます。
3. ［はい］ボタンをクリックします。

   ⇒「パッド使用回数」が 0 になります。

1. ScanSnap Manager のメニューから、「消耗品の管理」を選択します。
   ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」(290 ページ) を参照してください。
   ⇒「ScanSnap Manager - 消耗品の管理」画面が表示されます。

2. 「パッド使用回数」の［リセット］ボタンをクリックします。

   ⇒確認画面が表示されます。

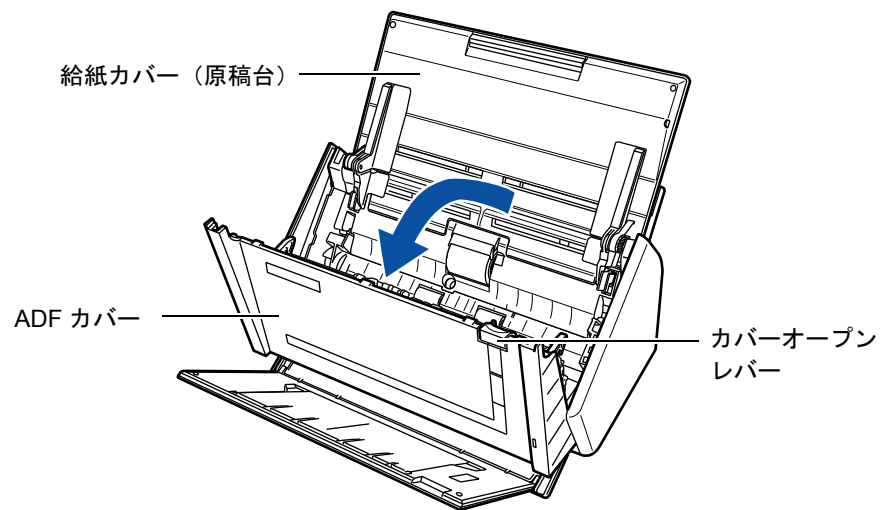
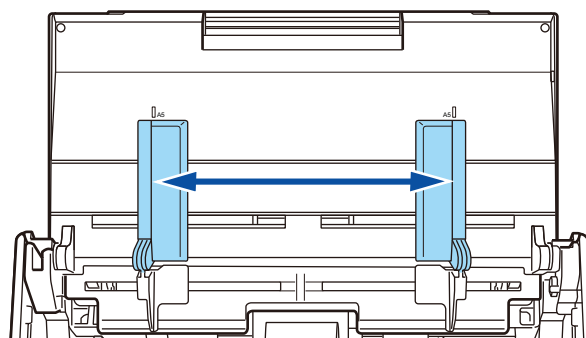
3. ［はい］ボタンをクリックします。

   ⇒「パッド使用回数」が 0 になります。

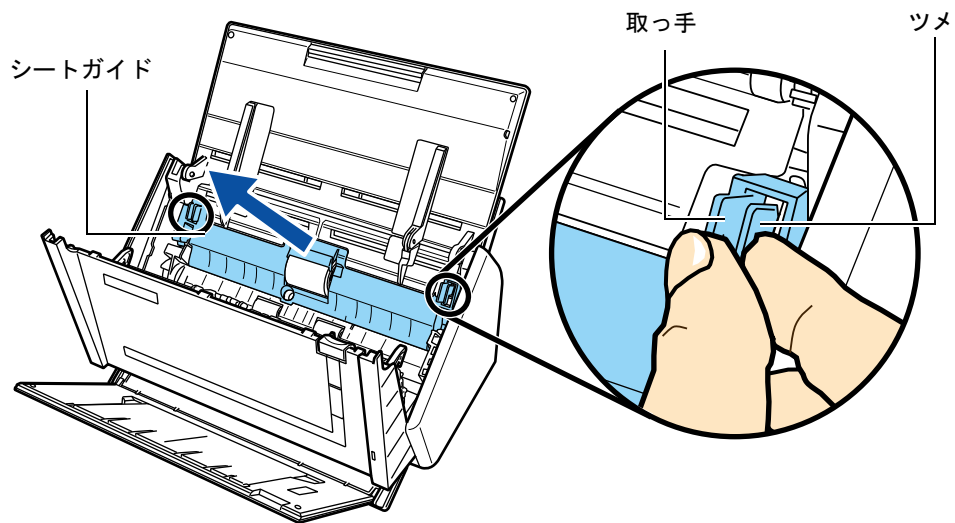
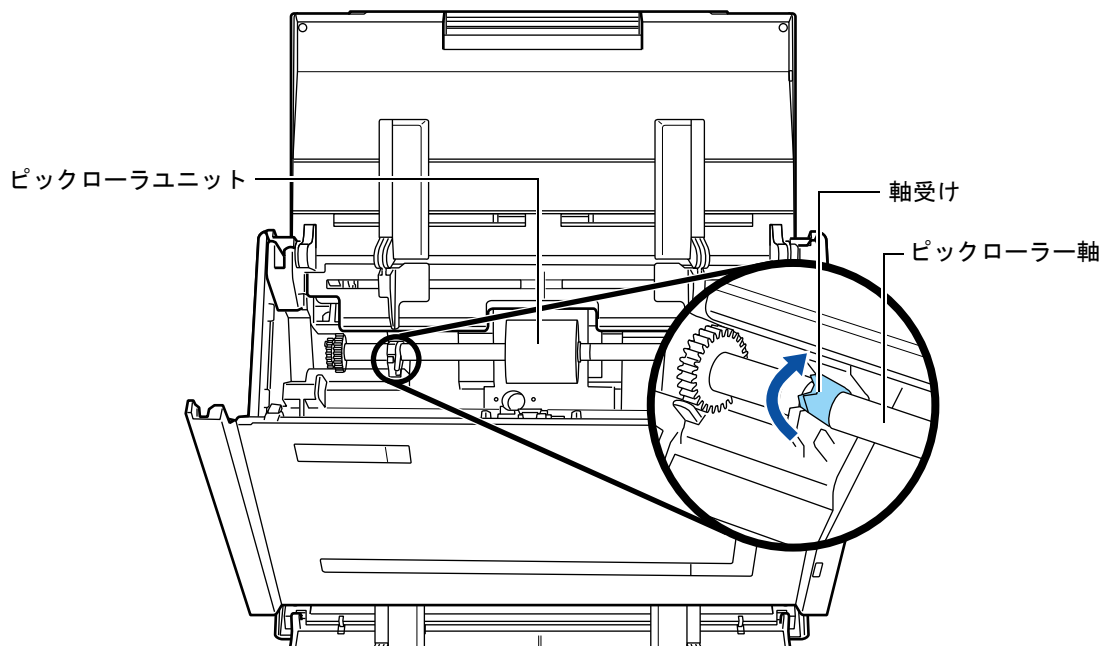
ピックローラユニットの交換

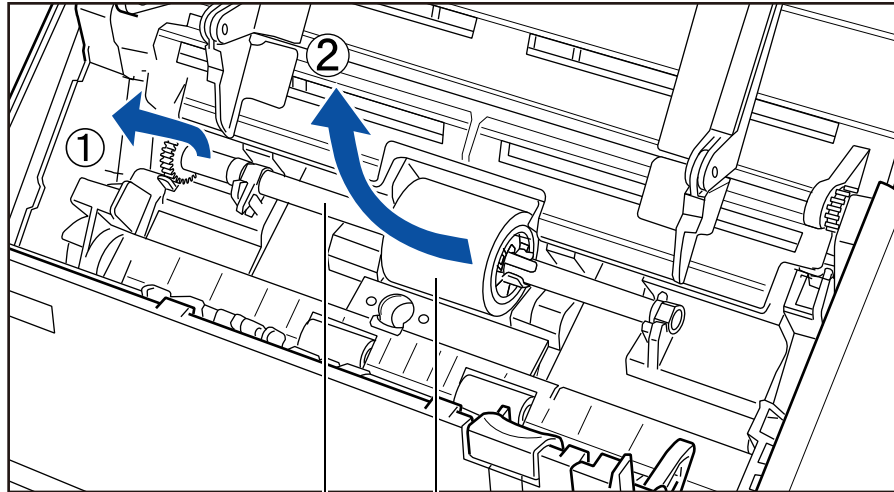
ピックローラユニットの交換方法は、以下のとおりです。

1. **電源ケーブルをコンセントから抜きます。**

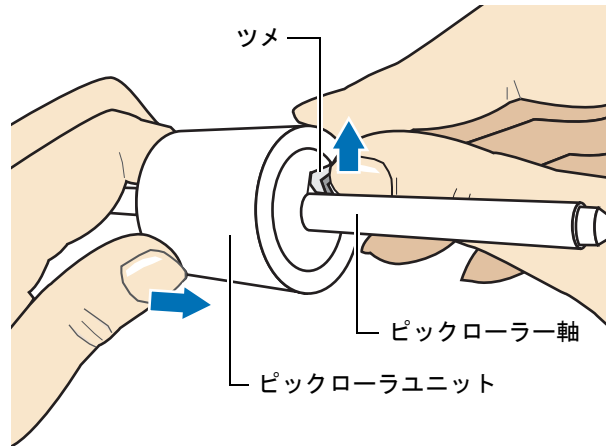
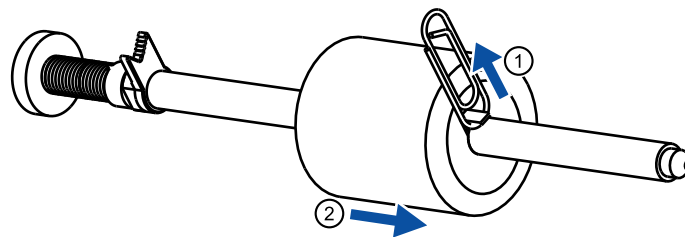
2. **給紙カバー（原稿台）上に原稿がある場合は、原稿を取り除きます。**

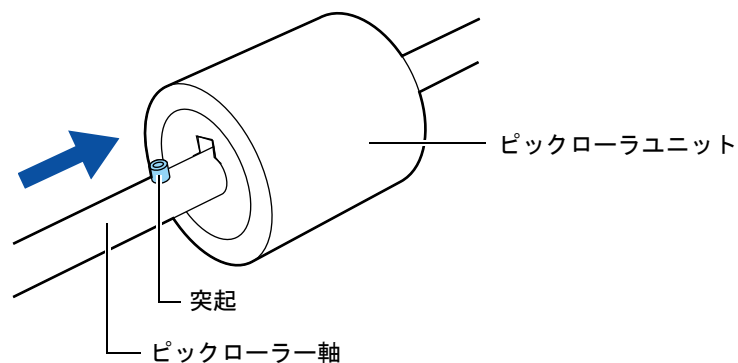
3. **カバーオープンレバーを手前に引いて、ADF カバーを開けます。**

4. **サイドガイドを「A5」サイズの位置に合わせます。**

5. シートガイドを取り外します。

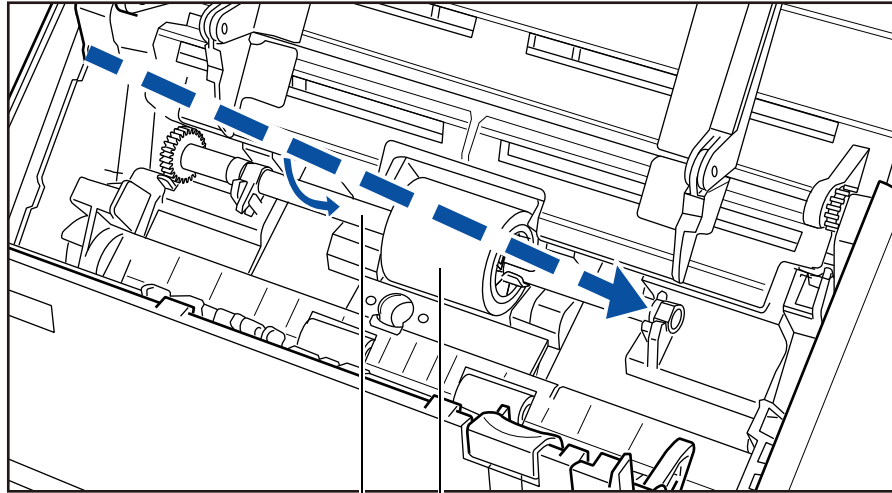
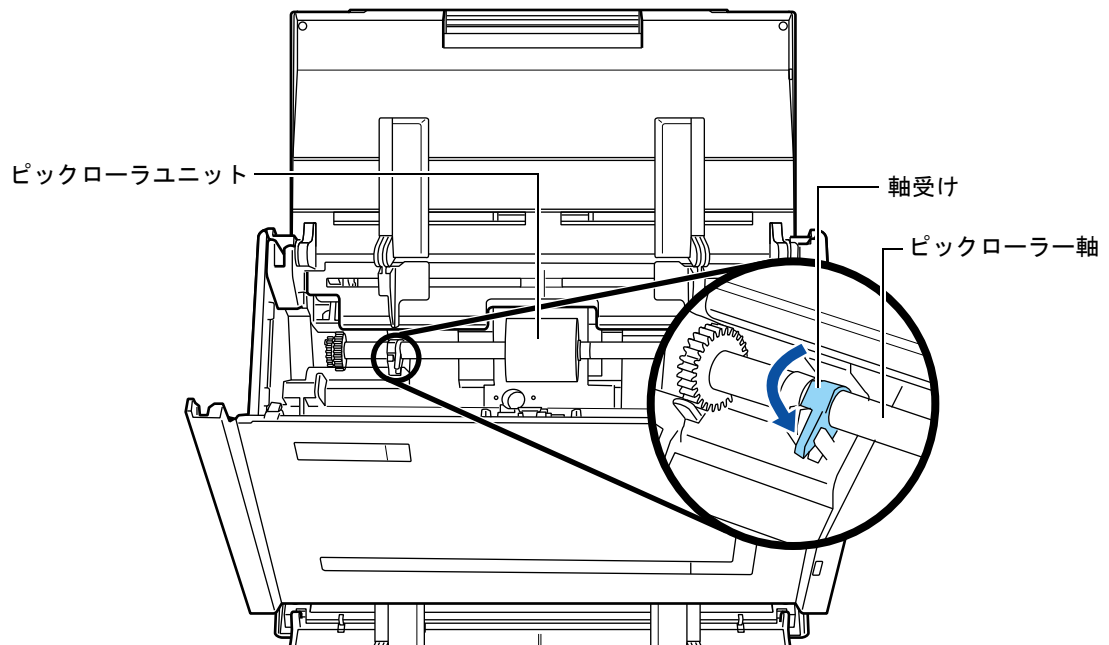
両端の取っ手をつまみ、ツメを内側に押しながら、持ち上げて取り外します。

6. 軸受け（左側）を回転させます。

7. ピックローラー軸を取り外します。

ピックローラー軸の左側を軽く引き上げ（5mm 程度）、左側にずらしてから、上に持ち上げて取り外します。

ピックローラユニットの周辺が紙粉でよごれている場合があります。
そのまま放置すると、画像不良の原因となりますので、乾いた布に少量のクリーナ F1 をしみこませて、紙粉をふき取ってください。
水や中性洗剤、エアスプレーは使用しないでください。

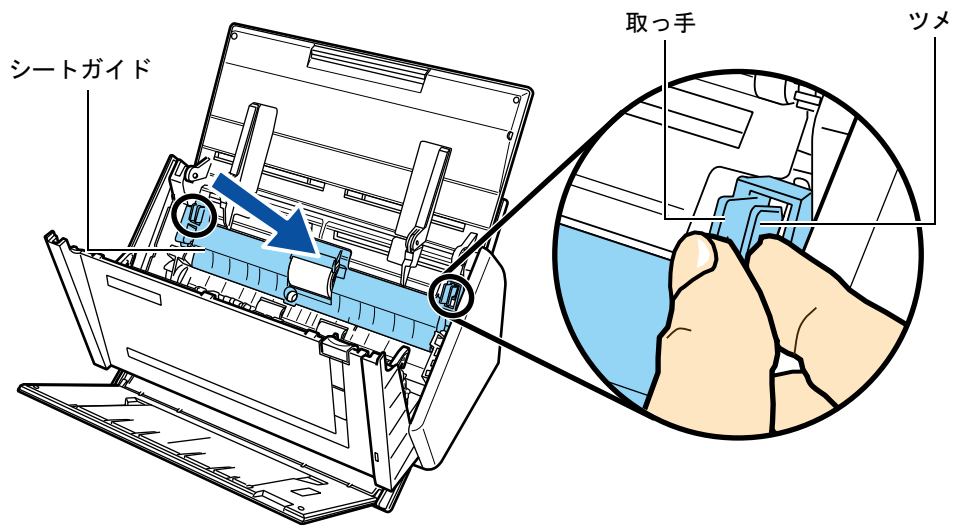
8. ピックローラユニットを、ピックローラー軸から取り外します。

⇒ ピックローラユニットのツメを持ち上げながら、ピックローラー軸を引き抜きます。

指のつめを使って持ち上げると、指のつめが傷付いたり、欠けたりする可能性があります。
うまく持ち上げられない場合は、クリップなどを使ってピックローラユニットのツメを持ち上げてください。

9. 新しいピックローラユニットを、ピックローラー軸に取り付けます。

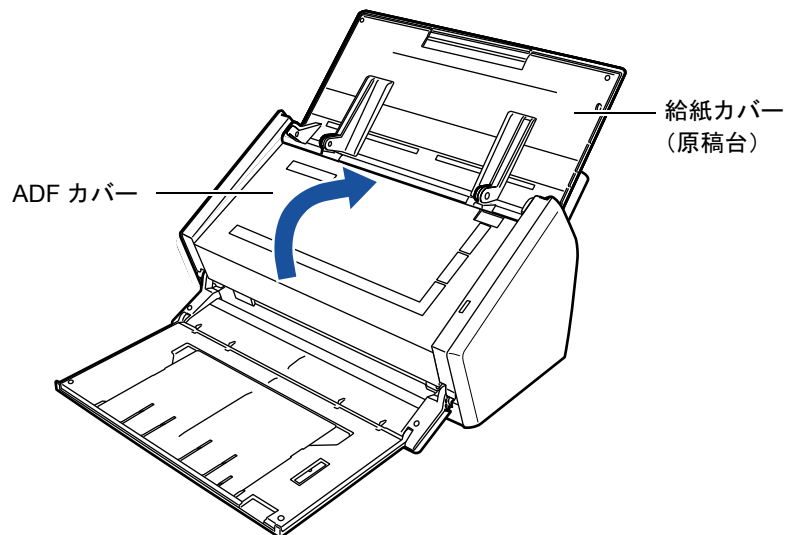
ピックローラー軸の突起部分をピックローラユニットの溝にはめ込みます。

10. ピックローラー軸を ScanSnap に取り付けます。

まず、右側の軸受けに斜め上方からピックローラー軸の先端をはめ、軸を寝かせながら、徐々にはめ込みます。

11. 軸受け（左側）を固定します。

> ピックローラー軸がしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりや原稿送り不良を起こすおそれがあります。

12. シートガイドを取り付けます。

両端の取っ手をつまみ、シートガイドを元の位置に取り付けます。

⇒「パチン」と音がして、ツメが外側に開きます。

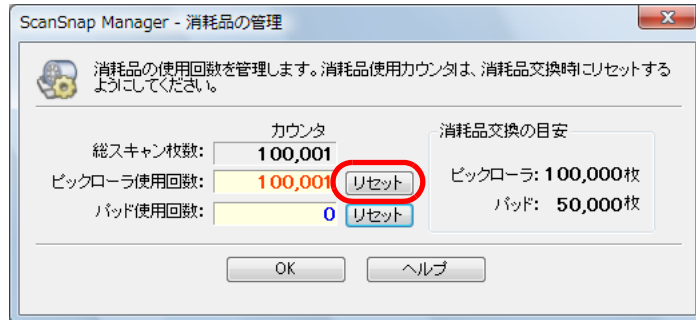
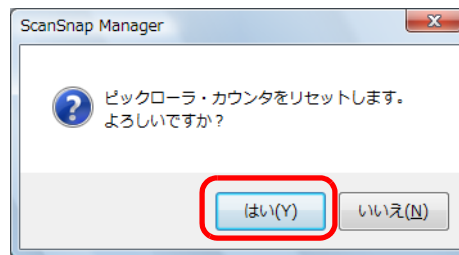
シートガイドがしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりや原稿送り不良を起こすおそれがあります。

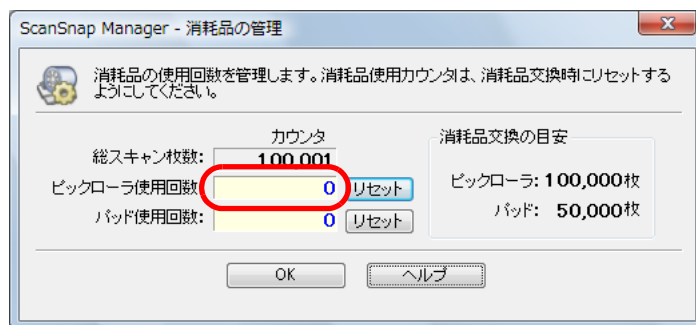
13. ADF カバーを閉めます。

⇒「カチン」という音がします。

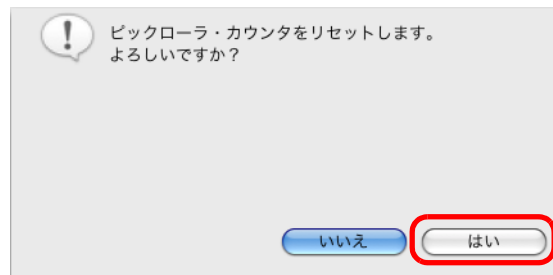
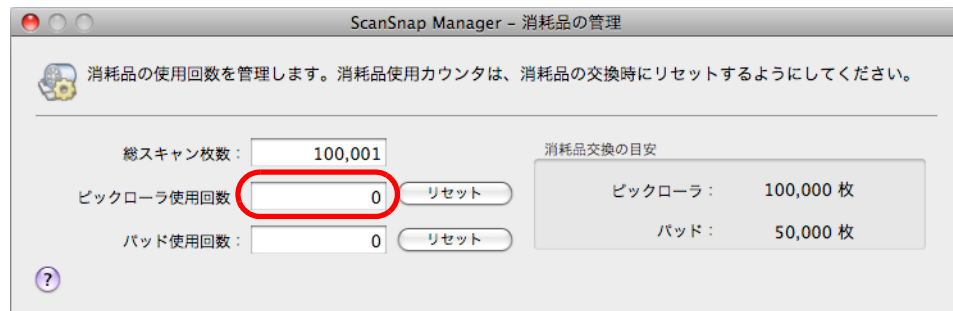
14. 電源ケーブルをコンセントに接続し、ScanSnap の電源を ON にします。

15. ピックローラユニットの使用回数をリセットします。

Windows

1. 右クリックメニューから、「消耗品の管理」を選択します。
   右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」(75 ページ)を参照してください。
   ⇒「ScanSnap Manager - 消耗品の管理」画面が表示されます。
2. 「ピックローラ使用回数」の［リセット］ボタンをクリックします。

   ⇒ 確認画面が表示されます。
3. ［はい］ボタンをクリックします。

   ⇒「ピックローラ使用回数」が 0 になります。

1. ScanSnap Manager のメニューから、「消耗品の管理」を選択します。
   ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。
   ⇒「ScanSnap Manager - 消耗品の管理」画面が表示されます。
2. 「ピックローラ使用回数」の［リセット］ボタンをクリックします。

   ⇒ 確認画面が表示されます。
3. ［はい］ボタンをクリックします。

   ⇒「ピックローラ使用回数」が 0 になります。

付録

ここでは、ScanSnap Manager のアップデート方法、ソフトウェアのアンインストール方法、原稿の読み取り方法による設定項目の違い、A3 キャリアシートと ScanAid の購入方法、および ScanSnap の設置条件について説明します。

ScanSnap Manager のアップデート

ScanSnap Manager は、操作性の向上や機能アップを図るために、適時アップデートが行われます。
ScanSnap Manager のアップデート方法について説明します。

ScanSnap に添付されているソフトウェアのアップデート情報については、以下を参照してください。
http://scansnap.fujitsu.com/jp/downloads/

■ Windows でのアップデート

ScanSnap Manager のアップデート方法は、以下のとおりです。
定期的にアップデートを実行することを推奨します。

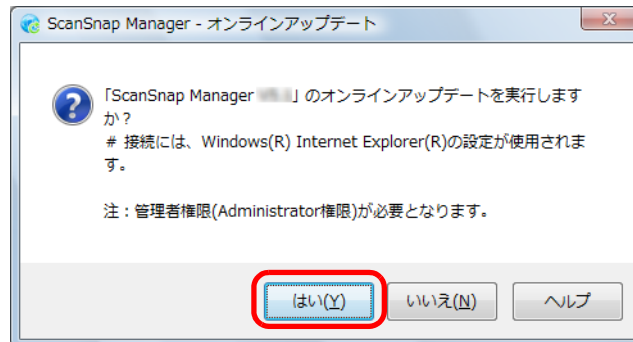
- アップデートするには、インターネットを使用できる環境で、Internet Explorer がインストールされている必要があります。
- 必ずコンピュータの管理者権限でログオンしてください。

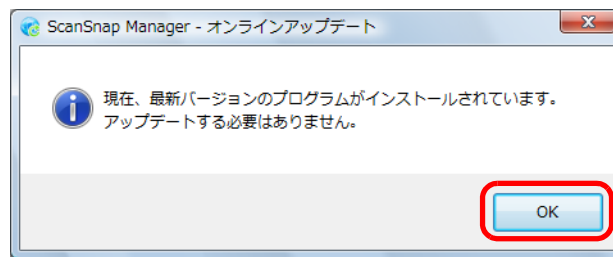
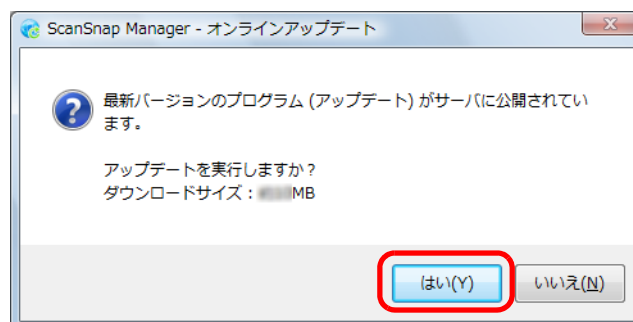
1. 右クリックメニューから、［ヘルプ］→［オンラインアップデート］を選択します。

右クリックメニューについては、「右クリックメニュー」（75 ページ）を参照してください。

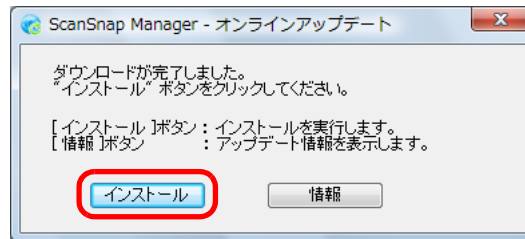
⇒ ScanSnap Manager をアップデートするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

ScanSnap Manager のアップデートは、「スタート」メニュー→「ScanSnap Manager」→「オンラインアップデート」からも実行できます。

2. ［はい］ボタンをクリックします。

⇒ 使用しているバージョンよりも新しいプログラムが公開されている場合、ScanSnap Manager をアップデートするかどうかの確認メッセージが表示されます。

最新版の ScanSnap Manager がインストールされている場合は、以下のメッセージが表示されます。

［OK］ボタンをクリックして、メッセージを閉じてください。

3. ［はい］ボタンをクリックします。

⇒ プログラムがダウンロードされて、インストールを実行するための確認メッセージが表示されます。

4. ［インストール］ボタンをクリックします。

［情報］ボタンをクリックすると、Internet Explorer が起動して、ScanSnap Manager について最新のアップデート情報が表示されます。

⇒ インストールが開始され、ScanSnap Manager のインストーラが起動されます。
画面の指示に従って、インストールしてください。

■ Mac OS でのアップデート

ScanSnap Manager のアップデート方法は、以下のとおりです。
定期的にアップデートを実行することを推奨します。

アップデートするには、インターネットを使用できる環境で、Web ブラウザがインストールされている必要があります。

1. ScanSnap Manager のメニューから、［ヘルプ］→［オンラインアップデート］を選択します。

ScanSnap Manager のメニューについては、「ScanSnap Manager のメニュー」（290 ページ）を参照してください。

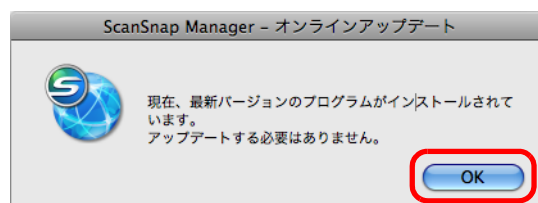
⇒ ScanSnap Manager をアップデートするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

ScanSnap Manager のアップデートは、以下の方法でも実行できます。

- メニューバーから、「ヘルプ」→「オンラインアップデート」を選択する
- Finder から、「アプリケーション」→「ScanSnap」→「オンラインアップデート」をダブルクリックする

2. ［はい］ボタンをクリックします。

⇒ 使用しているバージョンよりも新しいプログラムが公開されている場合、ScanSnap Manager をアップデートするかどうかの確認メッセージが表示されます。

最新版の ScanSnap Manager がインストールされている場合は、以下のメッセージが表示されます。

［OK］ボタンをクリックして、メッセージを閉じてください。

3. ［はい］ボタンをクリックします。

⇒ プログラムがダウンロードされて、インストールを実行するための確認メッセージが表示されます。

4. **ScanSnap Manager を終了します（ScanSnap Manager のメニューから、「終了」を選択します）。**

5. ［インストール］ボタンをクリックします。

［情報］ボタンをクリックすると、Web ブラウザが起動して、ScanSnap Manager について最新のアップデート情報が表示されます。

⇒ インストールが開始され、ScanSnap Manager のインストーラが起動されます。
画面の指示に従って、インストールしてください。

ソフトウェアのアンインストール

各ソフトウェアのアンインストール方法について説明します。
インストール方法については、「ソフトウェアのインストール」（40 ページ）を参照してください。

■ Windows でのアンインストール

以下のソフトウェアのアンインストール方法について説明します。

- ScanSnap Manager
- ScanSnap Organizer
- 名刺ファイリング ＯＣＲ
- ABBYY FineReader for ScanSnap
- やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap
- Evernote for Windows
- Scan to Microsoft SharePoint

アンインストール方法は、以下のとおりです。

1. **コンピュータの電源を ON にして、コンピュータの管理者（Administrators）権限を持つユーザーでログオンします。**

2. **動作しているソフトウェアをすべて終了します。**

3. **「スタート」メニュー→「コントロールパネル」→「プログラム」→「プログラムと機能」を選択します。**

⇒「プログラムと機能」の画面が表示され、インストールされているソフトウェアの一覧が表示されます。

4. アンインストールするソフトウェアを選択します。

- ScanSnap Manager をアンインストールする場合
  「ScanSnap Manager」を選択してください。
- ScanSnap Organizer をアンインストールする場合
  「ScanSnap Organizer」を選択してください。
- 名刺ファイリング ＯＣＲ をアンインストールする場合
  「名刺ファイリング ＯＣＲ V3.1」を選択してください。
- ABBYY FineReader for ScanSnap をアンインストールする場合
  「ABBYY FineReader for ScanSnap（TM）4.1」を選択してください。
- やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap をアンインストールする場合
  「やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap」を選択してください。
- Evernote for Windows をアンインストールする場合
  「Evernote」を選択してください。
- Scan to Microsoft SharePoint をアンインストールする場合
  「Scan to Microsoft SharePoint」を選択してください。

複数のソフトウェアをアンインストールする場合は、アンインストールするソフトウェアごとに手順 4. ～ 6. を繰り返してください。

5. ［アンインストール］ボタンをクリックします。

⇒ 確認のメッセージが表示されます。

6. ［ はい ］ ボタンをクリックします。

名刺ファイリング ＯＣＲ の場合は、このあとに、名刺データや実行環境を残すかどうかの確認画面が表示されます。
残す場合は、［はい］ボタンをクリックしてください。
残さない場合は、［いいえ］ボタンをクリックしてください。

⇒ アンインストールが実行されます。

- オペレーティングシステムによっては、画面表示が多少異なる場合があります。お使いのオペレーティングシステムの表示に従ってください。
  例：
  - 「プログラムと機能」
    Windows XP の場合：「プログラムの追加と削除」
    Windows 2000 の場合：「アプリケーションの追加と削除」
  - ［アンインストール］ボタン
    Windows XP および Windows 2000 の場合：［削除］ボタン
- 以下のソフトウェアがアンインストールできない場合は、「ScanSnap Setup」画面から、［取扱説明書］ボタン→［困ったときには（インストール編）］ボタンをクリックして、困ったときには（インストール編）を参照してください。
  - ScanSnap Manager
  - ScanSnap Organizer
  - 名刺ファイリング ＯＣＲ

■ Mac OS でのアンインストール

ScanSnap Manager、CardMinder、および Evernote for Mac のアンインストール方法は、以下のとおりです。

- ScanSnap Manager をアンインストールする場合（→ 481 ページ）
- CardMinder をアンインストールする場合（→ 483 ページ）
- Evernote for Mac をアンインストールする場合（→ 484 ページ）

＜ ScanSnap Manager をアンインストールする場合＞

1. **コンピュータの電源を ON にして、管理者権限を持つユーザーでログインします。**

2. **Finder から、「アプリケーション」→「ScanSnap」→「Sub」→「ScanSnap アンインストーラ .app」をダブルクリックします。**

⇒「ScanSnap アンインストーラ」画面（「ようこそ ScanSnap アンインストーラ」）が表示されます。

3. **［続ける］ボタンをクリックします。**

⇒「大切な情報」が表示されます。

4. **「大切な情報」を読み、［アンインストール］ボタンをクリックします。**

⇒ 認証画面が表示されます。

5. **管理者権限を持つユーザーのユーザ名およびパスワードを入力して、［OK］ボタンをクリックします。**

⇒ アンインストールが開始されます。アンインストールが完了すると「アンインストールに成功しました」が表示されます。

6. ［閉じる］ボタンをクリックします。

アンインストールしたユーザー以外で、ScanSnap Manager をログイン項目に設定している場合は、以下の操作を行ってください。

1. ScanSnap Manager をログイン項目に設定しているユーザーでログインします。
2. アップル（ ）メニューから「システム環境設定」を選択します。
   ⇒「システム環境設定」画面が表示されます。
3. 「アカウント」を選択します。
   ⇒「アカウント」画面が表示されます。
4. 「マイアカウント」から、ログインしているユーザーを選択します。
5. 「ログイン項目」タブを選択します。
   ⇒ ログイン項目のリストが表示されます。
6. ログイン項目のリストから「ScanSnap Manager」を選択します。
7. ログイン項目のリストの下にある［ − ］ボタンをクリックします。
   ⇒「ScanSnap Manager」がログイン項目のリストから削除されます。
8. 「アカウント」画面を閉じます。

＜ CardMinder をアンインストールする場合＞

1. **コンピュータの電源を ON にして、管理者権限を持つユーザーでログインします。**

2. **CardMinder が動作している場合、CardMinder を終了します（CardMinder のメニューから「終了」を選択します）。**

3. **Finder から、「アプリケーション」→「CardMinder」を選択して、「CardMinder」フォルダーをゴミ箱に入れます。**

Mac OS X v10.5 / Mac OS X v10.4 の場合は、以下の操作も行ってください。
Finder のサイドバーから、ボリューム名→「ライブラリ」→「Receipts」を選択して、「CardMinder.pkg」をゴミ箱に入れます。

4. **ゴミ箱を空にします。**

⇒「**CardMinder**」フォルダーが削除されます。

データベースを削除する場合は、データベースのファイルをゴミ箱に入れてください。
デフォルトの格納場所は、Finder のサイドバーの「(ユーザ名)」→「ライブラリ」→「Application Support」→「CardMinder」フォルダーです。

＜ Evernote for Mac をアンインストールする場合＞

1. **コンピュータの電源を ON にして、管理者権限を持つユーザーでログインします。**

2. **Evernote が動作している場合、Evernote を終了します（Evernote のメニューから「終了」を選択します）。**

メニューバーの右側に、Evernote のアイコン（ ）が表示されている場合は、Evernote のアイコンをクリックして表示されるメニューから「終了」を選択してください。

3. **Finder から、「アプリケーション」→「Evernote」を選択して、「Evernote」フォルダーをゴミ箱に入れます。**

4. **ゴミ箱を空にします。**

⇒「**Evernote**」フォルダーが削除されます。

原稿の読み取り方法による設定項目の違い

原稿の読み取り方法によって、ScanSnap 設定画面で設定できる項目が違います。用途に合わせて使い分けてください。
各設定項目の詳細および各読み取り方法のデフォルトについては、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

（○：設定可能、×：設定不可）

原稿の読み取り方法による設定項目の違い

設定項目			通常の読み取り		Windows e- スキャンモード
			クイックメニューを使用する場合	クイックメニューを使用しない場合	
読み取り設定	読み取り設定ボタン		○	×	×
		おすすめ	○	×	×
		コンパクト	○	×	×
		きれい	○	×	×
		カスタマイズ	○	×	×
	読み取り設定		×	○	×
アプリ選択	アプリケーションの選択		×（*1）	○	
		起動しません（ファイル保存のみ）	×	○	
		Windows Adobe(R) Acrobat(R) Mac OS Adobe Acrobat Pro、Adobe Acrobat Professional、または Adobe Acrobat Standard	×	○	
		Windows Adobe(R) Reader(R) Mac OS Adobe Reader	×	○	
		Windows 名刺ファイリング ＯＣＲ Mac OS CardMinder	×	○	×
		Windows ScanSnap Organizer	×	○	
		Windows Excel 文書に変換	×	○	×
		Windows PowerPoint(R) 文書に変換	×	○	×
		Windows Word 文書に変換	×	○	×
		指定したフォルダに保存	×	○	
		メールで送信	×	○	

原稿の読み取り方法による設定項目の違い

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">設定項目</th><th colspan="2">通常の読み取り</th><th rowspan="2">Windows
e- スキャンモード</th></tr>
<tr><th>クイックメニューを使用する場合</th><th>クイックメニューを使用しない場合</th></tr>
<tr><td rowspan="15">アプリ選択</td><td>アプリケーションの選択</td><td>×（*1）</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>Windows
ピクチャフォルダに保存</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>プリンタで印刷</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>Windows
楽 2 ライブラリ</td><td>×</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>Windows
SharePoint に保存</td><td>×</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>Mac OS
プレビュー</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>Mac OS
iPhoto</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>Windows
やさしく家計簿に保存（*2）</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>Windows
楽 2 ライブラリ（年賀はがきデスク）に保存</td><td>×</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>手書きメモを Evernote に保存（*2）</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>ドキュメントを Evernote に保存（*2）</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>Google ドキュメント (TM) に保存（*2）</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>Salesforce Chatter に投稿（*2）</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>SugarSync に保存（*2）</td><td>×</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>モバイルに保存（*2）</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="3">保存先</td><td>イメージの保存先</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>ファイル名の設定</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>ファイル名変更</td><td>×</td><td colspan="2">○</td></tr>
</table>

原稿の読み取り方法による設定項目の違い

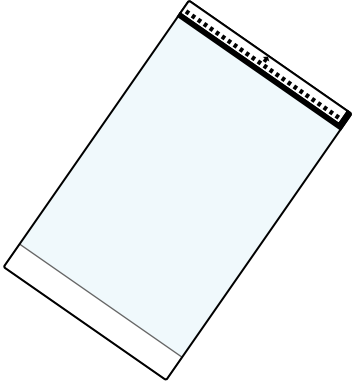
<table>
<tr><th colspan="3" rowspan="2">設定項目</th><th colspan="2">通常の読み取り</th><th rowspan="2">Windows
e- スキャンモード</th></tr>
<tr><th>クイックメニューを使用する場合</th><th>クイックメニューを使用しない場合</th></tr>
<tr><td rowspan="12">読み取りモード</td><td colspan="2">画質の選択</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td>自動解像度</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>ノーマル（カラー / グレー：150dpi、白黒：300dpi 相当）</td><td colspan="2">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>ファイン（カラー / グレー：200dpi、白黒：400dpi 相当）</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン（カラー / グレー：300dpi、白黒：600dpi 相当）</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>エクセレント（カラー / グレー：600dpi、白黒：1200dpi 相当）</td><td colspan="2">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td colspan="2">カラーモードの選択</td><td colspan="2">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td>カラー自動判別（原稿ごとに自動判別します）</td><td colspan="2">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>カラー</td><td colspan="2">○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>グレー</td><td colspan="2">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>白黒</td><td colspan="2">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>Windows
カラー高圧縮</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="11">読み取りモード</td><td colspan="2">読み取り面の選択</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td>両面読み取り</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>片面読み取り</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">継続読み取りを有効にします</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">オプション</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td rowspan="6"></td><td>白黒読み取りの濃度</td><td colspan="2">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>文字をくっきりします</td><td colspan="2">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>白紙ページを自動的に削除します</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>文字列の傾きを自動的に補正します</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>原稿の向きを自動的に補正します</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>Windows
原稿を上向きにしてセットします</td><td colspan="3">○</td></tr>
</table>

原稿の読み取り方法による設定項目の違い

<table>
<tr><th colspan="3" rowspan="2">設定項目</th><th colspan="2">通常の読み取り</th><th rowspan="2">Windows
e- スキャンモード</th></tr>
<tr><th>クイックメニューを使用する場合</th><th>クイックメニューを使用しない場合</th></tr>
<tr><td rowspan="16">ファイル形式</td><td colspan="2">ファイル形式の選択</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td></td><td>PDF（*.pdf）</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td></td><td>JPEG（*.jpg）</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">マーカー部分の文字列を PDF のキーワードにします</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td></td><td>先頭マーカーのみ</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td></td><td>全マーカー</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">検索可能な PDF にします</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象言語</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象ページ</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td></td><td>先頭ページのみ</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td></td><td>全ページ</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">オプション</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td></td><td>すべてのページを 1 つの PDF ファイルにします</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td></td><td>設定ページごとに PDF ファイルを作ります</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td></td><td>Windows
読み取った PDF ファイルにパスワードを付けます</td><td>×</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td></td><td>Windows
読み取った PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプを付けます</td><td>×</td><td colspan="2">○</td></tr>
</table>

原稿の読み取り方法による設定項目の違い

設定項目			通常の読み取り		Windows e- スキャンモード
			クイックメニューを使用する場合	クイックメニューを使用しない場合	
原稿	原稿サイズの選択		○		
		サイズ自動検出	○		
		A4（210 × 297mm）	○		
		A5（148 × 210mm）	○		
		A6（105 × 148mm）	○		
		B5（182 × 257mm）	○		
		B6（128 × 182mm）	○		
		はがき（100 × 148mm）	○		
		名刺（90 × 55mm、55 × 90mm）	○		
		レター（8.5 × 11 インチ（216 × 279.4mm））	○		×
		リーガル（8.5 × 14 インチ（216 × 355.6mm））	○		×
	カスタマイズ		○		
	マルチフィード検出		○		
		しない	○		
		長さで検出	○		
		重なりで検出（超音波）	○		
	A3 キャリアシート設定		○		
ファイルサイズ	圧縮率		○		×
		1	○		×
		2	○		×
		3	○		×
		4	○		×
		5	○		×

*1 ：クイックメニューを使用する場合は、読み取り後にクイックメニューから連携するアプリケーションを選択します。そのため、「アプリ選択」タブは表示されません。
*2 ：Windows 2000 の場合は、使用できません。

A3 キャリアシートの購入と清掃方法

A3 キャリアシートは、A4 サイズより大きい原稿、写真や切り抜きなどの原稿を読み取る場合に使用します。
A3 キャリアシートの購入方法および清掃方法について説明します。

■ A3 キャリアシートの購入

A3 キャリアシートの品名および手配型名は、以下のとおりです。

品　名	数　量	手配型名
ScanSnap A3 キャリアシート	5 枚	FI-511ES

A3 キャリアシートは、目安として、読み取り回数 500 回ごとに交換することを推奨します。
ただし、傷やよごれが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。

ご購入につきましては、下記のホームページの Web 販売をご利用いただくか、ScanSnap を購入された販社 / 販売店または当社 PFU ダイレクトにお問い合わせください。

http://scansnap.fujitsu.com/jp/purchase/index.html

株式会社 PFU　PFU ダイレクト

TEL：0120-14-4541

お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、
お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります。

E-mail:shop@pfu.fujitsu.com

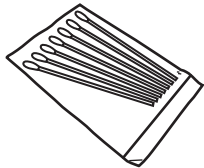
お電話でのお問い合わせ受付時間：9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00
（土・日・祝祭日・年末年始を除く）

■ A3 キャリアシートの清掃

A3 キャリアシートを繰り返し使用すると、よごれやほこりが付着する場合があります。
そのまま使い続けると、読み取り不良の原因となる場合がありますので、定期的に清掃してください。
A3 キャリアシートの清掃方法は、以下のとおりです。

＜清掃方法＞

A3 キャリアシート表面と内側のよごれやほこりを、乾いた柔らかい布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた柔らかい布で軽くふき取ります。

- シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 強くこすらないでください。A3 キャリアシートが傷付いたり、変形したりするおそれがあります。
- A3 キャリアシートに折り目が付かないよう注意してください。
- A3 キャリアシートの内側を、クリーナ F1 または中性洗剤で清掃したあとは、十分乾かしてから A3 キャリアシートを閉じてください。
- A3 キャリアシートは、目安として、読み取り回数 500 回ごとの交換を推奨します。
  A3 キャリアシートの購入については、「A3 キャリアシートの購入」（490 ページ）を参照してください。

ScanAid の購入

ScanAid は、スキャナに必要な消耗品・清掃用品（パッドユニット、クリーナーなど）をまとめた製品です。ScanAid を購入することで、必要な消耗品・清掃用品が一度にそろいます。

ScanAid の品名および手配型名は、以下のとおりです。

品　名	手配型名
ScanAid	FI-611SA

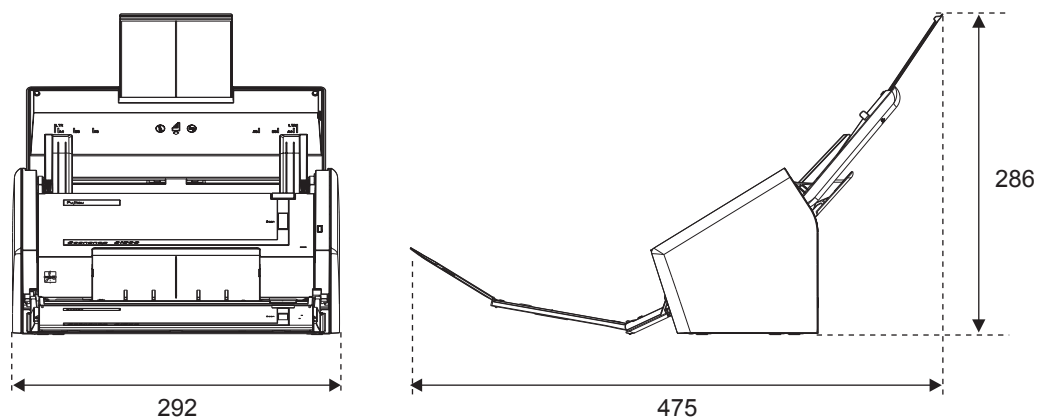
ScanAid の梱包品の品名は、以下のとおりです。

清掃用品		消耗品	
品名	備考	品名	備考
クリーナ F1（1 本）	容量：50ml	パッドユニット（2 個）	5 万枚または 1 年ごとに交換
クリーニングペーパー（1 パック）	10 枚入り / 1 パック	ピックローラユニット（1 個）	10 万枚または 1 年ごとに交換 ピックローラと記載している場合もある
クリーニングクロス（1 パック）	20 枚入り / 1 パック		
綿棒（2 パック）	50 本入り / 1 パック		

ScanAid のご購入については、「消耗品 / 清掃用品の購入先」（497 ページ）を参照してください。

設置諸元

ScanSnap の設置諸元は、以下のとおりです。

項　目		仕　様
外形寸法（幅×奥行×高さ）		最小：292 × 159 × 158 mm （給紙カバー（原稿台）を閉じた状態） 最大：292 × 475 × 286 mm （給紙カバー（原稿台）およびスタッカーを開いた状態）
質量		3.0 kg
入力電源	電圧	100V
	相数	単相
	周波数	50/60Hz
消費電力		稼動時：35W 以下 休止時：4.5W
温度 / 湿度 許容範囲	温度（℃）	稼動時：5 〜 35 休止時：-20 〜 60 保管運搬時：-20 〜 60
	湿度（%）	稼動時：20 〜 80 休止時：8 〜 95 保管運搬時：8 〜 95

（単位：mm）

修理・お問い合わせ

当社では、お客様に安心して ScanSnap をご使用いただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

■ ScanSnap ホームページ

製品情報、サポート情報、最新のダウンロードデータ情報、および ScanSnap の活用方法など、様々な情報を提供しています。ぜひ、ご活用ください。
http://scansnap.fujitsu.com/jp/

■ お問い合わせの前に

「故障かな？」と思ったときは、まず、ScanSnap Manager のヘルプの「困ったときには」を参照し、ScanSnap の接続や設定に間違いがないことを、必ず確認してください。ScanSnap Manager のヘルプの「困ったときには」の参照方法については、「困ったときには」（449 ページ）を参照してください。
また、お客様から寄せられた主なご質問とその回答を、以下のホームページに掲載しています。該当する項目がないか、確認してください。
http://scansnap.fujitsu.com/jp/faq/

それでも解決しない場合は、サービスセンター窓口の「株式会社 PFU イメージングサービス＆サポートセンター」（496 ページ）まで連絡してください。
連絡する際は、ユーザー登録番号（添付のユーザー登録シートに記載されています）をお手元にご用意ください。

■ 各種サービス

＜スポットサービス＞

必要なときに、その都度ご利用いただけるスポットサービスには、以下のサービスがあります。

センドバック修理サービス

修理窓口まで機器を送付していただき、修理を行います。

引き取り修理サービス

指定日に修理機を引き取ります。

代替機サービス

修理中、代替機を貸し出しします。引き取り修理サービスと併用でのみご利用できます。
代替機は、同一機種ではなく、同等機能を持つ機種になることがあります。

●キャンセル料について

診断後のキャンセルは、キャンセル料がかかりますのでご注意ください。

詳細については、ホームページを参照してください。
http://scansnap.fujitsu.com/jp/support/service.html

＜ ScanSnap 保証延長サービス＞

ScanSnap 保証延長サービスは、ScanSnap ご購入後、3ヶ月以内にサービスご加入料金をお支払いいただくことで、製品保証期間を標準の 1 年から 3 年に拡張するサービスです。

詳細については、ホームページを参照してください。
http://scansnap.fujitsu.com/jp/support/service2.html

なお、ScanSnap 保証延長サービスは PFU ダイレクトの「ScanSnap 保証延長サービス」のページからお申し込みください。
http://www.pfu.fujitsu.com/direct/scanner/guarantee_exte.html

- ScanSnap の修理は、お客様自身で行わないでください。
- ScanSnap の保証条件については、添付の保証書に記載の規定をご覧ください。
- ScanSnap の修理部品の供給期間は、製造中止後 5 年間です。

■ お問い合わせ窓口

ScanSnap および添付ソフトウェアに関するお問い合わせ窓口	
受付窓口	株式会社 PFU イメージング サービス＆サポートセンター
E-mail	scanners@pfu.fujitsu.com
電話	0120-37-9089 042-788-7746（携帯電話の場合） お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります。
受付時間	9：00 ～ 12：00、13：00 ～ 17：00 （土・日・祝日・年末年始・当社休業日を除く）
ホームページ	http://scansnap.fujitsu.com/jp/support/

Adobe Acrobat に関するお問い合わせ窓口	
受付窓口	アドビシステムズ株式会社
ホームページ	http://www.adobe.com/jp/support/

ABBYY FineReader for ScanSnap に関するお問い合わせ窓口	
受付窓口	ABBYY
お問い合わせ先	「ABBYY FineReader for ScanSnap ユーザーズガイド」（*）→「技術サポート」→「ABBYY 支店」を参照してください。

* ：「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「ABBYY FineReader for ScanSnap（TM）4.1」→「ユーザーズガイド」を選択すると表示されます。

やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap に関するお問い合わせ窓口	
受付窓口	メディアドライブ株式会社
お問い合わせ先	メディアドライブ社オンラインサポートをご利用ください。 「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap」→「サポート」→「オンラインサポート」の順に選択するとお問い合わせフォームが表示されます。 お問い合わせ先の詳細については、やさしく家計簿 操作説明書の「10. カスタマサポート」を参照してください。

Evernote に関するお問い合わせ窓口	
お問い合わせ先	以下のホームページから、お問い合わせまたは Evernote ユーザーフォーラムを参照してください。ホームページは、Evernote for Windows / Evernote for Mac の「ヘルプ」メニュー→「テクニカルサポート」を選択すると表示されます。 http://www.evernote.com/about/intl/jp/support/

Google ドキュメントに関するお問い合わせ窓口	
お問い合わせ先	Google ドキュメントヘルプセンターまたは Google ヘルプフォーラムを参照してください。Google ドキュメントの「ヘルプ」を選択すると表示されます。

Salesforce に関するお問い合わせ窓口	
お問い合わせ先	お客様の Salesforce を管理されているシステム管理者にお問い合わせください。

SugarSync に関するお問い合わせ窓口	
受付窓口	BB ソフトサービス株式会社
ホームページ	http://www.sugarsync.jp/scansnap03

■ 消耗品 / 清掃用品の購入先

パッドユニット、ピックローラユニットなどの消耗品、清掃用品の購入については、ScanSnap を購入された販社 / 販売店または当社 PFU ダイレクトにお問い合わせください。

ご購入先	
受付窓口	株式会社 PFU　PFU ダイレクト
E-mail	shop@pfu.fujitsu.com
電話	0120-14-4541 お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります。
受付時間	9：00 ～ 12：00、13：00 ～ 17：00 （土・日・祝日・年末年始・当社休業日を除く）
ホームページ	http://www.pfu.fujitsu.com/direct/

索　引

た行

は行

ま行

や行

ら行